

(3) 保育所(21所)・幼稚園(19園)

①施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の公立保育所は21所、1万7,957㎡です。そのうち、単独施設は19所、子育て支援センターとの複合施設は2所となっています。延長保育・障がい児保育・土曜保育は全施設で行っていますが(保育の実施場所は9所)、一時保育については、5所での実施となっています。

坂井市の幼稚園は19園で2010年(H22年)5月現在、明章幼稚園、大関幼稚園、兵庫幼稚園の3園が休園しており、三国北幼稚園、鳴鹿幼稚園、木部幼稚園の3園を除く13園の延床面積合計は9,252㎡です。(以下、休園している3園を除く16園で記述)三国北幼稚園、木部幼稚園は併設している小学校の教室を利用し、鳴鹿幼稚園は2009年度(H21年度)の鳴鹿小学校・幼稚園のエコ改修に合わせ、幼稚園を鳴鹿保育所(短時部)へ移設しています。単独施設は6園、小学校との併設施設は10園となっています。丸岡町の平章、長畝、高椋、磯部幼稚園は、「子育て特区」の認定を受け、幼稚園と保育所の両機能を合わせ持っています。

今後、幼保一体化および保育所の民営化の計画にあわせて、再配置されていくこととなります。

表 施設一覧(保育所)

町名	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	定員1人 当たりの 面積	利用可能サービス/保有機能(併設施設)					
					延長 保育	障がい 児保育	一時 保育	土曜保育	子育て 支援 セン	
三国	1 三国南保育所	636	1972	7.1	●	●		●	【保育の場所】 三国南保育所 みくに未来保育所	
	2 三国中央保育所	722	1968	9.0	●	●		●		
	3 みくに未来保育所	1,372	2003	11.4	●	●	●	●		
	4 宿保育所	917	1973	7.6	●	●		●		
	5 安島保育所	995	1976	14.2	●	●		●		
	6 加戸保育所	1,102	1978	11.0	●	●		●		
	7 新保保育所	753	1970	18.8	●	●		●		
丸岡	8 鳴鹿幼保園	697	1992	7.0	●	●		●	【保育の場所】 今福幼保園 鳴鹿幼保園 磯部幼保園 八ヶ幼保園	
	9 磯部東幼保園	681	1978	5.7	●	●		●		
	10 安田幼保園	658	1985	6.0	●	●		●		
	11 今福幼保園	954	1983	6.0	●	●		●		
	12 霞幼保園	856	1985	7.8	●	●	●	●		
	13 八ヶ幼保園	585	1977	5.3	●	●		●		
春江	14 春江南保育所	802	1980	10.0	●	●	●	●	【保育の場所】 春江東保育所 春江西保育所	
	15 春江中保育所	627	1984	7.8	●	●		●		
	16 春江東保育所	829	1996	6.9	●	●		●		
	17 春江北保育所	1,164	2007	7.3	●	●		●		
	18 春江西保育所	1,098	1999	6.7	●	●	●	●		
	19 春江保育所	768	1979	7.7	●	●	●	●		
坂井	20 坂井保育所	1,175	1974	6.2	●	●		●	【保育の場所】 坂井保育所	
	21 坂井乳児保育所	566	1972	7.1	●	●		●		
合計		17,957	—	—	21所	21所	5所	21所	—	2所

※ 建築年度は、最も古い年度を採用

表 施設一覧(幼稚園)

町名	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	小学校 併設	備考
三 国	1 三国南幼稚園	941	1977		
	2 三国北幼稚園	-	1987	●	小学校教室を利用
	3 雄島幼稚園	974	1977		
	4 加戸幼稚園	959	1982		
	5 三国西幼稚園	864	1979		
丸 岡	6 平章幼稚園	514	1979	●	
	7 長畝幼稚園	455	1975	●	
	8 高棕幼稚園	597	1979	●	
	9 鳴鹿幼稚園	-	1992		幼稚園機能を鳴鹿保育所内に移設
	10 磯部幼稚園	600	1982	●	
	11 明章幼稚園	-	1991	●	
春 江	12 春江幼稚園	1,003	1972		
	13 春江西幼稚園	349	1979	●	
	14 大石幼稚園	425	1980	●	
	15 春江東幼稚園	921	2007	●	
坂 井	16 東十郷幼稚園	650	1990	●	
	17 大関幼稚園	-	1981	●	
	18 兵庫幼稚園	-	1981	●	
	19 木部幼稚園	-	2001	●	小学校教室を利用
合計		9,252	—	13園	—

※ 建築年度は、最も古い年度を採用

※ 小学校併設は、小学校の敷地内に幼稚園を設置している施設を示しています

※ …休園施設

イ) スペース構成

【保育所】

保育所 21 所の 1 施設当たりの平均規模は 855 m²で、坂井乳児保育所の 566 m²からみくに未来保育所の 1,372 m²となっています。

保有スペースは、保育室・遊戯室・ほふく室が中心で、その他に調理室や事務室があります。ランチルームを保有するのは、みくに未来保育所・春江南保育所の 2 所、一時保育室を保有するのは、みくに未来保育所・春江北保育所・春江西保育所の 3 所、多目的午睡室を保有するのは、みくに未来保育所と春江中保育所の 2 所で、比較的近年に建築されたことからさまざまな部屋を有しており、スペース構成が工夫されています。

三国町の保育所の給食は、「坂井すこやか給食特区」の認定を受け、学校給食センターからの搬入方式を採用しています。

図 スペース構成(保育所) (※ 定員・園児数は 2009 年(H21 年)4 月 1 日、運営人員は 2008 年(H20 年)4 月 1 日現在)

施設名	定員	スペース構成									運営人員/業務内容						
		園児数									園長	保育士	栄養士	調理員	用務員	計	
		200	400	600	800	1,000	1,200	1,400	1,600 (m ²)								
三国南	90	151	114	79	24	268	636				1	9			1	11	
	66																
三国中央	80	149	124	52	31	366	722				1	5			3	9	
	33																
みくに未来	120	75	179	147	26	63	81	25	103	207		1	17			2	20
	108									465							1,372
宿	120	282	175	36		389	917				1	14			1	16	
	81																
安島	70	82	169	145	100	45	454	995			1	6			1	8	
	55																
加戸	100	308	190	87	53	464	1,102				1	10			1	12	
	84																
新保	40	186	162	65		319	753				1	4			1	6	
	20																
鳴鹿	100	55	196	124	37	39	246	697			1	14		3		18	
	81																
磯部東	120	218	144	60	37	222	681				1	13		3		17	
	116																
安田	110	84	218	142	35	202	658				1	11		3		15	
	101																
今福	160	346	187	51		339	954				1	17	1	3		22	
	135																
霞	110	59	214	145	59	344	856				1	13		3		17	
	94																
八ヶ	110	81	165	108		177	585				1	14	1	2		18	
	99																
春江南	80	66	166	100	50	76	345	802			1	11		2		14	
	64																
春江中	80	55	114	116	54	51	237	627			1	11		2		14	
	68																
春江東	120	86	117	139	43	42	451	829			1	15		3		19	
	128																
春江北	160	228	126	160	71	47	112	420	1,164		1	22		4		27	
	155																
春江西	165	42	292	205	63	40	59	397	1,098		1	20		4		25	
	155																
春江	100	104	156	136	44	329	768				1	14		2		17	
	86																
坂井	190	52	322	269	41	491	1,175				1	15		3		19	
	158																
坂井乳児	80	228				278	566				1	16	1	1		19	
	61																
		定員超過									合計						
		定員80%未満									21	269	3	38	10	341	

【幼稚園】

幼稚園 19 園のうち、休園している 3 園(明章、大関、兵庫幼稚園)、空き教室や保育所を利用している 3 園(三国北、鳴鹿、木部幼稚園)を除く 13 園の 1 施設当たりの平均規模は 712 m²で、春江西幼稚園の 349 m²から春江幼稚園の 1,003 m²となっています。

保有スペースは、保育室、遊戯室が中心で、その他に事務室や保健室があります。受入年齢が園によって異なることから、0 歳児から 3 歳児向けと 4 歳児から 5 歳児向けの両保育室を保有する施設は、加戸、平章、長畝、磯部、高椋、春江東幼稚園の 6 園で、その他の園は、4 歳児から 5 歳児向けのみの保育室を保有しています。

近年少子化や共働きの影響によって園児数が定員割れとなっており、減少に伴って生じる余裕スペースを児童クラブ等に活用する計画があります。

図 スペース構成(幼稚園) (※ 定員・園児数は 2010 年(H22 年)5 月 1 日、運営人員は 2008 年(H20 年)5 月 1 日現在)

施設名	定員		スペース構成						運営人員/業務内容					
	園児数		200	400	600	800	1,000	1,200(m ²)	園長	教諭	その他	計		
三国南	105		265	146	48	470	941		(1)	3	1	4		
	39													
雄島	105		249	159	61	497	974		(1)	3	1	4		
	30													
加戸	105		56	191	316	47	323	959	(1)	2	1	3		
	26							864						
三国西	105		184	251	52	371			(1)	2	1	3		
	16													
平章	105		112	168	28	178	514		1	3		4		
	20													
長畝	105		47	104	153	18	128	455	1	4		5		
	26													
高椋	140		78	104	212	26	597		1	6		7		
	63													
磯部	140		58	156	195	39	600		1	7		8		
	61													
春江	210		310	249	50	394	1,003		(1)	4	1	5		
	47													
春江西	70		162	123	48	349			(1)	3	1	4		
	32													
大石	70		123	129		157	425		(1)	2	1	3		
	26													
春江東	140		49	148	144	207	58	32	272	921	(1)	4	1	5
	81													
東十郷	105		168	195	33	244	650		(1)	2	1	3		
	21													
		入園率25%未満							合計	4 (13)	45	9	58 (67)	

※ 休園している明章、大関、兵庫幼稚園、および空き教室や保育所を利用している三国北、鳴鹿、木部幼稚園は除く。

※ 幼稚園と保育園の両機能を合わせ持った平章、長畝、高椋、磯部以外の 9 園の園長は、小学校の校長が兼務している。

② 実態把握

ア) 施設別の受入体制

0歳児から就学前の乳幼児を受け入れる施設は保育所・幼稚園を合わせて38施設(休園している鳴鹿幼稚園、明章幼稚園、大関幼稚園、兵庫幼稚園は除く)ありますが、施設のスペース構成や設備などの違いによって、受け入れられる年齢がさまざまです。また、開所・開園時間についても保育所と幼稚園、子育て特区の認定を受けている幼稚園で異なっています。地域を問わずどの施設でも入所できることから、保護者のニーズに合った施設を選択することが可能となっています。

施設名		受入年齢	開所・開園 時間									
			7:00	7:30	8:00	～	13:30	15:00	16:00	18:00	19:00	
三 国	保育所	1 三国南保育所	10ヶ月～	[黒色塗り]								
		2 三国中央保育所	1歳～	[黒色塗り]								
		3 みくに未来保育所	8週～	[黒色塗り]								
		4 宿保育所	10ヶ月～	[黒色塗り]								
		5 安島保育所	10ヶ月～	[黒色塗り]								
		6 加戸保育所	10ヶ月～	[黒色塗り]								
		7 新保保育所	2歳～	[黒色塗り]								
	幼稚園	1 三国南幼稚園	4歳～	[黒色塗り]								
		2 三国北幼稚園	4歳～	[黒色塗り]								
		3 雄島幼稚園	4歳～	[黒色塗り]								
4 加戸幼稚園		4歳～	[黒色塗り]									
5 三国西幼稚園		4歳～	[黒色塗り]									
丸 岡	保育所	1 鳴鹿幼保園	5ヶ月～	[黒色塗り]								
		2 磯部東幼保園	1歳～	[黒色塗り]								
		3 安田幼保園	1歳～	[黒色塗り]								
		4 今福幼保園	1歳～	[黒色塗り]								
		5 霞幼保園	1歳～	[黒色塗り]								
		6 八ヶ幼保園	5ヶ月～	[黒色塗り]								
	幼稚園	子育て特区(幼保一体化)	1 平章幼稚園	保育園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
				幼稚園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
			2 長畝幼稚園	保育園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
				幼稚園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
			3 高椋幼稚園	保育園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
				幼稚園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
			4 磯部幼稚園	保育園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
				幼稚園部	2歳3ヶ月～	[黒色塗り]						
春 江	保育所	1 春江南保育所	8週～	[黒色塗り]								
		2 春江中保育所	8週～	[黒色塗り]								
		3 春江東保育所	8週～	[黒色塗り]								
		4 春江北保育所	8週～	[黒色塗り]								
		5 春江西保育所	8週～	[黒色塗り]								
		6 春江保育所	8週～	[黒色塗り]								
	幼稚園	1 春江幼稚園	5歳～	[黒色塗り]								
		2 春江西幼稚園	5歳～	[黒色塗り]								
		3 大石幼稚園	5歳～	[黒色塗り]								
		4 春江東幼稚園	3歳～	[黒色塗り]								
坂 井	保育所	1 坂井保育所	3歳～	[黒色塗り]								
		2 坂井乳児保育所	8週～	[黒色塗り]								
	幼稚園	1 東十郷幼稚園	5歳～	[黒色塗り]								
		2 木部幼稚園	5歳～	[黒色塗り]								

	通常保育	-
	延長保育	有料
	預かり保育	一部有料

2008年(H20年)
4月1日現在

図 施設毎の園児受入体制

イ) 施設別の入園状況

【保育所】

総定員 2,305 人に対し、入所園児数は 1,948 人で、入所率は 85%となっています。

これらのうち、入所率が 50%以下の保育所が全 21 所中 2 所(三国中央保育所、新保保育所)で、定員をオーバーしているのは春江東保育所(107%)です。

【幼稚園】(休園している明章幼稚園、大関幼稚園、兵庫幼稚園の 3 園を除く)

総定員 1,645 人に対し、入園児数は 531 人で、入園率は 32%と大きく定員割れをしています。定員を充足している園はありません。

園児数が最も多いのは、春江東幼稚園の 81 人、次いで高棕幼稚園の 63 人、磯部幼稚園の 61 人となっています。春江東幼稚園以外は全て入園率が 50%未満となっており、特に、三国北、加戸、三国西、平章、長畝、春江、東十郷幼稚園の 7 園は、入園率が 25%以下と大きく定員を下回っています。

図 定員および園児数(保育所：2009年(H21年)4月1日現在、幼稚園：2010年(H22年)5月1日現在)

	全体 園児数/定員	保育所 入所率 85% (1,948人/2,305人)	幼稚園 入園率 32% (531人/1,645人)																																				
三 国	575 / 1,110人 (51.8%)	<table border="1"> <tr><td>三国南保育所</td><td>66人 (73%)</td><td>90人</td></tr> <tr><td>三国中央保育所</td><td>33人 (41%)</td><td>80人</td></tr> <tr><td>みくに未来保育所</td><td>108人 (90%)</td><td>120人</td></tr> <tr><td>宿保育所</td><td>81人 (68%)</td><td>120人</td></tr> <tr><td>安島保育所</td><td>55人 (79%)</td><td>70人</td></tr> <tr><td>加戸保育所</td><td>84人 (84%)</td><td>100人</td></tr> <tr><td>新保保育所</td><td>20人 (50%)</td><td>40人</td></tr> </table>	三国南保育所	66人 (73%)	90人	三国中央保育所	33人 (41%)	80人	みくに未来保育所	108人 (90%)	120人	宿保育所	81人 (68%)	120人	安島保育所	55人 (79%)	70人	加戸保育所	84人 (84%)	100人	新保保育所	20人 (50%)	40人	<table border="1"> <tr><td>三国南幼稚園</td><td>105人</td><td>39人 (37%)</td></tr> <tr><td>三国北幼稚園</td><td>105人</td><td>17人 (24%)</td></tr> <tr><td>雄島幼稚園</td><td>105人</td><td>30人 (29%)</td></tr> <tr><td>加戸幼稚園</td><td>105人</td><td>26人 (25%)</td></tr> <tr><td>三国西幼稚園</td><td>105人</td><td>16人 (15%)</td></tr> </table>	三国南幼稚園	105人	39人 (37%)	三国北幼稚園	105人	17人 (24%)	雄島幼稚園	105人	30人 (29%)	加戸幼稚園	105人	26人 (25%)	三国西幼稚園	105人	16人 (15%)
三国南保育所	66人 (73%)	90人																																					
三国中央保育所	33人 (41%)	80人																																					
みくに未来保育所	108人 (90%)	120人																																					
宿保育所	81人 (68%)	120人																																					
安島保育所	55人 (79%)	70人																																					
加戸保育所	84人 (84%)	100人																																					
新保保育所	20人 (50%)	40人																																					
三国南幼稚園	105人	39人 (37%)																																					
三国北幼稚園	105人	17人 (24%)																																					
雄島幼稚園	105人	30人 (29%)																																					
加戸幼稚園	105人	26人 (25%)																																					
三国西幼稚園	105人	16人 (15%)																																					
丸 岡	806 / 1,235人 (65.3%)	<table border="1"> <tr><td>鳴鹿幼保園</td><td>81人 (81%)</td><td>100人</td></tr> <tr><td>磯部東幼保園</td><td>116人 (97%)</td><td>120人</td></tr> <tr><td>安田幼保園</td><td>101人 (92%)</td><td>110人</td></tr> <tr><td>今福幼保園</td><td>135人 (84%)</td><td>160人</td></tr> <tr><td>霞幼保園</td><td>94人 (85%)</td><td>110人</td></tr> <tr><td>八ヶ岳幼保園</td><td>99人 (90%)</td><td>110人</td></tr> </table>	鳴鹿幼保園	81人 (81%)	100人	磯部東幼保園	116人 (97%)	120人	安田幼保園	101人 (92%)	110人	今福幼保園	135人 (84%)	160人	霞幼保園	94人 (85%)	110人	八ヶ岳幼保園	99人 (90%)	110人	<table border="1"> <tr><td>平章幼稚園</td><td>105人</td><td>20人 (19%)</td></tr> <tr><td>長畝幼稚園</td><td>105人</td><td>26人 (25%)</td></tr> <tr><td>高涼幼稚園</td><td>140人</td><td>63人 (45%)</td></tr> <tr><td>鳴鹿幼稚園</td><td>140人</td><td>35人 (29%)</td></tr> <tr><td>磯部幼稚園</td><td>140人</td><td>61人 (44%)</td></tr> </table>	平章幼稚園	105人	20人 (19%)	長畝幼稚園	105人	26人 (25%)	高涼幼稚園	140人	63人 (45%)	鳴鹿幼稚園	140人	35人 (29%)	磯部幼稚園	140人	61人 (44%)			
鳴鹿幼保園	81人 (81%)	100人																																					
磯部東幼保園	116人 (97%)	120人																																					
安田幼保園	101人 (92%)	110人																																					
今福幼保園	135人 (84%)	160人																																					
霞幼保園	94人 (85%)	110人																																					
八ヶ岳幼保園	99人 (90%)	110人																																					
平章幼稚園	105人	20人 (19%)																																					
長畝幼稚園	105人	26人 (25%)																																					
高涼幼稚園	140人	63人 (45%)																																					
鳴鹿幼稚園	140人	35人 (29%)																																					
磯部幼稚園	140人	61人 (44%)																																					
春 江	842 / 1,195人 (70.5%)	<table border="1"> <tr><td>春江南保育所</td><td>64人 (80%)</td><td>80人</td></tr> <tr><td>春江中保育所</td><td>68人 (85%)</td><td>80人</td></tr> <tr><td>春江東保育所</td><td>128人 (107%)</td><td>120人</td></tr> <tr><td>春江北保育所</td><td>155人 (97%)</td><td>160人</td></tr> <tr><td>春江西保育所</td><td>155人 (94%)</td><td>165人</td></tr> <tr><td>春江保育所</td><td>86人 (86%)</td><td>100人</td></tr> </table>	春江南保育所	64人 (80%)	80人	春江中保育所	68人 (85%)	80人	春江東保育所	128人 (107%)	120人	春江北保育所	155人 (97%)	160人	春江西保育所	155人 (94%)	165人	春江保育所	86人 (86%)	100人	<table border="1"> <tr><td>春江幼稚園</td><td>140人</td><td>47人 (22%)</td></tr> <tr><td>春江西幼稚園</td><td>140人</td><td>32人 (46%)</td></tr> <tr><td>大石幼稚園</td><td>140人</td><td>26人 (37%)</td></tr> <tr><td>春江東幼稚園</td><td>140人</td><td>81人 (58%)</td></tr> </table>	春江幼稚園	140人	47人 (22%)	春江西幼稚園	140人	32人 (46%)	大石幼稚園	140人	26人 (37%)	春江東幼稚園	140人	81人 (58%)						
春江南保育所	64人 (80%)	80人																																					
春江中保育所	68人 (85%)	80人																																					
春江東保育所	128人 (107%)	120人																																					
春江北保育所	155人 (97%)	160人																																					
春江西保育所	155人 (94%)	165人																																					
春江保育所	86人 (86%)	100人																																					
春江幼稚園	140人	47人 (22%)																																					
春江西幼稚園	140人	32人 (46%)																																					
大石幼稚園	140人	26人 (37%)																																					
春江東幼稚園	140人	81人 (58%)																																					
坂 井	256 / 410人 (62.4%)	<table border="1"> <tr><td>坂井保育所</td><td>158人 (83%)</td><td>190人</td></tr> <tr><td>坂井乳児保育所</td><td>61人 (76%)</td><td>80人</td></tr> </table>	坂井保育所	158人 (83%)	190人	坂井乳児保育所	61人 (76%)	80人	<table border="1"> <tr><td>東十郷幼稚園</td><td>105人</td><td>21人 (20%)</td></tr> <tr><td>木部幼稚園</td><td>105人</td><td>35人 (46%)</td></tr> </table>	東十郷幼稚園	105人	21人 (20%)	木部幼稚園	105人	35人 (46%)																								
坂井保育所	158人 (83%)	190人																																					
坂井乳児保育所	61人 (76%)	80人																																					
東十郷幼稚園	105人	21人 (20%)																																					
木部幼稚園	105人	35人 (46%)																																					

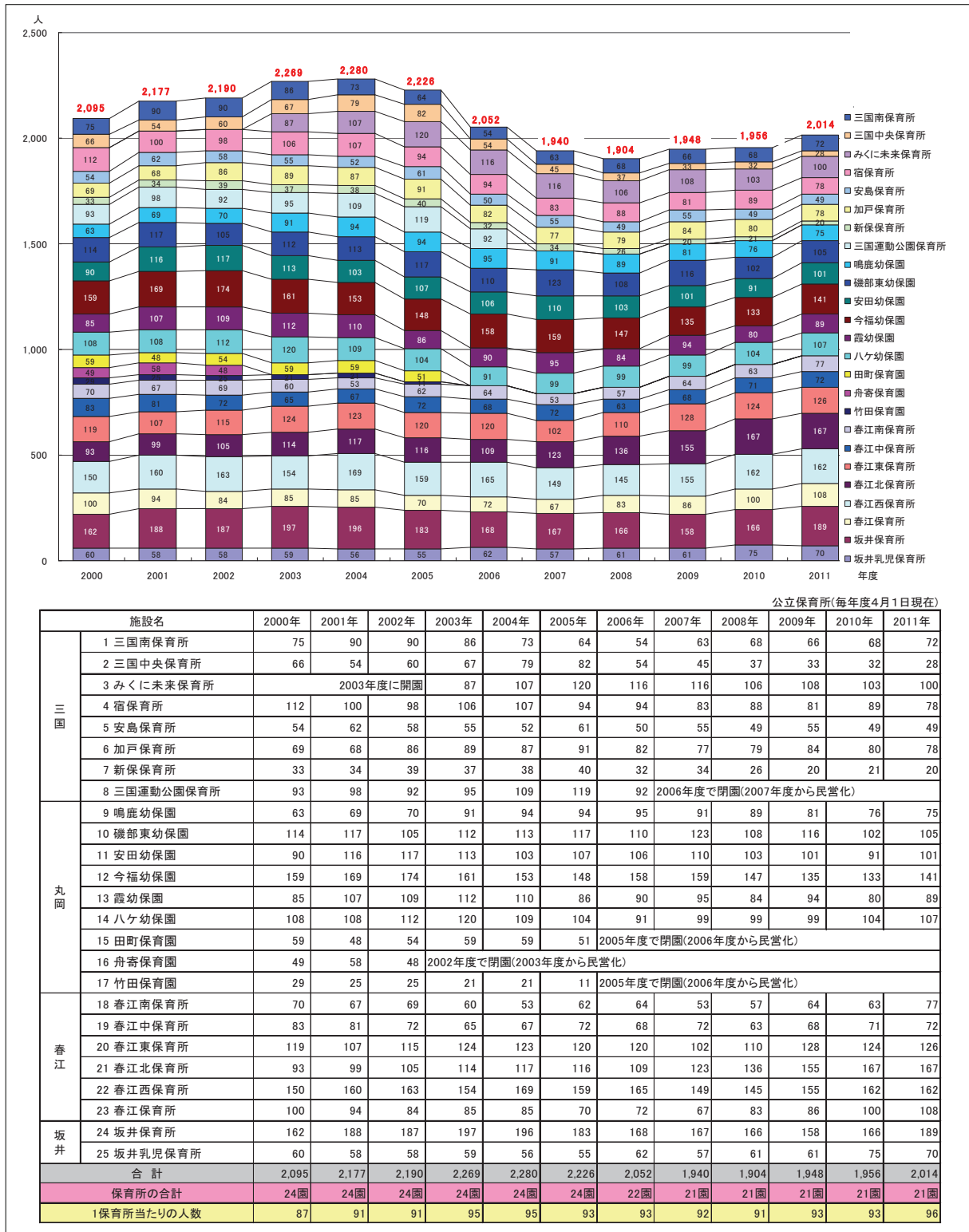
(25%未満:青字、25%以上50%未満:オレンジ字、50%以上75%未満:緑字、75%以上100%未満:黒字、100%以上:ピンク字) ※赤字:耐震補強改修未実施

ウ) 園児数の推移

【保育所】

園児数の推移を見ると、2004年度(H16年度)まで微増傾向にありましたが、2006年度(H18年度)～2007年度(H19年度)で3箇所の保育所が民営化されたことで、2,000人を下回りました。しかし、近年、家庭環境の変化により保育所に入所する園児が増加傾向となり、2011年度(H23年度)で再び2,000人を超えています。1保育所当たりの園児数は、2000年度(H22年度)の約87人から2011年度で約96人と10%増加しています。

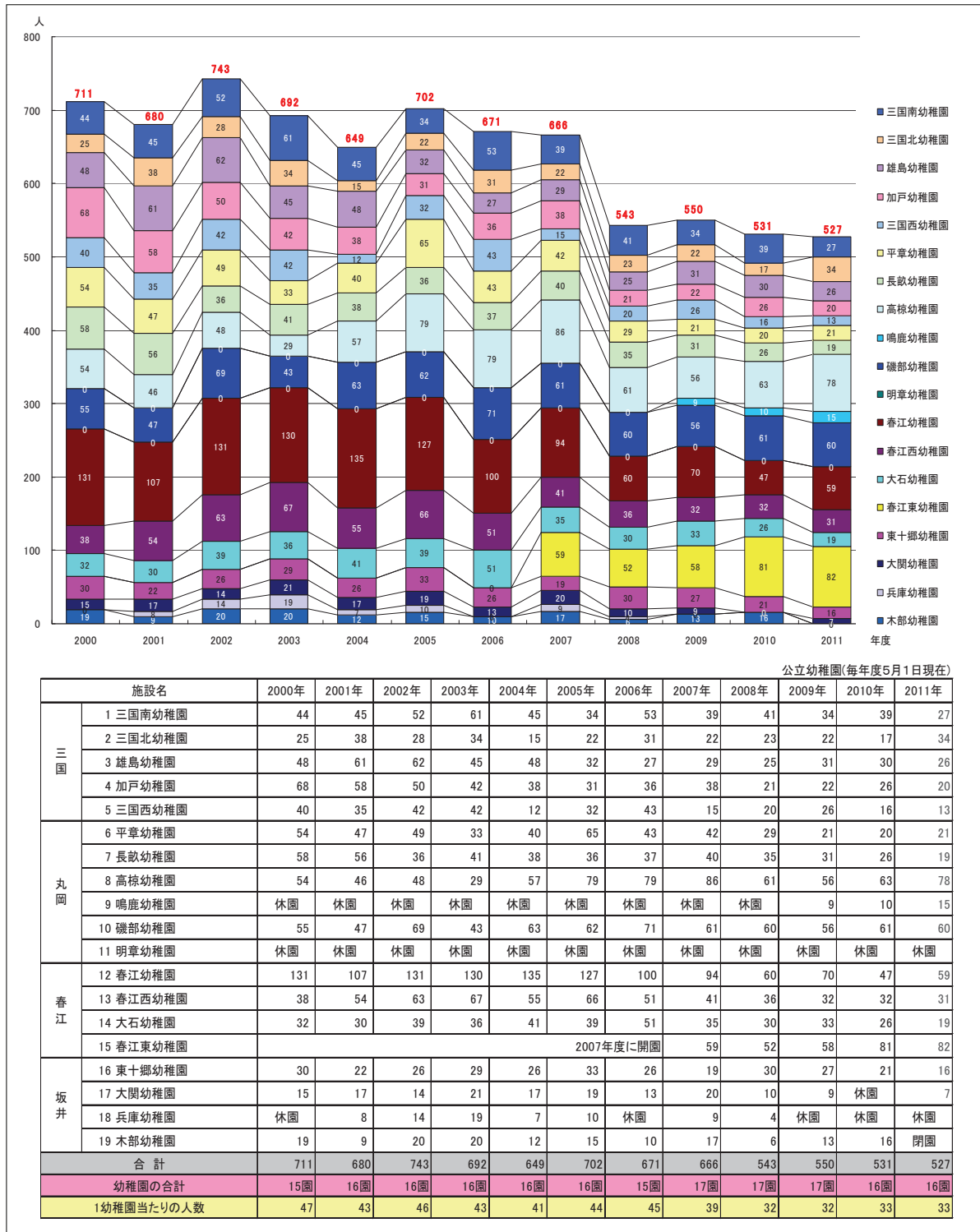
図 施設別 園児数の推移



【幼稚園】

園児数の推移を見ると、一時的に園児が増加した年もありますが、全体としては減少傾向にあります。特に近年は、長時間子どもを預けられる保育所に需要が移行しており、2011年度(H23年度)の園児数は、最も多かった2002年度(H14年度)の園児数743人から、216人も少ない527人で約29%減少しています。1幼稚園当たりの園児数は、2000年度(H12年度)の約47人から2011年度で約33人と30%減少しています。

図 施設別 園児数の推移



※ 鳴鹿幼稚園は2009年度(H21年度)の鳴鹿小学校・幼稚園のエコ改修に合わせ、幼稚園機能を鳴鹿保育所の中へ移設しています。

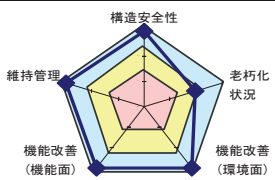
エ) 建物総合評価

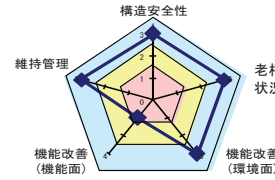
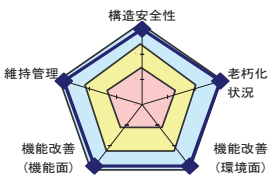
【保育所】

保育所 21 所を以下のパターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 12 所が該当します。パターン②は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 4 所が該当します。パターン③は、他の施設と比べ機能改善(機能面)に課題がある施設で 1 所が該当します。パターン④は、現状で特に問題がない施設で 4 所が該当します。

図 建物総合評価

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ② 今後、老朽化
評価	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性に課題がある 老朽化が進行している ⇒ 今後、建替えが必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 今は問題ない ⇒ 今後10～20年で大規模改修が必要な施設 
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・三国南保育所 (1972年築) ・三国中央保育所 (1968年築) ・宿保育所 (1973年築) ・安島保育所 (1976年築) ・加戸保育所 (1978年築) ・新保保育所 (1970年築) ・磯部東幼保園 (1978年築) ・八ヶ幼保園 (1977年築) ・春江南保育所 (1980年築) ・春江保育所 (1979年築) ・坂井保育所 (1974年築) ・坂井乳児保育所 (1972年築) <p><12施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安田幼保園 (1985年築) ・今福幼保園 (1983年築) ・霞幼保園 (1985年築) ・春江中保育所 (1984年築) <p><4施設></p>

	パターン ③ 機能改善に課題	パターン ④
評価	<ul style="list-style-type: none"> 機能改善(機能面に課題がある) (バリアフリー対応(自動ドア・車いすスロープ)のいずれかが未実施で、今後対応必要) 	<p>問題がない施設</p> 
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・春江東保育所 (1996年築) <p><1施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みくに未来保育所 (2003年築) ・鳴鹿幼保園 (1992年築) ・春江北保育所 (2007年築) ・春江西保育所 (1999年築) <p><4施設></p>

維持管理費に改善の 必要性がある施設
<p>21施設のうち、以下の10施設は他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっている。</p> <p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の形状等による非効率性 ・設備の老朽化による光熱水費等の非効率性
<ul style="list-style-type: none"> ・三国南保育所 (1972年築) ・三国中央保育所 (1968年築) ・宿保育所 (1973年築) ・新保保育所 (1970年築) ・磯部東幼保園 (1978年築) ・八ヶ幼保園 (1977年築) ・春江中保育所 (1984年築) ・春江北保育所 (2007年築) ・春江西保育所 (1999年築) ・春江保育所 (1979年築)

【幼稚園】

幼稚園 13 園(休園している 3 園(明章、大関、兵庫幼稚園)、空き教室や保育所を利用している 3 園(三国北、鳴鹿、木部幼稚園)を除く)を以下のパターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 6 園が該当します。パターン②は耐震安全性は確保されていますが老朽化が進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 3 園が該当します。パターン③は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 3 園が該当します。パターン④は、現状で特に問題がない施設で 1 園が該当します。

図 建物総合評価

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ② 老朽化	パターン ③ 今後、老朽化
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震安全性に課題がある ・老朽化が進行している ⇒今後、建替えが必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行している ⇒大規模改修が必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・今は問題ない ⇒今後10～20年で大規模改修が必要な施設
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・三国南幼稚園 (1977年築) ・雄島幼稚園 (1977年築) ・平章幼稚園 (1979年築) ・長畝幼稚園 (1975年築) ・高棕幼稚園 (1979年築) ・春江幼稚園 (1972年築) <p><6施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三国西幼稚園 (1979年築) ・春江西幼稚園 (1979年築) ・大石幼稚園 (1980年築) <p><3施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加戸幼稚園 (1982年築) ・磯部幼稚園 (1982年築) ・東十郷幼稚園 (1990年築) <p><3施設></p>
評価	<p>パターン ④</p> <p>問題がない施設</p>	<p>維持管理費に改善の必要性がある施設</p> <p>13施設のうち、以下の4施設は他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっている。</p> <p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化による光熱水費等の非効率性 ・建物の形状等による非効率性 	
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・春江東幼稚園 (2007年築) <p><1施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加戸幼稚園 (1982年築) ・磯部幼稚園 (1982年築) ・春江幼稚園 (1972年築) ・東十郷幼稚園 (1990年築) 	

※ 三国南、三国西、春江幼稚園については、耐震診断した結果を加味している。

オ) 運営状況

【保育所】

保育所の運営人員は、21 所で 341 人です。その内訳は、所長 21 人、保育士 269 人、栄養士・調理師 41 人、用務員 10 人です。1 所当たりの運営人員は 6 人から 26.5 人で、平均すると 1 所当たり約 16 人を配置しています。

表 保育所の運営人員 (2008 年度 (H20 年度))

職種	区分	三国南	三国中央	みくに未来	宿	安島	加戸	新保	鳴鹿	磯部東	安田	今福
所長	市職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	臨時職員											
	その他											
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	市職員	5	3	11	9	4	6	3	10	8	6	11
	臨時職員	4	2	6	5	2	4	1	4	5	5	6
	その他											
	小計	9	5	17	14	6	10	4	14	13	11	17
栄養士	市職員											1
	臨時職員											
	その他											
	小計											1
調理師	市職員								1	2	2	2
	臨時職員								2	1	1	1
	その他											
	小計								3	3	3	3
用務員等	市職員	1	1	1	1	1	1	1				
	臨時職員											
	その他		2	1								
	小計	1	3	2	1	1	1	1				
合計	市職員	7	5	13	11	6	8	5	12	11	9	15
	臨時職員	4	2	6	5	2	4	1	6	6	6	7
	その他		2	1								
	合計	11	9	20	16	8	12	6	18	17	15	22

職種	区分	霞	八ヶ	春江南	春江中	春江東	春江北	春江西	春江	坂井	坂井乳児	合計
所長	市職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
	臨時職員											
	その他											
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
保育士	市職員	7	9	6	5	8	10.5	9	7	7.5	9	154
	臨時職員	6	5	5	6	6.5	11	10.5	6.5	7.5	7	115
	その他											
	小計	13	14	11	11	14.5	21.5	19.5	13.5	15	16	269
栄養士	市職員		1									2
	臨時職員										1	1
	その他											
	小計		1								1	3
調理師	市職員	2		1	1	1	2	2	1	2		19
	臨時職員	1	2	1	1	2	2	2	1	1	1	19
	その他											
	小計	3	2	2	2	3	4	4	2	3	1	38
用務員等	市職員											7
	臨時職員											
	その他											3
	小計											10
合計	市職員	10	11	8	7	10	13.5	12	9	10.5	10	203
	臨時職員	7	7	6	7	8.5	13	12.5	7.5	8.5	9	135
	その他											3
	合計	17	18	14	14	18.5	26.5	24.5	16.5	19	19	341

【幼稚園】

幼稚園 19 園のうち、2010 年度(H22 年度)に休園している明章幼稚園、大関幼稚園、兵庫幼稚園と、2008 年度(H20 年度)は休園していた鳴鹿幼稚園の 4 園を除く 15 園の総運営人員は 72 人です。その内訳は、園長 15 人、教諭・保育士 47 人、用務員等 10 人となっています。11 園の幼稚園では、小学校長が園長を兼務しています。1 園当たりの運営人員は 2 人から 8 人で、平均すると 1 館当たり約 5 人を配置しています。

表 幼稚園の運営人員(2008 年度)

業務内容	区分	三国南	三国北	雄島	加戸	三国西	平章	長畝	高棕
園長	市職員						1	1	1
	臨時職員								
	その他	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			
	小計	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	1	1	1
教諭/ 保育士	市職員	2	1	2	1	1	2	2	4
	臨時職員	1		1	1	1	1	2	2
	その他								
	小計	3	1	3	2	2	3	4	6
用務員 等	市職員								
	臨時職員								
	その他	1	1	1	1	1			
	小計	1	1	1	1	1	0	0	0
合計	市職員	2	1	2	1	1	3	3	5
	臨時職員	1	0	1	1	1	1	2	2
	その他	1	1	1	1	1	0	0	0
	合計	4 (5)	2 (3)	4 (5)	3 (4)	3 (4)	4	5	7

業務内容	区分	磯部	春江	春江西	大石	春江東	東十郷	木部	合計
園長	市職員	1							4
	臨時職員								0
	その他		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(11)
	小計	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	4(15)
教諭/ 保育士	市職員	3	3	1	1	4	1	1	29
	臨時職員	4	1	2	1		1		18
	その他								0
	小計	7	4	3	2	4	2	1	47
用務員 等	市職員								0
	臨時職員								0
	その他		1	1	1	1	1		10
	小計	0	1	1	1	1	1	0	10
合計	市職員	4	3	1	1	4	1	1	33
	臨時職員	4	1	2	1	0	1	0	18
	その他	0	1	1	1	1	1	0	10
	合計	8 (6)	5 (6)	4 (5)	3 (4)	5 (6)	3 (4)	1 (2)	61 (72)

※ 2010 年 5 月時点で休園している明章、大関、兵庫幼稚園、また、2008 年度は休園していた鳴鹿幼稚園は除く。
 ※ ()内の人員数は、小学校長が園長を兼務していることを示す。

カ) コスト状況

【保育所】

保育所 21 所の年間トータルコストは 20 億 3,630 万円で、1 所当たり 9,697 万円です。

20 億 3,630 万円のうち、施設維持にかかるコストは 6,086 万円(3%)、事業運営にかかるコスト(運営費・人件費)は 19 億 2,864 万円(95%)、減価償却費は 4,680 万円(2%)です。

表 行政コスト計算書(2008 年度(H20 年度))

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		三国南	三国中央	みくに未来	宿	安島	加戸	新保	鳴鹿	磯部東	安田	今福
施設維持にかかるコスト	各所修繕費	74	20	158	158	140	156	148	191	302	223	168
	老朽箇所修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,184	0	0
	光熱水費	1,204	943	2,737	1,416	1,265	1,678	639	2,024	2,161	1,806	2,306
	建物管理委託費	416	421	611	439	408	408	453	461	612	461	558
	土地賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	934	0	0
	土地・建物以外賃借料	0	2	35	0	0	0	1	17	72	0	70
	使用料	33	33	41	33	25	33	25	32	212	32	32
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設維持にかかるコスト計	1,727	1,419	3,582	2,046	1,838	2,275	1,266	2,725	5,477	2,522	3,134	
事業運営にかかるコスト	職員人件費	49,673	35,481	92,249	78,057	42,577	56,769	35,481	78,057	78,057	63,865	106,442
	臨時職員人件費	9,708	6,016	16,240	11,561	6,479	10,998	2,348	18,087	14,320	13,397	17,716
	市債利息償還金	35	728	333	0	523	92	0	1,008	0	214	0
	その他物件費	676	304	896	751	440	649	222	7,653	9,710	8,398	12,258
	事業運営にかかるコスト計	60,092	42,529	109,718	90,369	50,019	68,508	38,051	104,805	102,087	85,874	136,416
現金収支を伴うコスト 計	61,819	43,948	113,300	92,415	51,857	70,783	39,317	107,530	107,564	88,396	139,550	
【収益の部】												
負担金(保育料)		16,265	9,203	25,917	22,702	13,276	18,499	6,497	20,456	26,274	26,353	26,353
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】												
減価償却費		1,718	1,952	3,704	2,591	2,688	2,975	2,034	1,517	1,837	1,776	2,576
III. 総括												
コストの部合計(トータルコスト)		63,537	45,900	117,004	95,006	54,545	73,758	41,351	109,047	109,401	90,172	142,126
収支差額(ネットコスト)		47,272	36,697	91,087	72,304	41,269	55,259	34,854	88,591	83,127	63,819	115,773

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		霞	ハケ	春江南	春江中	春江東	春江北	春江西	春江	坂井	坂井乳児	合計
施設維持にかかるコスト	各所修繕費	74	354	92	108	85	26	241	299	109	29	3,155
	老朽箇所修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	189	0	1,373
	光熱水費	1,905	2,175	1,704	1,374	2,300	2,773	2,887	1,930	3,488	1,719	40,434
	建物管理委託費	437	461	285	398	389	965	761	285	535	306	10,070
	土地賃借料	0	1,074	188	486	0	0	0	0	0	0	2,682
	土地・建物以外賃借料	110	0	62	62	62	62	62	62	229	14	922
	使用料	32	32	26	26	44	68	44	26	65	21	915
	車両・備品購入費	0	0	0	111	71	8	428	173	107	415	1,313
施設維持にかかるコスト計	2,558	4,096	2,357	2,565	2,951	3,902	4,423	2,775	4,722	2,504	60,864	
事業運営にかかるコスト	職員人件費	78,057	78,057	56,769	49,673	70,961	95,798	85,153	63,865	85,153	85,153	1,465,347
	臨時職員人件費	14,488	18,755	13,786	15,976	19,361	29,703	28,856	17,273	20,428	21,194	326,690
	市債利息償還金	0	0	0	0	1,616	5,541	0	0	0	520	10,610
	その他物件費	7,613	9,530	4,836	5,362	8,733	10,544	10,979	6,366	13,808	6,262	125,990
	事業運営にかかるコスト計	100,158	106,342	75,391	71,011	100,671	141,586	124,988	87,504	119,389	113,129	1,928,637
現金収支を伴うコスト 計	102,716	110,438	77,748	73,576	103,622	145,488	129,411	90,279	124,111	115,633	1,989,501	
【収益の部】												
負担金(保育料)		19,629	26,274	11,877	14,391	26,463	35,681	36,209	18,594	40,314	13,766	454,993
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】												
減価償却費		2,310	1,579	2,166	1,692	2,237	1,862	2,965	2,073	3,173	1,373	46,798
III. 総括												
コストの部合計(トータルコスト)		105,026	112,017	79,914	75,268	105,859	147,350	132,376	92,352	127,284	117,006	2,036,299
収支差額(ネットコスト)		85,397	85,743	68,037	60,877	79,396	111,669	96,167	73,758	86,970	103,240	1,581,306

施設別では、最小4,135万円(新保保育所)から最大1億4,735万円(春江北保育所)と約4倍の差があります。

2008年度(H20年度)の保育料収入は4億5,499万円、1所当たり約2,166万円であり、トータルコストの約22%となっています。

市職員・臨時職員人件費は、合計17億9,204万円でトータルコストの約88%です。

図 保育所全施設 トータルコスト(2008年度)

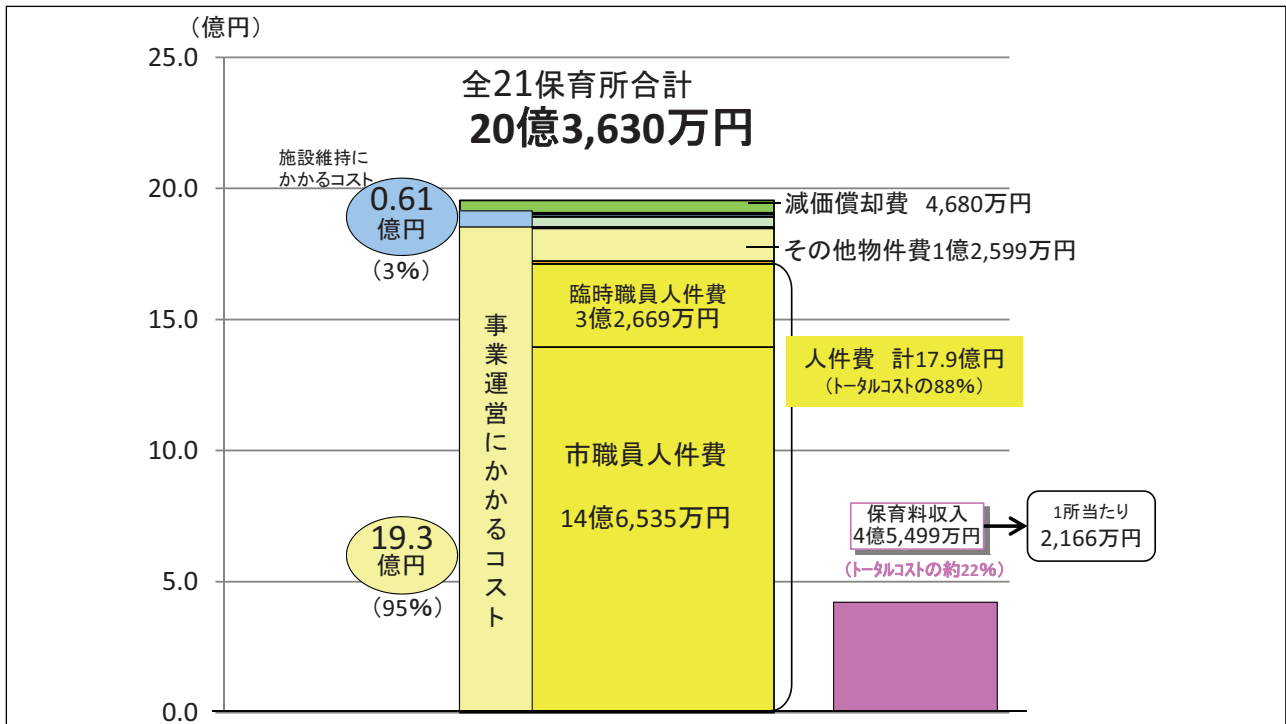
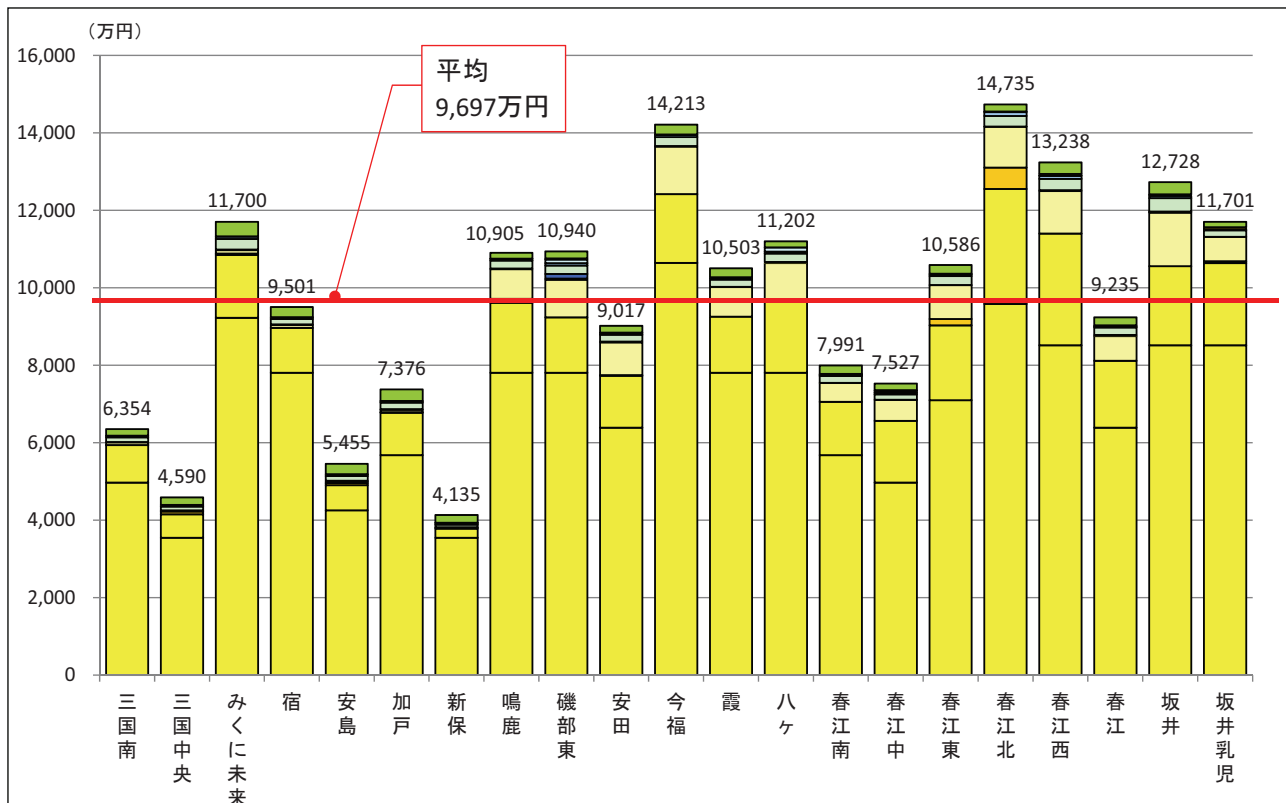


図 保育所施設別 トータルコスト(2008年度)



【幼稚園】

幼稚園 19 園のうち、休園している明章、大関、兵庫幼稚園、および空き教室や保育所を利用している三国北、鳴鹿、木部幼稚園の 6 園を除く 13 園の年間トータルコストは 3 億 1,823 万円で、1 園当たり 2,448 万円です。

3 億 1,823 万円のうち、施設維持にかかるコストは 862 万円(3%)、事業運営にかかるコスト(運営費・人件費)は 2 億 8,509 万円(90%)、減価償却費は 2,453 万円(7%)です。

表 行政コスト計算書(2008 年度(H20 年度))

(千円)

I. 現金収支を伴うもの		三国南	雄島	加戸	三国西	平章	長歌	高椋	磯部	春江	春江西	大石	春江東	東十郷	合計
【コストの部】															
施設維持にかか るコスト	各所修繕費	61	478	94	64	185	67	149	30	203	47	13	54	140	1,585
	光熱水費	671	531	432	451	302	452	373	328	388	92	17	9	264	4,310
	建物管理委託費	361	418	390	346	0	34	33	53	278	0	0	36	40	1,989
	土地・建物以外賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	使用料	0	0	0	0	0	8	0	0	15	0	0	0	23	46
	車両・備品購入費	211	72	232	0	0	0	0	0	172	0	0	0	0	687
	施設維持にかかるコスト計	1,304	1,499	1,148	861	487	561	555	411	1,060	139	30	99	467	8,621
事業運営に かかる コスト	職員人件費	15,658	15,658	7,829	7,829	23,488	23,488	39,146	31,317	23,488	7,829	7,829	31,317	7,829	242,705
	非常勤職員人件費	42	42	42	42	0	0	0	0	42	42	42	42	42	378
	臨時職員人件費	3,410	2,652	1,860	3,261	634	6,510	3,579	7,081	0	0	0	0	611	29,598
	市債利息償還金	0	0	0	0	0	0	0	116	0	0	0	0	719	835
	その他物件費	815	703	840	517	1,779	2,308	1,909	1,969	189	99	97	170	174	11,569
	事業運営にかかるコスト計	19,925	19,055	10,571	11,649	25,901	32,306	44,634	40,483	23,719	7,970	7,968	31,529	9,375	285,085
現金収支を伴うコスト 計	21,229	20,554	11,719	12,510	26,388	32,867	45,189	40,894	24,779	8,109	7,998	31,628	9,842	293,706	

【収益の部】		三国南	雄島	加戸	三国西	平章	長歌	高椋	磯部	春江	春江西	大石	春江東	東十郷	合計
負担金	1,783	1,506	649	617	1,639	3,955	6,335	5,825	0	0	0	0	0	0	22,309
幼稚園使用料	2,025	1,247	1,071	1,026	1,553	2,021	3,384	3,328	2,961	1,782	1,521	2,619	1,481	26,019	
諸収入	0	83	1	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	268	
現金収支を伴う収益 計	3,808	2,836	1,721	1,827	3,192	5,976	9,719	9,153	2,961	1,782	1,521	2,619	1,481	48,596	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】	三国南	雄島	加戸	三国西	平章	長歌	高椋	磯部	春江	春江西	大石	春江東	東十郷	合計
減価償却費	2,541	2,630	2,589	2,333	1,388	1,251	1,612	1,620	2,708	942	1,148	1,939	1,824	24,525

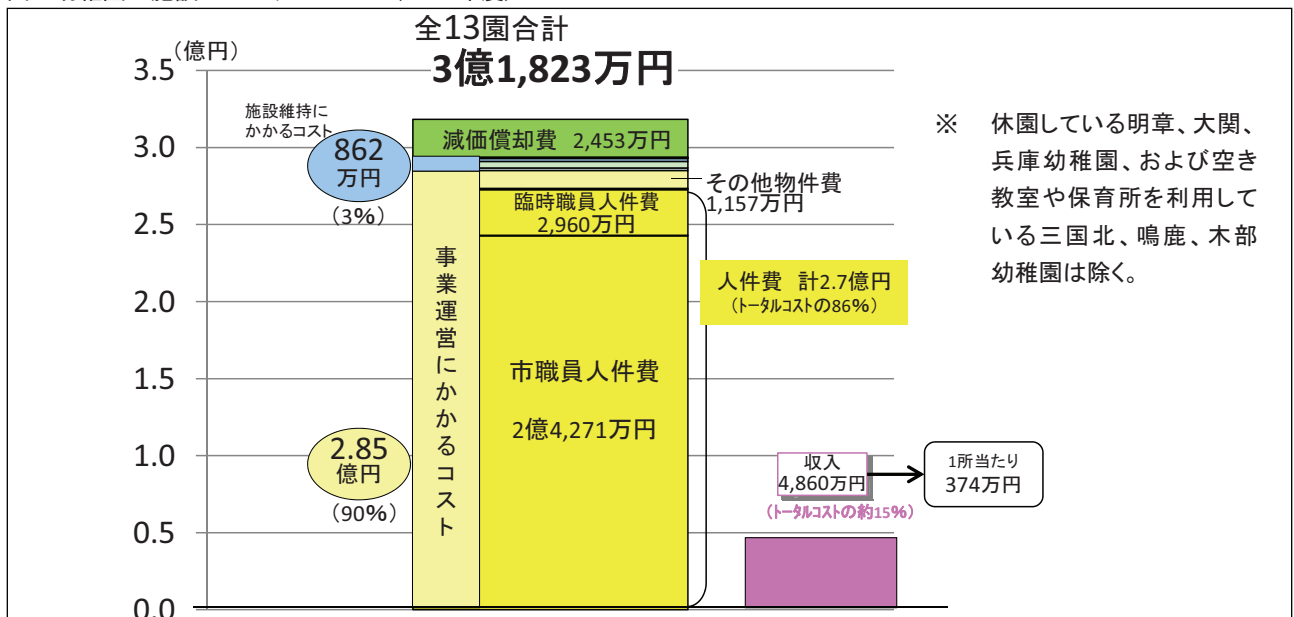
III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	三国南	雄島	加戸	三国西	平章	長歌	高椋	磯部	春江	春江西	大石	春江東	東十郷	合計
23,770	23,184	14,308	14,843	27,776	34,118	46,801	42,514	27,487	9,051	9,146	33,567	11,666	318,231	
収支差額(ネットコスト)	19,962	20,348	12,587	13,016	24,584	28,142	37,082	33,361	24,526	7,269	7,625	30,948	10,185	269,635

施設別では、最小 905 万円(春江西幼稚園)から最大 4,680 万円(高椋幼稚園)と約 5 倍の差があります。

2008 年度の使用料等収入は 4,860 万円、1 園当たり約 374 万円であり、トータルコストの約 15%となっています。市職員・臨時職員人件費は、合計 2 億 7,268 万円でトータルコストの約 86%です。

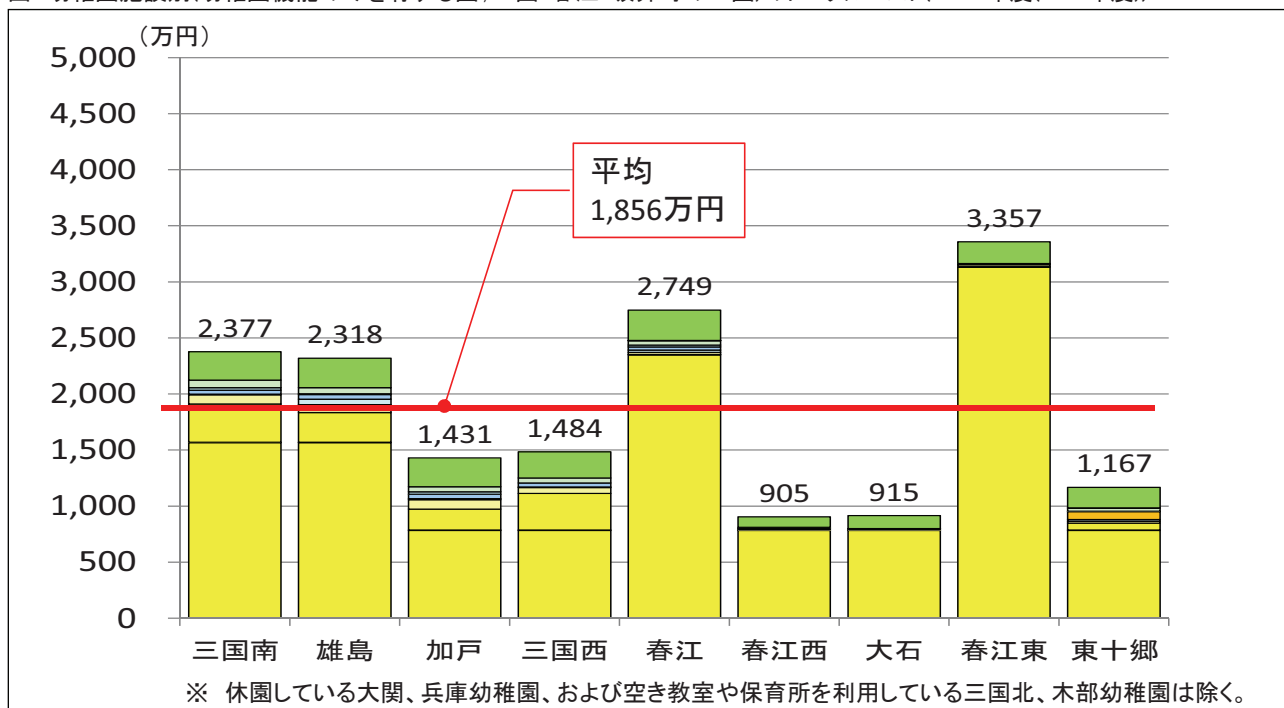
図 幼稚園全施設 トータルコスト(2008 年度)



■ 幼稚園施設別(幼稚園機能のみを有する園;三国・春江・坂井町の9園)のトータルコスト

幼稚園機能のみを有している三国・春江・坂井町にある9園のトータルコストは1億6,703万円で、1園当たりの平均は約1,856万円です。施設規模や園児数の大小によって春江西幼稚園の905万円から春江東幼稚園の3,357万円と幅があります。

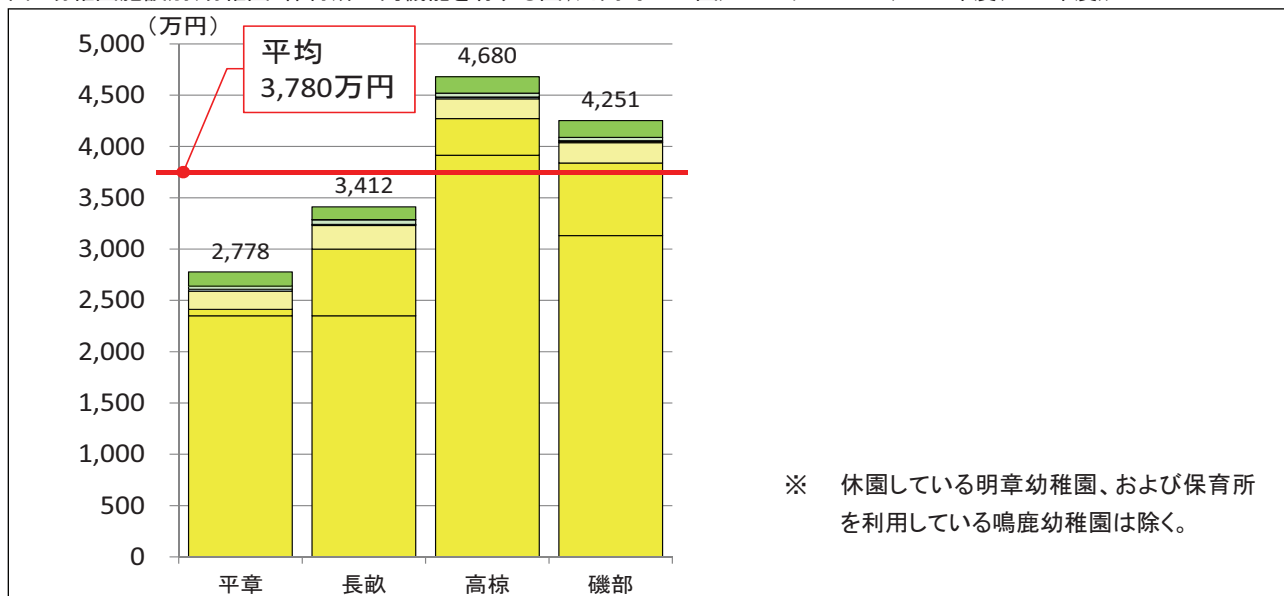
図 幼稚園施設別(幼稚園機能のみを有する園;三国・春江・坂井町の9園)のトータルコスト(2008年度(H20年度))



■ 幼稚園施設別(幼稚園・保育所の両機能を有する園;丸岡町の4園)のトータルコスト

幼稚園と保育所の両機能を有している丸岡町にある4園のトータルコストは1億5,121万円で、1園当たりの平均は約3,780万円です。4園は全て小学校に併設されていることから、施設維持にかかるコストの差はほとんどありませんが、園児数の大小によって人件費に差が生じることから、平章幼稚園の2,778万円から高椋幼稚園の4,680万円と幅があります。また、保育所機能を有していることから、長時間園児を預かるための人員を配置しているため、幼稚園機能のみを有する三国・春江・坂井町の園よりもトータルコストは高くなっています。

図 幼稚園施設別(幼稚園・保育所の両機能を有する園;丸岡町の4園)のトータルコスト(2008年度(H20年度))



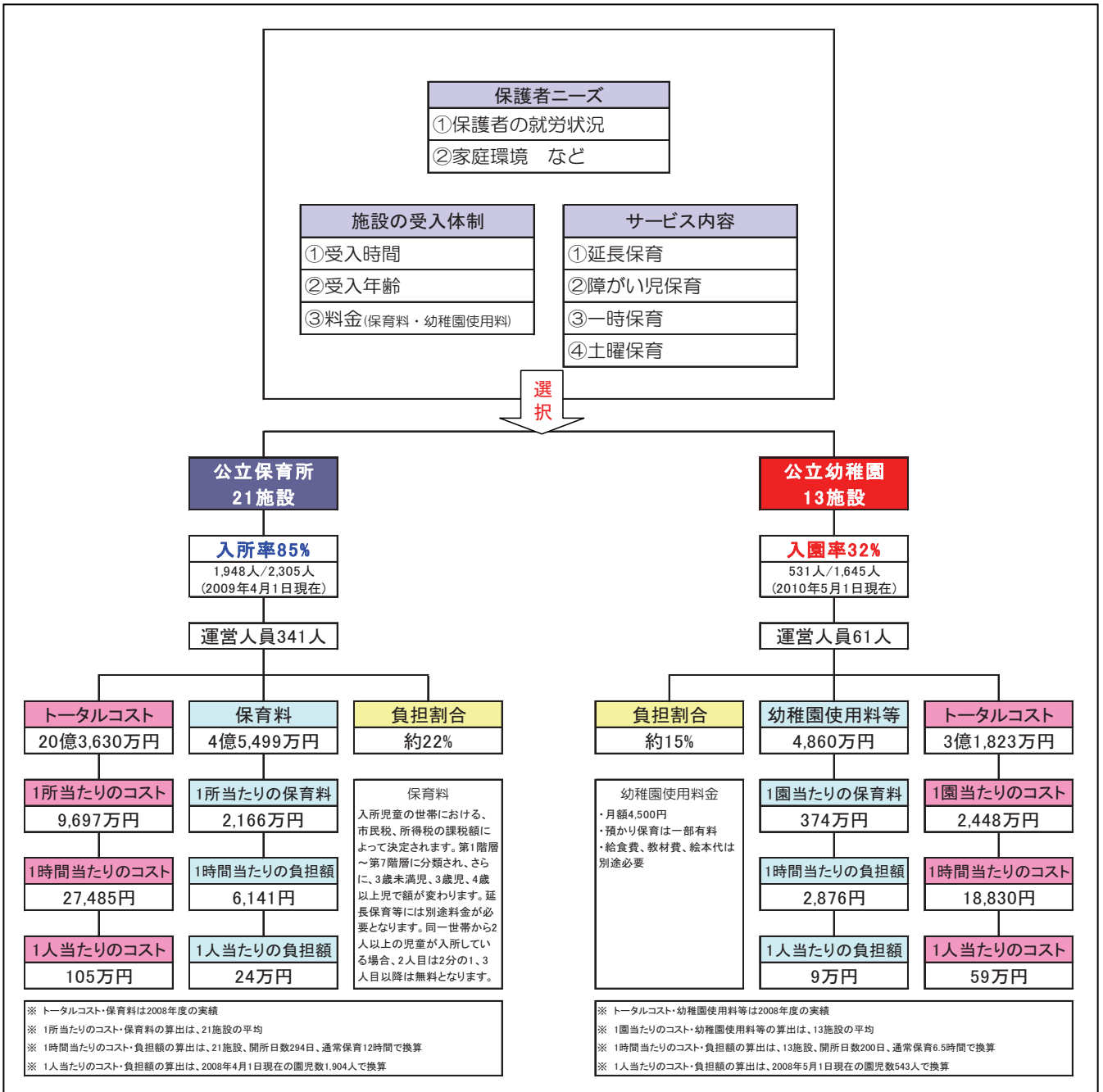
③ 評価・分析

■ 保護者のニーズ、施設の受入体制、サービス内容から見た保育所・幼稚園の実態

近年の少子化・核家族化の進展によって共働き世帯が増加し、子どもを預け入れる保育所・幼稚園に対するニーズが大きく変化してきています。特に保護者の勤務形態がフルタイム(週5日勤務、5時～8時間就労)傾向にあることから(2010年(H22年)3月策定した次世代育成支援行動計画より)、最大19時まで預けることができる保育所の入所率が幼稚園の入園率を大きく上回っています。

施設にかかるコスト面では、設置数が多い保育所は運営人員も341人と幼稚園の約6倍も多く、1施設当たりのコスト、1時間当たりのコスト、1人当たりのコストで幼稚園を上回っています。一方で、収入面を見ると、保育料は市民税・所得税の課税額によって料金が設定され1人当たり24万円となっていますが、幼稚園使用料は一律4,500円(別途給食費等の諸経費が必要)とされていることから1人当たり9万円と低く、負担割合にも大きく開きがあります。

図 保護者のニーズ、施設の受入体制、サービス内容から見た実態図

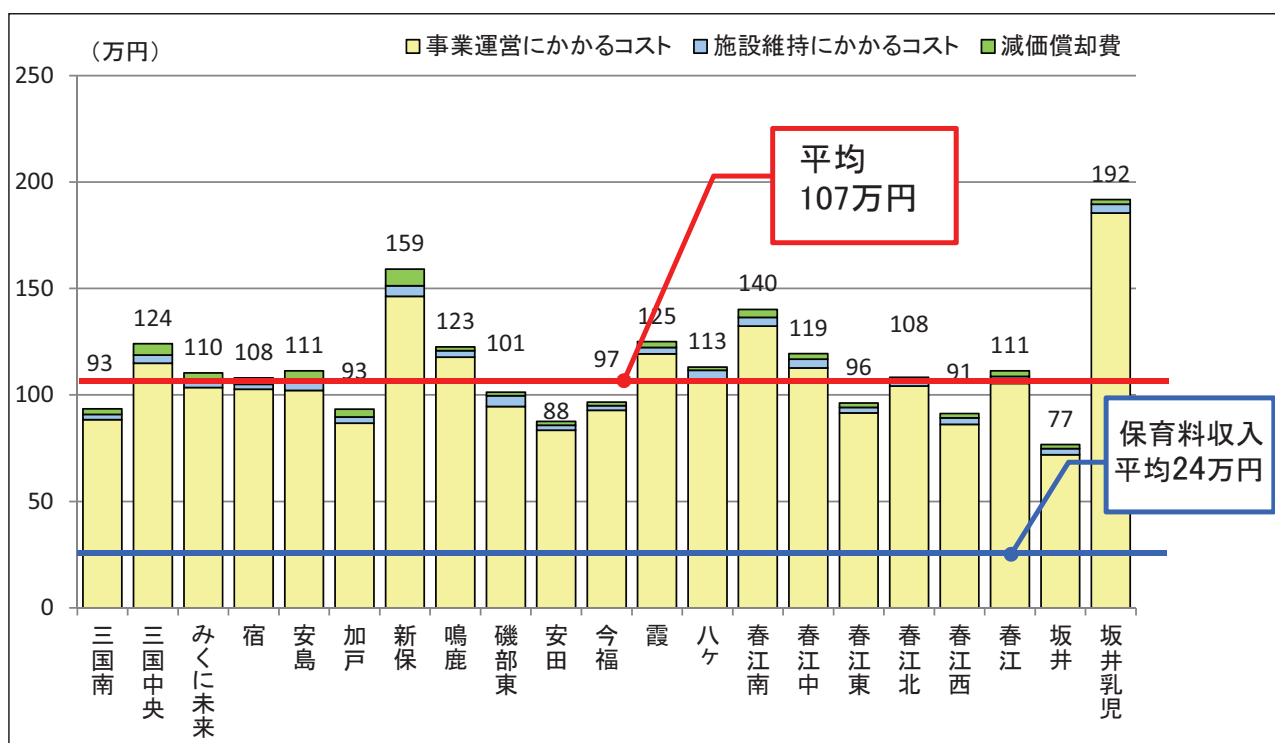


■ 園児 1 人当たりにかかるコスト

【保育所】

21 所別の園児 1 人当たりにかかる平均コストは 107 万円です。施設別では、坂井保育所の 77 万円/人から坂井乳児保育所の 192 万円/人と大きな差があります。これは、園児数とトータルコストの関係において、新保保育所や三国中央保育所のようにトータルコストが 5,000 万円以下であっても園児数が 30 人から 40 人程度の場合、1 人当たりにかかるコストは高くなっています。一方、トータルコストが 1 億円以上要している今福保育所、春江西保育所、坂井保育所では、園児数が 145 人以上いることから、1 人当たりのコストは低く効率的となっています。また、坂井乳児保育所では、3 歳以下の乳児を預かっていることから、人員配置を厚くしており、トータルコストも 1 億円以上かかっていますが園児数は 61 人とさほど多くないことから、1 人当たりのコストが高くなっています。

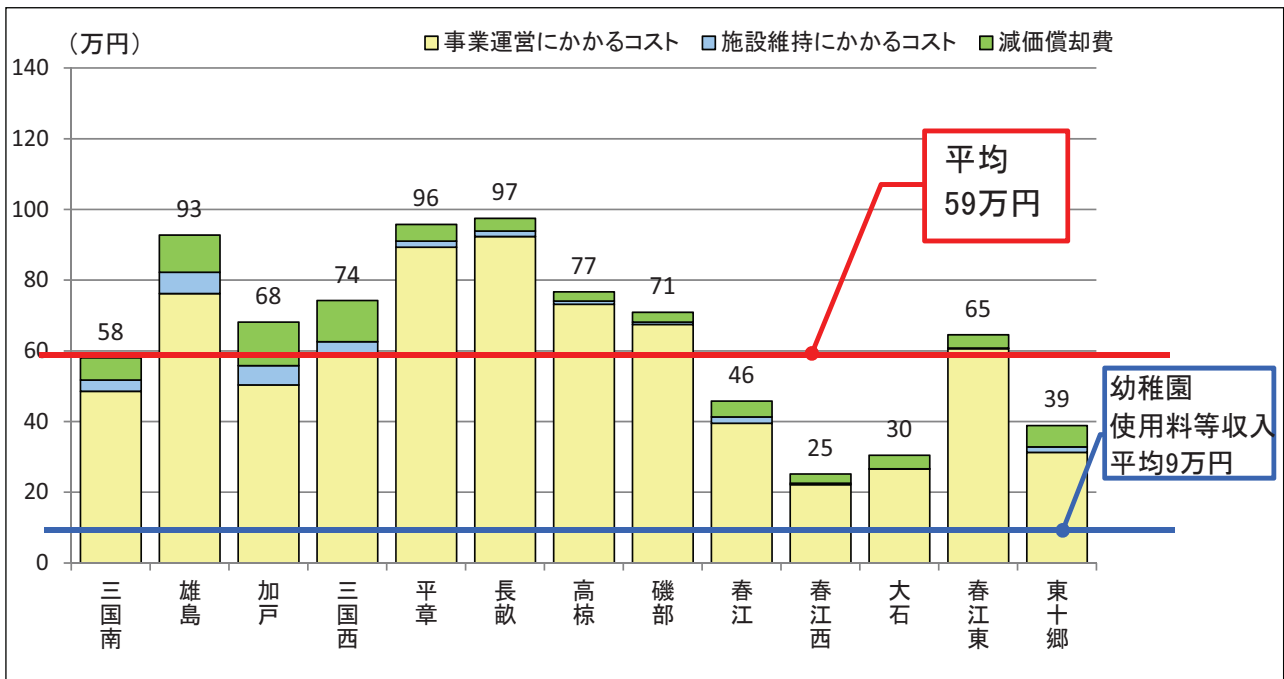
図 保育所施設別 園児 1 人当たりにかかるコスト (2008 年度 (H20 年度))



【幼稚園】

13 園別の園児 1 人当たりにかかる平均コストは 59 万円です。施設別では、春江西幼稚園の 25 万円/人から長畝幼稚園の 97 万円/人と大きな差があります。これは、園児数とトータルコストの関係において、平章幼稚園や長畝幼稚園のように園児数が 35 人以下で、トータルコストに 2,000 万円以上要している場合、1 人当たりにかかるコストは高くなり、反対に、大石幼稚園や春江西幼稚園のように、園児数が 30 人程度であってもトータルコストが 1,000 万円以下になっている場合、1 人当たりのコストは低くなっています。また、高棕幼稚園や磯部幼稚園のようにトータルコストが 4,000 万円以上要していても、園児数が 60 人以上いる場合は、1 人当たりのコストは比較的低くなっています。

図 幼稚園施設別 園児 1 人当たりにかかるコスト (2008 年度 (H20 年度))



■ 1時間当たりにかかるコスト

【保育所と幼稚園の比較】

開所時間が異なる保育所と幼稚園で1時間当たりにかかる平均コストを比較すると、保育所2万7,484円、幼稚園1万8,830円と約1.5倍の差があります。これは事業運営にかかるコスト、特に人件費の違いが要因で、保育所は園児数も多く、加えて低年齢児を対象としていることから人員配置を厚くしているためです。

図 保育所・幼稚園 1時間当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



■ 公立保育所と民間保育所の実態

2011年(H23年)4月現在、国の基準を満たす民間の認可保育園(所)が11施設あります。近年に建築されたものが多く、公立保育所を民営化へ移行した施設が4施設あります。民間保育園(所)であっても認可保育園の場合、保育料は公立保育所と同じとなっています。

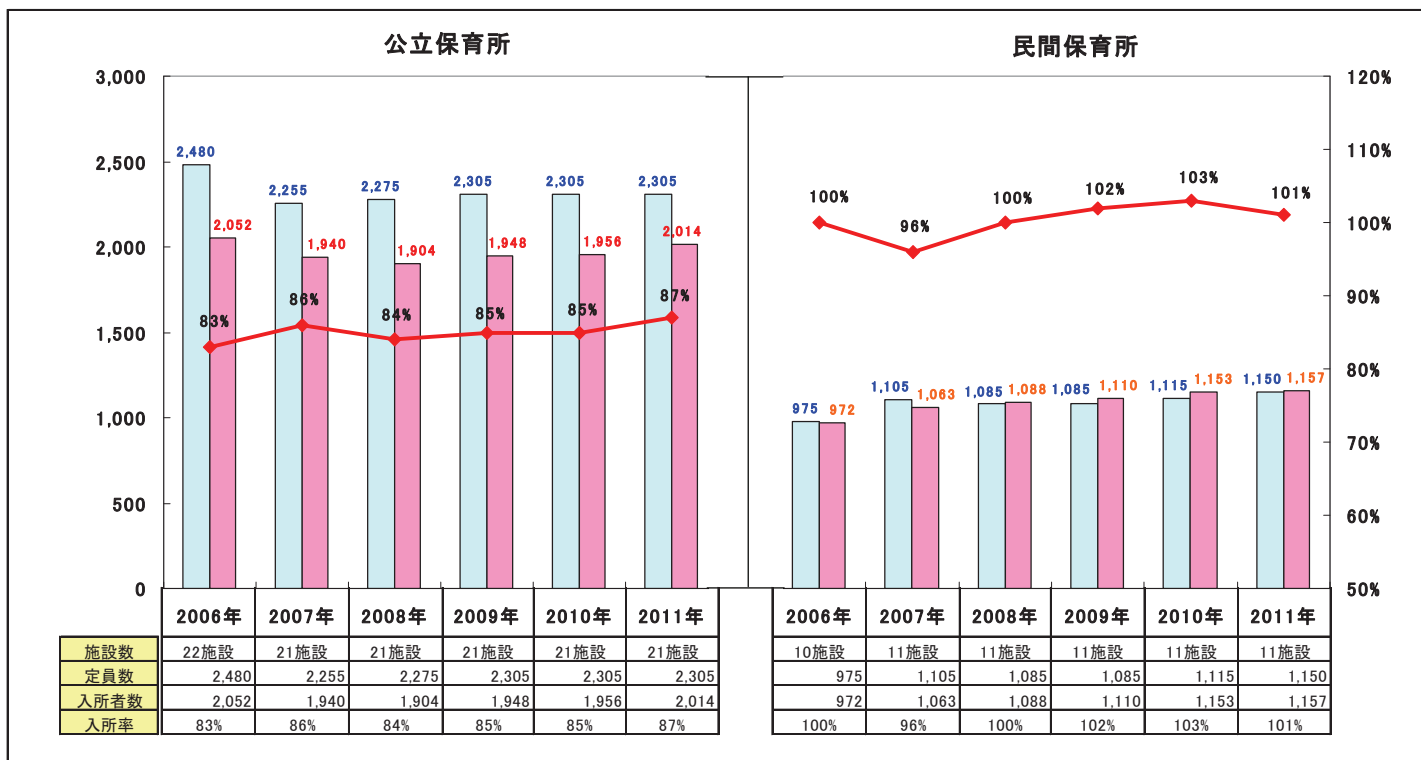
※ 認可保育園(所)とは、施設の面積や設備、保育士や調理員等の人数が、国の定める基準を満たしていると認められた保育園(所)で、認可保育園(所)には公立(市運営)と民間(社会福祉法人等が運営)があります。

表 民間保育所 施設一覧

	施設名	建築年度	床面積	定員	定員1人当たりの面積	入所年齢	備考
三国	1 米納津保育所	1968	697	90	7.7	8週～	
	2 三国松涛保育園	1991	1345	120	11.2	8週～	公立→民営化
丸岡	3 つぼみ保育園	1990	1462	210	7.0	8週～	
	4 もみじ保育園	1998	900	110	8.2	6ヶ月～	公立→民営化
	5 まごころ保育園	2003	693	90	7.7	8週～	公立→民営化
	6 しろの子保育園	2005	1075	90	11.9	8週～	公立→民営化
春江	7 春江みどり保育園	2000	621	80	7.8	8週～	
	8 いと勢保育園	1998	747	90	8.3	8週～	
坂井	9 大関保育園	1977	704	120	5.9	5ヶ月～	
	10 すずらん保育園	2011	765	60	12.8	8週～	
	11 るんびに保育園	1986	585	90	6.5	8週～	

入所率を公立・民間(全施設を集計)で比較すると、民間保育園(所)は毎年度ほぼ定員に達しているのに対して、公立保育所は85%前後を推移しています。基本的な保育内容は認可保育園(所)の場合、国が定める保育所保育指針に基づき保育することから同じとなっていますが、施設的环境面や民間独自のサービス等によって民間保育園(所)の入所率が高くなっていると考えられます。

図 公立・民間保育所の入所率の推移



■ 民間保育所とのコスト比較

小規模(定員 40 名程度)および大規模(定員 100 名程度)保育所のトータルコストについて、民間と公立を比較した結果が下表です。小規模保育所では民間が 5,007 万円、公立が 4,135 万円、大規模保育所では民間が 1 億 300 万円および 1 億 900 万円、公立が 1 億 1,700 万円となっています。トータルコストに対する割合で最も大きい人件費をみると、民間で小規模保育所が約 80%、大規模保育所が約 65%であるのに対し、公立保育所はともに 90%超に達します。

勤務形態の違いもあり、単純に運営人員を比較できませんが、公立に比べて民間の人員は多いものの、園児一人当たりの人件費では公立が民間の 1.4 倍から 2.0 倍のコストがかかっています。この要因には、民間保育所の運営人員は平均年齢が若く、平均給与も低い等が考えられます。

人件費が足かせとなり、収支は民間、公立ともに赤字になっています。また、三位一体改革で公立保育所に対する国からの運営補助(直接補助)が交付税化(間接補助)された結果、民間では運営費収入が大きな額になっています。しかし、この財政支援がなければ、民間も公立同様、収支差額において大きな赤字となることが必至です。保育財源の自治体への移譲により、民間・公立を問わず、保育所では臨時やパート保育士が増加傾向にあります。また、子どもの出生率が低下しているものの、年途中での 0 歳児の入所者数が多くなってきていることから、人的確保が重要となってきています。

表 公立保育所と民間保育所との比較

(千円)

	小規模保育所		大規模保育所			
	民間保育所	公立保育所	民間保育所	民間保育所	公立保育所	
	1980年築 定員 45名 園児数 40名	1970年築 定員 40名 園児数 20名	2000年築 定員 90名 園児数 96名	2005年築 定員 110名 園児数 103名	2003年築 定員 120名 園児数 108名	
支 出	人件費	38,665	37,828	67,039	73,893	108,489
	運営費	4,281		15,607	15,252	
	施設管理費	4,169	1,265	4,070	2,525	3,581
	事務費	1,607	222	1,646	7,711	1,229
	減価償却費	1,036	2,034	8,343	8,847	3,704
	引当金	316		6,543	650	
計	50,074	41,349	103,248	108,878	117,003	
収 入	運営費収入	48,064		79,863	92,877	
	負担金(保育料)		6,497			25,917
	運営費補助金				1,678	
	特別補助金	1,645		18,547	12,372	
	計	49,709	6,497	98,410	106,927	25,917
収支差額(ネットコスト)	▲ 365	▲ 34,852	▲ 4,838	▲ 1,951	▲ 91,086	

運営人員	民間保育所		公立保育所		民間保育所		民間保育所		公立保育所	
	職員	パート等	正職員	臨時職員	職員	パート等	職員	パート等	正職員	臨時職員
所長	1		1		1		1		1	
副所長	1		1		1				1	
保育士	6	2	2	1	12	4	12	7	10	6
栄養士							1			
調理師	1	1			2		1			
用務員等		1	1		2		2		1	1
合計	9	4	5	1	18	4	15	9	13	7
	13		6		22		24		20	

保育士一人当たり		民間保育所	公立保育所	民間保育所	民間保育所	公立保育所
児童数		3.1人	3.3人	4.4人	4.3人	5.2人

児童一人当たり		民間保育所	公立保育所	民間保育所	民間保育所	公立保育所
人件費		966,625円	1,891,420円	698,323円	717,408円	1,004,528円

<説明>

支 出	人件費	給与、手当、パート・アルバイト賃金 など
	運営費	消耗品費、印刷費、原材料費、備品購入費、教材費、食糧費、賄材料費、医薬材料費 など
	施設管理費	修繕費、光熱水費、設備保守点検、リース料 など
	事務費	手数料、郵便料、電話料、保険料 など
	減価償却費	建物、設備、備品 など
引当金	退職給与引当金、修繕引当金 など	
収 入	運営費収入	保育所運営受託 など
	運営費補助金	運営事業費補助金
	特別補助金	地域活動事業費補助金、延長保育促進事業費補助金、ふれあい保育推進事業費補助金、一時的保育事業補助金 など

※ 児童数、収支決算、運営人員等のデータは全て 2008 年度(H20 年度)決算

(4) 子育て支援センター(4施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の子育て支援センターは4施設で654㎡です。全施設とも複合施設となっています。

子育て支援センターは、核家族化の進行、少子化および共働き世帯の増加など、子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応するため、子育て家庭に対する育児支援を行う施設として、設置されています。

子育て支援センターでは、育児不安などについての相談および指導、子供同士のふれあいの場、保護者の育児学習などの情報提供、子育てボランティアの育成を行っています。

表 子育て支援センター

施設名	延床面積 (㎡)	建築年度	併設施設
1 三国子育て支援センター	207	2003	みくに未来保育所
2 丸岡子育て支援センター	262	1979	旧保健センター1階の一部の部屋を利用
3 春江子育て支援センター	112	2007	春江北保育所
4 坂井子育て支援センター	73	1999	坂井健康センター(庁舎との複合施設)
合計	654	—	

※ 子育て支援センター(4箇所)は、いずれも保育所併設や健康センターの一部を利用しているなど、複合施設であるため、以下では、「利用状況」「運営状況」「運営コスト状況」についてのみ実態把握しています。建物に関する事項については、各主要施設で実態把握しています。

イ) 運営日、運営時間

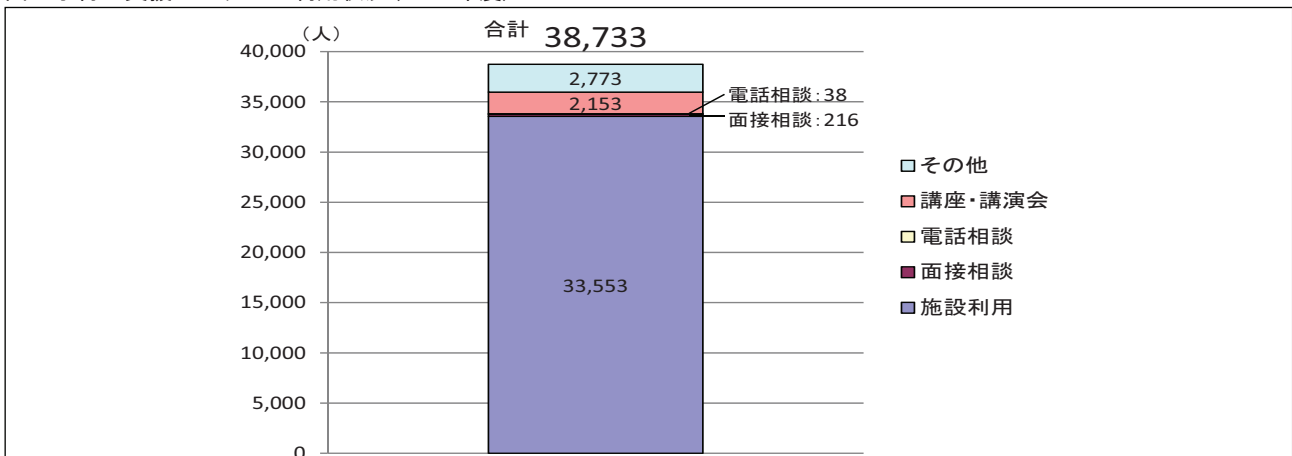
子育て支援センターの開所時間は、午前9時～午後0時、午後1時～午後3時で、午後は電話相談などの対応となっています。閉所日は、土曜日、日曜日、祝日、ならびに12月29日～翌年の1月3日までとなっています。

② 実態把握

ア) 利用状況

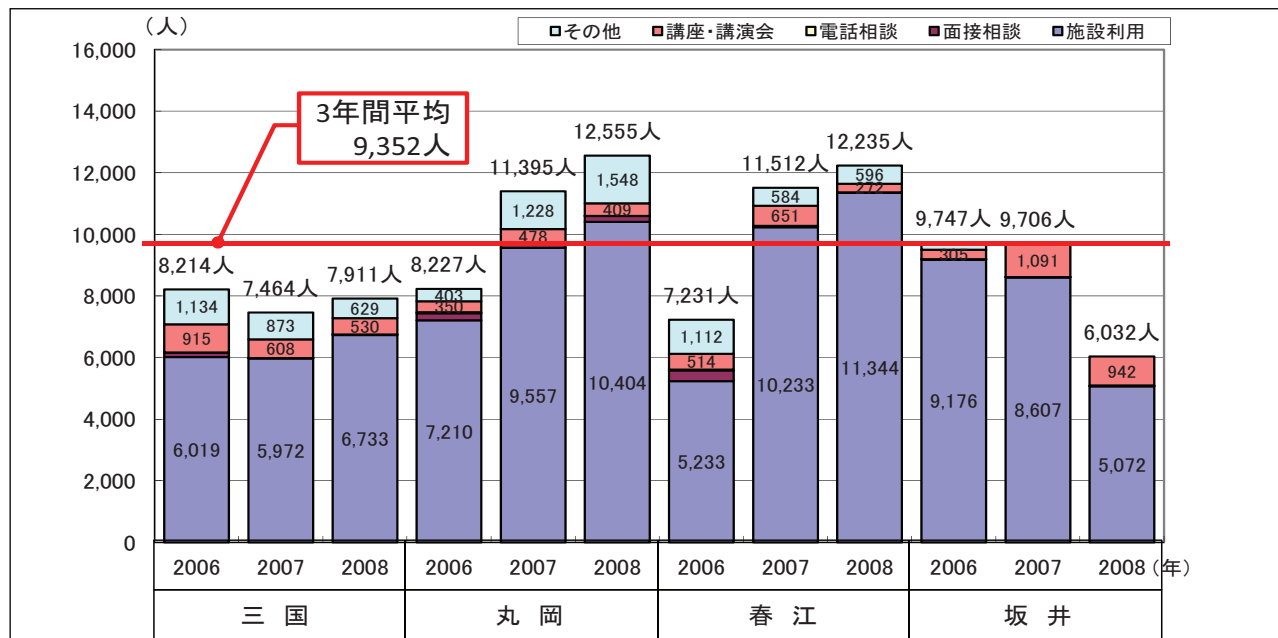
2008年度(H20年度)の子育て支援センター全体の利用者数は、3万8,733人です。そのうち、施設利用者が3万3,553人で全体の約87%を占めています。

図 子育て支援センターの利用状況(2008年度)



施設別の利用者数の推移では、丸岡、春江の子育て支援センターの利用者はともに2008年度(H20年度)では年間約1万2,000人以上で、近年、増加傾向にあります。これに対し、坂井は約6,000人まで大きく減少し、三国は約8,000人で横ばいの傾向にあります。

図 子育て支援センターの施設別利用推移



イ) 運営状況

子育て支援センターの各施設の運営人員は2人から3人です。

三国・丸岡・坂井の子育て支援センターは職員1人、臨時職員1人の合計2人体制ですが、春江の子育て支援センター(春江北保育所と併設施設)は、2008年4月に1ヶ所に統合したことから(2007年度(H19年度)までは3ヶ所で開催)、職員2人、臨時職員1人の合計3人体制となっています。

表 子育て支援センターの運営人員 (2008年度) (人)

区分	三国	丸岡	春江	坂井	合計
市職員	1	1	2	1	5
臨時職員	1	1	1	1	4
小計	2	2	3	2	9
合計	2	2	3	2	9

※ 春江子育て支援センターの2009年度(H21年度)以降の運営人員は、三国・丸岡・坂井の子育て支援センターと同じ職員1人、臨時職員1人の合計2人体制となっています。

ウ)コスト状況

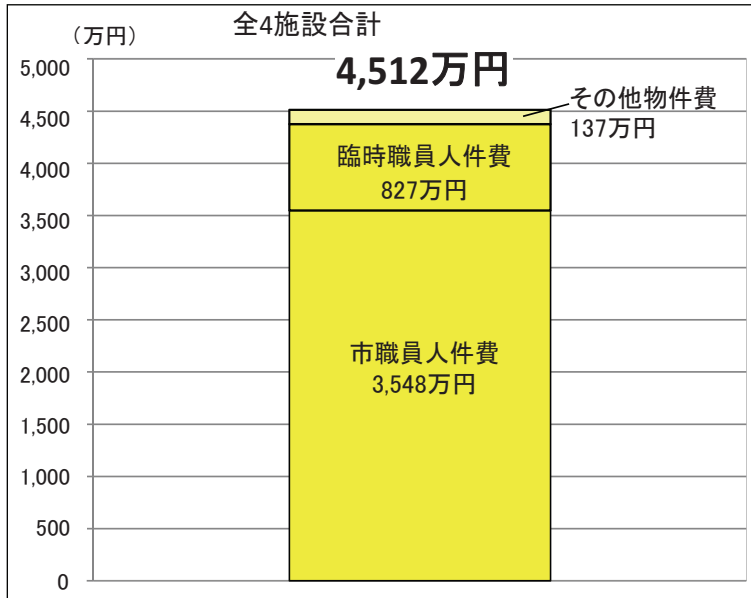
子育て支援センター4施設の1年間の事業運営にかかるコストは、4,512万円で、そのほとんどは人件費となっています。

施設別では、最小940万円(丸岡子育て支援センター)から最大1,658万円(春江子育て支援センター)と約1.8倍の差がありますが、これは人員配置の差によるものです。

表 子育て支援センターの行政コスト計算書(2008年度(H20年度)、※ 事業運営にかかるコストのみ) (千円)

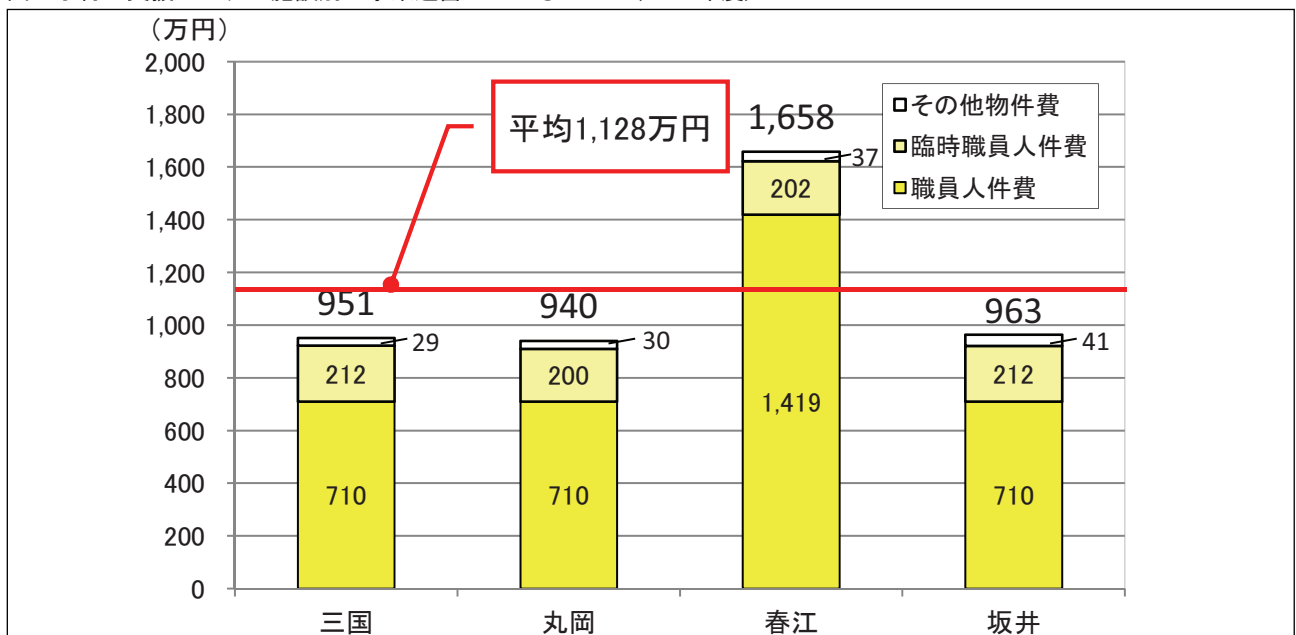
		三国	丸岡	春江	坂井	合計
事業運営にかかるコスト	職員人件費	7,096	7,096	14,192	7,096	35,480
	臨時職員人件費	2,123	2,001	2,023	2,121	8,268
	その他物件費	289	301	369	414	1,373
	事業運営にかかるコスト計	9,508	9,398	16,584	9,631	45,121

図 子育て支援センター全施設 事業運営にかかるコスト(2008年度)



子育て支援センター(4箇所)は、いずれも保育所併設や健康センターの一部を利用しているなど、複合施設であるため、行政コスト計算書では、施設の維持に要する経費および減価償却費は除き、事業運営に関する経費のみで作成しています。

図 子育て支援センター施設別 事業運営にかかるコスト(2008年度)

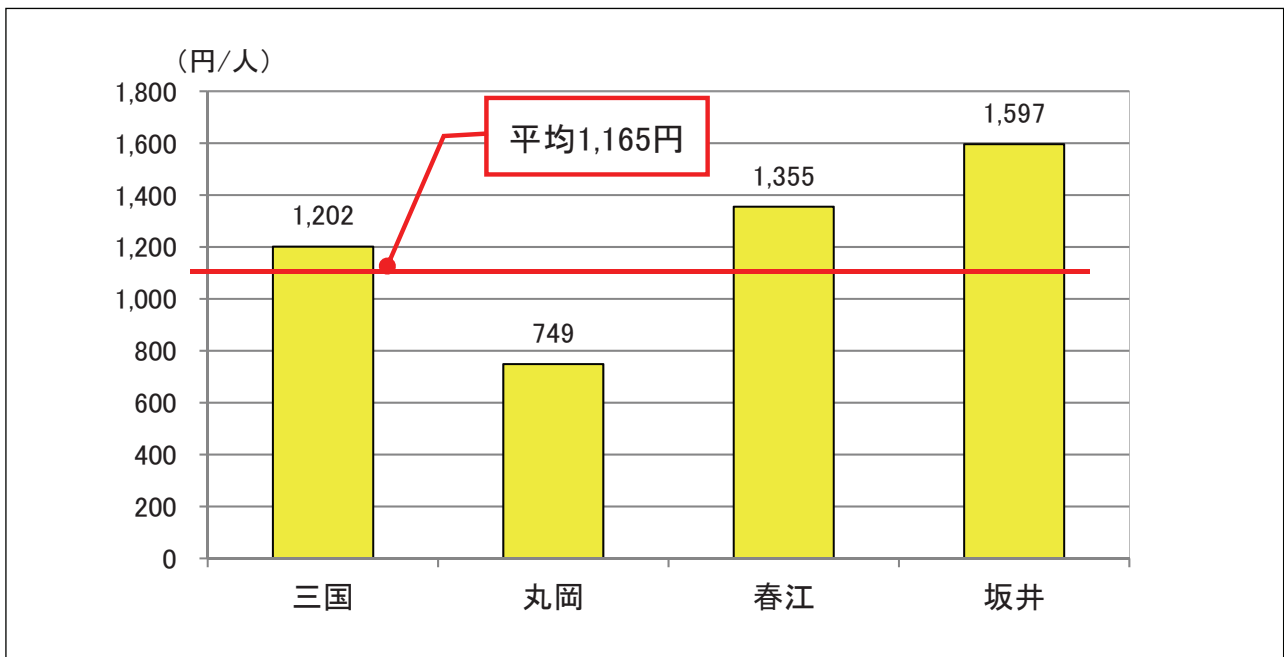


③ 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

4 施設の利用者1人当たりにかかる平均コストは1,165円です。施設別では、丸岡子育て支援センターの749円/人から坂井子育て支援センターの1,597円/人と大きな差があります。これは、人件費と利用者の関係が要因となっており、1人当たりのコストが最も低い丸岡子育て支援センターは、コストが低いのに利用者が12,000人を超えているのに対して、坂井子育て支援センターは、利用者が6,000人余りであることから1人当たりのコストが最も高くなっています。また、春江子育て支援センターは、人員配置が他の3施設より多いことからコストは最も高くなっていますが、利用者が12,000人を超えていることから、平均に近い値となっています。

図 子育て支援センター別 利用者1人当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



(5) 児童館(13施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の児童館は13館、3,714㎡で1館当たりの平均面積は286㎡です。そのうち、公民館との複合施設は大関児童館の1館、区民館との複合施設は長畑児童館・長屋児童館の2館です。また、新九頭竜児童館を初めとする8館は放課後児童対策として、施設の一部を利用して放課後児童クラブを実施しています。

児童館は、児童に健全な遊びの場を提供しその健康および体力を増進、また情操を豊かにすることを目的に設置されています。

表 施設一覧

町名	施設名	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	放課後 児童 クラブ	備考
三国	1 池上児童館	264.8	1979		
丸岡	2 今市児童館	215.2	1977		
	3 新九頭竜児童館	324.5	1985	●	
	4 西瓜屋児童館	294.0	1974	●	
	5 城北児童館	283.4	1984	●	
	6 坪江地区児童館	214.2	1975		
春江	7 春江児童館	339.0	1972	●	土曜日のみ実施
坂井	8 兵庫児童館	241.8	2000	●	
	9 坂井児童センター	373.2	1999	●	
	10 長畑児童館	283.9	1981		長畑区民館との複合施設
	11 長屋児童館	221.9	1976		長屋区民館との複合施設
	12 大関児童館	363.0	2004	●	大関公民館との複合施設
	13 木部児童館	294.8	2002	●	
	合計	3,713.7			

イ) 運営日、運営時間等

児童館の利用時間は、午前8時30分～午後5時までで、休館日は、日曜日、祝日、ならびに12月29日～翌年の1月3日までとなっています。

児童館を利用する児童等に係る使用料は無料です。また、児童の使用に支障が出ない範囲で一般にも開放しています。

ウ) 事業内容

児童館事業は地域の子どもの居場所として、小中学生のほか、幼児とその保護者、高校生を対象に、「児童の遊びの指導」「児童の健康増進と保健衛生」「児童の情操を豊かにする」「図書閲覧」「レクリエーション事業」「子供会、母親クラブ等の指導」「児童の事故防止」などの事業を実施しています。また、一部の児童館では放課後児童クラブ事業(※)を実施し、放課後の子どもを安心して預けられる場所として活用しています。

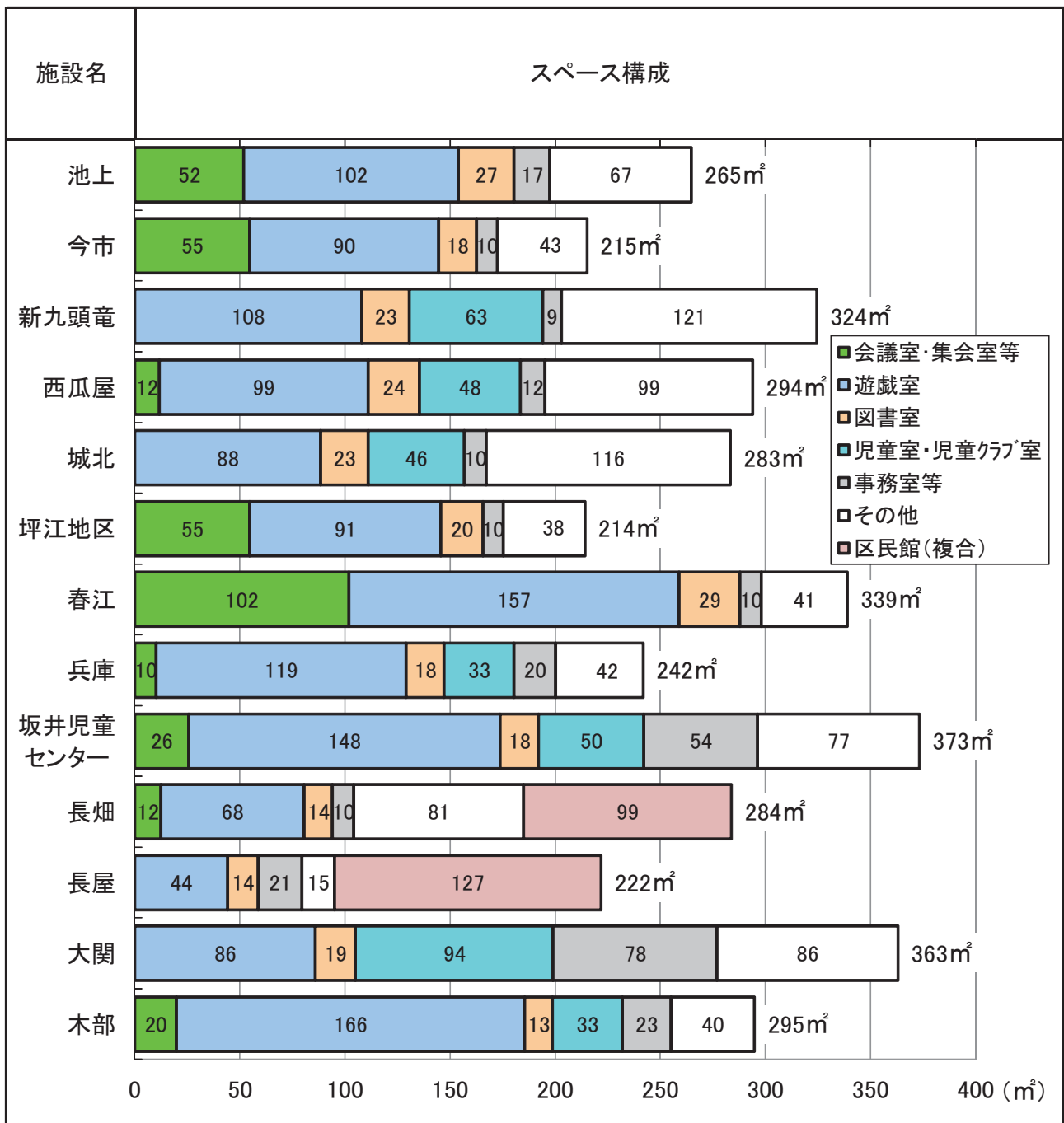
※ 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年を対象に、定員を設けて学童保育を実施しています。

エ) スペース構成

児童館の規模は、坪江地区児童館の 214 m²から坂井児童センターの 373 m²となっています。

児童館の保有スペースは、会議・集会室、遊戯室、児童室・児童クラブ室が中心となっており、図書室については全館に設置されています。

図 スペース構成



※ 長畑・長屋児童館は、複合している区民館分を含み、大関児童館は、複合している公民館分は含まれていません。

② 実態把握

ア) 建物総合評価

児童館 13 館を以下の 3 パターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 7 館が該当します。パターン②は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 2 館が該当します。パターン③は、現状で特に問題がない施設で 4 館が該当します。

図 建物総合評価

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン② 今後、老朽化	パターン③
評価	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性に課題がある 老朽化も進行している ⇒ 今後、建替え、大規模改修が必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 今は問題がない ⇒ 今後、10～20年で大規模改修が必要な施設 	問題がない施設
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> 池上児童館 (1979年築) 今市児童館 (1977年築) 西瓜屋児童館 (1974年築) 坪江地区児童館 (1975年築) 春江児童館 (1972年築) 長畑児童館 (1981年築) 長屋児童館 (1976年築) <p style="text-align: center;"><7施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> 新九頭竜児童館 (1985年築) 城北児童館 (1984年築) <p style="text-align: center;"><2施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫児童館 (2000年築) 坂井児童センター (1999年築) 大関児童館 (2004年築) 木部児童館 (2002年築) <p style="text-align: center;"><4施設></p>

維持管理費に改善の必要性がある施設

13施設のうち、以下の8施設は、他の施設と比べて、維持管理費が割高になっています。

原因

・建物の形状等による非効率性等

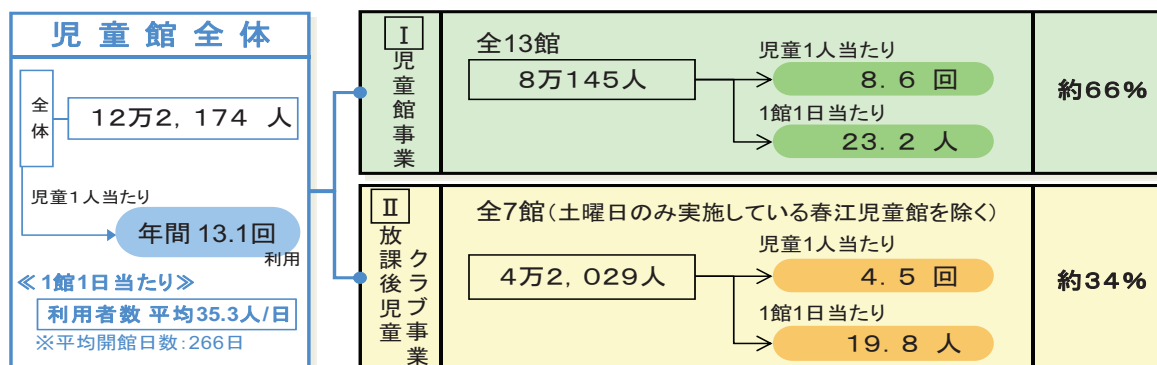
- 池上児童館 (1979年築)
- 春江児童館 (1972年築)
- 兵庫児童館 (2000年築)
- 坂井児童センター (1999年築)
- 長畑児童館 (1981年築)
- 長屋児童館 (1976年築)
- 大関児童館 (2004年築)
- 木部児童館 (2002年築)

イ) 利用状況

■ 年間利用者数

児童館全体での年間利用者数は、12万2,174人です。そのうち、全館で実施している児童館事業利用者は8万145人(約66%)、7館で実施している放課後児童クラブ事業利用者(土曜日のみ実施している春江児童館を除く)は4万2,029人(約34%)です。

1館1日当たりでは、児童館全体で平均35.3人に利用され、そのうち、児童館事業では23.2人、放課後児童クラブ事業では19.8人が利用しています。放課後児童クラブは、20名から50名規模で定員を設けて事業を行っています。



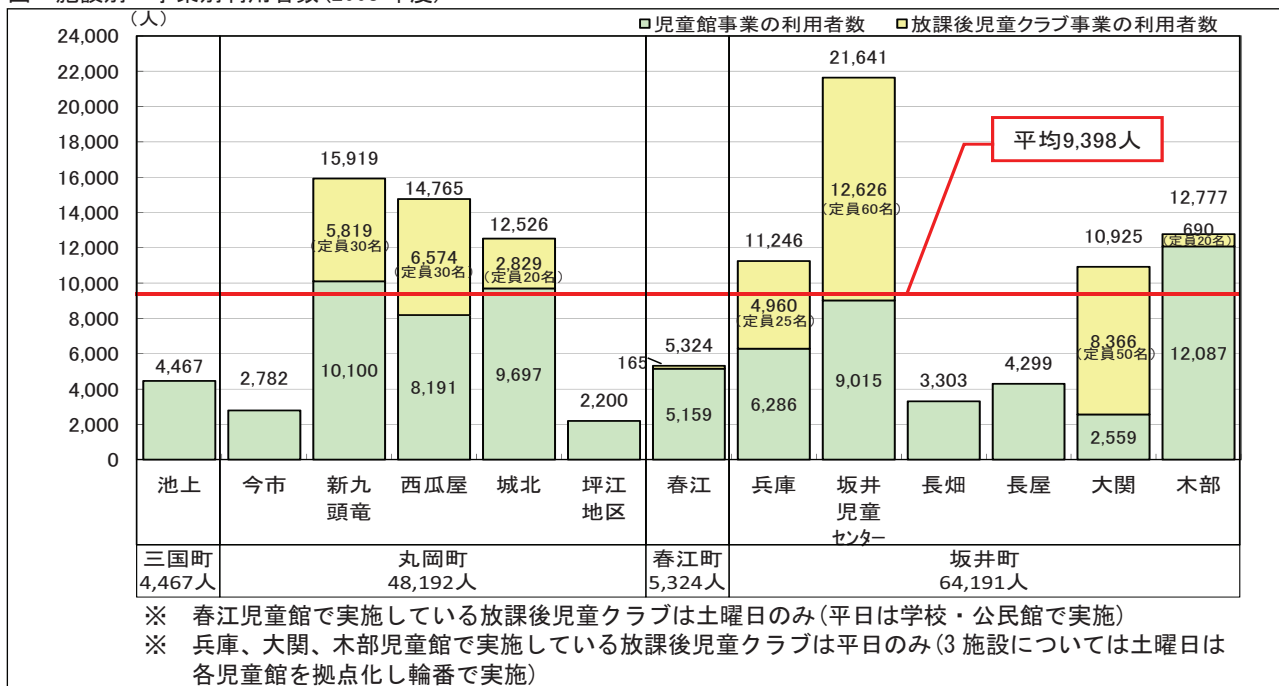
※ 2008年度(H20年度)児童・生徒数9,327人を用いて算出

■ 児童館施設別・事業別の利用状況

児童館の1館当たりの利用者数は、平均9,398人となっています。

全体利用者数を4町別でみると、三国町は1館で4,467人、丸岡町は5館で4万8,192人、春江町は1館で5,324人、坂井町は6館で6万4,191人となっています。施設別では、児童館事業のみ実施している坪江地区児童館の2,200人から児童館事業および放課後児童クラブ事業を実施している坂井児童センターの2万1,641人と約10倍の差があります。児童館事業のみ実施している児童館で最も多いのは木部児童館の1万2,087人で、最も少ないのは坪江地区児童館の2,200人の約5倍の差があります。また、放課後児童クラブ事業を実施している児童館で最も多いのは坂井児童センターの1万2,626人で、最も少ないのは木部児童館の690人で約18倍の差があります(春江児童館を除く)。

図 施設別・事業別利用者数(2008年度)

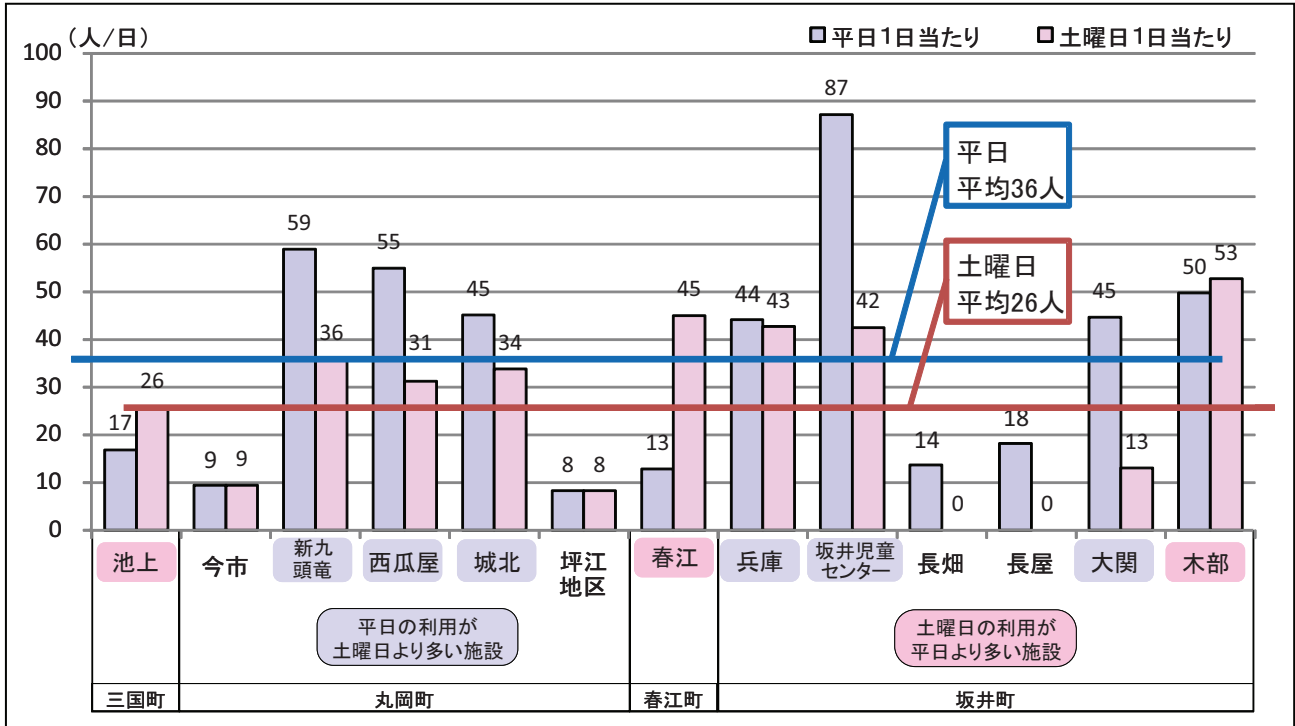


■ 平日/土曜日別 1日当たり利用者数

平日/土曜日別の利用者数をみると、平日は平均 36 人、土曜日は平均 26 人です。

三国町・春江町は土曜日の利用が平日より多い傾向にあり、丸岡町・坂井町では平日の利用が土曜日より多い傾向にあります。

図 施設別・平日/土曜日別・1日当たり利用者数(2008 年度(H20 年度))

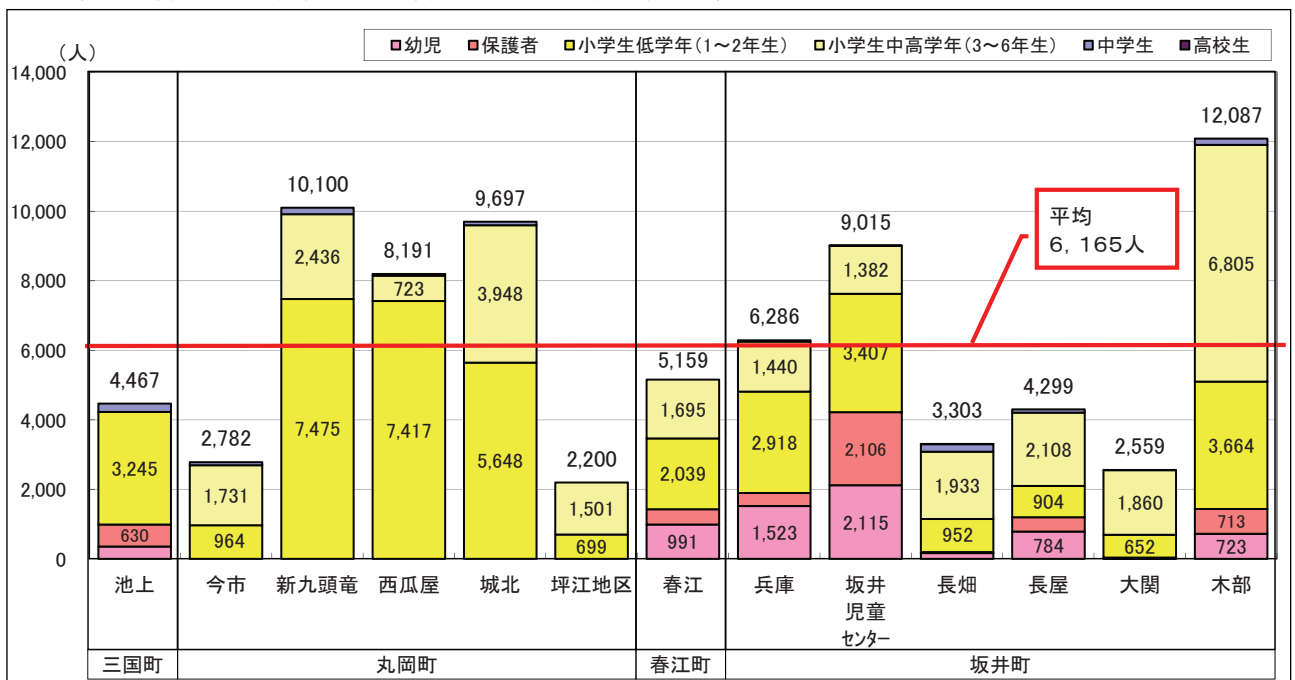


■ 属性別利用者数【児童館事業】

児童館は、小中学生のほか幼児とその保護者、高校生にも利用されています。利用者属性をみると、小学生の割合が利用者全体の約 9 割を占めています。

施設別・属性別では、坂井児童センターは幼児と保護者の占める割合が他の施設に比べ多くなっています。坂井町の児童館は、幼児と保護者の利用が多いのが特徴です。

図 施設別・属性別利用者数(2008 年度) ※ 利用者総数は 80,145 人になっています。



ウ) 運営状況

■ 運営人員

児童館の運営人員は、13館合計で27.85人です。その内訳は、児童館職員が18.85人、放課後児童クラブ職員が9人です。児童館職員18.85人中16.25人、放課後児童クラブ職員全員が臨時職員です。

1館当たりの運営人員は0.25人から3.6人です。

表 運営人員(2008年度)

(人)

業務内容	区分	池上	今市	新九頭竜	西瓜屋	城北	坪江地区	春江	兵庫	坂井児童センター	長畑	長屋	大関	木部	合計
児童館職員	臨時職員		1	1	1	1	0.25	1	2	2	1.5	1.5	2	2	16.25
	パート・アルバイト	2						0.6							2.6
	小計	2	1	1	1	1	0.25	1.6	2	2	1.5	1.5	2	2	18.85
児童クラブ職員	臨時職員			2	2	1		2	(2)	1			1	(2)	9(4)
	パート・アルバイト														0
	小計	0	0	2	2	1	0	2	(2)	1	0	0	1	(2)	9(4)
合計	臨時職員	0	1	3	3	2	0.25	3	2(2)	3	1.5	1.5	3	2(2)	25.25(4)
	パート・アルバイト	2	0	0	0	0	0	0.6	0	0	0	0	0	0	2.6
	合計	2	1	3	3	2	0.25	3.6	2(2)	3	1.5	1.5	3	2(2)	27.85(4)

※ 兵庫・木部児童館における放課後児童クラブ職員は、児童館職員が兼ねています。

エ) コスト状況

児童館 13 館の年間トータルコストは 8,009 万円、1 館当たり平均 616 万円です。

8,009 万円のうち、施設維持にかかるコストは 820 万円(10%)、事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)は 6,019 万円(75%)、減価償却費は 1,170 万円(15%)です

施設別では、最小 157 万円(坪江地区児童館)から最大 1,265 万円(坂井児童センター)と約 8 倍の差があります。

表 行政コスト計算書(2008 年度(H20 年度))

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		池上	今市	新九頭竜	西瓜屋	城北	坪江地区	春江	兵庫	坂井児童センター	長畑	長屋	大関	木部	合計
施設 維持に かかる コスト	各所修繕費	5	124	132	32	30	39	25	7	96	23	27	40	7	587
	老朽箇所修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	102	108	273	303	300	0	368	367	554	141	131	839	259	3,745
	建物管理委託費	120	35	40	40	0	0	72	75	129	32	95	151	45	834
	土地賃借料	187	0	0	998	0	0	0	0	215	0	0	270	305	1,975
	土地・建物以外賃借料	11	20	21	21	21	11	62	95	278	1	0	323	32	896
	使用料	0	10	10	10	10	0	0	10	7	39	39	7	23	165
	施設維持にかかるコスト計	425	297	476	1,404	361	50	527	554	1,279	236	292	1,630	671	8,202
事業 運営 コスト	臨時職員人件費	1,756	2,348	5,286	5,233	3,367	558	4,578	5,577	8,728	1,907	853	7,328	4,732	52,251
	人材派遣委託	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	負担金補助及び交付金	8	0	0	0	0	0	13	8	8	8	8	8	8	69
	市債利息償還金	0	0	0	0	0	0	0	308	441	0	0	0	0	749
	その他物件費	146	144	1,261	773	511	161	554	699	1,405	148	193	934	177	7,106
	事業運営にかかるコスト計	1,923	2,492	6,547	6,006	3,878	719	5,145	6,592	10,582	2,063	1,054	8,270	4,917	60,188
現金収支を伴うコスト 計		2,348	2,789	7,023	7,410	4,239	769	5,672	7,146	11,861	2,299	1,346	9,900	5,588	68,390

【収益の部】

負担金	0	0	1,213	1,244	608	0	0	967	2,122	0	0	1,710	0	7,864
諸収入	0	0	0	0	0	0	122	0	0	0	0	0	0	122
現金収支を伴う収益 計	0	0	1,213	1,244	608	0	122	967	2,122	0	0	1,710	0	7,986

II. 現金収支を伴わないもの

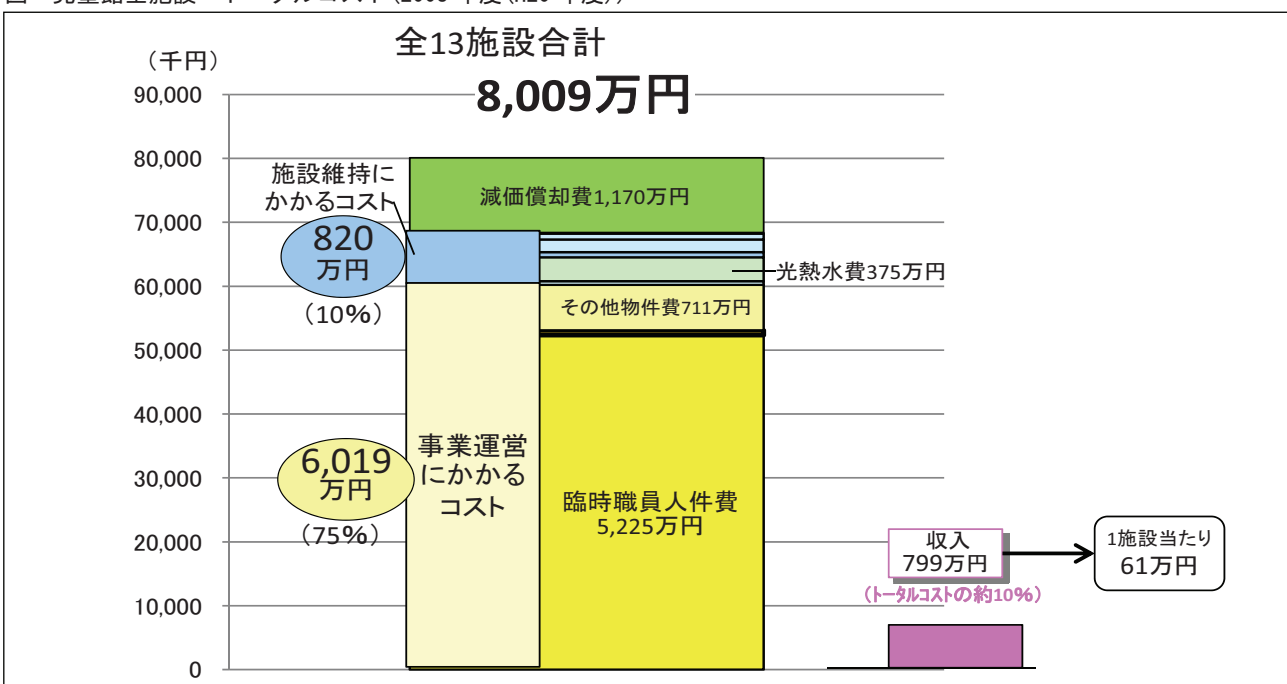
【コストの部】

減価償却費	715	807	873	1,143	765	803	915	907	786	1,065	832	980	1,106	11,697
-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	3,063	3,596	7,896	8,553	5,004	1,572	6,587	8,053	12,647	3,364	2,178	10,880	6,694	80,087
収支差額(ネットコスト)	3,063	3,596	6,683	7,309	4,396	1,572	6,465	7,086	10,525	3,364	2,178	9,170	6,694	72,101

図 児童館全施設 トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



■ 児童館で実施している事業を内容別に分類した場合のトータルコストの比較

児童館事業のみを実施している児童館は5館で(以下、従来館という)、年間トータルコストは1,377万円です。一方、児童館事業および放課後児童クラブ事業を実施している児童館は8館で(以下、複合館という)、年間トータルコストは6,631万円です。

図 事業内容別に分類した児童館

施設名		事業内容	利用料
従来館	1 池上児童館	児童館事業のみを実施している児童館	無料
	2 今市児童館		
	3 坪江地区児童館		
	4 長畑児童館		
	5 長屋児童館		
複合館	1 新九頭竜児童館	児童館事業及び放課後児童クラブ事業を実施している児童館	児童館利用は無料 放課後児童クラブへの入会は有料
	2 西瓜屋児童館		
	3 城北児童館		
	4 春江児童館		
	5 兵庫児童館		
	6 坂井児童センター		
	7 大関児童館		
	8 木部児童館		

児童館事業	児童に放課後一般開放し、遊びの指導や図書の閲覧などを実施する。
放課後児童クラブ事業	放課後から保護者が仕事を終え迎えに来るまでの間、学習(宿題)指導、イベントなど児童が集団で活動する。児童クラブ毎に定員を設け専門員を置き実施する。

図 従来館のトータルコスト(2008年度)

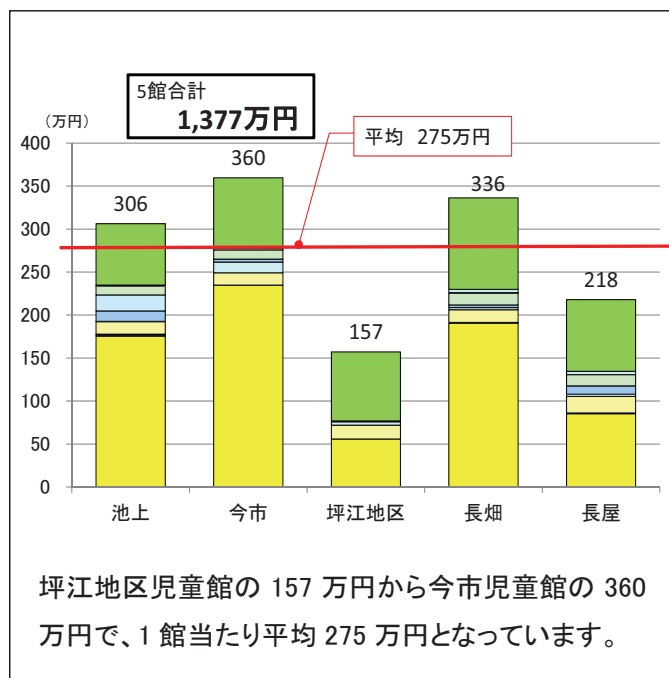
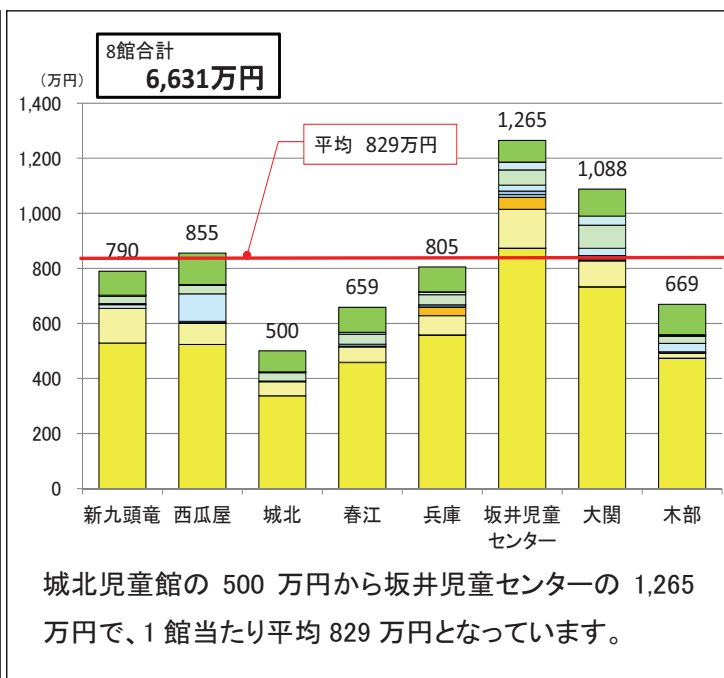


図 複合館のトータルコスト(2008年度)



③ 評価・分析

■ 児童館を事業内容別に分類した「年間トータルコスト、年間利用状況、利用者1回当たりのコスト」の関係

1館当たりの平均トータルコストと1館当たりの年間平均利用者では、人件費を始めとするトータルコストは、従来館に比べ複合館は約3倍の経費を必要としますが、利用者数でも3.8倍上回っています。

また、利用者1回当たりにかかる平均コストは656円です。施設別に見ると、複合館である城北児童館の399円/回から従来館である今市児童館の1,293円/回と、施設で実施している事業の違いによって利用者1回当たりのコストに大きな開きがあり、複合館は従来館に比べ約22%の経費が圧縮された運営がなされています。

表 事業内容別に分類した年間トータルコスト、年間利用状況、利用者1回当たりのコスト(2008年度(H20年度))

区分	年間トータルコスト		年間利用者		利用者1回当たりのコスト	
	【最小】	【最大】	【最小】	【最大】	【最小】	【最大】
全児童館 13館	157万円 坪江地区	1,265万円 坂井児童センター	2,200人 坪江地区	21,641人 坂井児童センター	399円/回 城北	1,293円/回 今市
従来館 5館	157万円 坪江地区	360万円 今市	2,200人 坪江地区	4,467人 池上	507円/回 長屋	1,293円/回 今市
複合館 8館	500万円 城北	1,265万円 坂井児童センター	5,324人 春江	21,641人 坂井児童センター	399円/回 城北	1,237円/回 春江

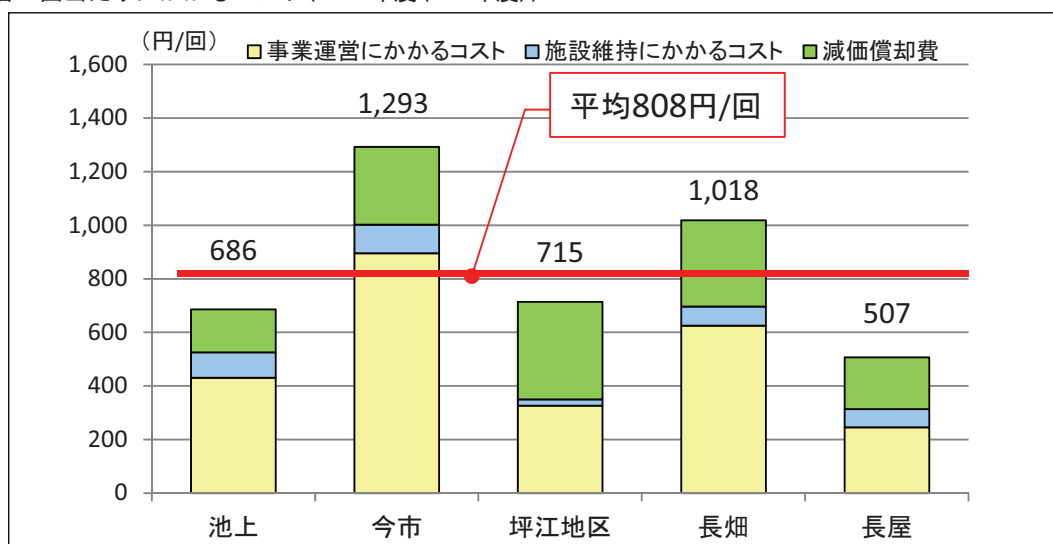
区分	1館当たりの 年間平均トータルコスト	1館当たりの 年間平均利用者	利用者1回当たりの 平均コスト
全児童館 13館	616万円	9,398人	656円
従来館 5館	275万円	3,410人	808円
複合館 8館	829万円	13,140人	631円

■ 利用者1回当たりの平均コストから見た特徴

【従来館】

利用者1回当たりにかかる平均コストは808円です。施設別では、長屋児童館の507円/回から今市児童館の1,293円/回で約2.6倍の差があります。これは、人件費と利用者の関係が最大の要因で、長屋児童館は人件費が約85万円と低く利用者が約4,300人と多いのに対して、今市児童館は人件費が約230万円と高く利用者は約2,800人と少ない状況となっています。

図 利用者1回当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))

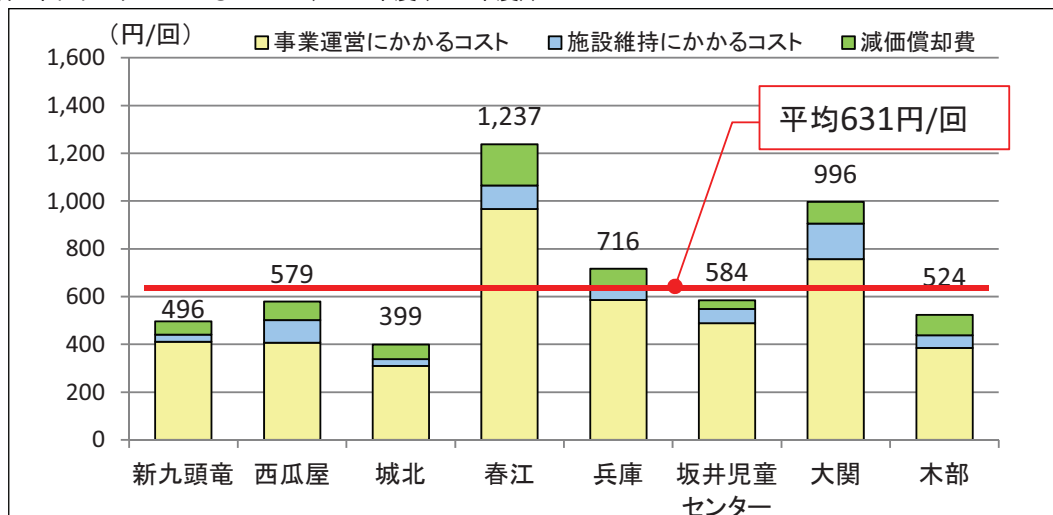


【複合館】

利用者1回当たりにかかる平均コストは631円です。施設別では、城北児童館の399円/回から春江児童館の1,237円/回で約3.1倍の差があります。これは、従来館と同じように人件費と利用者の関係に加え、兵庫児童館と坂井児童センターでは施設建設時に借り入れた市債の利息償還金、池上児童館、西瓜屋児童館、坂井児童センター、大関児童館、木部児童館では土地の借り上げ料が影響しています。

トータルコストが500万円と最も低い城北児童館は、利用者数が1万2,526人で1回当たりにかかるコストは399円が一番低く、利用者が5,324人で最も少ない春江児童館は、トータルコストが659万円と1回当たりにかかるコストは1,237円が一番高いのが特徴となっています。一方、トータルコストが1,265万円と最も高く、利用者数も2万1,641人と最も多い坂井児童センターは、利用者1回当たりにかかるコストは584円で平均的な値となっています。

図 利用者1回当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



■ 児童館を事業内容別に分類した「年間トータルコスト、床面積、床面積 1㎡当たりのコスト」の関係

床面積 1㎡あたりにかかる年間平均コストは 2 万 1,565 円です。施設別に見ると、従来館である坪江地区児童館の 7,339 円/㎡から複合館である坂井児童センターの 3 万 3,888 円/㎡と、1㎡あたりにかかる年間コストに大きな開きがあります。これは、従来館では、専属の職員を配置していることが主要因で、コストの一部を利用者から負担金として徴収しています。

施設を事業別に見ると、年間平均トータルコストと平均床面積では、いずれも従来館に比べ複合館が上回っており、床面積 1㎡当りの年間平均コストでも約 2.3 倍の差があります。

表 事業内容別に分類した年間トータルコスト、床面積、床面積 1㎡当たりの年間コスト(2008 年度(H20 年度))

区分	年間トータルコスト		床面積		床面積1㎡当たりの年間コスト	
	【最小】	【最大】	【最小】	【最大】	【最小】	【最大】
全児童館 13館	157万円 坪江地区	1,265万円 坂井児童センター	214㎡ 坪江地区	373㎡ 坂井児童センター	7,339円/㎡ 坪江地区	33,888円/㎡ 坂井児童センター
従来館 5館	157万円 坪江地区	360万円 今市	214㎡ 坪江地区	284㎡ 長畑	7,339円/㎡ 坪江地区	16,710円/㎡ 今市
複合館 8館	500万円 城北	1,265万円 坂井児童センター	242㎡ 兵庫	373㎡ 坂井児童センター	17,657円/㎡ 城北	33,888円/㎡ 坂井児童センター

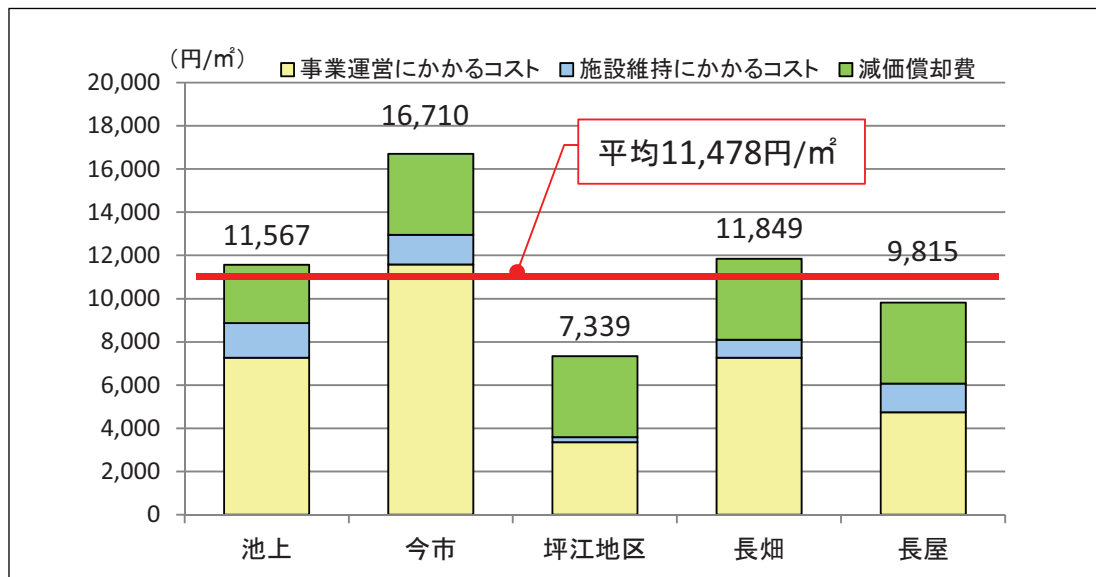
区分	1館当たりの 年間平均トータルコスト	1館当たりの 平均床面積	床面積1㎡当たりの 年間平均コスト
全児童館 13館	616万円	286㎡	21,565円
従来館 5館	275万円	240㎡	11,478円
複合館 8館	829万円	314㎡	26,381円

■ 床面積 1 m²当たりの年間平均コストから見た特徴

【従来館】

床面積 1 m²当たりにかかる年間平均コストは 1 万 1,478 円です。施設別では、坪江地区児童館の 7,339 円/m²から今市児童館の 1 万 6,710 円/m²で約 2.3 倍の差があります。

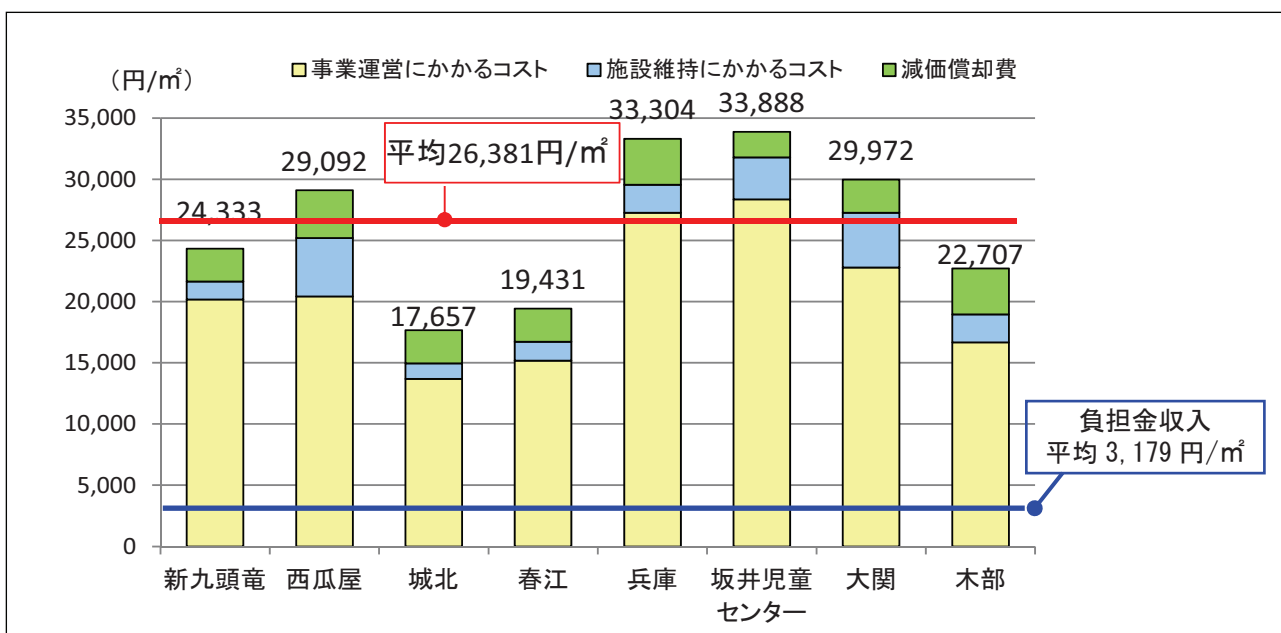
図 床面積 1 m²当たりにかかる年間コスト (2008 年度 (H20 年度))



【複合館】

床面積 1 m²当たりにかかる年間平均コストは 2 万 6,381 円、負担金収入の年間平均は 3,179 円です。施設別では、城北児童館の 1 万 7,657 円/m²から坂井児童センターの 3 万 3,888 円/m²で約 1.9 倍の差があります。

図 床面積 1 m²当たりにかかるコスト (2008 年度)



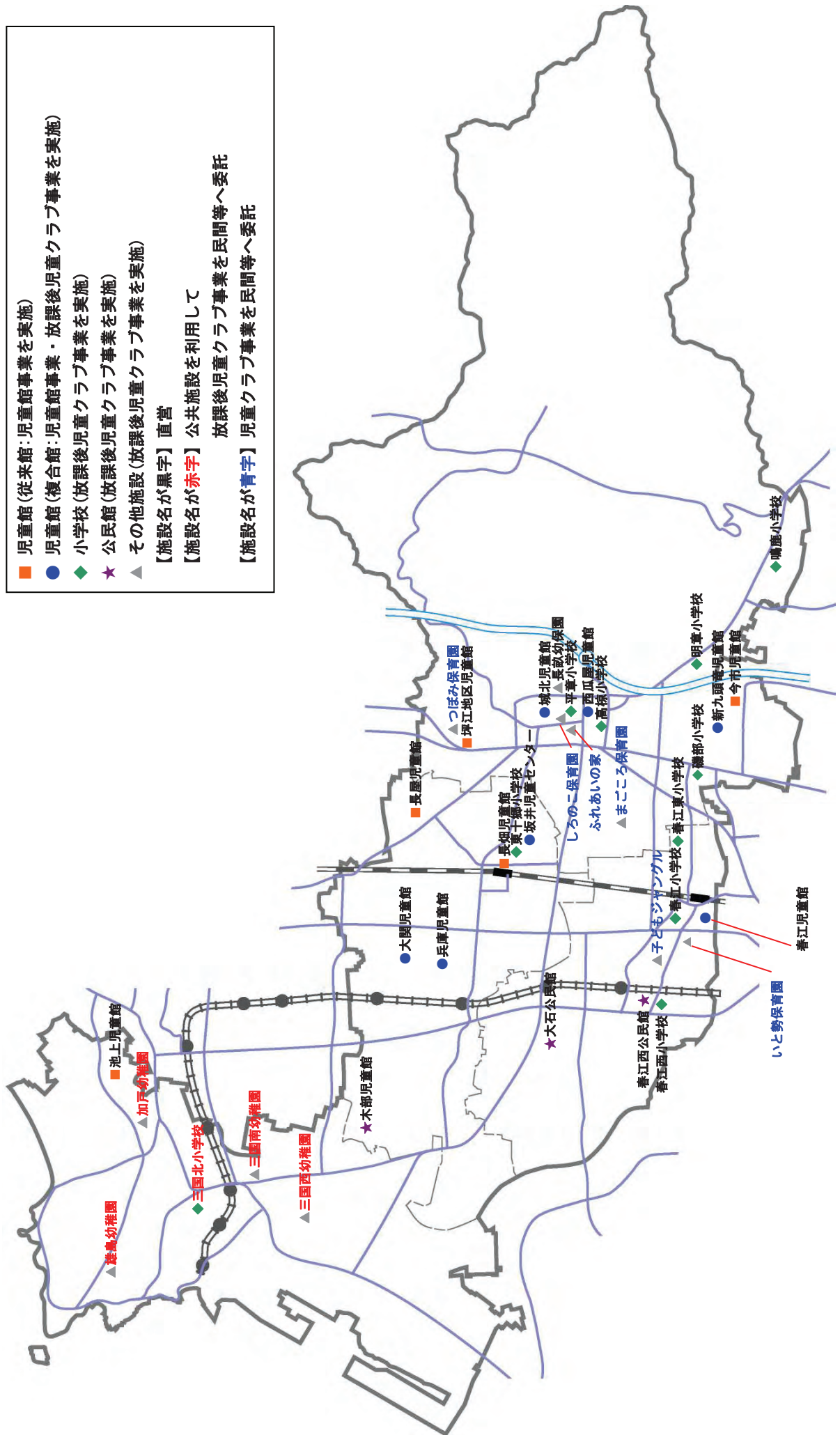
■ 児童館と放課後児童クラブの設置状況

放課後等の地域の子どもの居場所を確保するため、児童館を始め学校や公民館など、さまざまな施設を活用し市内 36 箇所において放課後児童クラブを実施しています。(図 児童館および放課後児童クラブの実施施設の分布図)

【特徴】

- i) 市内全ての小学校区内に、児童館または放課後児童クラブを実施している施設があります。
- ii) 小学校の規模が大きくなるに従って、児童館または放課後児童クラブを実施している施設が小学校区内に複数存在します。
- iii) 従来館 5 施設は、小学校(小学校区内)と距離的に離れていることから、利用が地域児童に限定される傾向にあります。小学校と児童館との位置関係が利用者数に大きく影響しています。
- iv) 放課後児童クラブは直営型と民間委託型、実施場所は公共施設と民間施設に分類されています。
- v) 児童館および放課後児童クラブの実施施設の状況は町によってさまざまです。
 - ・三国町では従来館の池上児童館の他、小学校区毎に 1 箇所公共施設を利用して 5 施設で放課後児童クラブを民間等に委託し実施しています。
 - ・丸岡町では従来館の今市児童館、坪江地区児童館の他、放課後児童クラブを児童館 3 施設、小学校 5 施設、その他の公共施設 1 施設で実施しています。また、民間施設 3 箇所放課後児童クラブを委託し実施しています。
 - ・春江町では放課後児童クラブを春江児童館の他、小学校 3 施設、その他の公共施設 2 施設で実施しています。また、民間施設 2 箇所放課後児童クラブを委託し実施しています。
 - ・坂井町では従来館の長畑児童館、長屋児童館の他、放課後児童クラブを児童館 4 施設、小学校 1 施設で実施しています。

図 児童館および放課後児童クラブの実施施設の分布図(2011年5月1日現在)



(6) 公民館(26 施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の公民館は 26 館で 2 万 2,656 m²です。そのうち、単独施設は 22 館、地区体育館や児童館等との複合・併設施設は 4 館となっています。

公民館は、定期講座等の開催を行うとともに、体育・レクリエーション等に関する集会の開催、各種の団体・機関等の連絡を図るなど、住民の集会その他の公共的利用に供することを目的に設置されています。

表 施設一覧

町名	施設名	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	複合・併設施設	
				児童館	地区 体育館
三国	1 三国公民館	2,480.4	1976		
	2 雄島公民館	645.2	1974		
	3 加戸公民館	670.1	1992		併設
	4 新保公民館	867.5	1972		
	5 浜四郷公民館	963.8	1975		
	6 三国木部公民館	675.3	1976		併設
	7 三国東部公民館	461.6	1974		
丸岡	8 鳴鹿公民館	720.3	2001		
	9 鳴鹿第二公民館	367.6	1985		
	10 磯部公民館	848.3	1980		
	11 (旧)高椋公民館	1,590.7	1974		
	12 高椋東部公民館	878.5	1984		
	13 高椋西部公民館	573.0	1981		
	14 丸岡公民館	996.9	2002		
	15 長畝公民館	851.7	1980		
	16 長畝第二公民館	350.1	1986	併設	
17 竹田公民館	486.4	1989			
春江	18 春江南公民館・春江女性の家	1,243.8	1975		
	19 春江中公民館	1,671.1	1971		
	20 春江東公民館	392.1	1979		
	21 春江西公民館	1,532.9	1981		
	22 大石公民館	769.1	1980		
坂井	23 東十郷公民館	1,110.6	1992		
	24 大関公民館	605.1	2004	複合	
	25 兵庫公民館	336.4	1985		
	26 坂井木部公民館	567.9	1981		
	合計	22,656.4			

※ 建築年度は、最も古い年度を採用

※ …拠点公民館

⇒ 拠点公民館は、所管する公民館(太枠内)その他関係機関との連絡調整に関する事、所管する公民館の予算に関する事、社会教育関係団体の育成および支援に関する事等を行う。

イ) 運営日、運営時間

公民館の基本的な利用時間区分は、午前・午後・夜間の3区分になっています。

午 前	午 後	夜 間
8 : 30~12 : 30	12 : 30~17 : 00	17 : 00~21 : 30

公民館の休館日は、毎月第3日曜日、国民の祝日、12月29日～翌年の1月3日までとなっています。

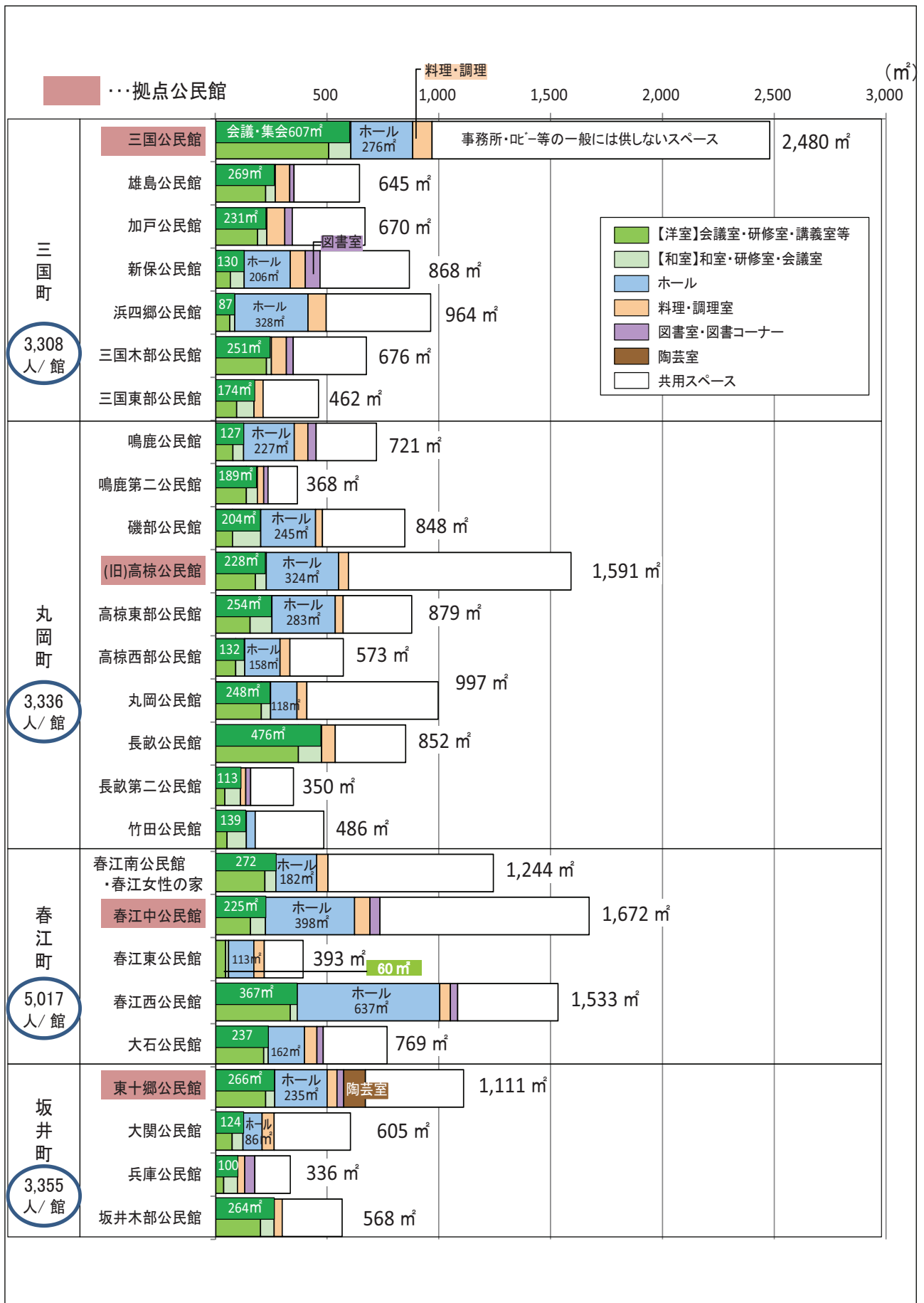
ウ) スペース構成

公民館の規模は、336㎡(兵庫公民館)から2,480㎡(三国公民館)です。そのうち、拠点公民館の平均規模は1館当たり約1,713㎡、その他公民館の平均規模は1館当たり約718㎡となっており、拠点公民館はその他の公民館の約2.4倍の規模となっています。

人口と公民館数の関係をみると、三国町は3,308人に1館、丸岡町は3,336人に1館、春江町は5,017人に1館、坂井町は3,355人に1館となっており、小学校以上にきめ細かく設置されています。(2009年(H21年)3月31日住民基本台帳より 三国町 23,159人、丸岡町 33,359人、春江町 25,087人、坂井町 13,418人)

保有スペースは、会議・集会室が中心で、その他多目的ホール(交流ホール)、料理・調理室、図書室等となっています。東十郷公民館のみ陶芸室を保有しています。

図 スペース構成



② 実態把握

ア) 建物総合評価

公民館 25 館を以下の 4 パターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 15 館が該当します。パターン②は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 3 館が該当します。パターン③は、他の施設と比べ機能改善(機能面)に課題がある施設で 3 館が該当します。パターン④は、現状で特に問題がない施設で 4 館が該当します。

図 建物総合評価結果

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ② 今後、老朽化	
評 価	<p>・耐震安全性に課題がある ・老朽化が進行している ⇒ 今後、建替えが必要な施設</p>	<p>・今は問題ない ⇒ 今後10～20年で大規模改修が必要な施設</p>	
	<p>・三国公民館 (1976年築) ・雄島公民館 (1974年築) ・新保公民館 (1972年築) ・浜四郷公民館 (1975年築) ・三国木部公民館 (1976年築) ・三国東部公民館 (1974年築) ・磯部公民館 (1980年築) ・高棕西部公民館 (1981年築) ・長畝公民館 (1980年築) ・春江南公民館・春江女性の家 (1975年築) ・春江中公民館 (1971年築) ・春江東公民館 (1979年築) ・春江西公民館 (1981年築) ・大石公民館 (1980年築) ・坂井木部公民館 (1981年築)</p> <p>< 15施設 ></p>	<p>・高棕東部公民館 (1984年築) ・長畝第二公民館 (1986年築) ・竹田公民館 (1989年築)</p> <p>< 3施設 ></p>	
評 価	<p>パターン ③ 機能改善に課題</p> <p>・機能改善(機能面に課題がある) (バリアフリー対応(自動ドア・車いすスロープ)のいずれかが未実施で、今後対応必要)</p>	<p>パターン ④</p> <p>問題がない施設</p>	<p>維持管理費に改善の 必要性がある施設</p> <p>25施設のうち、以下の1施設は他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっている。</p> <p>・春江南公民館・春江女性の家 (1975年築)</p> <p>※ 光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費それぞれで割高になっている施設もある。</p>
	<p>・加戸公民館 (1992年築) ・鳴鹿第二公民館 (1985年築) ・兵庫公民館 (1985年築)</p> <p>< 3施設(※) ></p>	<p>・鳴鹿公民館 (2001年築) ・丸岡公民館 (2002年築) ・東十郷公民館 (1992年築) ・大関公民館 (2004年築)</p> <p>< 4施設 ></p>	
該 当 施 設			

※ 高棕公民館が丸岡総合支所へ移転することに伴い(2011年(H23年)11月供用開始)、全公民館 25 館として比較・分析しています。

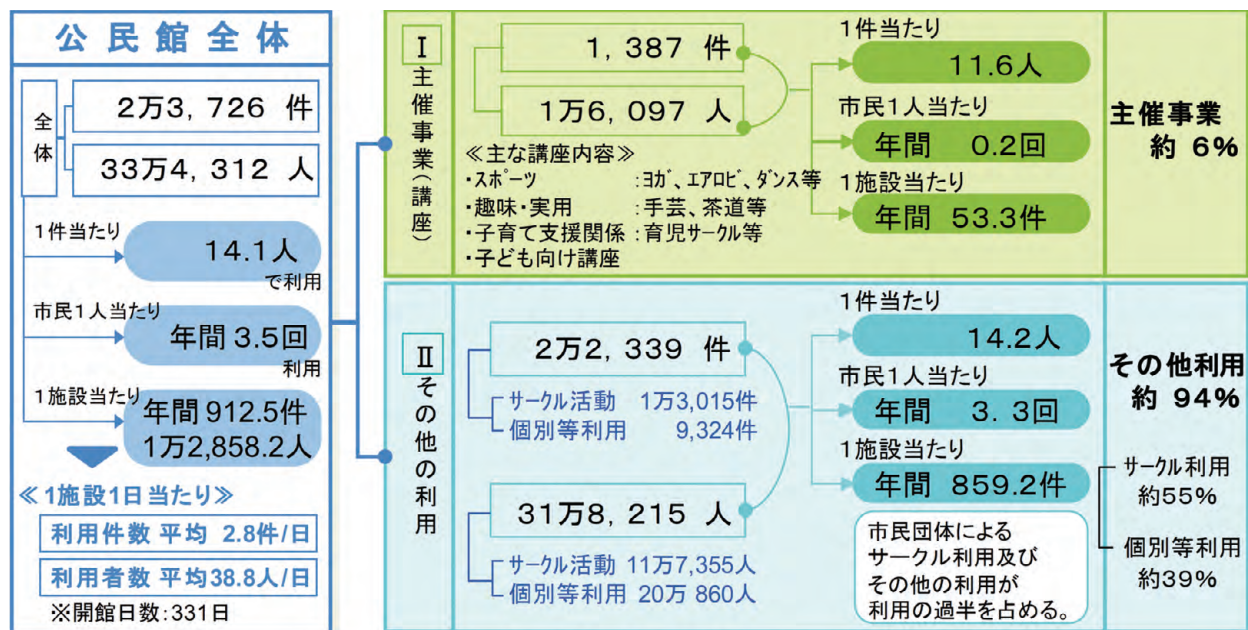
イ) 利用状況

■ 公民館全体の利用状況

2008年度(H20年度)の公民館施設全体の利用件数は、2万3,726件、利用者数は33万4,312人です。1件当たりの利用者は、平均14人、市民1人あたりでは年間3.5回利用しています。また、1施設1日当たりでは、利用件数は平均2.8件/施設、利用者数は38.8人/施設となっています。

主催事業(講座)の年間利用件数は、1,387件、利用者数は1万6,097人で全体利用の約6%程度となっています。1施設当たりは年平均53.3件の開催となっています。

その他の利用の年間利用件数は、2万2,339件、利用者数は31万8,215人で全体の約94%となっています。1施設当たりは年平均859.2件となっています。

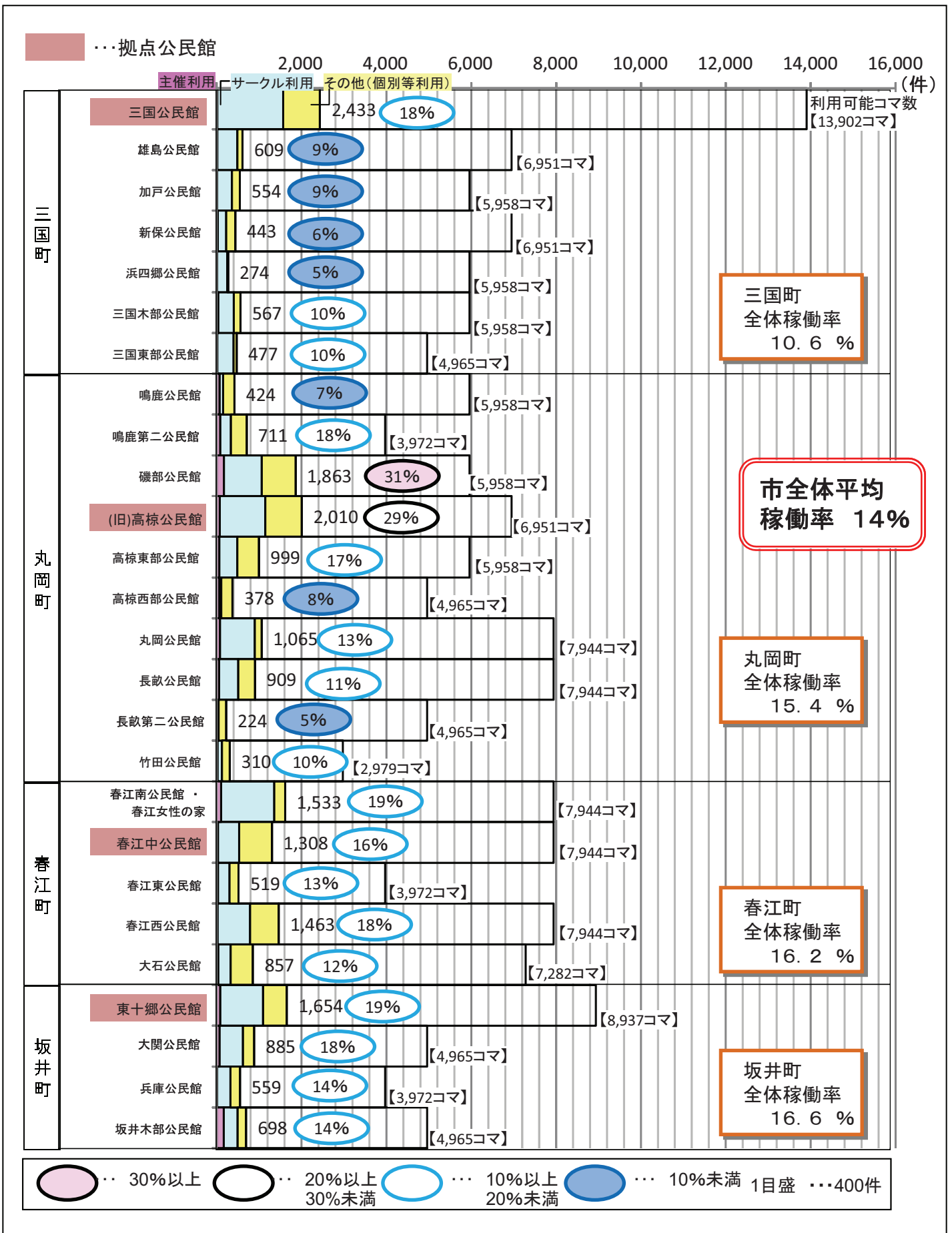


■ 公民館施設別の利用状況

公民館の稼働率は、平均14%となっています。利用目的別の稼働状況では、主催事業(講座)が1,387件(約6%)、サークル活動が1万3,015件(約55%)、その他個別等利用が9,324件(約39%)となっており、公民館の主な設置目的の1つである主催事業(講座)による利用は全体でわずか6%しかないことが分かります。

稼働状況を4町別でみると、三国町は7館の平均稼働率が10.6%、丸岡町は10館の平均稼働率が15.4%、春江町は5館の平均稼働率が16.2%、坂井町は4館の平均稼働率が16.6%となっています。特に三国町は、平均稼働率が10%未満の施設が過半を占め、利用率が低いことが分かります。

図 施設別 利用稼働率(2008年度(H20年度))



■ 公民館機能別 利用件数

施設別にみると、年間の施設別の利用件数は、最小 224 件(長畝第二公民館)から最大 2,433 件(三国公民館)で、1 施設当たり平均 913 件となっています。

主な機能別の利用件数は、会議・集会機能利用は約 1.5 万件、ホール機能利用は約 0.5 万件、調理機能は 822 件となっており、利用の約 64%が会議室・研修室等の会議・集会機能を占めています。機能別の稼働率は、利用件数の最も多い会議・集会機能で稼働率約 15%、ホール機能で約 26%となっています。

図 公民館全体 主な機能別稼働率および利用件数(2008 年度(H20 年度))

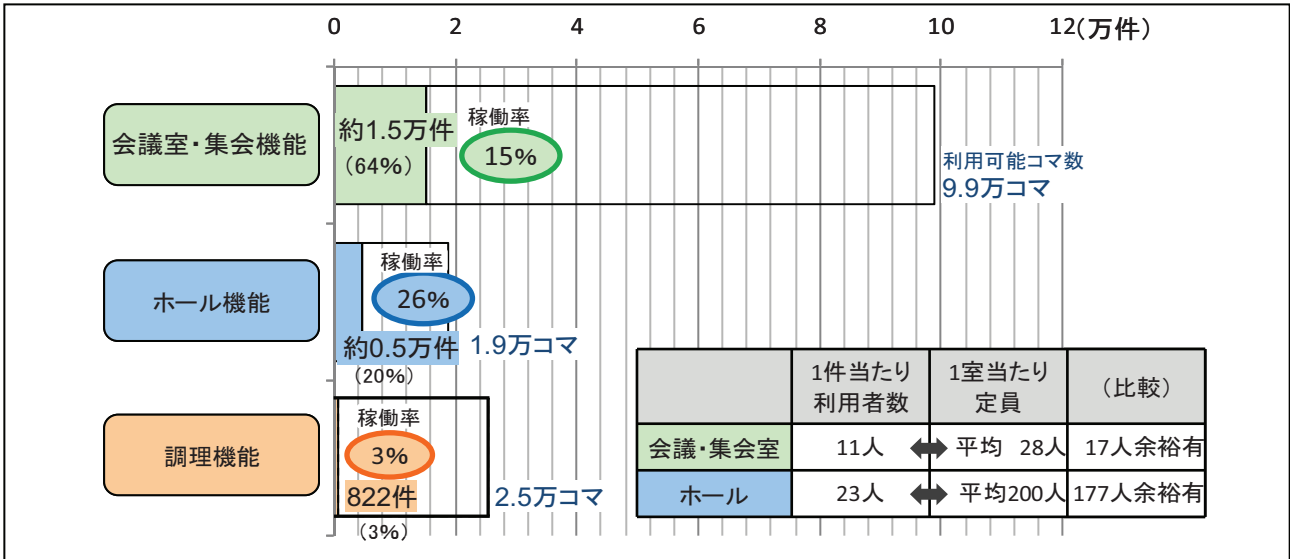
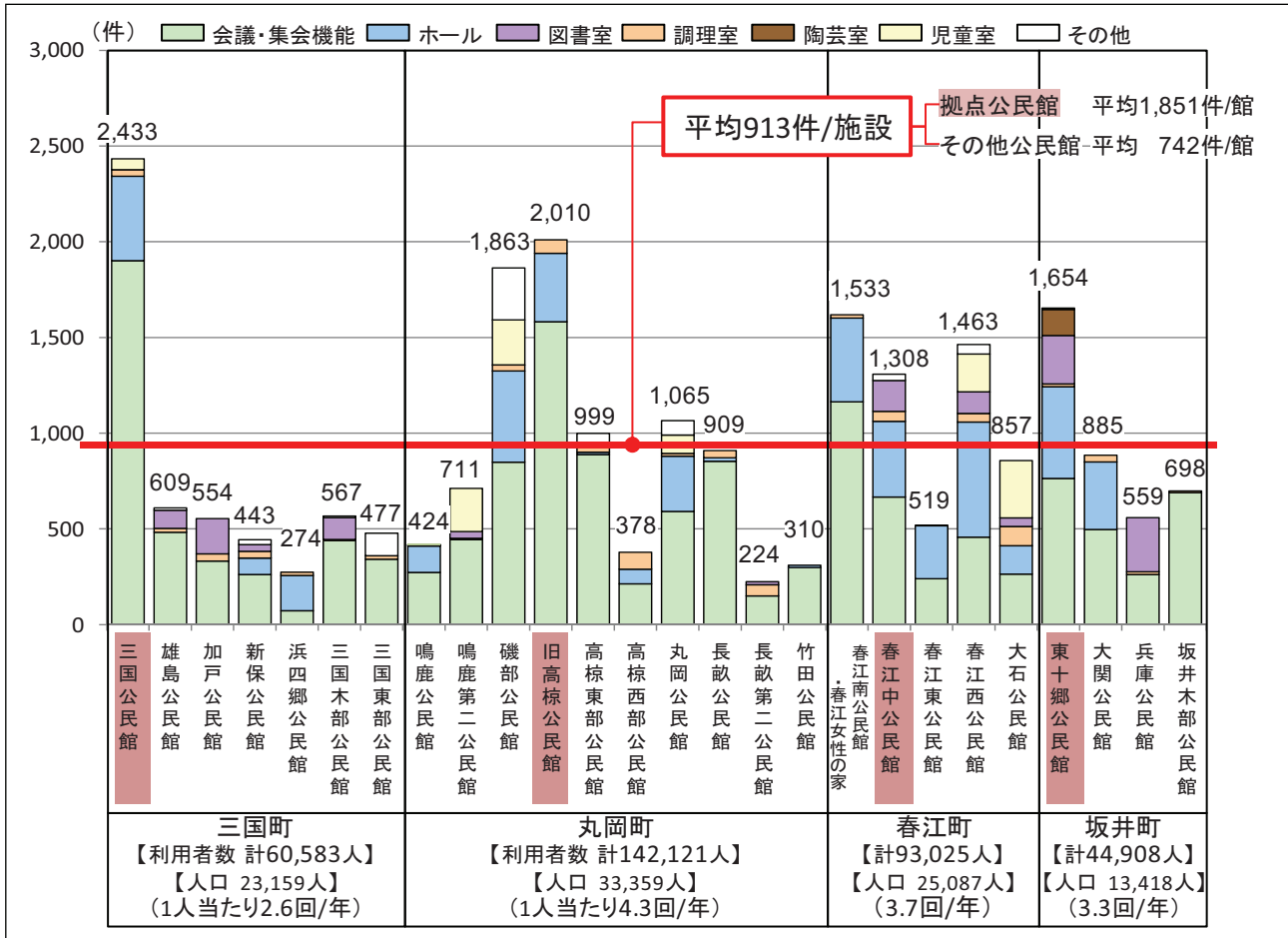


図 公民館施設別 機能別利用件数(2008 年度)

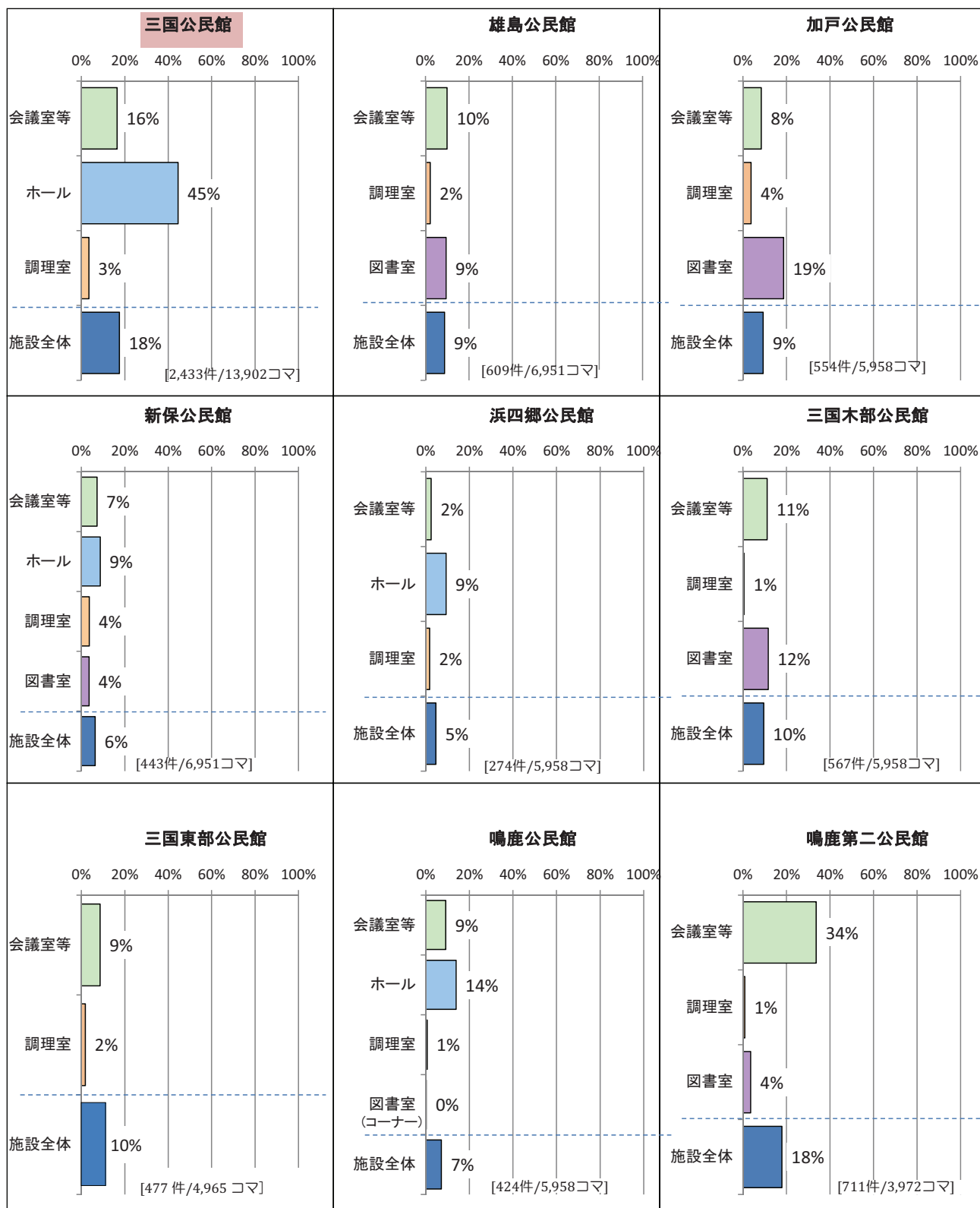


■ 公民館施設別・機能別の稼働率

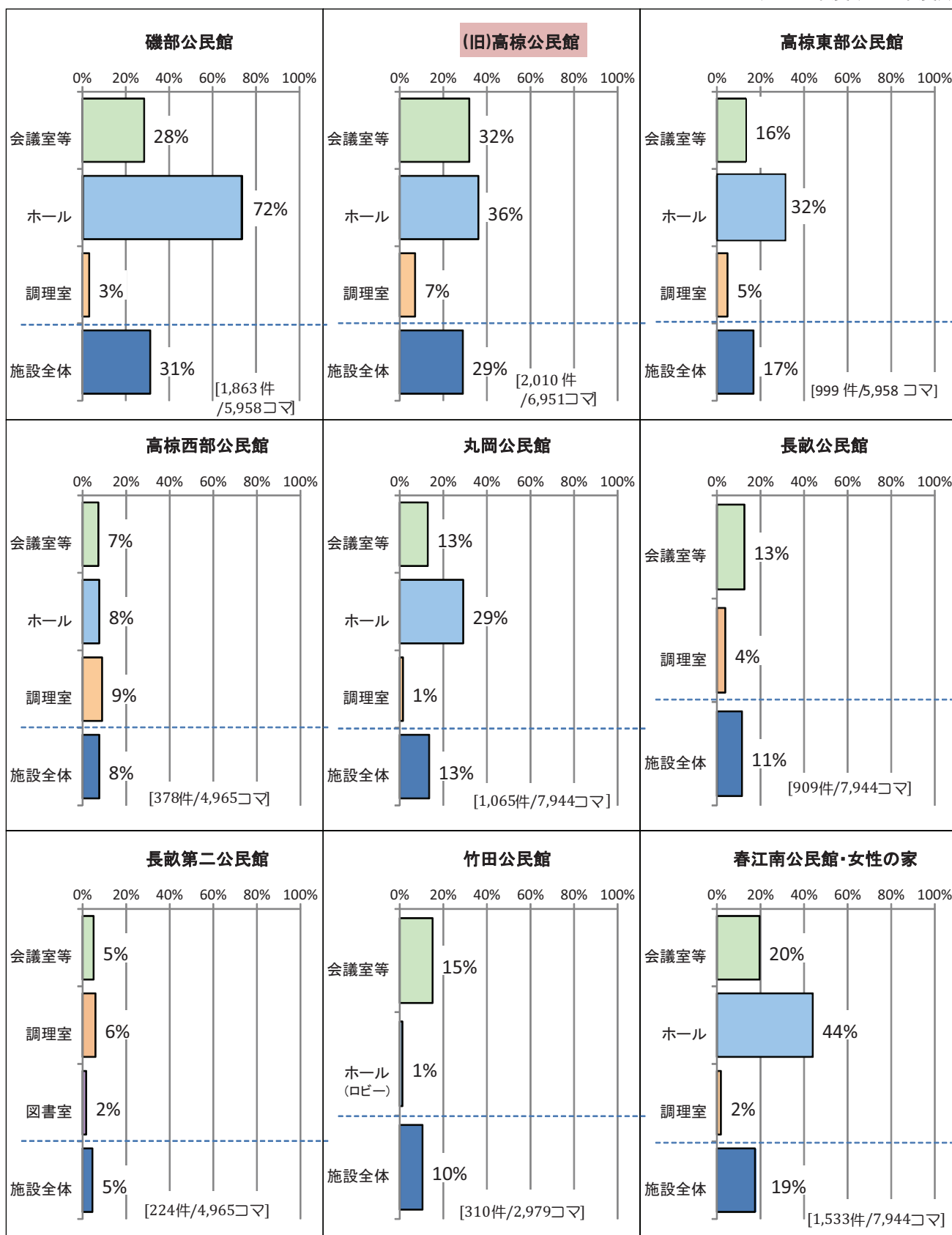
機能別・施設別の稼働率をみると、会議室等は約10%から30%、稼働率の低い施設では2%となっています。ホール機能は施設によるばらつきが大きく、高椋西部公民館の8%から磯部公民館の72%となっています。(最小稼働1%である竹田公民館のホールはロビー的機能のため除いています)

施設全体の稼働率の状況を施設別にみると、浜四郷公民館、長畝第二公民館の5%から磯部公民館の31%となっています。

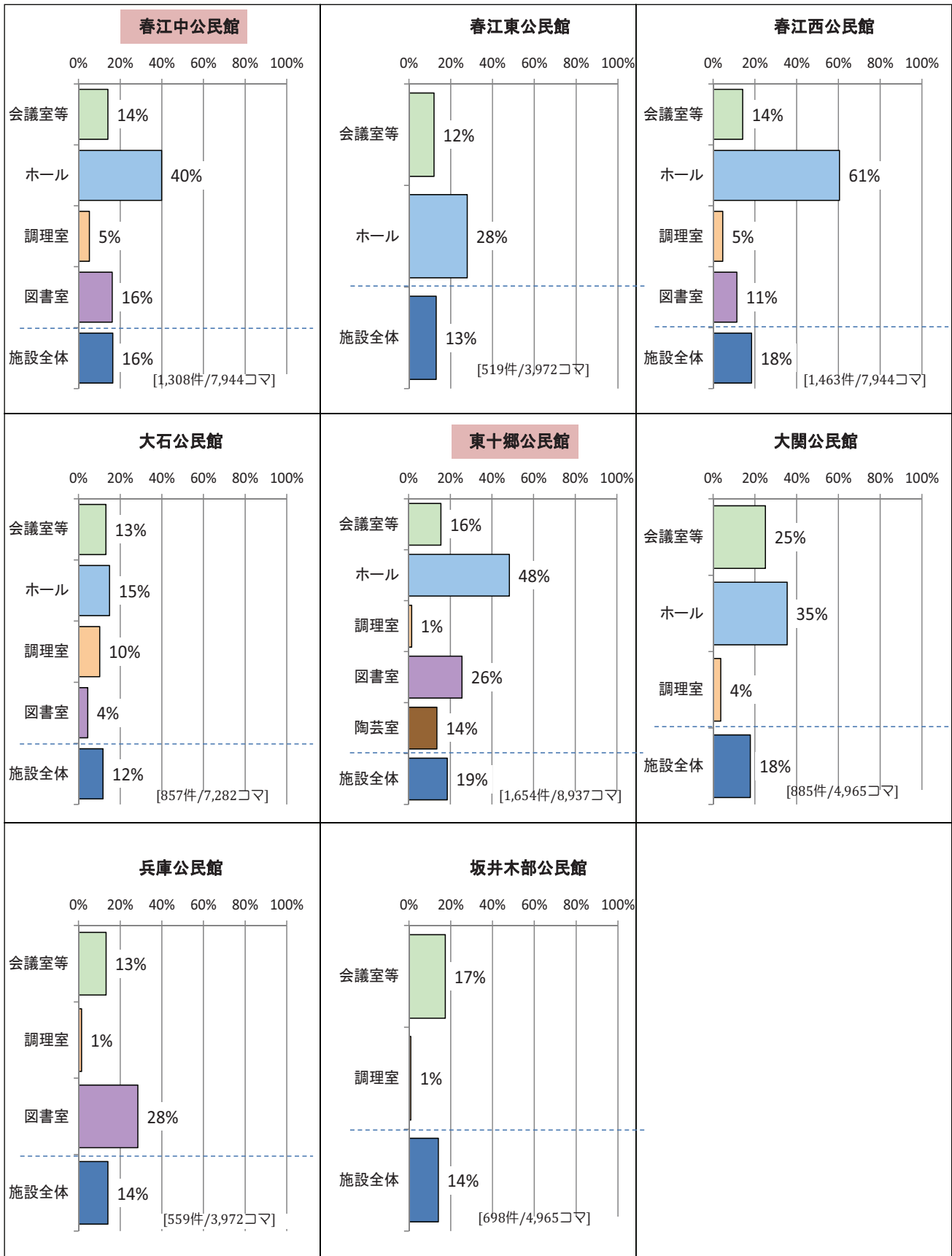
(2008年度(H20年度))



(2008 年度 (H20 年度))



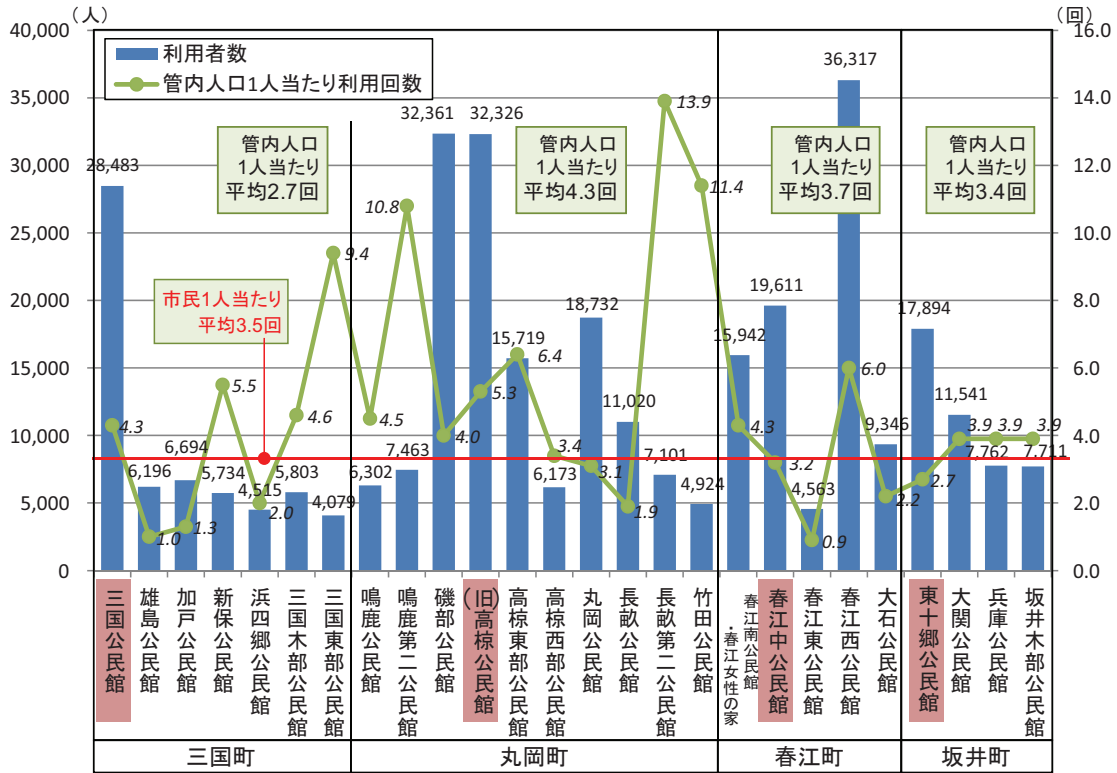
(2008年度(H20年度))



公民館別の管内人口と利用者数から管内人口1人当たりの年間利用回数を把握すると、長畝第二公民館の13.9回が最も多く月に1回以上利用しているのに対して、春江東公民館は年間0.9回と最も少なく管内住民は1人1回に届いていない状況です。市民1人当たり平均では年間3.5回利用しており、丸岡町は4.3回で全体的に利用が多い傾向となっています。

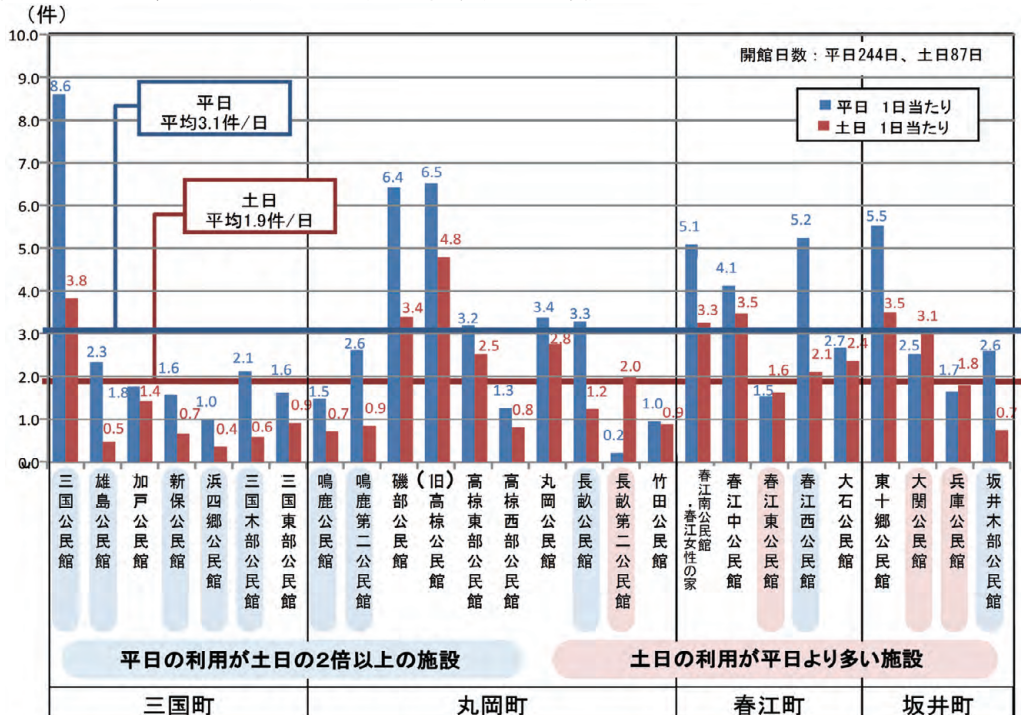
平日/土日別の利用状況を見ると、平日平均3.1件/日、土日平均1.9件/日となっており、平均的には平日の利用が土日の利用の1.6倍となっています

図 公民館施設別 利用者数と管内人口1人当たりの利用回数(2008年度(H20年度))



※ 図では、管内人口の利用回数を示していますが、各公民館の利用にあたっては、管外の利用者も含まれています。

図 公民館施設別 平日/土日別(1日当たり)利用件数(2008年度)



■ 主催事業

主催事業の年間の開催回数は1,387回、延出席者数は合計16,097人です。

分類別開催回数では、生け花や手芸等の趣味・実用講座が427回と最も多く、次いで、スポーツ講座の283回となっています。趣味・実用、スポーツで全体の5割を占めています。

延出席者数を町別に見ると、三国町はスポーツ講座の開催が多く住民に占める講座生登録率は4.0%、

丸岡町はスポーツ講座や子ども向け講座が多く登録率は5.4%、春江町はバランス良く講座を開催しており登録率は1.8%、坂井町はカラオケ等の音楽講座が多く登録率は2.6%となっています。

人口1人当たりの参加回数を町別で見ると、最大0.3回/人(丸岡町)から最小0.1回/人(春江町)で、全町において主催事業への参加は1回以下となっています。

図 分類別開催回数(市全体)(2008年度(H20年度))

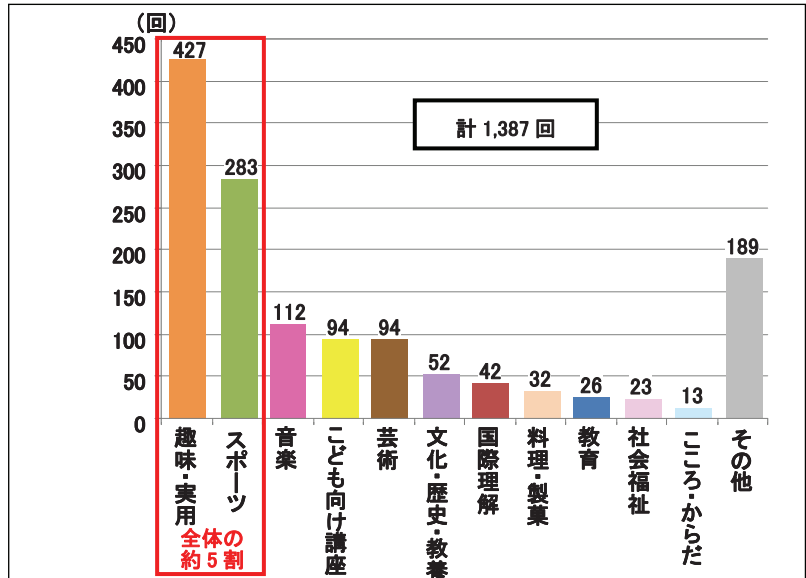
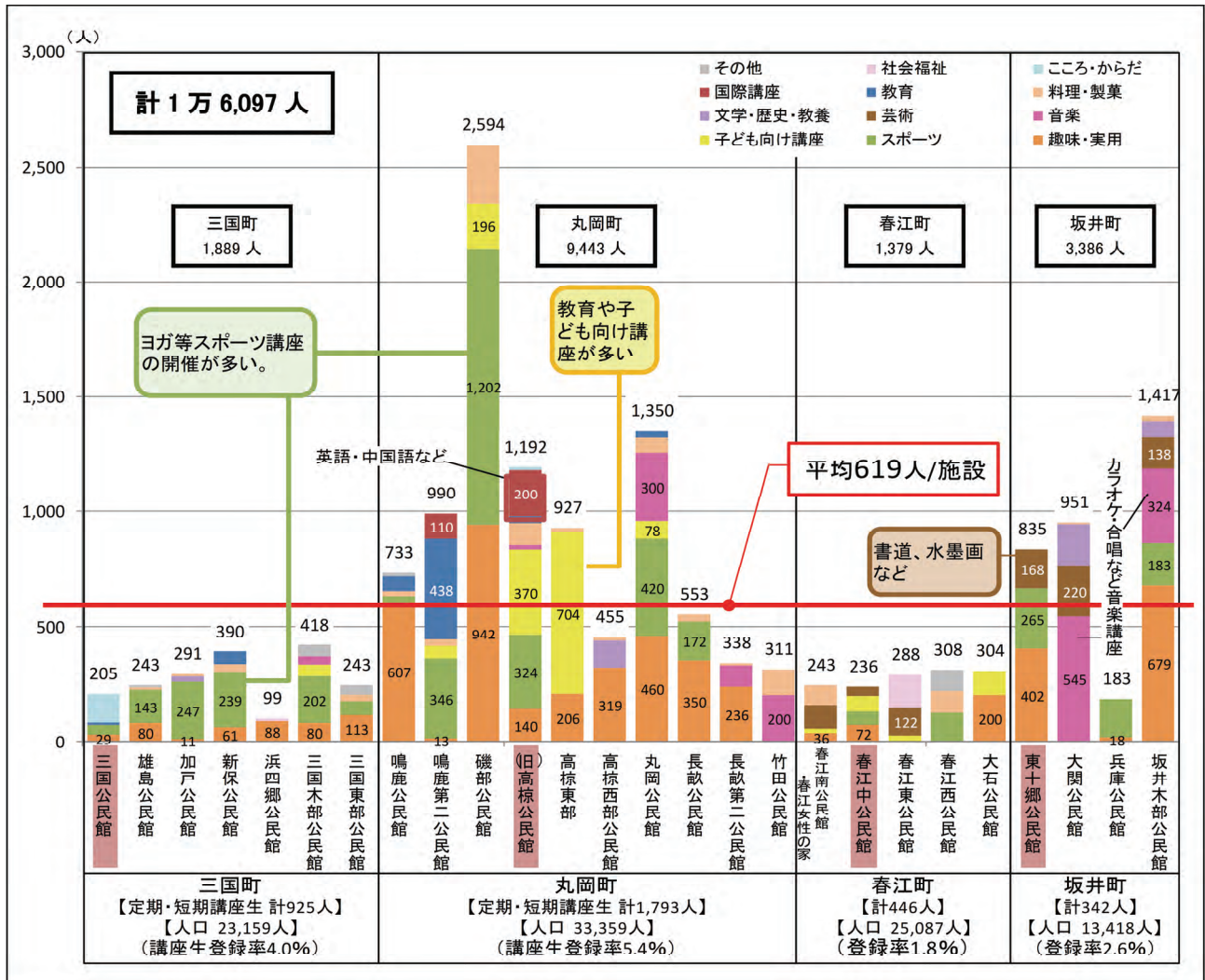


図 施設別 延出席者数(2008年度)



※ 図では、管内人口の利用回数を示していますが、各公民館の利用にあたっては、管外の利用者もいます。

■ 自主講座・サークル

自主講座・サークルの年間の開催回数は1万3,015回、延出席者数は合計11万7,355人です。

分類別開催回数では、音楽講座が3,543回と最も多く、次いで、スポーツ講座の3,173回、趣味・実用の2,768回となっています。音楽講座、スポーツ、趣味・実用で全体の7割を占め、長畝第二公民館を除く全館で開催されています。

延出席者数を4町別に見ると、主催講座と同様に、丸岡町が最も多く4万5,027人(38%)、次いで春江町が2万8,570人(24%)、三国町が2万4,315人(21%)、坂井町が1万9,443人(17%)となっています。

人口1人当たりの参加回数を町別で見ると、三国町が約1.0回/人、丸岡町が約1.3回/人、春江町が約1.1回、坂井町が約1.4回/人です。三国町・丸岡町・坂井町では、拠点公民館を中心に活動が盛んに行われており、春江町は拠点公民館の区分にあまり関係なく、各公民館で活動が行われています。

図 分類別開催回数(市全体)(2008年度(H20年度))

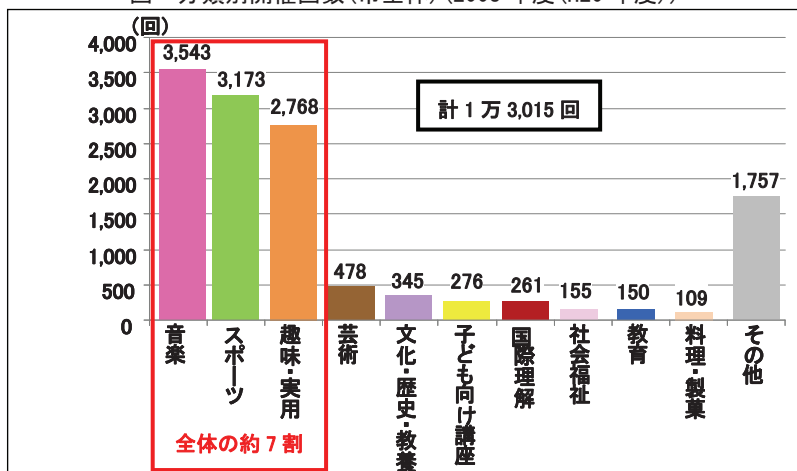
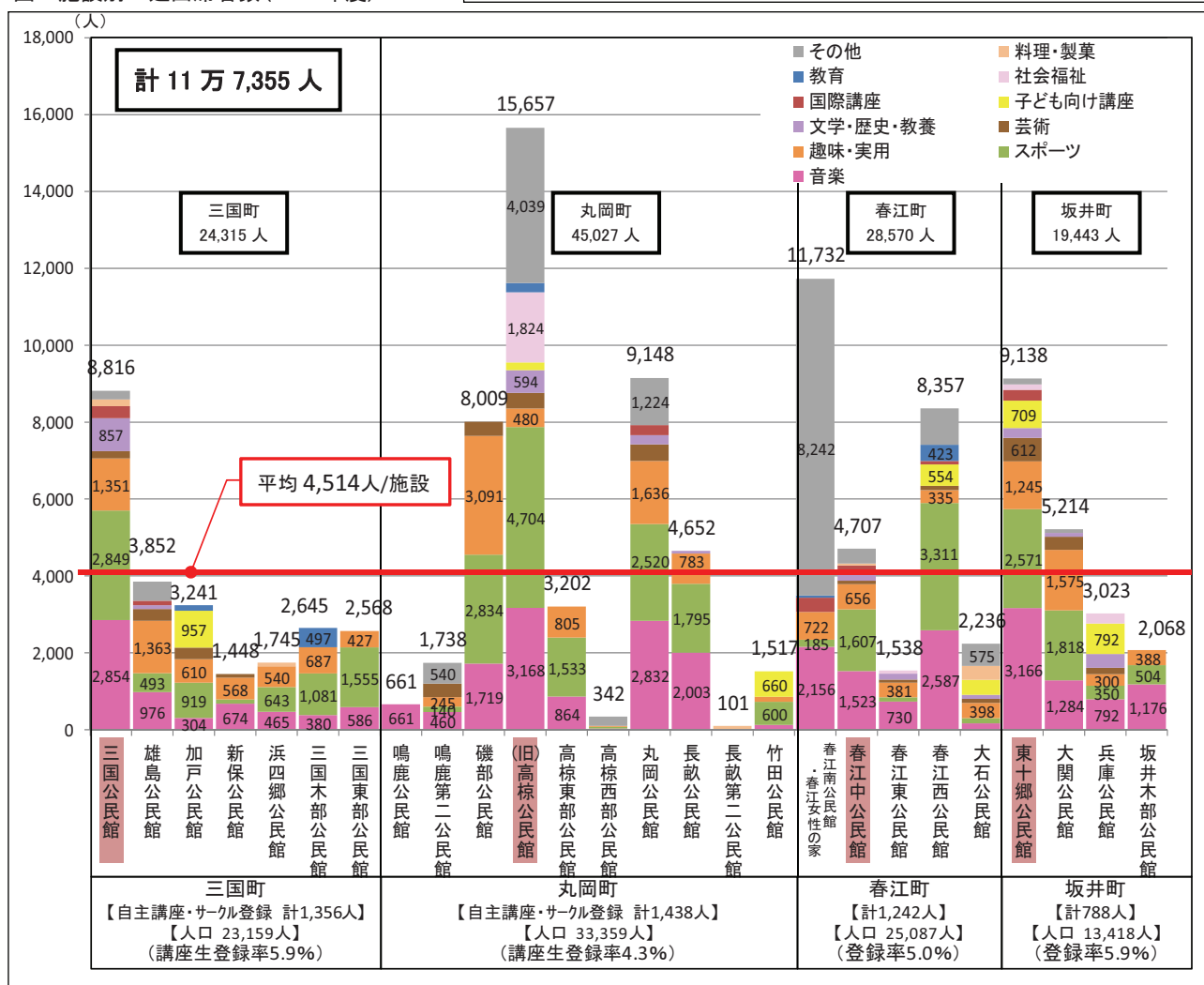


図 施設別 延出席者数(2008年度)



※ 図では、管内人口の利用回数を示していますが、各公民館の利用にあたっては、管外の利用者もいます。

ウ) 運営状況

公民館 26 館の 2008 年度(H20 年度)の運営人員は、合計約 69 人です。その内訳は、館長が 23 人、市職員が 20 人、臨時職員が約 23 人、非常勤の社会教育指導員が 3 人です。この他に、夜間・休日の管理人、用務員が従事しており、一部の館ではシルバー人材センターに委託しています。

1 館当たりの運営人員は 1 人から 6 人で、平均すると 1 館当たり約 3 人が従事しています。拠点公民館は 1 館当たり 5 人、その他の公民館は 1 人から 3 人が従事しています。

また、2008 年度から職員配置の見直しを行っています。公民館主事の配置については、公民館の規模に応じて臨時職員の複数配置を目指しており、また、夜間・休日の管理人、用務員については、順次シルバー人材センターへ委託している状況です。

表 運営人員(2008 年度～2011 年度(H23 年度) 毎年度 6 月 1 日現在)

(人)

区分	三国	雄島	加戸	新保	浜四郷	三国木部	三国東部	鳴鹿	鳴鹿第二	
2008 年度	館長	1	1	1	1	1	1	1 (兼務)		
	市職員	2		1	1	1		1		
	臨時職員	1	1				1	1	1	
	社会教育指導員	1								
	合計	5	2	2	2	2	2	3	1	
	夜間・休日管理人	■	■	■	■	■	■	■	○	○
	用務員	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2009 年度	館長	1	1	1	1	1	1	1 (兼務)		
	市職員	1		1		1		1		
	臨時職員	2	1		1	1		1	1	
	社会教育指導員	1								
	合計	5	2	2	2	2	2	3	1	
	夜間・休日管理人	■	■	■	■	■	■	■	○	○
	用務員	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2010 年度	館長	1	1	1	1	1	1	1 (兼務)		
	市職員	1		1				1		
	臨時職員	2	2	1	1	1	1	1	1	
	社会教育指導員	1								
	合計	5	3	3	2	2	2	2	3	1
	夜間・休日管理人	■	■	■	■	■	■	■	○	○
	用務員	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2011 年度	館長	1	1	1	1	1	1	1 (兼務)		
	市職員	1								
	臨時職員	2	1	2	1	1	2	1	2	1
	社会教育指導員	1								
	合計	5	2	3	2	2	3	2	3	1
	夜間・休日管理人	■	■	■	■	■	■	■	■	○
	用務員	■	■	■	■	■	■	■	■	■

	区分	磯部	(旧)高椋	高椋西部	高椋東部	丸岡	長畝	長畝第二	竹田	春江南
2008年度	館長	1	1 (兼務)		1	1	1 (兼務)		1	1
	市職員	1	1		1	1	1		1	1
	臨時職員	1	3	1	1	1	1	0.75	1	1
	社会教育指導員		1							
	合計	3	6	1	3	3	3	0.75	3	3
	夜間・休日管理人 用務員	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■	○ ■
2009年度	館長	1	1 (兼務)		1	1	1 (兼務)		1	1
	市職員	1	1		1		1			1
	臨時職員	1	2	1	1	2	1	0.75	2	1
	社会教育指導員		1							
	合計	3	5	1	3	3	3	0.75	3	3
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
2010年度	館長	1	1 (兼務)		1	1	1 (兼務)		1	1
	市職員		1		1					
	臨時職員	2	2	1	1	2	2	0.75	2	2
	社会教育指導員		1							
	合計	3	5	1	3	3	3	0.75	3	3
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
2011年度	館長	1	1 (兼務)		1	1	1 (兼務)		1	1
	市職員		1							
	臨時職員	2	3	1	2	2	2		2	2
	社会教育指導員		1							
	合計	3	6	1	3	3	3	0	3	3
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■

	区分	春江中	春江東	春江西	大石	東十郷	大関	兵庫	坂井木部	合計
2008年度	館長	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	市職員	1	1	1	1	1	1			20
	臨時職員	2		1		2		1	1	22.75
	社会教育指導員					1				3
	合計	4	2	3	2	5	2	2	2	68.75
	夜間・休日管理人 用務員	■ ◎	■ ◎	■ ■	■ ◎	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
2009年度	館長	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	市職員	1	1		1	1	1			14
	臨時職員	2		2		2		1	1	27.75
	社会教育指導員	1				1				4
	合計	5	2	3	2	5	2	2	2	68.75
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ◎	■ ■	■ ◎	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
2010年度	館長	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	市職員	1				1				7
	臨時職員	2	1	2	1	2	2	1	1	37.75
	社会教育指導員	1				1				4
	合計	5	2	3	2	5	3	2	2	71.75
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ■	■ ■	■ ◎	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
2011年度	館長	1	1	1	1	1	1	1	1	23
	市職員	1				1				4
	臨時職員	2	2	2	1	2	2	1	1	42.00
	社会教育指導員	1				1				4
	合計	5	3	3	2	5	3	2	2	73
	夜間・休日管理人 用務員	■ ■	■ ■	■ ■	■ ◎	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■

職務形態	館長	非常勤	
	市職員	常勤	
	臨時職員	常勤	
	社会教育指導員	非常勤	
	夜間・休日管理人	■	民間委託
		○	パート
用務員	■	民間委託	
	◎	臨職・常勤	

エ) コスト状況

高椋公民館を除く 25 館の年間トータルコストは、3 億 9,681 万円、1 施設当たり平均 1,587 万円です。

3 億 9,681 万円のうち、施設維持にかかるコストは 7,408 万円(19%)、事業運営にかかるコスト(運営費・人件費)は 2 億 6,910 万円(68%)、減価償却費は 5,363 万円(14%)です。

表 行政コスト計算書(2008 年度(H20 年度))

(千円)

I. 現金収支を伴うもの		三国	雄島	加戸	新保	浜四郷	三国木部	三国東部	鳴鹿	鳴鹿第2	磯部	高椋東部	高椋西部	丸岡	長畝	長畝第2	竹田
【コストの部】		公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館	公民館
施設維持にかかるコスト	各所修繕費	247	306	39	51	55	330	15	34	152	368	121	52	89	79	39	251
	老朽箇所修繕費	0	0	0	1,313	141	368	221	0	0	99	0	872	0	0	0	0
	光熱水費	3,264	691	752	1,032	1,031	322	416	912	624	1,365	1,226	706	1,532	1,302	493	727
	建物管理委託費	3,280	1,085	1,359	1,217	1,358	1,242	1,277	454	219	450	460	306	1,298	352	308	250
	土地賃借料	0	0	0	0	0	0	0	556	0	0	808	474	1,125	513	0	325
	土地・建物以外賃借料	154	95	95	37	95	37	37	118	107	118	221	107	118	118	0	118
	使用料	323	56	23	15	46	56	23	113	66	169	191	53	83	85	66	53
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	施設維持にかかるコスト計	7,268	2,233	2,268	3,665	2,726	2,355	1,989	2,187	1,168	2,569	3,027	2,570	4,245	2,449	906	1,987
	事業運営にかかるコスト	職員人件費	15,658	0	7,829	7,438	7,438	7,046	0	7,829	0	7,829	7,829	0	7,829	7,829	0
非常勤職員人件費		2,013	2,014	1,697	1,908	1,971	1,841	2,045	2,013	0	2,013	2,050	0	2,013	1,874	0	2,050
臨時職員人件費		2,823	2,080	0	0	0	0	2,028	2,791	2,802	3,001	3,075	2,997	3,609	3,178	1,673	2,528
運営・企画業務委託		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0
負担金補助及び交付金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	213	0	0	0	0
市債利息償還金		43	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	1,389	0	0	96
その他物件費		900	664	444	412	532	701	342	969	718	880	772	560	1,251	868	331	760
事業運営にかかるコスト計		21,437	4,758	9,970	9,758	10,024	9,588	4,415	13,602	3,520	13,723	13,726	3,770	16,091	13,799	2,004	13,263
現金収支を伴うコスト 計	28,705	6,991	12,238	13,423	12,750	11,943	6,404	15,789	4,688	16,292	16,753	6,340	20,336	16,248	2,910	15,250	
【収益の部】																	
公民館使用料	786	160	151	129	58	110	107	116	113	293	344	107	474	271	23	35	
その他使用料(自販機設置等)	0	64	51	53	53	46	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	
諸収入	223	91	100	192	66	177	60	414	290	7	108	352	575	388	128	111	
現金収支を伴う収益 計	1,009	315	302	374	177	333	167	530	460	300	452	459	1,049	659	151	146	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】	三国	雄島	加戸	新保	浜四郷	三国木部	三国東部	鳴鹿	鳴鹿第2	磯部	高椋東部	高椋西部	丸岡	長畝	長畝第2	竹田
減価償却費	6,697	1,742	1,809	2,342	2,602	1,823	1,246	1,297	993	2,274	2,189	1,462	1,834	2,086	945	1,313

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	35,402	8,733	14,047	15,765	15,352	13,766	7,650	17,086	5,681	18,566	18,942	7,802	22,170	18,334	3,855	16,563
収支差額(ネットコスト)	34,393	8,418	13,745	15,391	15,175	13,433	7,483	16,556	5,221	18,266	18,490	7,343	21,121	17,675	3,704	16,417

※ 高椋公民館が丸岡総合支所へ移転したことに伴い(2011年(H23年)11月供用開始)全公民館 25 館として比較・分析しています。

I. 現金収支を伴うもの		春江南・女性の家	春江中公民館	春江東公民館	春江西公民館	大石公民館	東十郷公民館	大開公民館	兵庫公民館	坂井木部公民館	合計
施設維持にかかるコスト	各所修繕費	1,116	250	112	154	58	288	34	60	129	4,429
	老朽箇所修繕費	50	0	0	173	0	0	0	0	0	3,237
	光熱水費	1,861	2,454	604	2,958	947	1,613	797	457	718	28,804
	建物管理委託費	2,672	1,169	553	1,967	690	1,225	1,396	526	1,068	26,181
	土地賃借料	1,116	0	179	0	627	432	270	0	310	6,735
	土地・建物以外賃借料	92	0	56	7	5	152	90	282	152	2,411
	使用料	74	56	42	56	116	105	34	58	58	2,020
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	施設維持にかかるコスト計	6,981	3,929	1,546	5,315	2,443	3,815	2,621	1,383	2,435	74,080
	事業運営にかかるコスト	職員人件費	7,829	7,829	7,829	7,829	7,829	7,829	7,829	0	0
非常勤職員人件費		2,045	2,016	2,050	2,045	2,050	2,013	2,013	2,050	2,037	43,821
臨時職員人件費		2,055	5,734	1,428	1,770	1,940	4,817	0	2,982	2,886	56,197
運営・企画業務委託		0	50	0	131	0	0	0	0	0	231
負担金補助及び交付金		8	0	0	0	0	0	0	0	0	221
市債利息償還金		19	0	0	0	0	1,640	1,322	0	0	4,592
その他物件費		683	470	570	445	491	930	869	293	993	16,848
事業運営にかかるコスト計		12,639	16,099	11,877	12,220	12,310	17,229	12,033	5,325	5,916	269,096
現金収支を伴うコスト 計	19,620	20,028	13,423	17,535	14,753	21,044	14,654	6,708	8,351	343,176	
【収益の部】											
公民館使用料	528	309	79	279	132	577	252	84	99	5,616	
その他使用料(自販機設置等)	0	88	0	58	0	55	0	0	0	525	
諸収入	156	97	200	162	79	526	454	71	587	5,614	
現金収支を伴う収益 計	684	494	279	499	211	1,158	706	155	686	11,755	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】	春江南・女性の家	春江中公民館	春江東公民館	春江西公民館	大石公民館	東十郷公民館	大開公民館	兵庫公民館	坂井木部公民館	
減価償却費	3,981	4,512	1,059	4,057	2,077	1,781	1,335	908	1,269	53,633

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	23,601	24,540	14,482	21,592	16,830	22,825	15,989	7,616	9,620	396,809
収支差額(ネットコスト)	22,917	24,046	14,203	21,093	16,619	21,667	15,283	7,461	8,934	385,054

施設別では、最小 386 万円(長畝第二公民館)から最大 3,540 万円(三国民館)と約 9 倍の差があります。拠点公民館 1 館当たりの平均トータルコストは 2,759 万円、その他の公民館は 1 館当たり 1,427 万円となっています。

公民館では使用料金を徴収しています。2008 年度の年間使用料収入は 1,176 万円、1 館当たり約 47 万円であり、光熱水費の約 41%となっています。

市職員・非常勤職員・臨時職員人件費は、合計約 2.5 億円でトータルコストの約 62%です。

図 公民館全施設 トータルコスト(2008 年度(H20 年度))

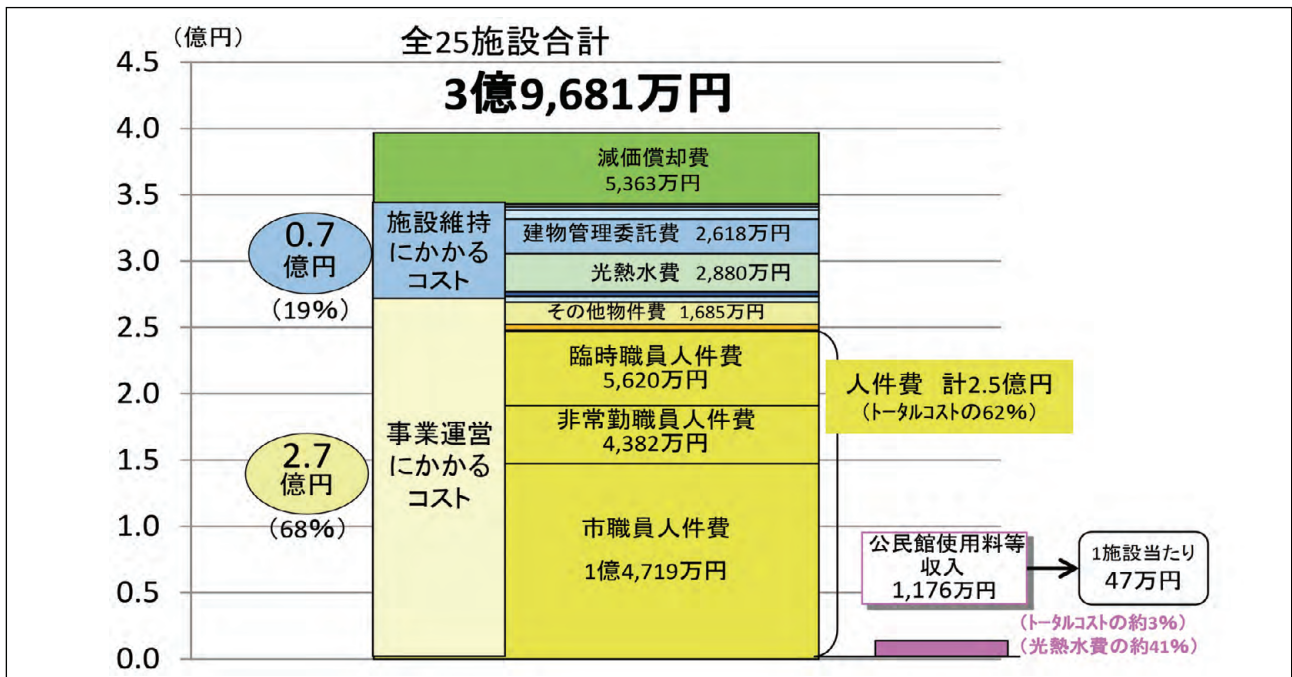
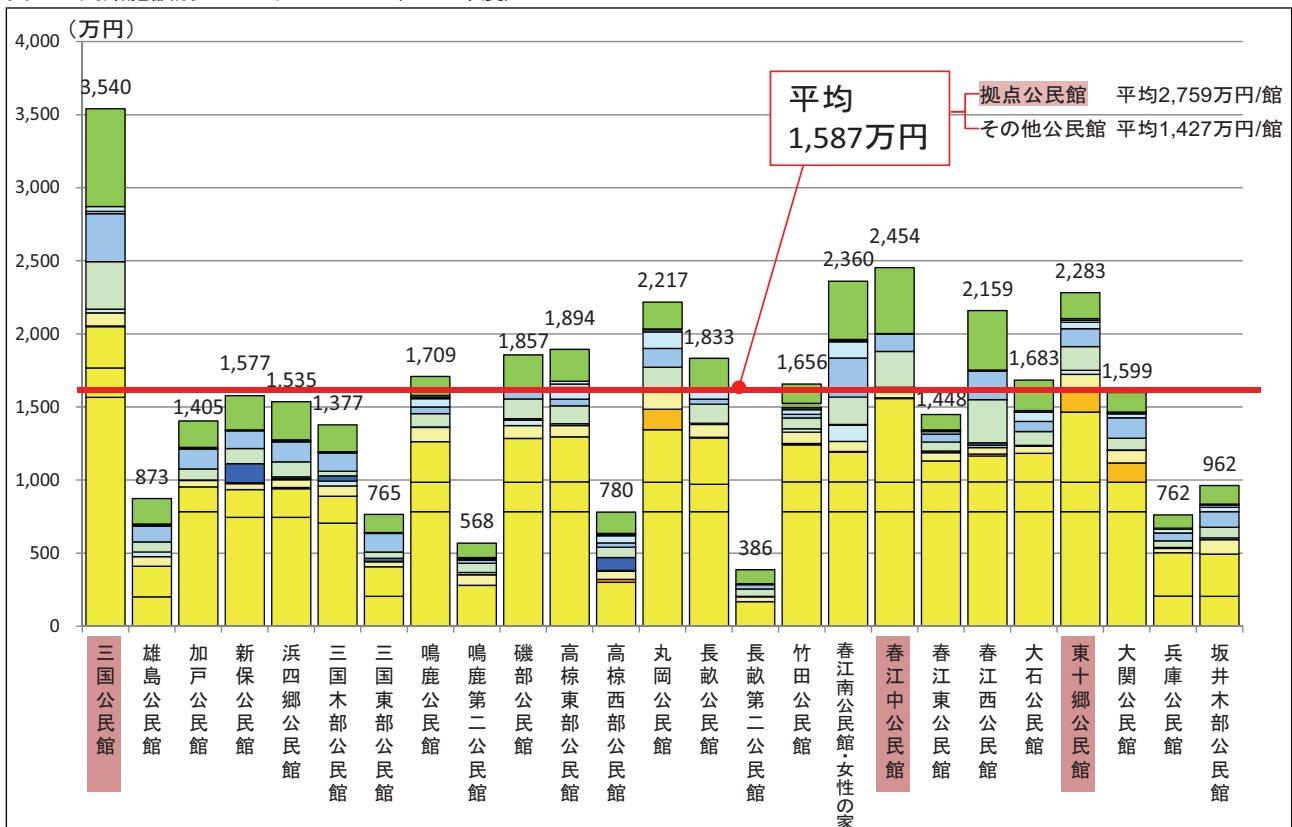


図 公民館施設別 トータルコスト(2008 年度)



③ 評価・分析

■ 規模別に見た「利用・運営状況、トータルコスト・利用1件当たりのコスト」の関係
 規模別(図 公民館規模別分類・内訳)に1公民館当たりの管内人口を比較すると、大規模公民館は5,838人、中/大規模公民館は4,283人、中/小規模公民館は3,112人、小規模公民館は1,513人となっており、規模により管内人口が増加しています。

図 公民館規模別分類

区分	延床面積		管内人口 H22. 4. 1	
	範囲	平均	範囲	平均
大規模公民館 (6施設)	1,000㎡以上	1,605㎡	3,669人~6,635人	5,838人
中/大規模公民館 (6施設)	800㎡~1,000㎡	901㎡	1,048人~8,031人	4,283人
中/小規模公民館 (8施設)	500㎡~800㎡	653㎡	1,251人~6,015人	3,112人
小規模公民館 (6施設)	~500㎡	399㎡	432人~5,028人	1,513人

図 公民館規模別内訳

	名称		名称		名称		名称
大規模	三国公民館	中/ 大規模	丸岡公民館	中/ 小規模	大石公民館	小規模	竹田公民館
	春江中公民館		浜四郷公民館		鳴鹿公民館		三国東部公民館
	(旧)高椋公民館		高椋東部公民館		三国木部公民館		春江東公民館
	春江西公民館		新保公民館		加戸公民館		鳴鹿第二公民館
	春江南公民館・女性の家		長畝公民館		雄島公民館		長畝第二公民館
	東十郷公民館		磯部公民館		大関公民館		兵庫公民館
	※一部、高椋公民館のデータは除く				高椋西部公民館		
		坂井木部公民館					

利用件数、利用者数、運営人員、トータルコストを見ると、公民館規模が大きくなるに従って増加しています。これは、大規模公民館は多様なスペース構成と広いホールを保有していることから市内全域の市民に利用されており、一方、公民館規模が小さくなるに従って、地域での利用が多い傾向が要因として挙げられます。これら4つの実態は、公民館の規模の大小と深く関連しています。(図 規模別 利用・運営状況、トータルコストの比較)

図 規模別 利用・運営状況、トータルコストの比較 (規模別に平均して比較)

	大規模公民館	中/大規模公民館	中/小規模公民館	小規模公民館
	管内人口 平均5,838人/施設	管内人口 平均4,283人/施設	管内人口 平均3,112人/施設	管内人口 平均1,513人/施設
規模・スペース構成	<p>平均1,605㎡</p> <p>会議 327 ホール 342</p> <p>1,001㎡以上</p>	<p>平均 901㎡</p> <p>会議 233 ホール 197</p> <p>801㎡~1,000㎡</p>	<p>平均 653㎡</p> <p>会議 204 ホール 79</p> <p>501㎡~800㎡</p>	<p>平均 399㎡</p> <p>会議 129 ホール 26</p> <p>~500㎡</p>
利用件数	<p>平均 1,734件</p> <p>2,433件 ~ 1,308件</p> <p>範囲</p>	<p>平均 926件</p> <p>1,863件 ~ 274件</p>	<p>平均 622件</p> <p>885件 ~ 378件</p>	<p>平均 467件</p> <p>711件 ~ 224件</p>
利用者数	<p>平均 25,096人</p> <p>36,317人 ~ 15,942人</p>	<p>平均 14,680人</p> <p>32,361人 ~ 4,515人</p>	<p>平均 7,471人</p> <p>11,541人 ~ 5,803人</p>	<p>平均 5,982人</p> <p>7,762人 ~ 4,079人</p>
運営人員	<p>平均4.3人</p> <p>6人 ~ 3人</p>	<p>平均2.7人</p> <p>3人 ~ 2人</p>	<p>平均 2.0人</p> <p>3人 ~ 1人</p>	<p>平均1.8人</p> <p>3人 ~ 0.75人</p>
トータルコスト	<p>平均 2,525万円</p> <p>3,536万円 ~ 2,119万円</p>	<p>平均1,794万円</p> <p>2,078万円 ~ 1,527万円</p>	<p>平均 1,282万円</p> <p>1,709万円 ~ 780万円</p>	<p>平均 929万円</p> <p>1,647万円 ~ 386万円</p>

一方、同じ公民館規模の違いでも、1件当たりの利用者数、主催事業参加者数、自主講座・サークル活動参加者数、稼働率を見ると規模の違いによる影響はさほどありません。公民館が主催する講座数や団体等による自主講座・サークル活動数と、それらに参加する受講生の数の違いによって、1件当たりの利用者数や稼働率が大きく変わっています。(図 規模別 1件当たりの利用者数、主催事業参加者数、自主講座・サークル参加者、稼働率の比較)

図 1件当たりの利用者数

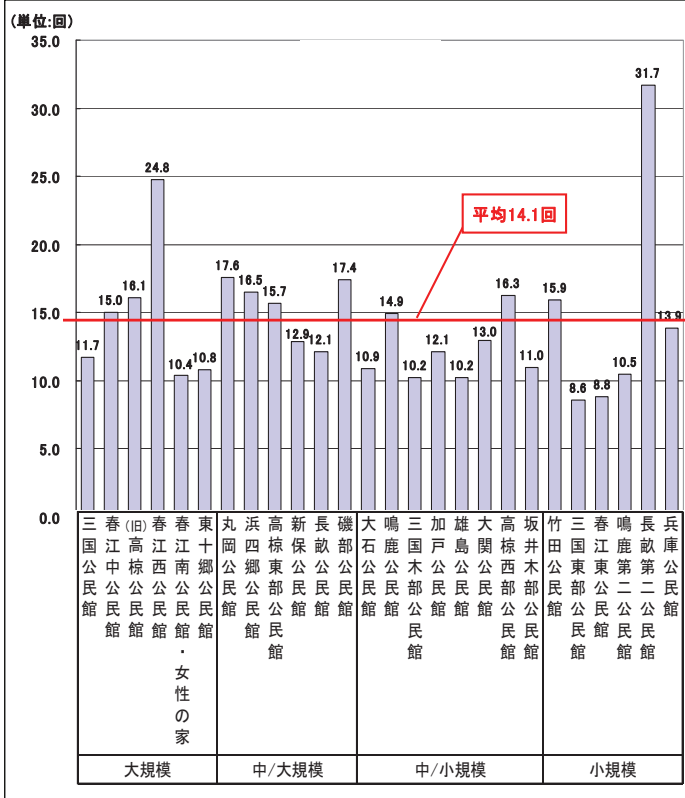


図 主催事業参加者数

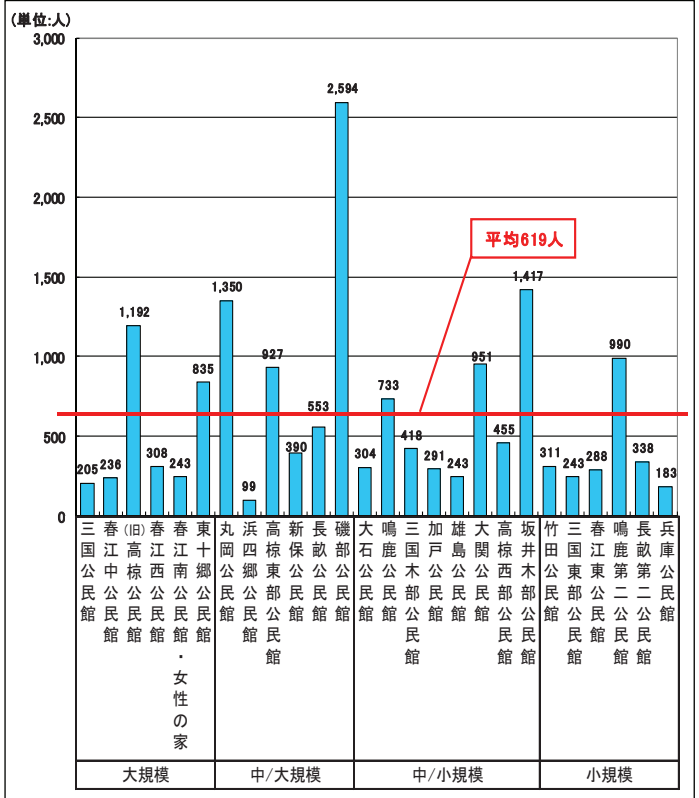


図 自主講座・サークル参加者数

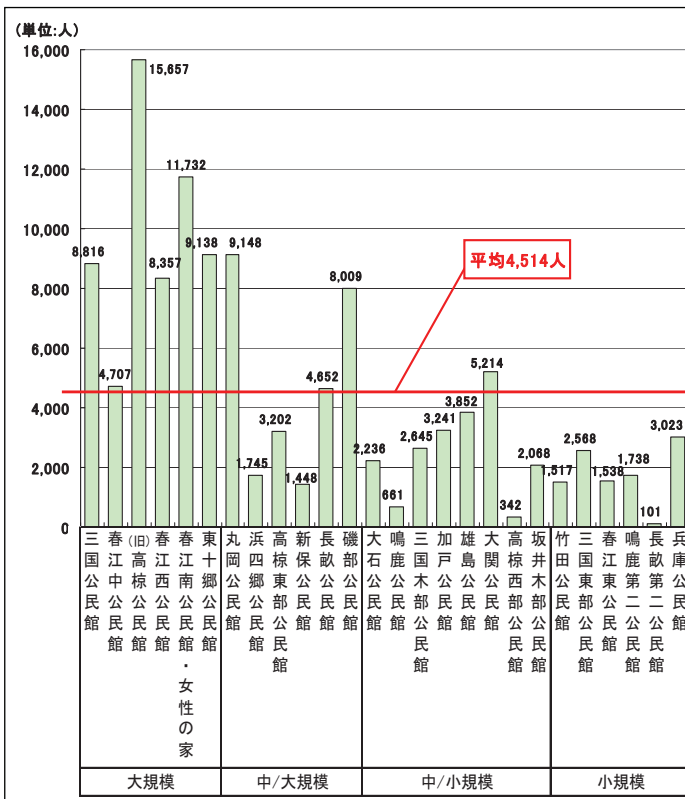
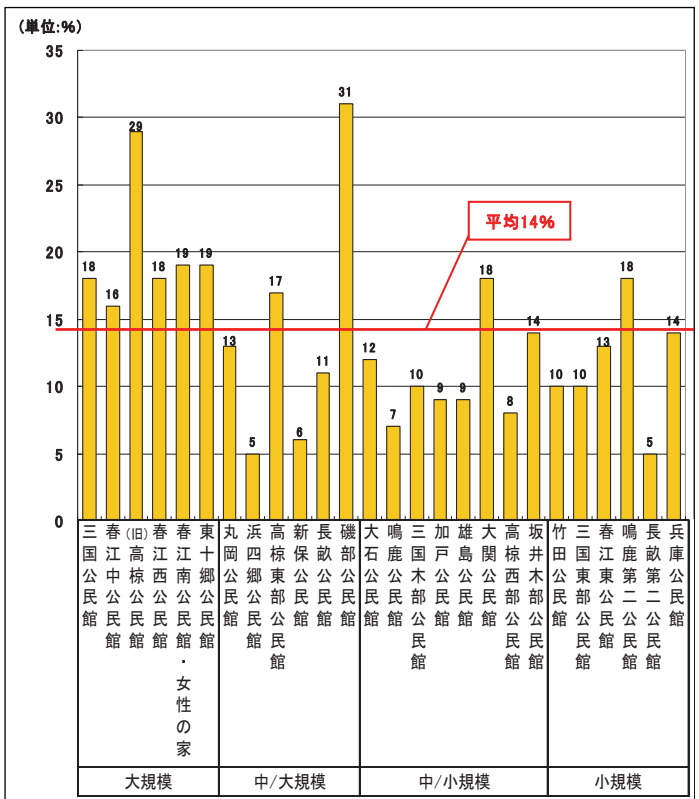
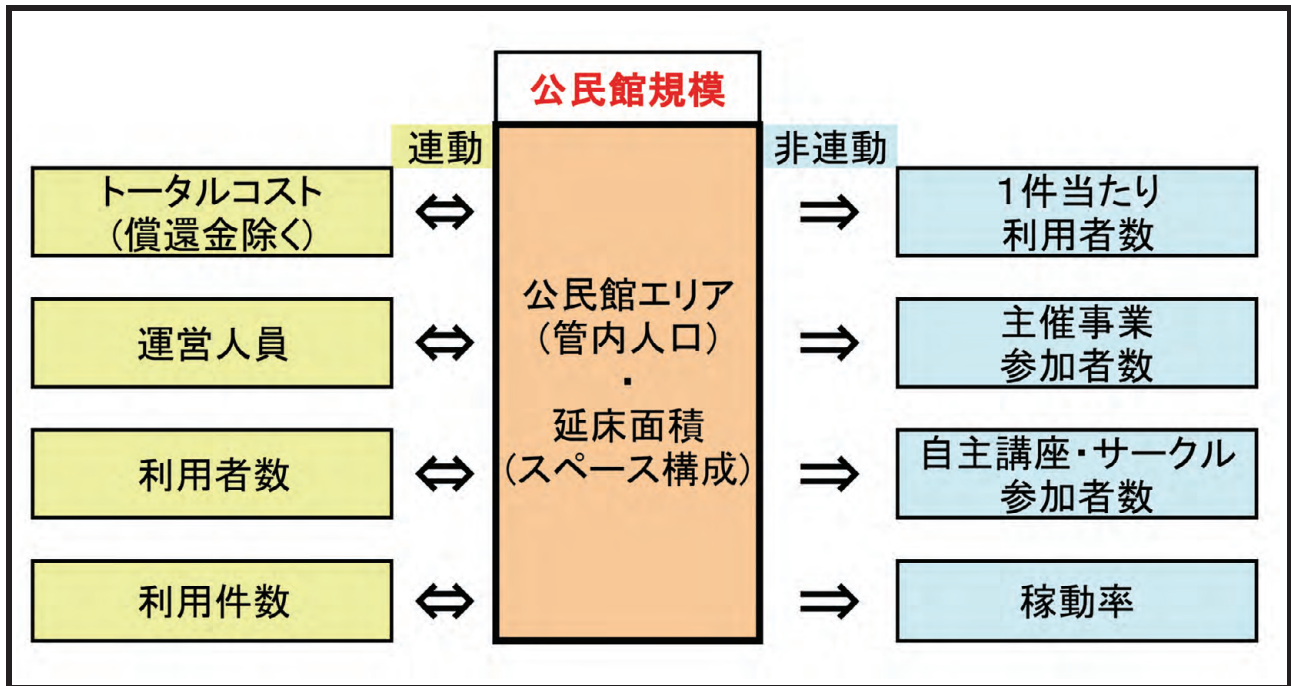


図 稼働率



このことから、運営人員や利用状況、トータルコスト(償還金は除く)は、公民館の規模の大小によって比例して増減しますが、利用や稼働の状況は、施設の規模の大小に関わらず公民館が主催する講座や団体等による自主講座・サークル活動の参加者が大きく影響しています。(図 公民館規模と実態の相関関係)

図 公民館規模と実態の相関関係



また、規模別(旧高椋公民館を除く)で利用1件当たりにかかるコスト(トータルコスト/利用件数で算出)を見ると、小規模公民館から中/大規模公民館は20,000円前後となっていますが、大規模公民館は14,446円で3割程度経費が抑えられています。これは、施設の老朽化の差による維持管理経費の大小や公民館事業(講座等)の違いなど、さまざまな要因が挙げられますが、大規模公民館は多種多様なスペース構成と集客能力が大きい大ホールを保有していることから、スケールメリットが十分機能し、効率よく稼働されていることが大きな要因となっています。

図 規模別 利用1件当たりのコスト

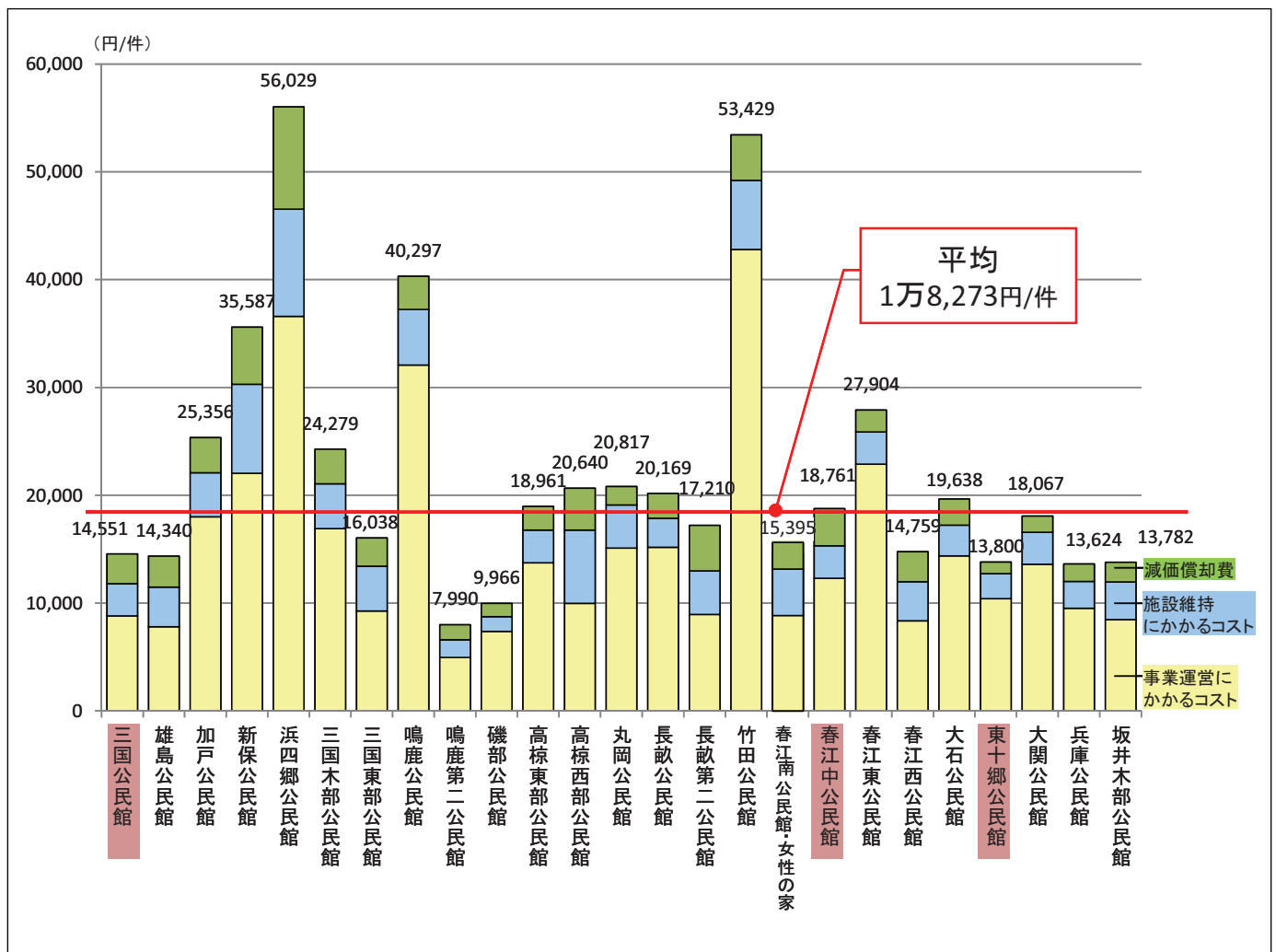
	大規模公民館 管内人口 平均5,838人/施設	中/大規模公民館 管内人口 平均4,283人/施設	中/小規模公民館 管内人口 平均3,112人/施設	小規模公民館 管内人口 平均1,513人/施設
利用1件当たりコスト	14,446円	19,377円	20,609円	19,897円

注: 大規模公民館のコスト(14,446円)は、中規模(19,377円)と小規模(19,897円)のコストに対して3割減を示されています。

さらに、公民館 25 館別(旧高椋公民館を除く)で利用 1 件当たりにかかるコスト(トータルコスト/利用件数で算出)を見ると平均 1 万 8,273 円/件となっています。施設別では鳴鹿第二公民館の 7,990 円から浜四郷公民館の 5 万 6,029 円と施設間で約 7 倍もの差があります。

これは、各公民館における管内人口数の差も関係していますが、運営面の工夫によるコストの効率化が大きな要因となっています。特に 1 件当たりのコストが割高となっている浜四郷公民館、竹田公民館の 2 館は、1 施設当たりにかかるトータルコストが、年間 1,535 万円から 1,656 万円と平均値の 1,587 万円とほぼ同額であるにもかかわらず、利用件数が年間 274 件から 310 件と極端に少なく、利用頻度とトータルコストの関係が大きく乖離している状況です。

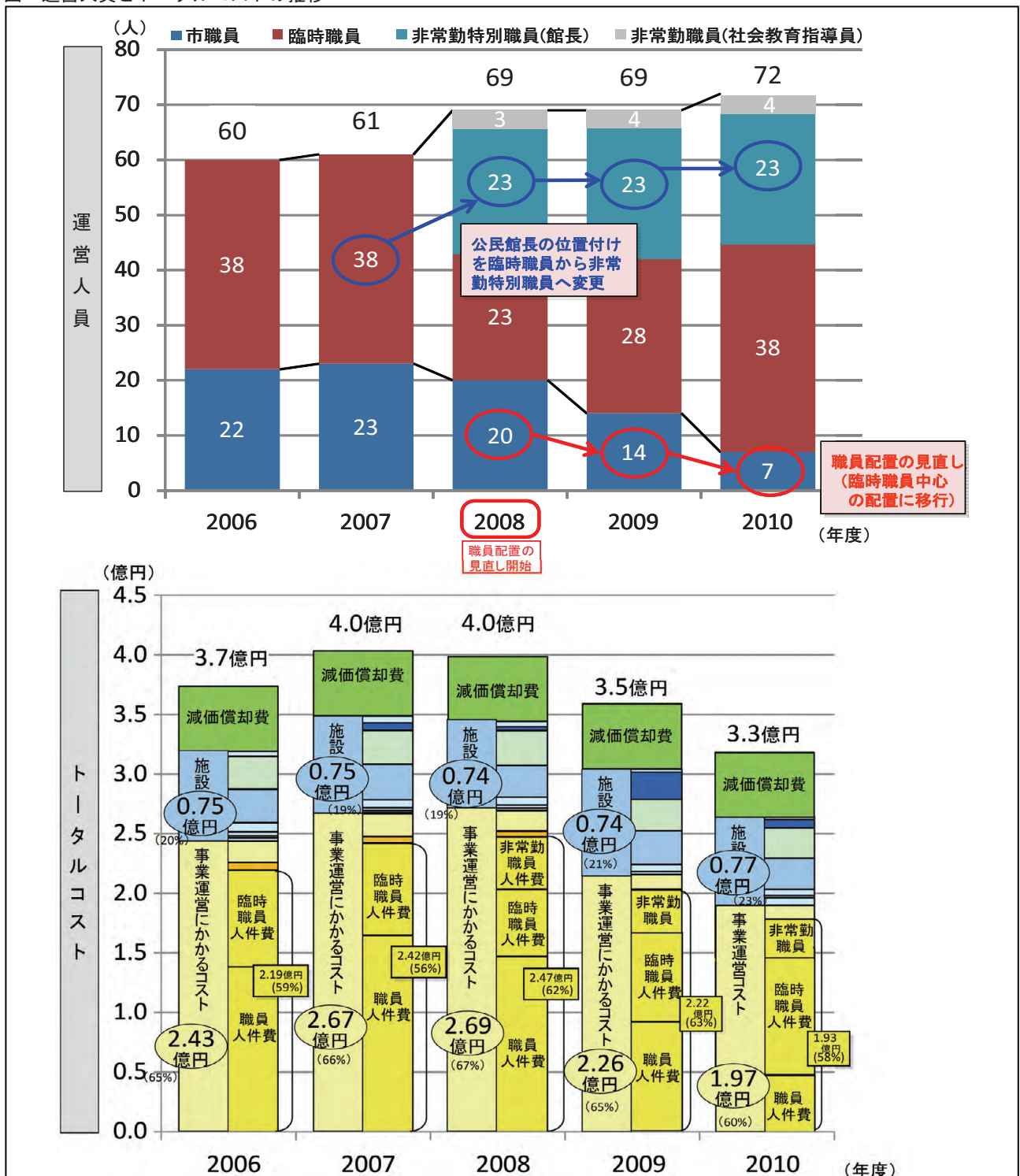
図 施設別 利用 1 件当たりコスト(2008 年度(H20 年度))



■ 運営人員とトータルコストの推移

2006年度(H18年度)以降、公民館の運営人員は60人から70人前後で推移していますが、トータルコストの推移をみると、2007年度(H19年度)の4億円を最大に翌年度以降3.3億円まで減少しています。これは、運営人員において2008年度(H20年度)まで分館以外の公民館を中心に市職員を配置していましたが、行政改革の取り組みの一環として職員適正化計画による職員配置の見直しを進め、非常勤・臨時職員中心の配置に変更してきたことにより人件費が抑制されたためです。このことから、人件費は2008年度までは約2.5億円前後で推移しておりトータルコストに占める割合も約65%でしたが、2009年度(H21年度)以降は2億円前後で推移しています。

図 運営人員とトータルコストの推移



(7) スポーツ施設(20 施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市のスポーツ施設は 20 施設で 3 万 2,420 m²です。その内訳は、地域に密着した地区体育館が 4 施設、市全体を対象とした体育施設が 16 施設です。(グラウンド、テニス場など建物が存在しない施設は除く)

表 施設一覧(建物を有する施設のみ)

(2011 年(H23 年)4 月 1 日現在)

種類	施設名	機能	延床面積 (m ²)	フィールド 客席等 面積(m ²)	建築年	指定 管理者	備考
地区 体育館	1 加戸体育館	体育館	842		1991		
	2 三国木部体育館	体育館	748		1988		
	3 臨海体育館	体育館	547		1986		
	4 新保体育館	体育館	812		1990		
体育施設	5 三国体育館	体育館、トレーニング室、スタジオ、武道館、会議室、卓球室、講座室	6,592		1976	●	指定期間: H21~H25年度
	6 丸岡体育館	体育館、スタジオ、会議室、卓球室	3,039		1977	●	指定期間: H23~H25年度
	7 丸岡今福体育館	体育館	1,014		1984	●	指定期間: H23~H25年度
	8 春江体育館	体育館、スタジオ、会議室、卓球室	1,719		1974	●	指定期間: H21~H25年度
	9 坂井体育館	体育館	1,114		1980	●	指定期間: H21~H25年度
	10 丸岡武道館	武道場	750		1984	●	指定期間: H23~H25年度
	11 坂井武道館	武道場	872		1987	●	指定期間: H21~H25年度
	12 丸岡スポーツランド	サッカー場	185	15,377	1992	●	指定期間: H23~H25年度
		合宿所	701		1992	●	指定期間: H23~H25年度
	13 丸岡フィットネスセンター	トレーニング室、スタジオ	865		1984	●	指定期間: H23~H24年度
	14 坂井屋内スポーツセンター	屋内競技場	1,768		1990	●	指定期間: H21~H25年度
	15 丸岡B&G海洋センター	屋内温水プール	1,559		1993	●	指定期間: H23~H24年度
	16 春江B&G海洋センター	体育館、武道場、会議室	1,218		1988	●	指定期間: H21~H25年度
	17 三国艇庫	艇庫	605		2002	●	指定期間: H21~H25年度
	18 三国運動公園	屋内温水プール	2,237		1989	●	指定期間: H20~H24年度
		野球場	1,409	17,891	1983	●	指定期間: H21~H25年度
陸上競技場		968	27,152	1982	●	指定期間: H21~H25年度	
19 丸岡運動公園 多目的屋内スポーツセンター	屋内競技場、会議室	2,310		2003	●	指定期間: H23~H25年度	
20 霞ヶ城公園屋内球技練習場	屋内球技場	546		2007	●	指定期間: H23~H25年度	
合計			32,420	60,420			

※1 延べ床面積は建物部分のみ

※2 紙面の都合上、図表中の施設名を次のように略記する場合があります。

丸岡スポーツランド: 丸岡スポ、丸岡フィットネスセンター: 丸岡フィットネス、坂井屋内スポーツセンター: 坂井屋内スポ、丸岡B&G海洋センター: 丸岡B&G、春江B&G海洋センター: 春江B&G、霞ヶ城屋内球技練習場: 霞ヶ城屋内球技、三国運動公園屋内温水プール: 三国屋内プール、三国運動公園野球場: 三国野球場、三国運動公園陸上競技場: 三国陸上競技場、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター: 丸岡屋内スポ

イ) 運営日、運営時間

■ 運営日

スポーツ施設の休館日は12月29日～翌年1月3日までとなっています。

■ 運営時間

市民等がスポーツの場やイベント会場として利用しており、多くのスポーツ施設の開館時間は、9:00～22:00となっています。他の用途の公共施設と異なり、市民等が夜間に利用することが多いことからほとんどの施設で22:00まで開館しており、利用者のニーズに対応しています。

表 施設別の運営時間(2008年度(H20年度))

施設名		開館時間			
		8時	12時	17時	22時
地区体育館 (4施設)	加戸体育館				
	三国木部体育館	8 : 3 0 ~ 2 1 : 3 0			
	臨海体育館				
	新保体育館				
体育館 (6施設)	三国体育館				
	丸岡体育館				
	丸岡今福体育館	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0			
	春江体育館				
	坂井体育館				
	春江B & G海洋センター				
	武道館 (2施設)	丸岡武道館	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0		
坂井武道館					
屋内 競技場 (3施設)	坂井屋内スポーツセンター				
	丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0			
	霞ヶ城公園屋内球技練習場				
屋内温水 プール (2施設)	丸岡B & G海洋センター	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0			
	三国運動公園屋内温水プール				
その他 (5施設)	丸岡スポーツランドサッカー場	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0			指定管理者の導入により22:00まで
	丸岡スポーツランド合宿所				
	丸岡フィットネスセンター	1 0 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0			
	三国運動公園野球場	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0			
	三国運動公園陸上競技場	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0		イベント開催時は22:00まで	

※ 三国艇庫は、ヨットの保管倉庫であるため、開館時間の設定はありません。

※ 三国運動公園陸上競技場は通常9:00～17:00ですが、イベント開催時は22:00まで運営しています。

ウ) 施設保有機能

20 施設中、10 施設で複数の機能を保有しています。最も保有機能が多いのは、三国運動公園の 9 機能、次いで三国体育館の 6 機能となっています。また、体育館や屋内競技場は多くの競技種目に対応しており、多目的に利用できるのが特徴です。

加戸体育館、三国木部体育館は公民館と併設しており、公民館講座の場としても利用されています。

表 施設保有機能一覧

施設名	加戸体育館	三国木部体育館	臨海体育館	新保体育館	三国体育館	丸岡体育館	丸岡今福体育館	春江体育館	坂井体育館	丸岡武道館	坂井武道館	
併設施設	公民館	●	●									
保有機能	建物有	体育館	●	●	●	●	●	●	●	●		
		武道館				●					●	●
		屋内競技場										
		トレーニング室				●			●			
		屋内プール										
		ゲートボール場										
		陸上競技場										
		野球場										
		サッカー場										
		艇庫										
		合宿所										
		卓球室					●	●	●			
		スタジオ					●	●				
		会議室等					●	●	●			●
建物無	グラウンド											
	ゲートボール場											
	テニスコート											
	屋外プール											
	マレットゴルフ											
	公園等											
合計	2	2	1	1	6	4	1	4	1	1	2	

施設名	丸岡スポーツランド	丸岡フィットネス	坂井屋内スポ	丸岡B&G	春江B&G	三国艇庫	三国運動公園	丸岡運動公園	霞ヶ城屋内球技	合計	
併設施設	公民館									2	
保有機能	建物有	体育館				●				10	
		武道館				●				4	
		屋内競技場			●				●	●	3
		トレーニング室		●							3
		屋内プール				●					1
		ゲートボール場						●			1
		陸上競技場						●			1
		野球場						●			1
		サッカー場	●								1
		艇庫						●			1
		合宿所	●								1
		卓球室									3
		スタジオ		●							3
		会議室等								●	5
建物無	グラウンド	●					●	●		3	
	ゲートボール場	●					●			3	
	テニスコート						●	●		2	
	屋外プール						●			2	
	マレットゴルフ						●			1	
	公園等						●	●		2	
合計	4	2	1	1	4	1	9	5	1	53	

エ) スペース構成

スポーツ施設の規模は、546 m²(霞ヶ城公園屋内球技練習場)から 6,592 m²(三国体育館)です(フィールド・客席等を除く)。規模の大きい、三国体育館や丸岡体育館、丸岡運動公園多目的屋内球技練習場には、競技スペースの他、会議室が設置されています。

【施設別・利用目的別】

地区体育館の規模は 547 m²(臨海体育館)から 842 m²(加戸体育館)となっています。公民館に併設している加戸体育館、三国木部体育館はスポーツをするためだけのスペース構成となっていますが、臨海体育館、新保体育館には和室が構成されています。

体育館の規模は、1,014 m²(丸岡今福体育館)から 6,592 m²(三国体育館)となっています。体育館の他にトレーニング室を備えるものが2施設、スタジオを備えるものが2施設、武道場を備えるものが2施設、会議室を備えるものが3施設あります。三国体育館、丸岡体育館、春江体育館は、多機能なため規模が大きくなっています。特に三国体育館は、体育館のスペースも広く充実した施設となっています。

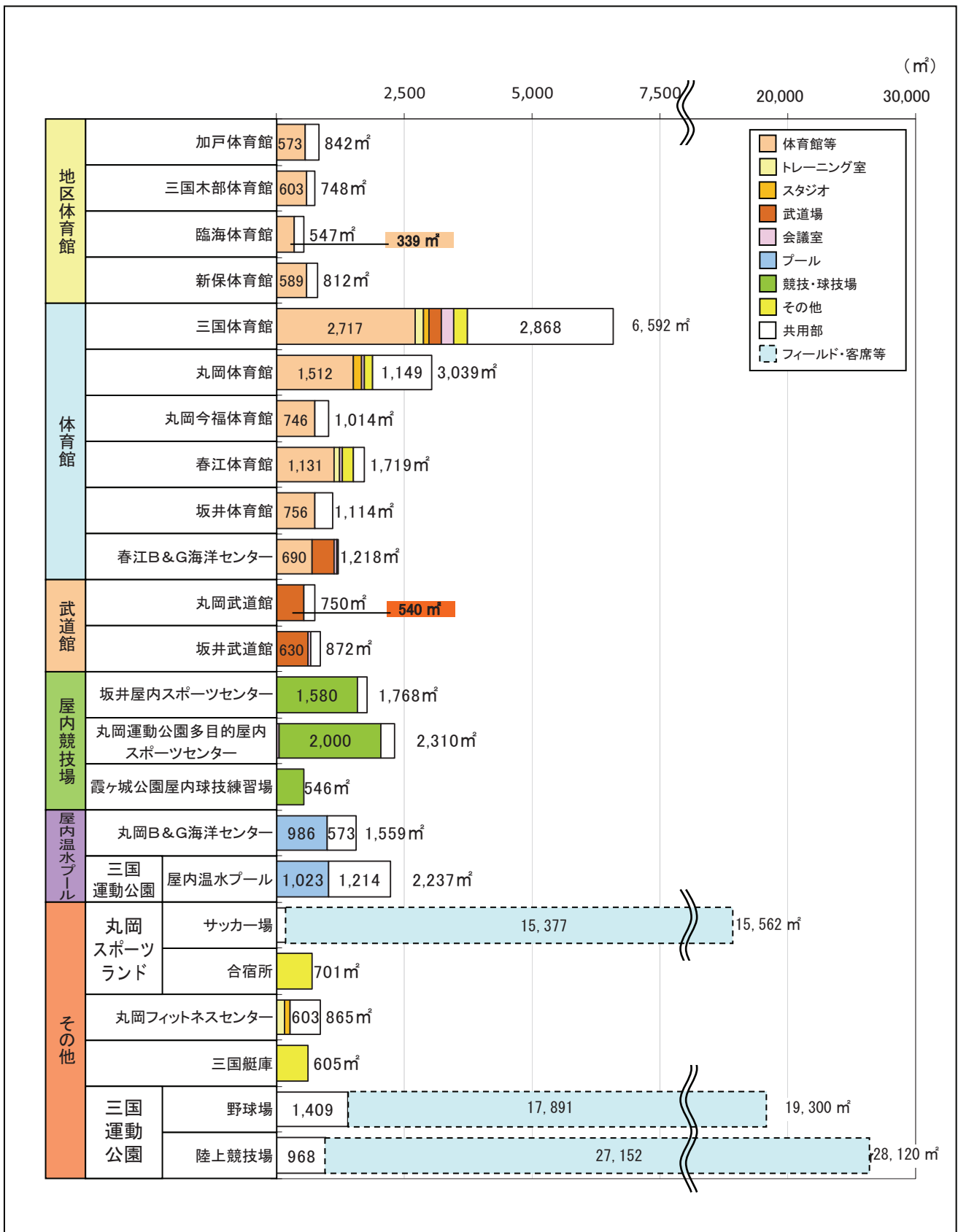
武道館の規模は 750 m²(丸岡武道館)から 872 m²(坂井武道館)となっています。丸岡武道館のスペースは武道場のみですが、坂井武道館には会議室が構成されています。

屋内競技場の規模は 546 m²(霞ヶ城公園屋内球技練習場)から 2,310 m²(丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター)となっています。丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター、坂井屋内スポーツセンターは、規模も大きく競技ができるスペースとなっていますが、霞ヶ城公園屋内球技練習場は規模が小さく主に練習やトレーニングをする施設として利用されています。

屋内温水プールの規模は 1,559 m²(丸岡B&G海洋センター)から 2,237 m²(三国運動公園屋内温水プール)となっています。施設の延床面積では1.4倍の差がありますが、プールの規模は 986 m²(丸岡B&G海洋センター)から 1,023 m²(三国運動公園屋内温水プール)とほぼ同じです。

その他の施設の規模は 605 m²(三国艇庫)から 1,409 m²(三国運動公園野球場)となっています(フィールド・客席等を除く)。丸岡スポーツランドサッカー場、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は、いずれもフィールド・客席等の大きな屋外スペースがあります。

図 スポーツ施設スペース構成



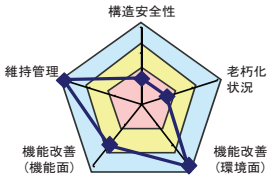
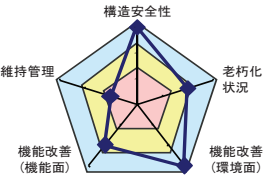
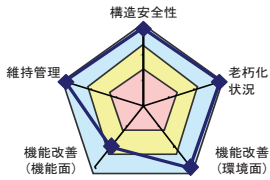
② 実態把握

ア) 建物総合評価

スポーツ 23 施設を以下の 3 パターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 3 施設が該当します。パターン②は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 13 施設が該当します。パターン③は、他の施設と比べ機能改善(機能面)に課題がある施設で 7 施設が該当します。

図 建物総合評価

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ② 今後、老朽化
評価	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性に課題がある 老朽化が進行している ⇒ 今後、建替えが必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 今は問題ない ⇒ 今後10～20年で大規模改修が必要な施設 
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・三国体育館 (1976年築) ・春江体育館 (1974年築) ・坂井体育館 (1980年築) <p>< 3施設 ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加戸体育館 (1991年築) ・三国木部体育館 (1988年築) ・臨海体育館 (1986年築) ・新保体育館 (1990年築) ・丸岡体育館 (1977年築) ・丸岡今福体育館 (1984年築) ・丸岡武道館 (1984年築) ・坂井武道館 (1987年築) ・坂井屋内スポーツセンター (1990年築) ・春江B&G海洋センター (1988年築) ・三国運動公園 (1989年築) 屋内温水プール ・三国運動公園野球場 (1983年築) ・三国運動公園 (1982年築) 陸上競技場 <p>< 13施設 ></p>
	パターン ③ 機能改善に課題	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 機能改善(機能面に課題がある) (バリアフリー対応(自動ドア・車いすスロープ)のいずれかが未実施で、今後対応必要) 	<p>維持管理費に改善の必要性がある施設</p> <p>20施設のうち、以下の6施設は他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっている。</p>
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・丸岡スポーツランドサッカー場 (1992年築) ・丸岡スポーツランド合宿所 (1992年築) ・丸岡フィットネスセンター (1984年築) ・丸岡B&G海洋センター (1993年築) ・三国艇庫 (2002年築) ・丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター (2003年築) ・霞ヶ城公園屋内球技練習場 (2007年築) <p>< 7施設 ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丸岡スポーツランドサッカー場 (1992年築) ・丸岡フィットネスセンター (1984年築) ・丸岡B&G海洋センター (1993年築) ・春江B&G海洋センター (1988年築) ・三国運動公園 (1989年築) 屋内温水プール ・三国運動公園野球場 (1983年築)

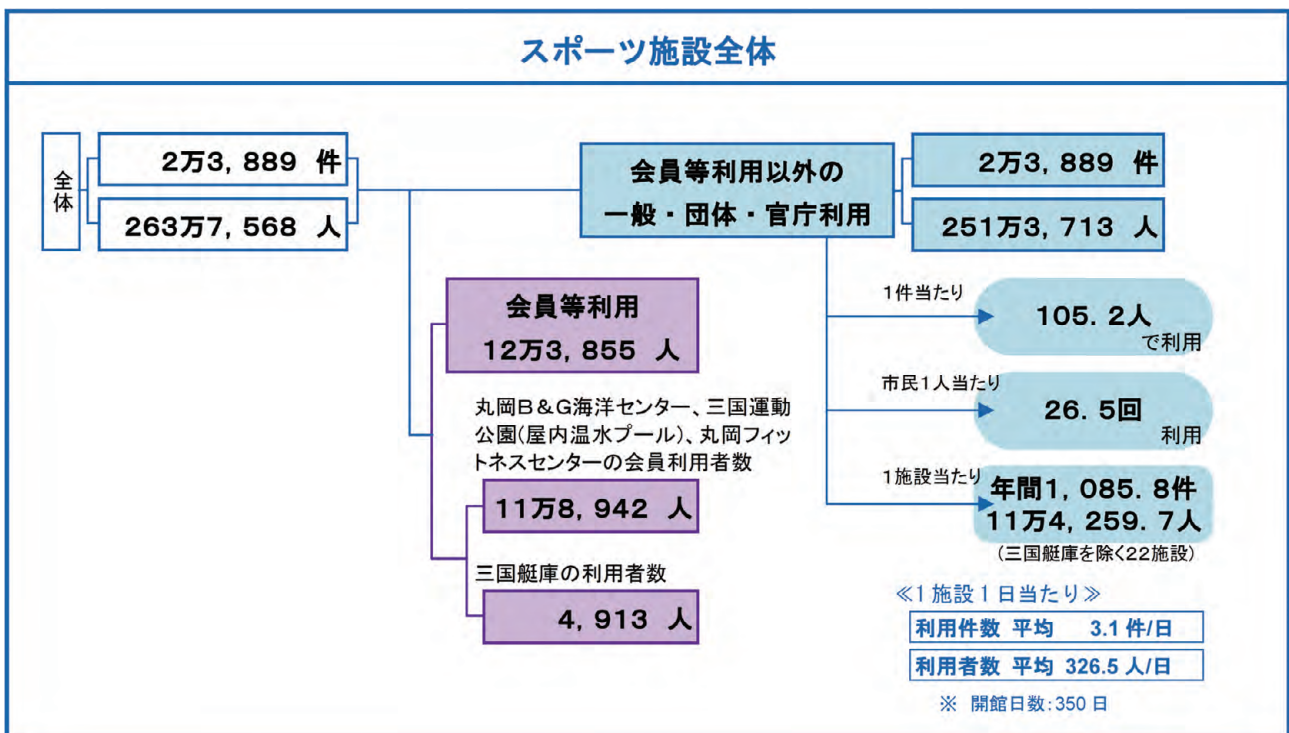
イ) 利用状況

■ スポーツ施設全体の利用状況

2008年度(H20年度)のスポーツ施設全体の利用件数は2万3,889件、利用者数は263万7,568人です。利用者数のうち、屋内温水プール、フィットネスセンターの会員利用が11万8,942人、三国艇庫にヨットを保管している利用者が4,913人、合計12万3,855人が含まれます。これら以外の利用者は251万3,713人おり、利用1件当たりの利用者数は、平均105人、市民1人当たりでは年間26.5回利用しています。

1施設当たりの平均は、件数が年間1,085.8件、利用者数が11万4,259.7人となります。1施設1日当たりでは、利用件数は平均3.1件/施設、利用者数は326.5人/施設となっています。

図 スポーツ施設の利用件数・利用者数(2008年度)



※ 人口2009年(H21年)3月31日住民基本台帳9万5,023人を用いて算出

■ 施設別・利用目的別年間利用者数

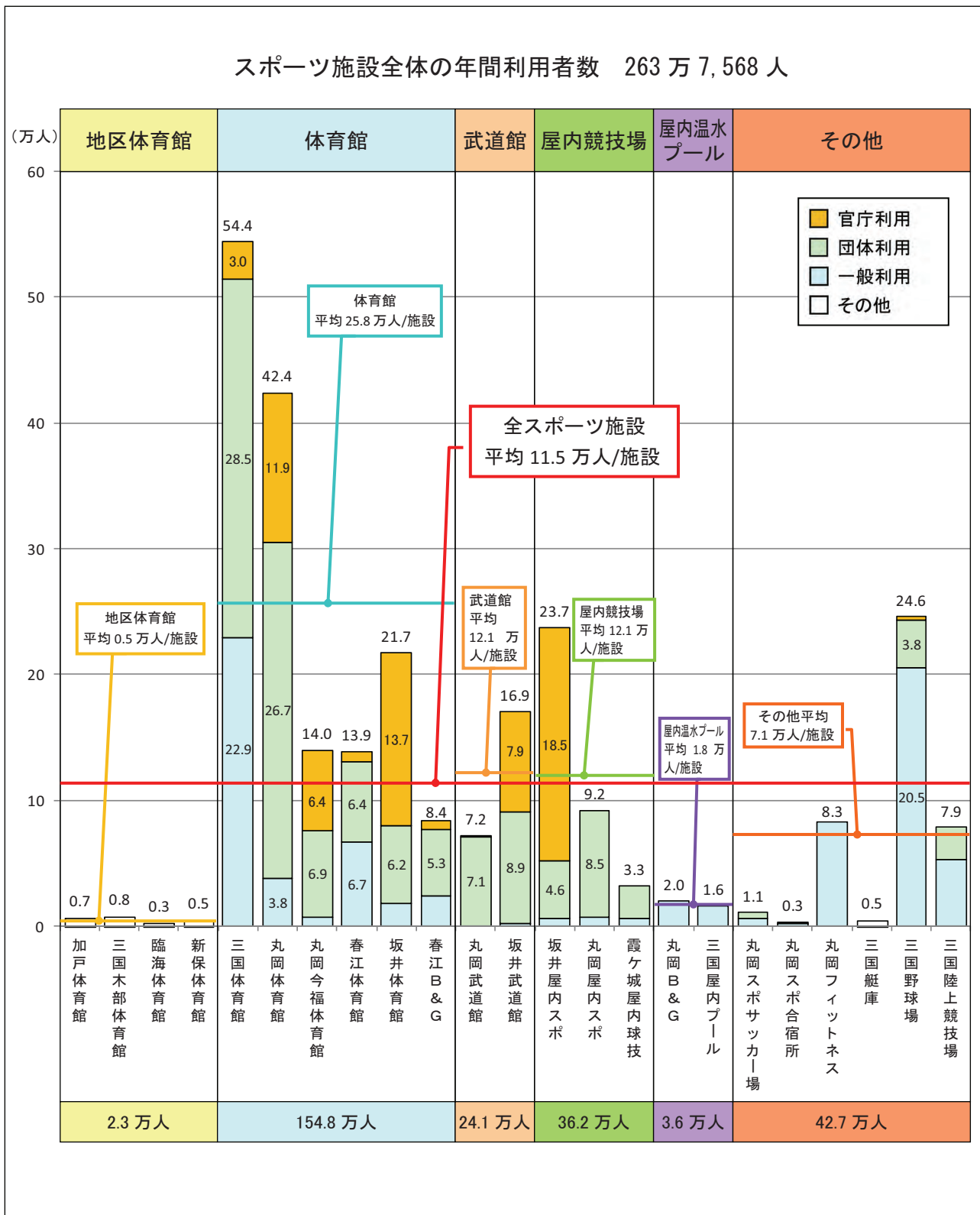
スポーツ施設の年間利用者数263万7,568人の内訳を見ると、地区体育館が約2.3万人(1%)、体育館が約154.8万人(59%)、武道館が約24.1万人(9%)、屋内競技場が約36.2万人(14%)、屋内温水プールが約3.6万人(1%)、その他が約42.7万人(16%)です。体育館の利用者がスポーツ施設全体の利用者の過半数を占めています。中でも三国体育館、丸岡体育館は、機能、規模ともに充実していることから利用者数が突出しています。この2施設は団体利用者数でも他の施設を大きく上回っています。

地区体育館4館は、全て年間利用者数が1万人以下となっており、全スポーツ施設の平均値11.5万人を大きく下回っています。屋内温水プール2施設についても同様に全平均を下回る低水準となっています。

武道館、屋内競技場、その他では、それぞれ坂井武道館、坂井屋内スポーツセンター、三国運動公園野球場が平均を上回っています。

坂井武道館、坂井屋内スポーツセンターは官庁利用が非常に大きくなっており、特に坂井屋内スポーツセンターの利用者の78%は官庁利用となっています。

図 施設別・利用目的別年間利用者数(2008年度(H20年度))



■ 一般/団体別 1日当たり利用者数

1日当たりの利用者数の平均値を施設別に見ると、最小8人(臨海体育館)から最大1,516人(三国体育館)と約168倍の差があります。

スポーツ施設には、行政が利用する官庁利用、10人以上で利用する団体利用、それ以外の一般利用の区分があります(地区体育館は利用区分が不明であるため記述から除いています)。利用者の内訳を種類別に見ると、三国体育館、丸岡体育館、丸岡今福体育館、坂井体育館、春江B&G海洋センター、武道館2施設、屋内競技場3施設の10施設では、団体利用が一般利用よりも多くなっています。春江体育館、屋内温水プール2施設、その他の施設5施設の8施設では、一般利用が多くなっています。

体育館の1日当たりの利用者数は最小233人(春江B&G海洋センター)から最大1,516人(三国体育館)です。三国体育館と丸岡体育館の1日当たりの利用者数が突出して多く、他の4施設は体育館6施設の平均値719人を下回っています。

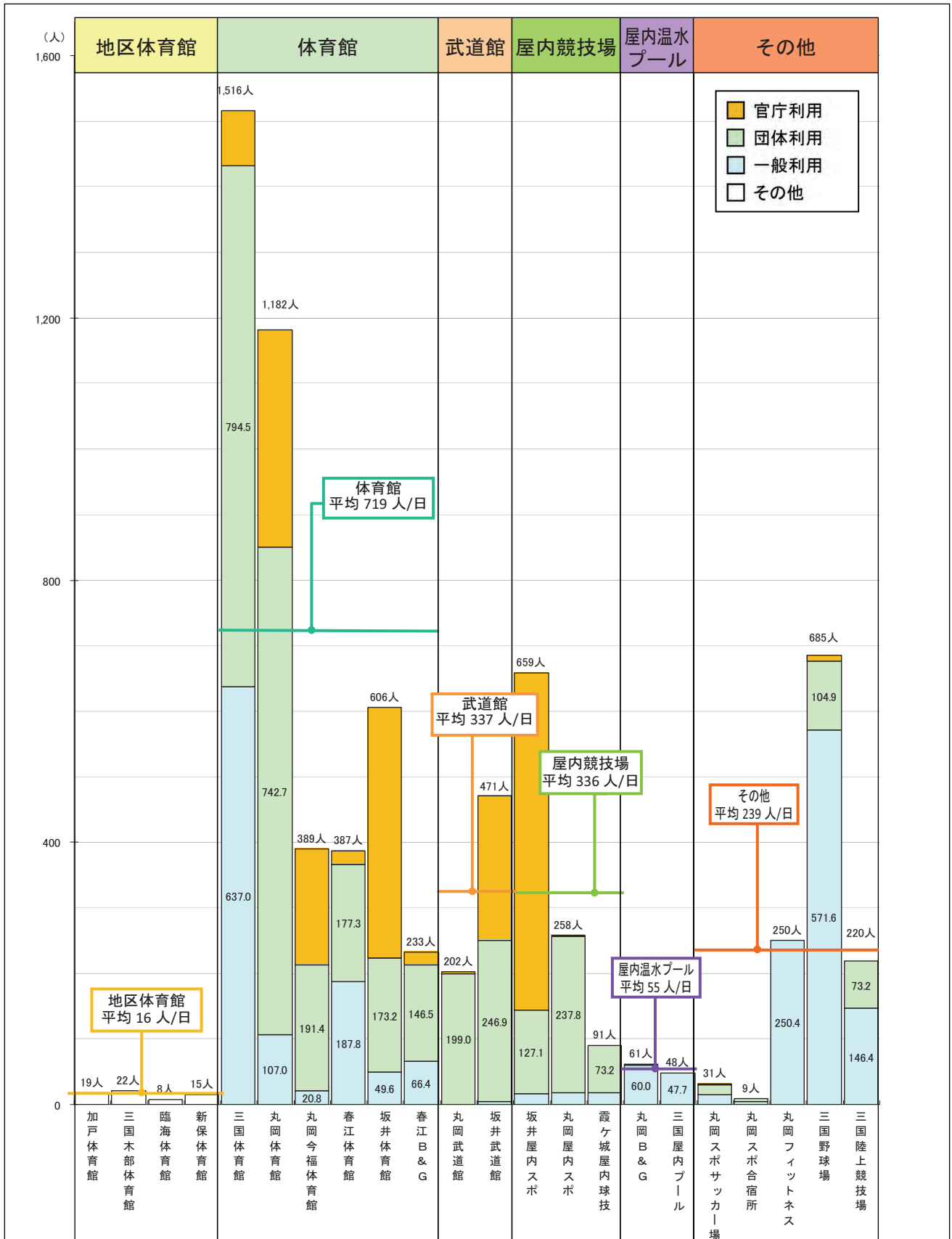
武道館の1日当たりの利用者数は最小202人(丸岡武道館)から最大471人(坂井武道館)です。官庁利用分を除くと両施設とも同程度の利用者数です。

屋内競技場の1日当たりの利用者数は最小91人(霞ヶ城公園屋内球技練習場)から最大659人(坂井屋内スポーツセンター)です。施設の規模や有する機能の違いから利用者数にばらつきがあります。

屋内温水プールの1日当たりの利用者数は最小48人(三国運動公園屋内温水プール)から最大61人(丸岡B&G海洋センター)です。利用者のほとんどが施設の会員であることから、一般利用が大部分を占めています。

その他の施設の1日当たりの利用者数は最小9人(丸岡スポーツランド合宿所)から最大685人(三国運動公園野球場)です。丸岡フィットネスセンターは会員制としていることから全て一般利用となっています。

図 施設別・一般/団体別 1日当たり利用者数(2008年度 (H20年度))



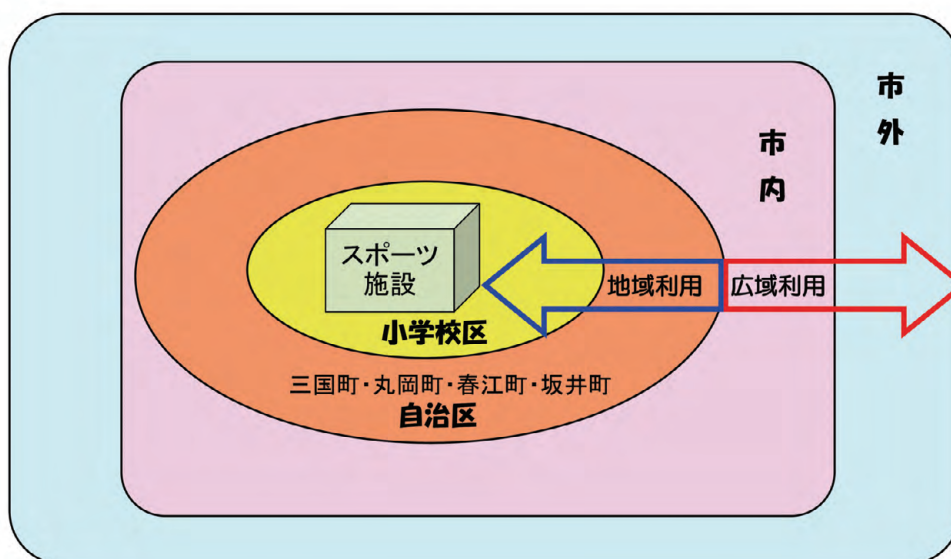
注 1: 地区体育館(4 施設)は団体、一般の利用区分が不明のため全体の利用のみ表示しています。

注 2: 三国艇庫はヨットの保管倉庫のため除いています。

■ 居住地別利用割合

利用者の居住地を見ると、施設の近隣(小学校区や自治区)に居住している方の利用が多く、特に地区体育館や屋内温水プールで高い割合となっています。一方、サッカー場や野球場といった施設は、幅広い年齢層による各種大会やイベントなどが年間を通して数多く開催されていることから、広域的(市内・市外)に利用される割合が高くなっています。

図 施設を中心とした利用者の居住地図



種別毎に利用者の居住地割合を見ると、地区体育館(加戸体育館を除く)では、全ての施設において小学校区+自治区の利用で90%を超えており、体育館機能としては比較的小規模であることから、大部分が地域利用によるものです。

体育館では、春江体育館のみ小学校区+自治区の利用が80%を超えていますが、その他の5施設は市内+市外の利用で20%から35%あり、さまざまな競技やイベントなどを通じて広域的な利用がされています。

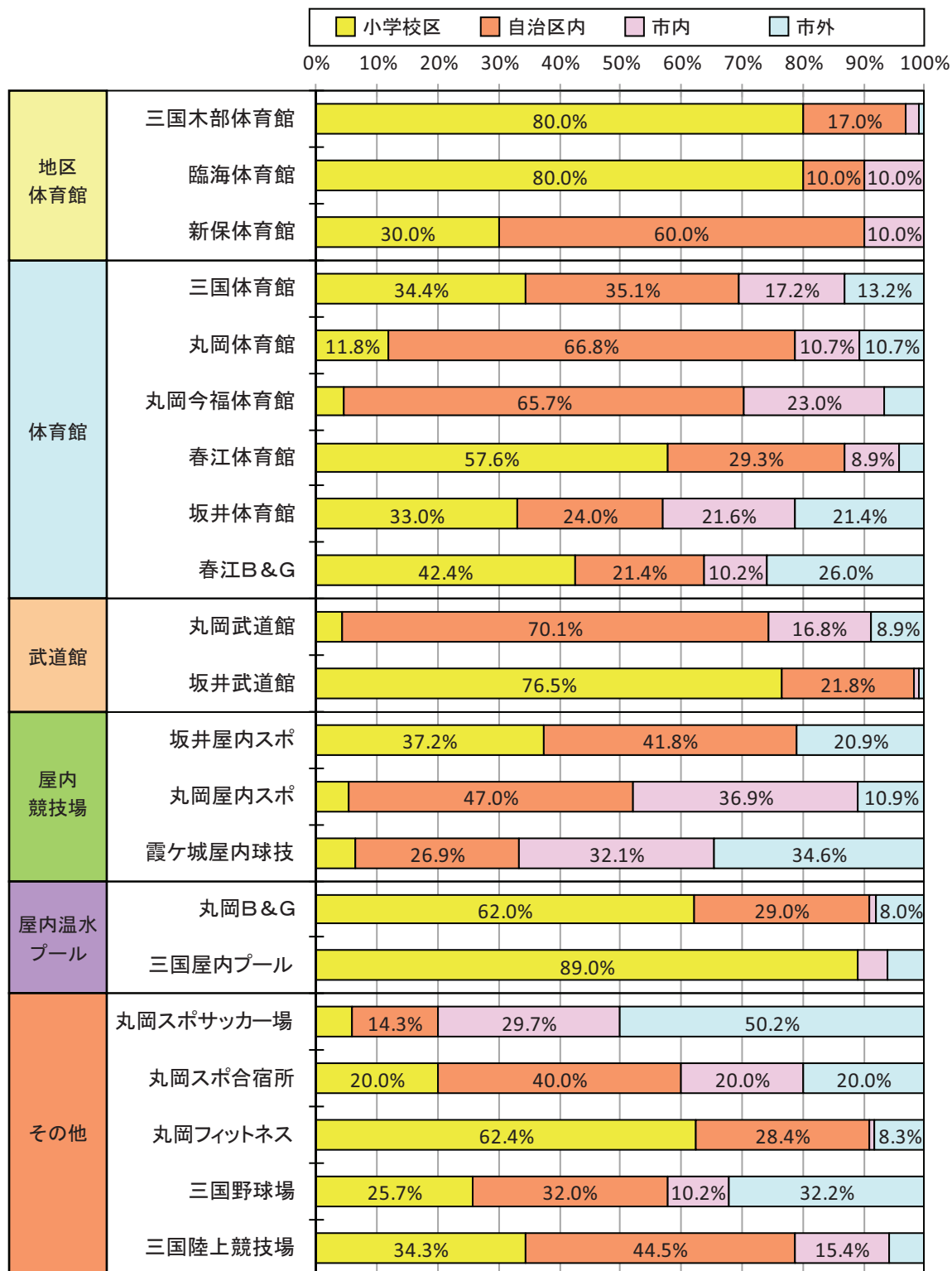
武道館では、小学校区+自治区の利用で坂井武道館が90%を超え、丸岡武道館でも70%を超えており、中学生の部活動を中心とした地域利用がほとんどです。また、三国体育館、春江B&G海洋センターに武道場が備わっていることも地域利用が高くなる要因となっています。

屋内競技場では、坂井屋内スポーツセンターのみ小学校区+自治区の利用が80%近くありますが、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター、霞ヶ城公園屋内球技練習場は市内+市外の利用で50%から60%あります。これは、施設機能の違いによるもので、坂井屋内スポーツセンターは、年齢層が高いゲートボール競技を中心とした施設となっていることから地域利用が高く、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター、霞ヶ城公園屋内球技練習場は、野球やサッカー、テニス競技など多目的に利用できる他、雨天や降雪時でも利用に支障がないことから、広域利用の割合が高くなっています。

屋内温水プールでは小学校区+自治区の利用で80%を超えており、特に三国運動公園屋内温水プールでは小学校区で89%占めており大部分が地域利用となっています。

その他の施設では、丸岡フィットネスセンター、三国運動公園陸上競技場は小学校区+自治区の利用で80%程度ありますが、丸岡スポーツランドサッカー場、三国運動公園野球場は、市外に占める割合が30%から50%あり、スポーツ施設全体の中でも高い値となっています。

図 施設別・利用者の居住地別利用者割合 (2008 年度 (H20 年度) またはサンプル期間)



注 1: 加戸体育館は、利用者の居住地区区分が不明のため表示していません。
 注 2: 地区体育館(3 施設)、丸岡B&G海洋センター、丸岡フィットネスセンターは、年間実績をもとにした計算値です。
 注 3: 体育館(6 施設)、武道館(2 施設)、屋内競技場(3 施設)、丸岡スポーツランドサッカー場、丸岡スポーツランド合宿所、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は、2010 年(H22 年)6 月 1 日～6 月 14 日までのサンプル集計結果をもとにした計算値です。
 注 4: 三国運動公園屋内温水プールは 2010 年 11 月 12 日～11 月 22 日までのサンプル集計結果をもとにした計算値です。
 注 5: 丸岡体育館、丸岡スポーツランドサッカー場では、サンプル収集期間中に大会等が実施されました。
 注 6: 三国艇庫はヨットの保管倉庫のため除いています。

■ 平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数

平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数を見ると、屋内温水プールでは平日の利用が土日祝日よりも多く、武道館、屋内競技場では土日祝日の利用が平日の利用よりも多くなっています。体育館、その他の施設は、施設によって違いがあります。

図 種類別・平日/土日祝日別1日当たり利用人数(2008年度(H20年度))

	平日の利用者が多い ←	→ 土日祝日の利用者が多い
地区体育館	新保体育館	加戸体育館 三国木部体育館 臨海体育館
体育館	春江体育館	春江B&G 丸岡今福体育館 三国体育館 丸岡体育館 坂井体育館
武道館		丸岡武道館 坂井武道館
屋内競技場		霞ヶ城屋内球技 坂井屋内スポ 丸岡屋内スポ
屋内温水プール	三国屋内プール 丸岡B&G	
その他	丸岡フィットネス	三国陸上競技場 三国野球場 丸岡スポーツサッカー 丸岡スポーツ合宿所

種別毎に平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数を見ると、地区体育館では、平日15人、土日祝日17人です。スポーツ施設全体の中で平日/土日祝日ともに1日当たりの利用者が少ない状況です。

体育館では、平日555人、土日祝日1,062人です。春江体育館以外の5施設では土日祝日の利用が多く、特に、丸岡体育館、坂井体育館では大きく上回っています。

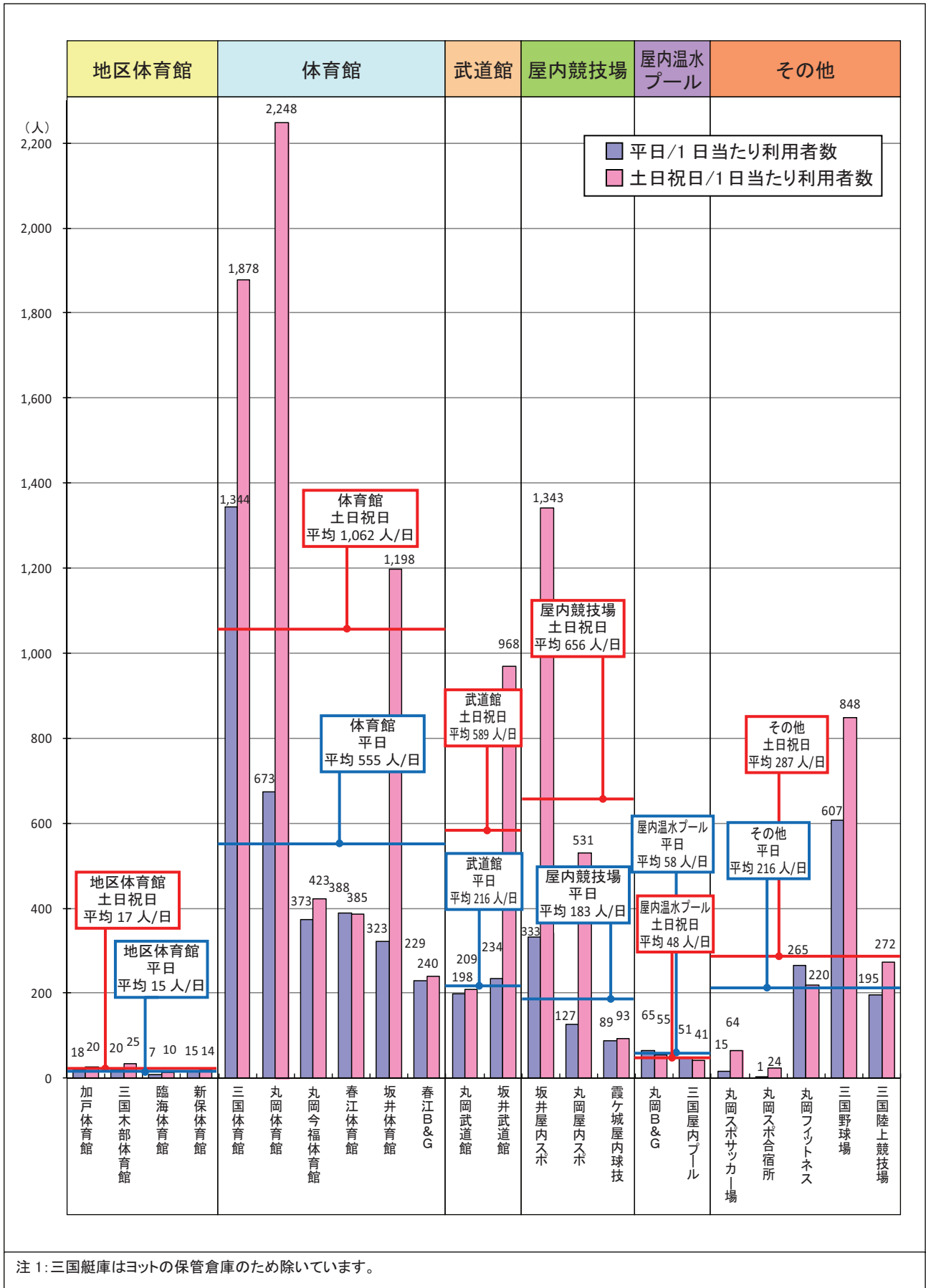
武道館では、平日216人、土日祝日589人です。両施設とも土日祝日の利用が多く、特に坂井武道館は大きく上回っています。

屋内競技場では、平日183人、土日祝日656人です。坂井屋内スポーツセンター、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンターは土日祝日の利用が平日を大きく上回り、霞ヶ城公園屋内球技練習場は土日祝日と平日の差があまりありません。

屋内温水プールでは、平日58人、土日祝日48人です。両施設とも平日の利用が多くなっています。

その他の施設は、平日216人、土日祝日287人です。丸岡フィットネスセンターのみ平日の利用が多く、丸岡スポーツランドサッカー場、丸岡スポーツランド合宿所、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は土日祝日の利用が多くなっています。

図 施設別・平日/土日祝日別 1日当たりの利用者数(2008年度(H20年度))



■ 時間帯別利用者割合

時間帯別に全体的な利用者の傾向を見ると、平日は17:00以降の割合が高く、土日祝日は8:30～17:00の割合が高くなっています。特に地区体育館、武道館は平日の17:00以降の割合が高くなっています。屋内温水プールは平日も8:30～17:00の割合が比較的高くなっています。

図 種類別・時間帯別利用人数(2008年度(H20年度)またはサンプル期間)

		午前 (8:30～13:00)	午後 (13:00～17:00)	夜間 (17:00～22:00)
■ : 50%を超える時間帯				
地区体育館	平日	9.1%	11.3%	79.6%
	土日祝日	61.3%	19.1%	19.6%
体育館	平日	18.0%	28.8%	53.2%
	土日祝日	50.8%	34.0%	15.2%
武道館	平日	0.0%	21.8%	78.2%
	土日祝日	57.9%	0.2%	41.9%
屋内競技場	平日	17.2%	27.6%	55.2%
	土日祝日	37.4%	37.6%	25.0%
屋内温水プール	平日	27.2%	40.5%	32.3%
	土日祝日	38.9%	47.2%	13.9%
その他	平日	24.0%	29.5%	46.5%
	土日祝日	40.1%	43.4%	16.5%
合計	平日	23.0%	31.2%	45.8%
	土日祝日	43.2%	40.6%	16.2%

種別毎に時間帯別の利用者割合を見ると、地区体育館では全ての施設において、平日は17:00以降、土日祝日は8:30～13:00の利用割合が高くなっています。特に臨海体育館の平日利用は、90%以上が19:00以降となっています。

体育館では、比較的全時間帯で利用されているのが、平日の三国体育館、丸岡体育館、丸岡今福体育館、土日祝日の三国体育館、春江体育館、坂井体育館、春江B&G海洋センターです。一方で利用時間帯に特徴があるのが、平日15:00～17:00の春江体育館で40%を超え、平日17:00以降の坂井体育館、春江B&G海洋センターで50%を超え突出しています。

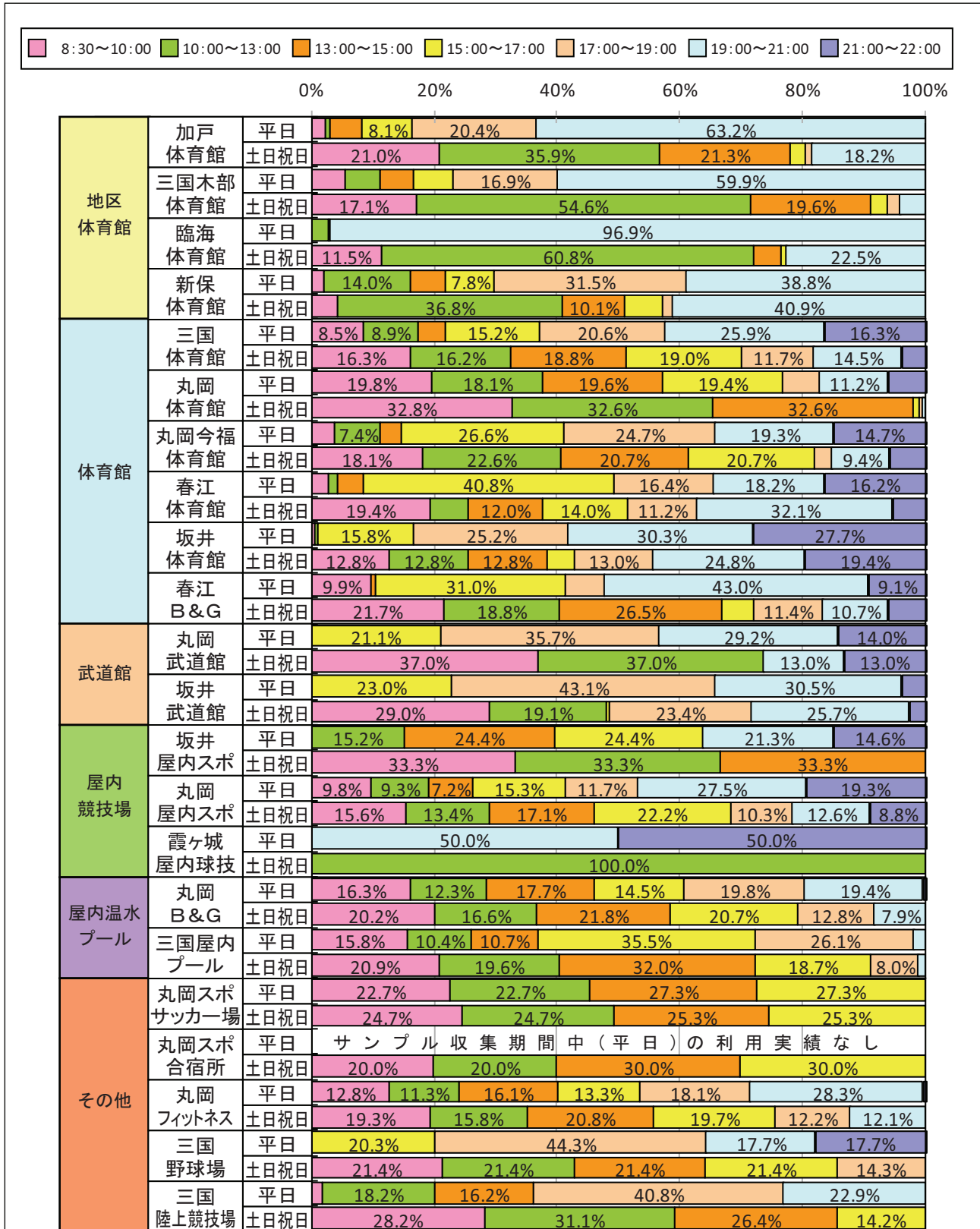
武道館では、全ての施設で平日は部活動利用が多いことから15:00以降に利用され、土日祝日は比較的全時間帯で利用されています。

屋内競技場では、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンターは平日/土日祝日ともに、比較的全時間帯で利用されています。坂井屋内スポーツセンターの平日は比較的全時間帯で利用されていますが、土日祝日は15:00までの利用が多くなっています。霞ヶ城公園屋内球技練習場の平日は夜間、土日祝日は13:00までの利用となっています。

屋内温水プールでは、全ての施設で平日/土日祝日ともに比較的全時間帯にわたって利用されています。

その他の施設では、丸岡フィットネスセンターは平日/土日祝日ともに比較的全時間帯で利用されています。丸岡スポーツセンターサッカー場は夜間の照明設備がないことから平日/土日祝日ともに17:00までの利用となっています。夜間ナイター照明設備がある三国運動公園野球場は平日17:00以降の利用が多く、土日祝日になると8:30～19:00の間で平均的に利用されています。三国運動公園陸上競技場は平日17:00～19:00の利用が40%を超え突出していますが、土日祝日になると8:30～17:00の間で平均的に利用されています。

図 施設別・平日/土日祝日別・時間帯別利用者割合(2008年度(H20年度)またはサンプル期間)



注1: 地区体育館(4施設)、屋内温水プール(2施設)、丸岡フィットネスセンターは、年間実績をもとにした計算値です。

注2: 体育館(6施設)、武道館(2施設)、屋内競技場(3施設)、丸岡スポーツランドサッカー場、丸岡スポーツランド合宿所、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は、2010年(H22年)6月1日~6月14日までの期間のサンプル集計結果をもとにした計算値です。

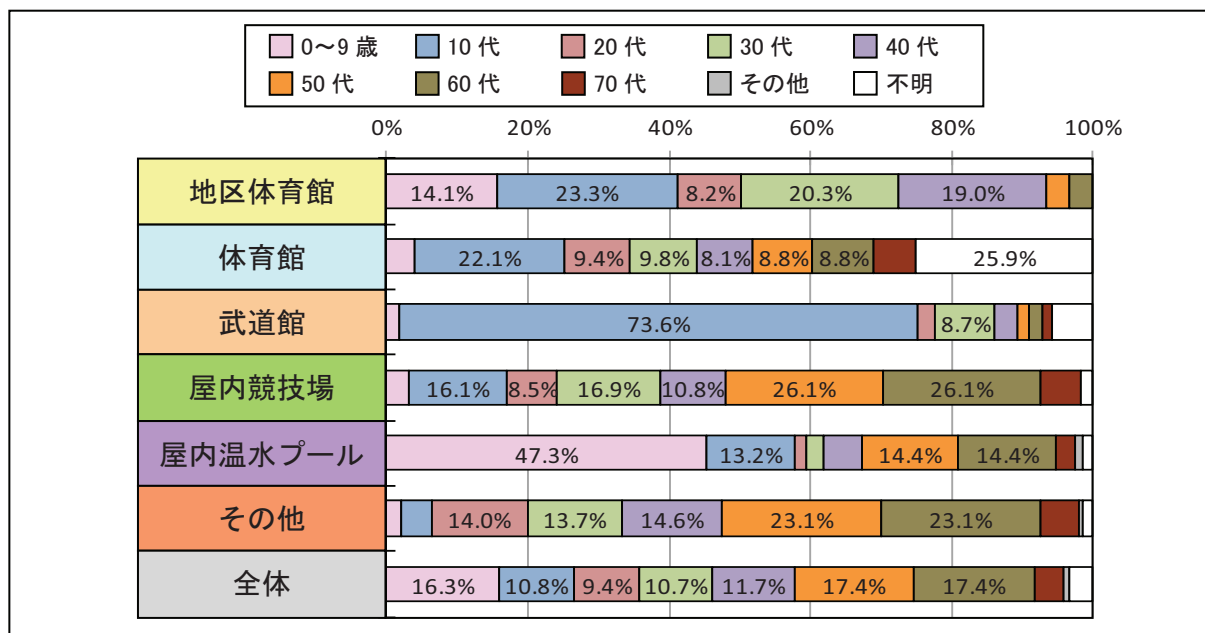
注3: 丸岡スポーツランド合宿所は、サンプル収集期間中の平日に利用実績がありません。

注4: 三国艇庫はヨットの保管倉庫のため除いています。

■ 年代別利用者割合

年代別に全体的な利用者の傾向を見ると、子どもから高齢者まで幅広く全ての年齢層に利用されています。武道館では10代が73.6%と非常に高い割合を占めていたり、屋内温水プールでは0歳から9歳が47.3%を占めているなど施設の種類によって利用者の年齢層に差があります。

図 種類別・年代別利用人数(2008年度(H20年度)またはサンプル期間)



種別毎に年代別の利用者割合を見ると、地区体育館では全ての施設において、地域住民の身近なスポーツ施設として幅広い年齢層に利用されています。

体育館では、三国体育館、丸岡今福体育館、春江体育館、春江B&G海洋センターで10代の利用割合が最も高くなっており、主に部活動やスポーツ少年団で利用していることが要因です。坂井体育館は10代から50代の間で平均的に利用されています。

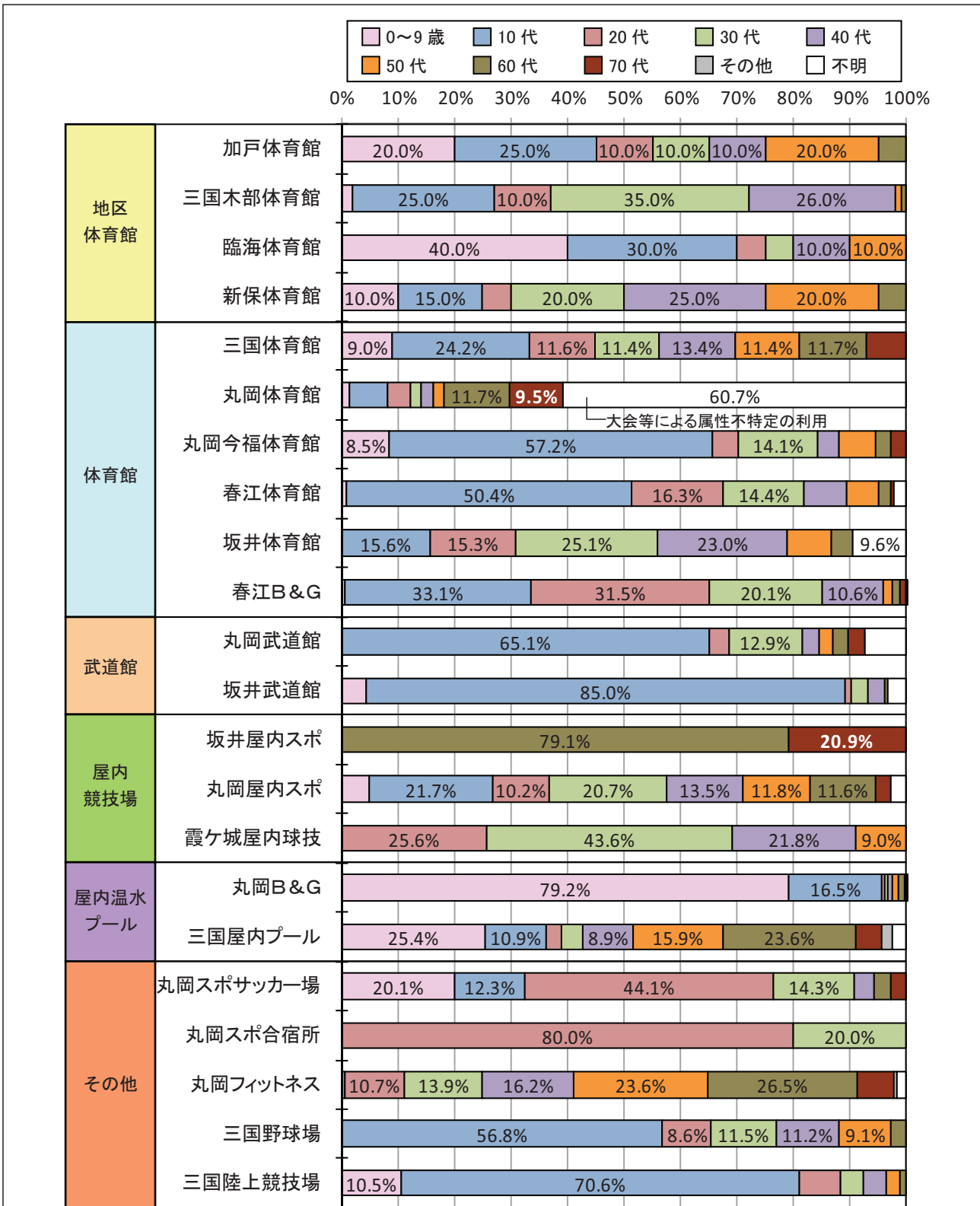
武道館では、全ての施設で10代の利用割合が非常に高くなっています。利用の大部分が部活動やスポーツ少年団で利用していることが要因です。

屋内競技場では、施設毎に利用者の年代層に違いがあります。坂井屋内スポーツセンターは主としてゲートボール競技の施設として整備したことから、年齢層は60代以上となっています。丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンターは、サッカー、テニス、ゲートボール競技等、多目的な機能が備えられており、各年代に幅広く利用されています。霞ヶ城公園屋内球技練習場は、主に野球練習場として整備したことから、年齢層は20代から30代で70%近くの割合を占めています。

屋内温水プールでは、全ての施設で0歳から9歳が最も高い割合となっており、特に丸岡B&G海洋センターは80%近くの割合になっています。これは、指定管理者による児童を対象としたスイミングスクール等によるものです。また、三国運動公園屋内温水プールは50代から60代の利用割合も比較的高く、シニア世代の健康維持・増進を目的とした利用によるものです。

その他の施設では、丸岡スポーツランドサッカー場は20代の利用割合が最も高くなっており、主に社会人チームの試合や大会等での利用が要因です。三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は10代の利用割合が最も高く、主に部活動やスポーツ少年団で利用していることが要因です。丸岡フィットネスセンターは20代から70代の間で平均的に利用され、健康維持・増進やリフレッシュを目的とした利用によるものです。

図 施設別・年代別利用者割合(2008年度(H20年度)またはサンプル期間)



注1: 地区体育館(4施設)、丸岡B&G海洋センター、丸岡フィットネスセンターは、年間実績をもとにした計算値です。
 注2: 体育館(6施設)、武道館(2施設)、屋内競技場(3施設)、丸岡スポーツランドサッカー場、丸岡スポーツランド合宿所、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場は、2010年(H22年)6月1日~6月14日までのサンプル集計結果をもとにした計算値です。
 注3: 三国運動公園屋内温水プールは、2010年11月12日~11月22日までのサンプル集計結果を基にした計算値です。
 注4: 丸岡体育館、丸岡スポーツランドサッカー場では、サンプル収集期間中に大会等が実施されました。
 注5: 三国艇庫はヨットの保管倉庫のため除いています。

■ 施設別・機能別の稼働率

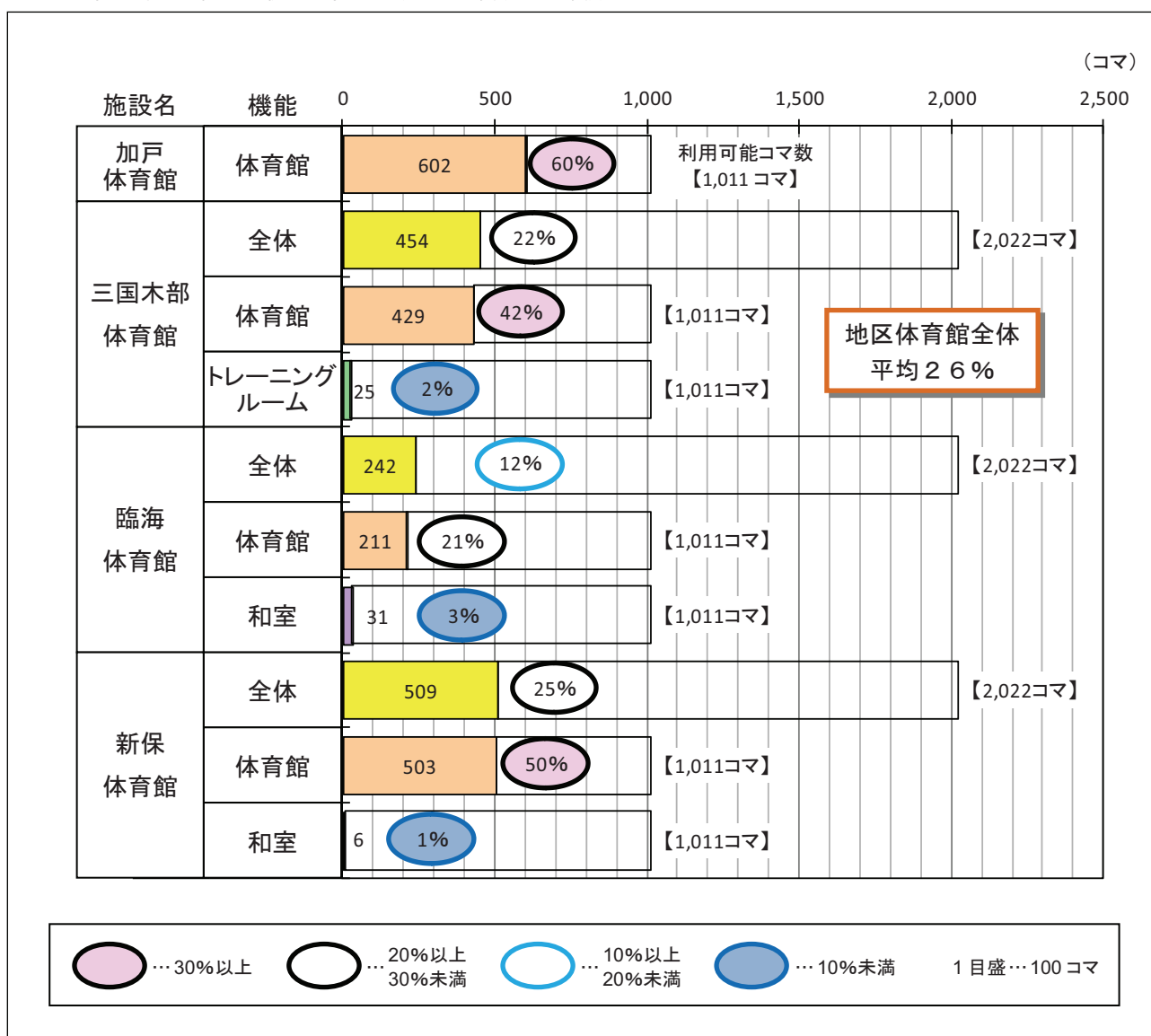
【地区体育館】

地区体育館の稼働率は、平均 26%となっています。施設別に見ると、最小 12% (臨海体育館) から最大 60% (加戸体育館) と稼働率に差があります。

機能別に見ると体育館機能の稼働率は比較的高くなっており、加戸体育館が 60%、三国木部体育館が 42%、臨海体育館が 21%、新保体育館が 50%となっています。

加戸体育館以外の 3 施設は、体育館機能以外にトレーニングルームや和室の機能を有していますが、これらはいずれも稼働率が極めて低い状態です。これは、地区体育館は主として地域住民により利用されていることから、トレーニングルームや和室の需要がほとんどないことによります。

図 地区体育館 施設別・機能別稼働率(2008 年度(H20 年度))



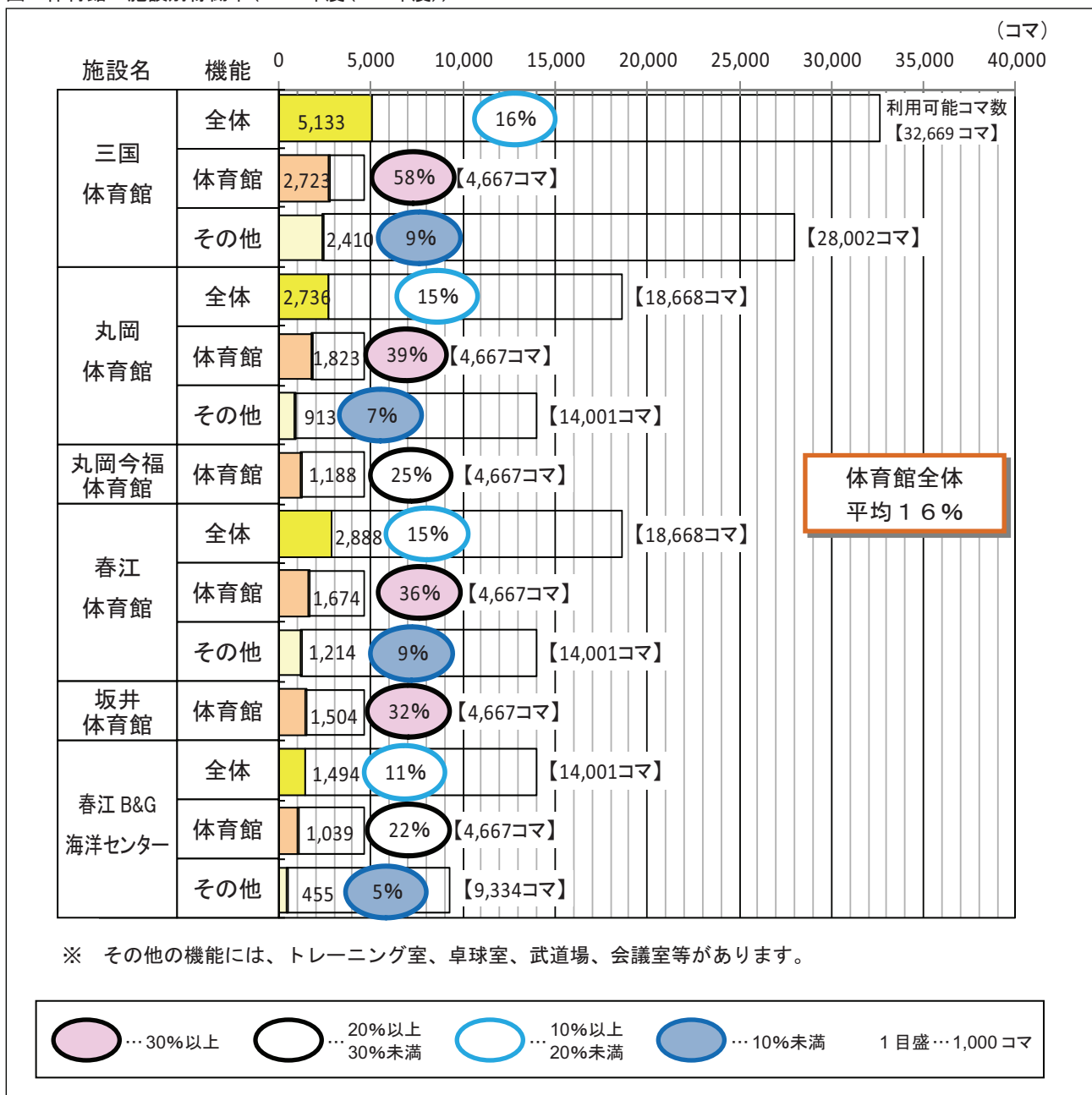
【体育館】

体育館の稼働率は、平均 16% となっています。施設別に見ると最小 11% (春江 B & G 海洋センター) から最大 32% (坂井体育館) となっています。

機能別に見ると三国体育館、丸岡体育館、春江体育館における体育館機能の稼働率は 30% を超え、体育館機能しかない丸岡今福体育館、坂井体育館も同じように高くなっています。

三国体育館、丸岡体育館、春江体育館、春江 B & G 海洋センターにおける体育館以外の機能の稼働率は全て 10% 以下となっており、施設全体の稼働率を引き下げています。

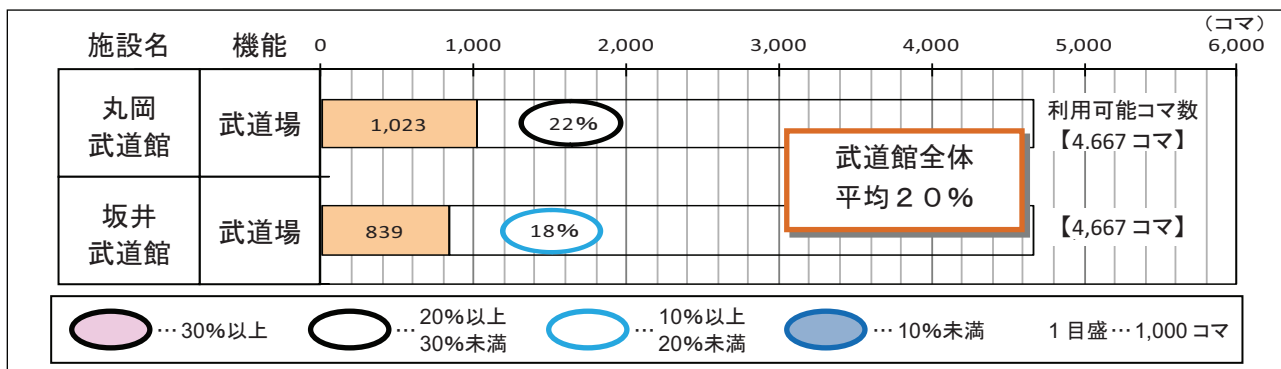
図 体育館 施設別稼働率 (2008 年度 (H20 年度))



【武道館】

武道館の稼働率は、平均 20%となっています。施設別に見ると坂井武道館 18%、丸岡武道館 22%、と低くなっています。両施設とも学生以外の利用者が少なく部活以外の利用が少ないことが低い要因となっています。

図 武道館 施設別稼働率(2008年度(H20年度))

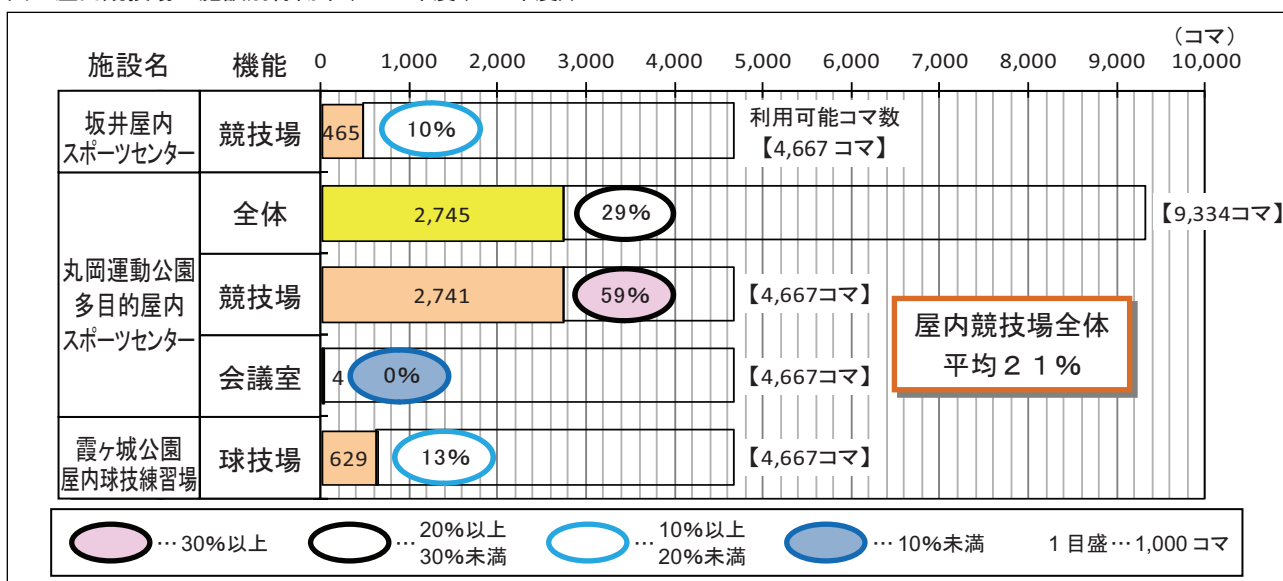


【屋内競技場】

屋内競技場の稼働率は、平均 21%となっています。施設別に見ると最小 10%(坂井屋内スポーツセンター)から最大 29%(丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター)となっています。

丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンターは、サッカー、テニス、ゲートボール競技等多目的に利用されていることから 59%と高い一方、会議室の稼働率は極めて低い状況です。霞ヶ城公園屋内球技練習場は野球の練習、坂井屋内スポーツセンターはゲートボール競技を中心とした利用に偏っていることが、低い要因となっています。

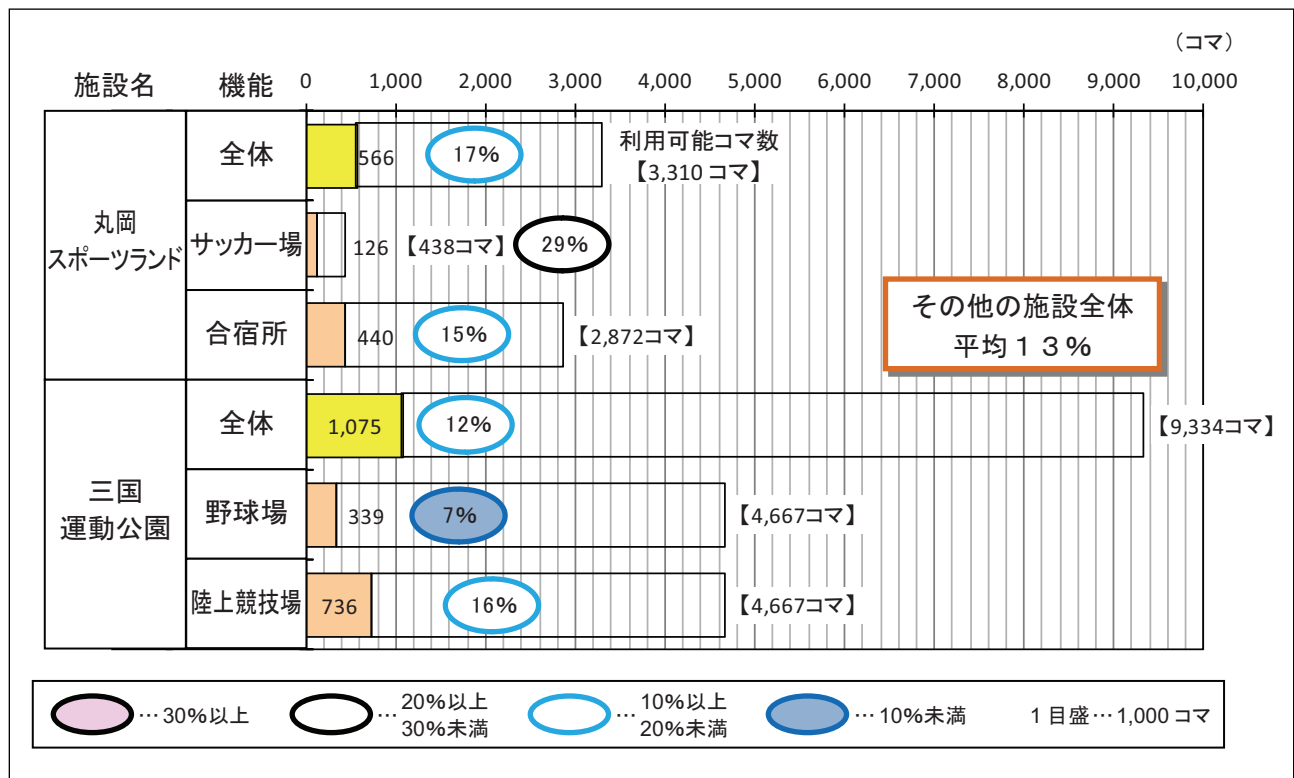
図 屋内競技場 施設別稼働率(2008年度(H20年度))



【その他の施設】

その他の施設の稼働率は、平均 13% となっています。施設別に見ると丸岡スポーツランド 17%、三国運動公園 12% と低くなっています。機能別に見ると三国運動公園野球場の稼働率は 10% 以下と極めて低い状況です。野球場、陸上競技場一度に利用される数は多くなっていますが、平日や冬期間の需要が少ないことから、稼働率では低いのが特徴です。丸岡スポーツランドサッカー場は、運営時間が 17:00 まで、また、冬期間閉鎖のために利用可能コマ数が限られるなか、一定程度の利用があり、比較的稼働率が高くなっています。

図 その他スポーツ施設 施設別稼働率(2008 年度(H20 年度))



※ 丸岡B&G海洋センター、三国運動公園屋内温水プールおよび丸岡フィットネスセンターは、時間単位でのスペース貸しを行っていないため稼働率はありません。また、三国艇庫はヨットの保管倉庫のため除いています。

※ 丸岡スポーツランドサッカー場は冬期間閉鎖のため利用可能日は 219 日です。

ウ) 運営状況

■ 運営人員

機能毎に見たスポーツ施設 23 施設の 2008 年度 (H20 年度) の運営人員は約 60 人です。その内訳は市職員が 3.31 人、臨時職員が 2.24 人、指定管理者の社員が 53.83 人、その他、パート・アルバイトが 0.21 人となっています。

運営形態別に見ると、市が直接管理運営を行っている施設は、地区体育館 4 施設、三国体育館、春江体育館、坂井体育館、春江 B & G 海洋センター、坂井武道館、坂井屋内スポーツセンター、三国艇庫、三国運動公園野球場、三国運動公園陸上競技場の 13 施設で、受付や施設管理を中心に業務を行っています。また、これら以外の 10 施設は指定管理者に施設の管理運営を委託しており、約 54 人の運営人員となっています。

主に会員が利用している屋内温水プール 2 施設、丸岡フィットネスセンターは、教室等のインストラクターを運営人員として配置していることから、他の施設と比べて多くなっているのが特徴です。

図 運営人員 (2008 年度)

(人)

業務内容	区分	地区体育館				体育館						武道館	
		加戸体育館	三国木部体育館	臨海体育館	新保体育館	三国体育館	丸岡体育館	丸岡今福体育館	春江体育館	坂井体育館	春江B&G海洋センター	丸岡武道館	坂井武道館
施設利用に関する受付・案内	市職員	0.05	0.05	0.03	0.03	0.27			0.12	0.06	0.06		0.06
	臨時職員					0.14			0.32	0.14	0.60		0.07
	指定管理者社員						0.55	0.70				0.01	
	その他	0.05	0.05	0.03	0.03								
施設管理・メンテナンス	市職員	0.05	0.05	0.03	0.03	0.63			0.28	0.14	0.13		0.14
	臨時職員					0.06			0.13	0.06	0.26		0.03
	指定管理者社員						0.50	0.54				0.01	
	その他												
各種講座・講演会等の主催	市職員	0.05	0.05	0.03	0.03								
	臨時職員												
	指定管理者社員						0.40					0.01	
	その他												
その他	市職員												
	臨時職員												
	指定管理者社員												
	その他												
合計	市職員	0.15	0.15	0.09	0.09	0.90			0.40	0.20	0.19		0.20
	臨時職員					0.20			0.45	0.20	0.86		0.10
	指定管理者社員						1.45	1.24				0.03	
	その他	0.05	0.05	0.03	0.03								
合計	0.20	0.20	0.12	0.12	1.10	1.45	1.24	0.85	0.40	1.05	0.03	0.30	

業務内容	区分	屋内競技場			屋内温水プール		その他					合計	
		坂井屋内スポーツセンター	丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター	霞ヶ城公園屋内球技練習場	丸岡B&G海洋センター	三国運動公園屋内温水プール	丸岡スポーツランド		丸岡フィットネスセンター	三国艇庫	三国運動公園		
							サッカー場	合宿所			野球場	陸上競技場	
施設利用に関する受付・案内	市職員	0.06								0.30	0.10	0.03	1.22
	臨時職員	0.14									0.10	0.06	1.57
	指定管理者社員		0.50	0.01	6.60	4.00	0.30	0.05	6.80				19.52
	その他									0.05			0.21
施設管理・メンテナンス	市職員	0.14									0.23	0.08	1.93
	臨時職員	0.06									0.04	0.03	0.67
	指定管理者社員		0.45	0.01	3.00	1.00	0.33	0.06	2.00				7.90
	その他												0.00
各種講座・講演会等の主催	市職員												0.16
	臨時職員												0.00
	指定管理者社員				1.20	1.00			0.80				3.41
	その他												0.00
その他	市職員												0.00
	臨時職員												0.00
	指定管理者社員				10.80	5.00			7.20				23.00
	その他												0.00
合計	市職員	0.20								0.30	0.33	0.11	3.31
	臨時職員	0.20									0.14	0.09	2.24
	指定管理者社員		0.95	0.02	21.60	11.00	0.63	0.11	16.80				53.83
	その他									0.05			0.21
合計	0.40	0.95	0.02	21.60	11.00	0.63	0.11	16.80	0.35	0.47	0.20	59.59	

エ) コスト状況

機能毎に見たスポーツ施設 23 施設の年間トータルコストは、3 億 9,379 万円、1 施設当たり平均 1,712 万円です。

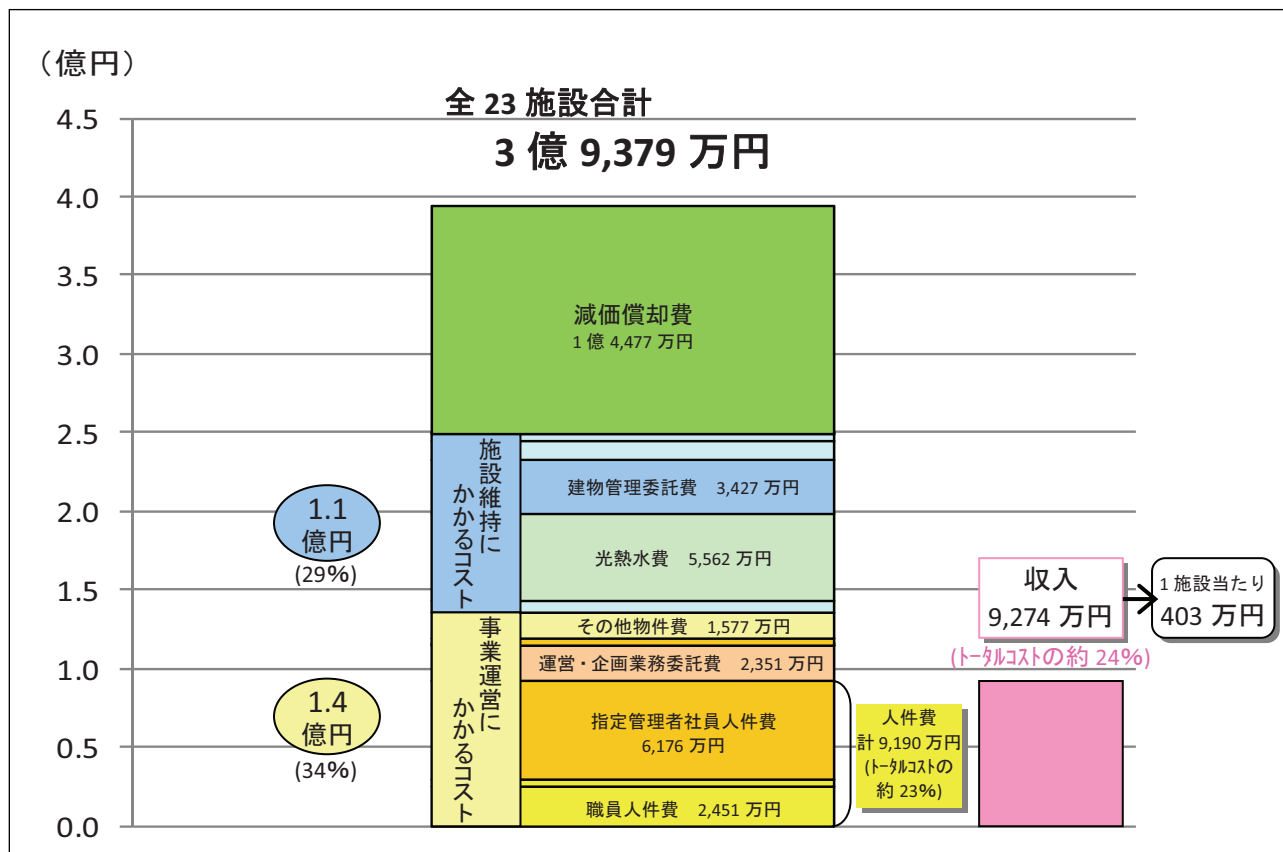
3 億 9,379 万円のうち、施設維持にかかるコストは、1 億 1,403 万円(29%)、事業運営にかかるコスト(運営費・人件費)は 1 億 3,500 万円(34%)、減価償却費が 1 億 4,477 万円(37%)です。トータルコストのうちの 9,190 万円(23%)が人件費(指定管理者社員人件費を含む)です。利用料等の年間収入の合計は 9,274 万円で、トータルコストの約 24%を賄っています。

表 行政コスト計算書(2008 年度(H20 年度))

(千円)

	地区体育館				体育館						武道館		
	加戸 体育館	三国木部 体育館	臨海 体育館	新保 体育館	三国 体育館	丸岡 体育館	丸岡今福 体育館	春江 体育館	坂井 体育館	春江B&G 海洋センター	丸岡 武道館	坂井 武道館	
I. 現金収支を伴うもの													
施設維持に かかるコスト	各所修繕費	42	0	0	37	16	3,509	139	280	183	331	29	1
	光熱水費	704	526	144	647	5,832	4,096	755	1,394	723	1,329	293	608
	建物管理委託費	77	229	484	717	5,514	4,077	1,899	1,696	727	4,025	86	2,463
	土地賃借料	0	0	79	0	0	0	0	0	0	148	0	239
	土地・建物以外賃借料	0	0	0	0	228	269	15	0	0	0	0	0
	使用料	0	0	0	0	15	305	0	48	0	15	0	15
	施設維持にかかるコスト計	823	755	707	1,401	11,605	12,256	2,808	3,418	1,633	5,848	408	3,326
事業 か運営 に かかる コスト	職員人件費	783	783	391	391	7,046	0	0	3,132	1,566	1,488	0	1,566
	臨時職員人件費	189	205	104	100	454	0	0	1,625	359	1,427	0	179
	指定管理者社員人件費	0	0	0	0	0	3,152	2,617	0	0	0	97	0
	運営・企画業務委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0
	市債利息償還金	0	0	0	0	357	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	16	30	76	148	343	1,975	246	326	70	375	6	109
	事業運営にかかるコスト計	988	1,018	571	639	8,200	5,159	2,863	5,083	1,995	3,290	103	1,854
現金収支を伴うコスト 計	1,811	1,773	1,278	2,040	19,805	17,415	5,671	8,501	3,628	9,138	511	5,180	
【収益の部】													
使用料	97	75	32	129	1,716	2,037	259	1,104	220	685	168	84	
その他使用料(自販機設置等)	51	46	0	75	0	611	0	0	0	127	148	0	
諸収入	0	0	0	0	12	192	0	6	0	8	0	0	
現金収支を伴う収益 計	148	121	32	204	1,728	2,840	259	1,110	220	820	316	84	
II. 現金収支を伴わないもの													
【コストの部】													
減価償却費	1,809	1,823	1,969	2,923	32,962	15,196	5,072	8,594	13,241	8,581	2,873	1,676	
III. 総括													
コストの部合計(トータルコスト)	3,620	3,596	3,247	4,963	52,767	32,611	10,743	17,095	16,869	17,719	3,384	6,856	
収支差額(ネットコスト)	3,472	3,475	3,215	4,759	51,039	29,771	10,484	15,985	16,649	16,899	3,068	6,772	
I. 現金収支を伴うもの													
施設維持に かかるコスト	各所修繕費	25	5	0	847	294	314	52	832	0	1,007	249	8,192
	光熱水費	430	2,622	207	11,536	10,367	329	401	8,088	299	3,763	527	55,620
	建物管理委託費	0	1,815	12	954	1,779	2,128	355	1,771	168	2,402	888	34,266
	土地賃借料	0	1,023	0	2,603	0	5,561	927	621	0	0	0	11,201
	土地・建物以外賃借料	0	0	0	0	117	111	37	3,186	0	269	0	4,232
	使用料	0	28	0	0	0	28	9	0	0	52	0	515
	施設維持にかかるコスト計	455	5,493	219	15,940	12,557	8,471	1,781	14,498	467	7,493	1,664	114,026
事業 か運営 に かかる コスト	職員人件費	1,566	0	0	0	0	0	0	0	2,349	2,584	861	24,506
	臨時職員人件費	359	0	0	0	0	0	0	0	113	318	204	5,636
	指定管理者社員人件費	0	2,390	6	28,449	3,912	1,863	310	18,966	0	0	0	61,762
	運営・企画業務委託	0	0	0	6,534	0	1,103	184	618	0	15,068	0	23,507
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
	市債利息償還金	309	1,110	0	0	182	525	35	1,252	0	0	14	3,784
	その他物件費	48	353	16	1,611	3,136	441	81	5,561	56	709	38	15,770
	事業運営にかかるコスト計	2,282	3,853	22	36,594	7,230	3,932	610	26,397	2,518	18,679	1,117	134,997
現金収支を伴うコスト 計	2,737	9,346	241	52,534	19,787	12,403	2,391	40,895	2,985	26,172	2,781	249,023	
【収益の部】													
使用料	374	3,793	326	37,464	2,789	580	2,503	29,261	1,544	1,334	574	87,148	
その他使用料(自販機設置等)	108	379	23	35	0	11	2	139	0	0	0	1,755	
諸収入	17	0	0	1,127	0	0	0	2,465	0	6	6	3,839	
現金収支を伴う収益 計	499	4,172	349	38,626	2,789	591	2,505	31,865	1,544	1,340	580	92,742	
II. 現金収支を伴わないもの													
【コストの部】													
減価償却費	7,716	6,666	1,026	7,848	7,548	611	2,014	4,324	2,278	4,754	3,266	144,770	
III. 総括													
コストの部合計(トータルコスト)	10,453	16,012	1,267	60,382	27,335	13,014	4,405	45,219	5,263	30,926	6,047	393,793	
収支差額(ネットコスト)	9,954	11,840	918	21,756	24,546	12,423	1,900	13,354	3,719	29,586	5,467	301,051	

図 スポーツ全施設 トータルコスト(2008年度(H20年度))

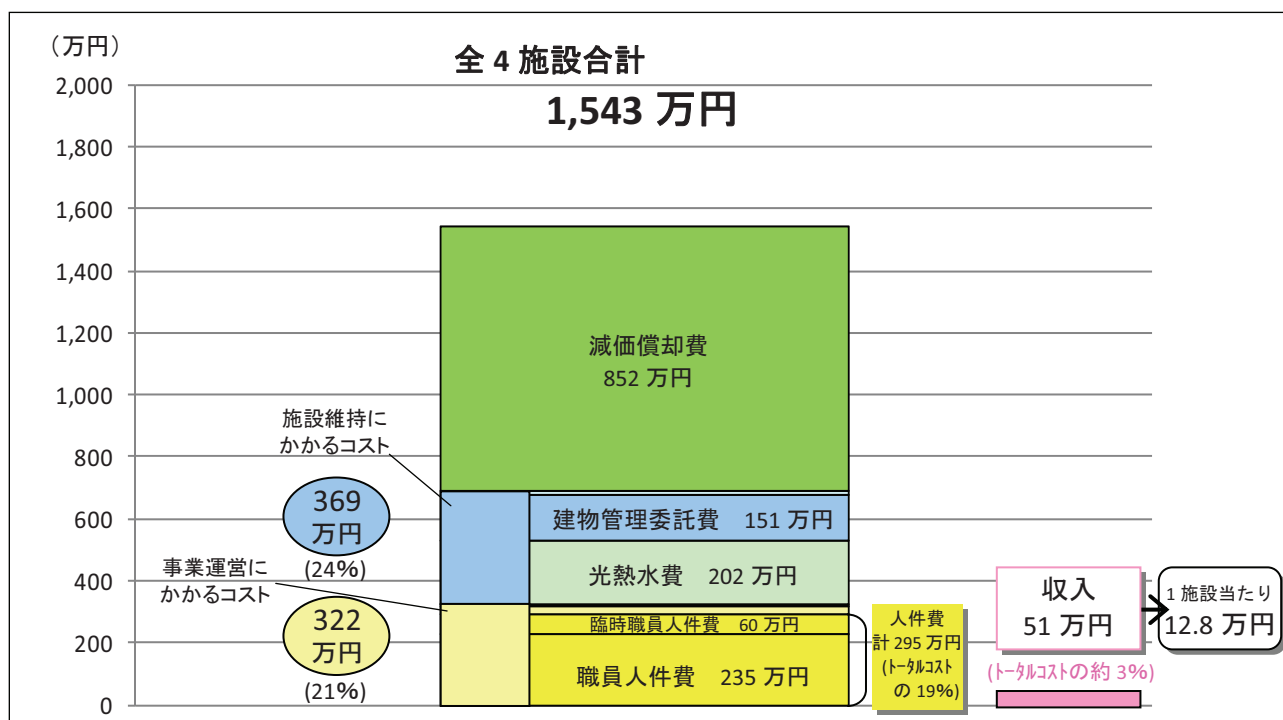


【地区体育館】

地区体育館全4施設の年間トータルコストは1,543万円、1施設あたり平均386万円です。施設維持にかかるコストは369万円(24%)、事業運営にかかるコストは322万円(21%)、減価償却費は852万円(55%)です。

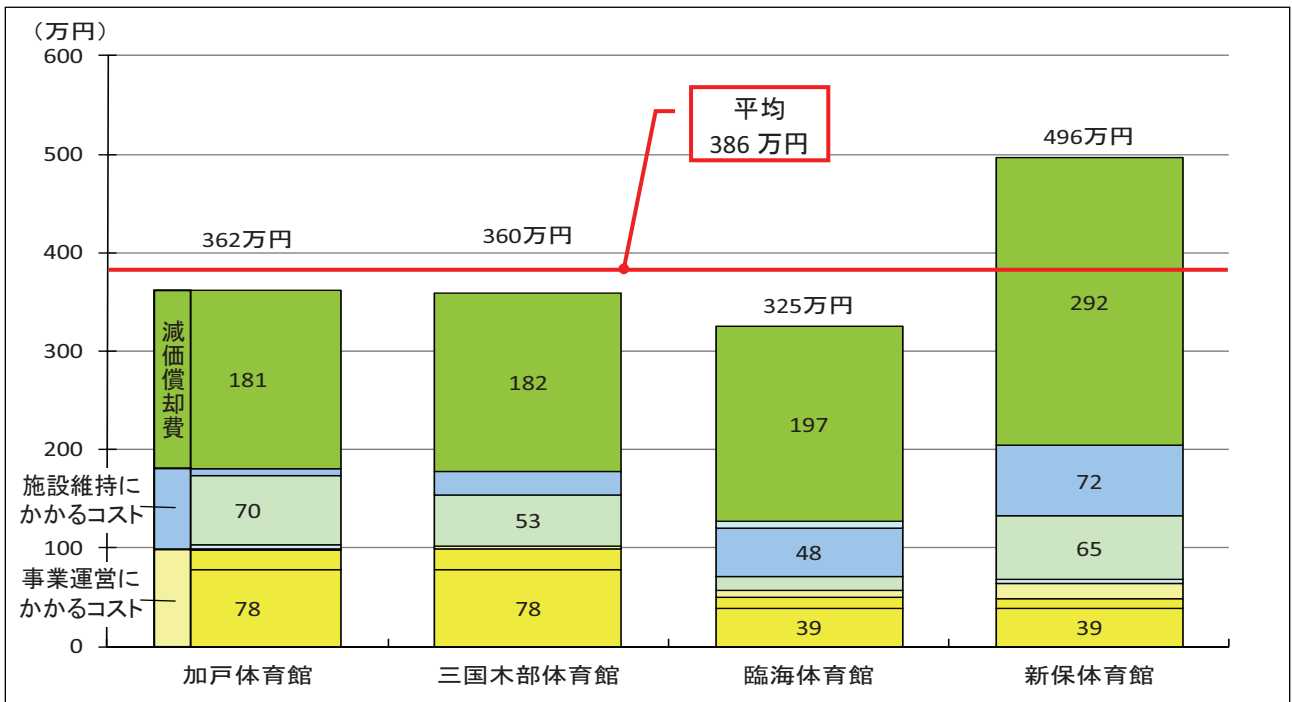
年間の収入は51万円で、トータルコストの約3%となっています。

図 地区体育館全施設トータルコスト(2008年度)



施設別では、最小 325 万円(臨海体育館)から最大 496 万円(新保体育館)と約 1.5 倍の差があります。4 施設とも減価償却費がトータルコストに占める割合が最も大きくなっています。

図 地区体育館施設別トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



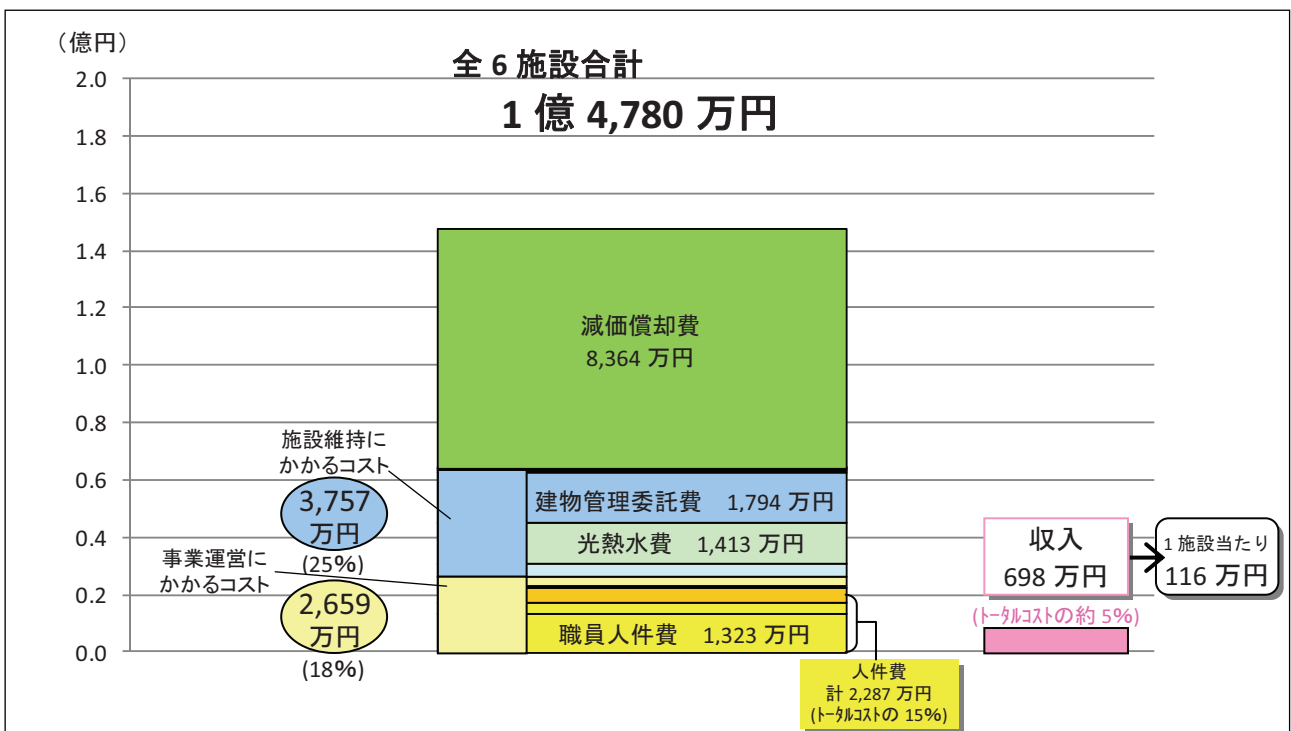
【体育館】

体育館全 6 施設の年間トータルコストは 1 億 4,780 万円、1 施設当たり平均 2,463 万円です。

施設維持にかかるコストは 3,754 万円(25%)、事業運営にかかるコストは 2,659 万円(18%)、減価償却費は 8,364 万円(57%)です。

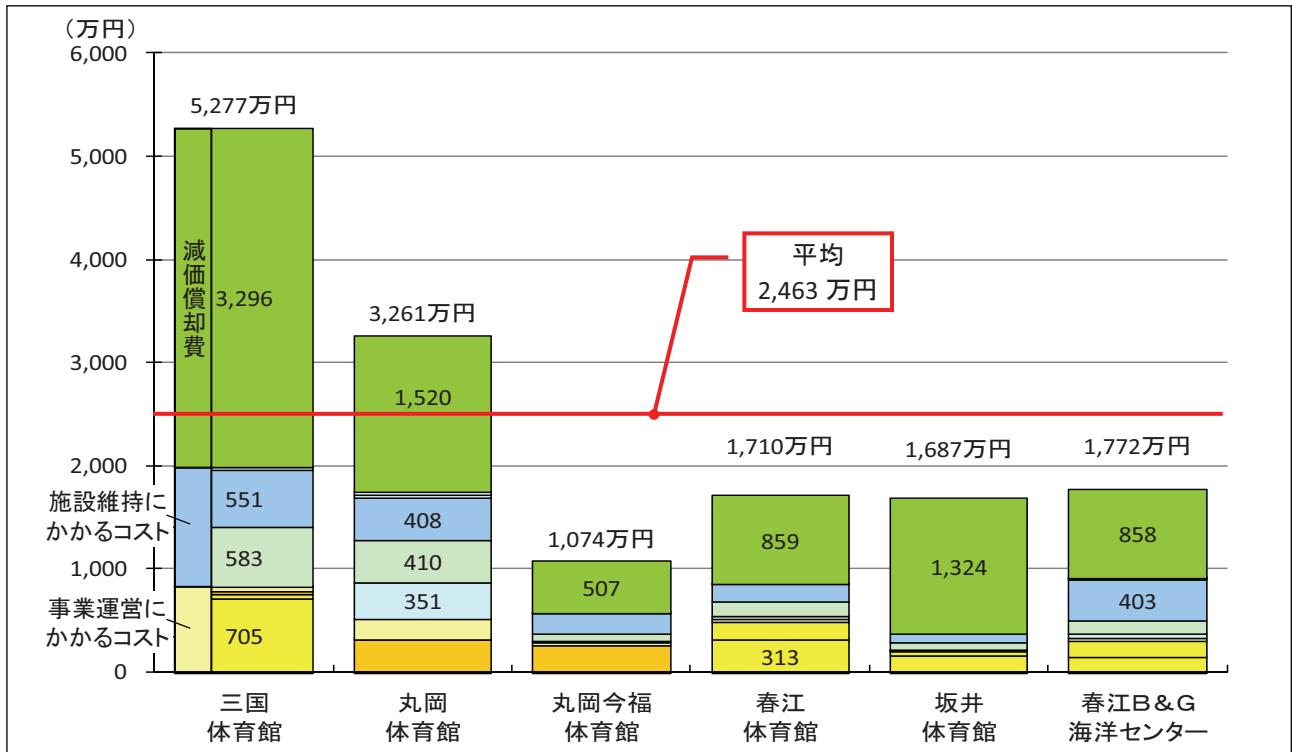
年間の収入は 698 万円で、トータルコストの約 5%となっています。

図 体育館全施設トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



施設別では、最小 1,074 万円(丸岡今福体育館)から最大 5,277 万円(三国体育館)と約 5 倍の差があります。6 施設ともトータルコストに占める減価償却費の割合が最も大きくなっています。

図 体育館施設別トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



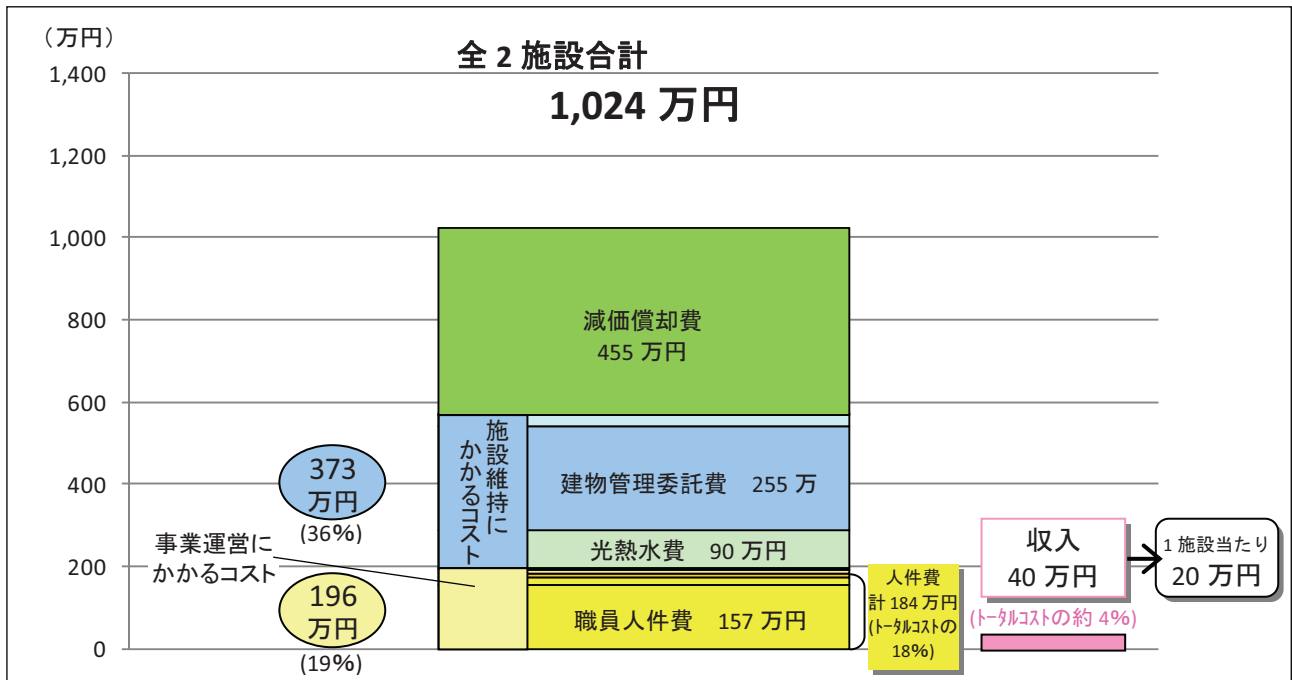
【武道館】

武道館全 2 施設の年間トータルコストは 1,024 万円、1 施設当たり平均 512 万円です。

施設維持にかかるコストは 373 万円 (36%)、事業運営にかかるコストは 196 万円 (19%)、減価償却費は 455 万円 (45%) です。

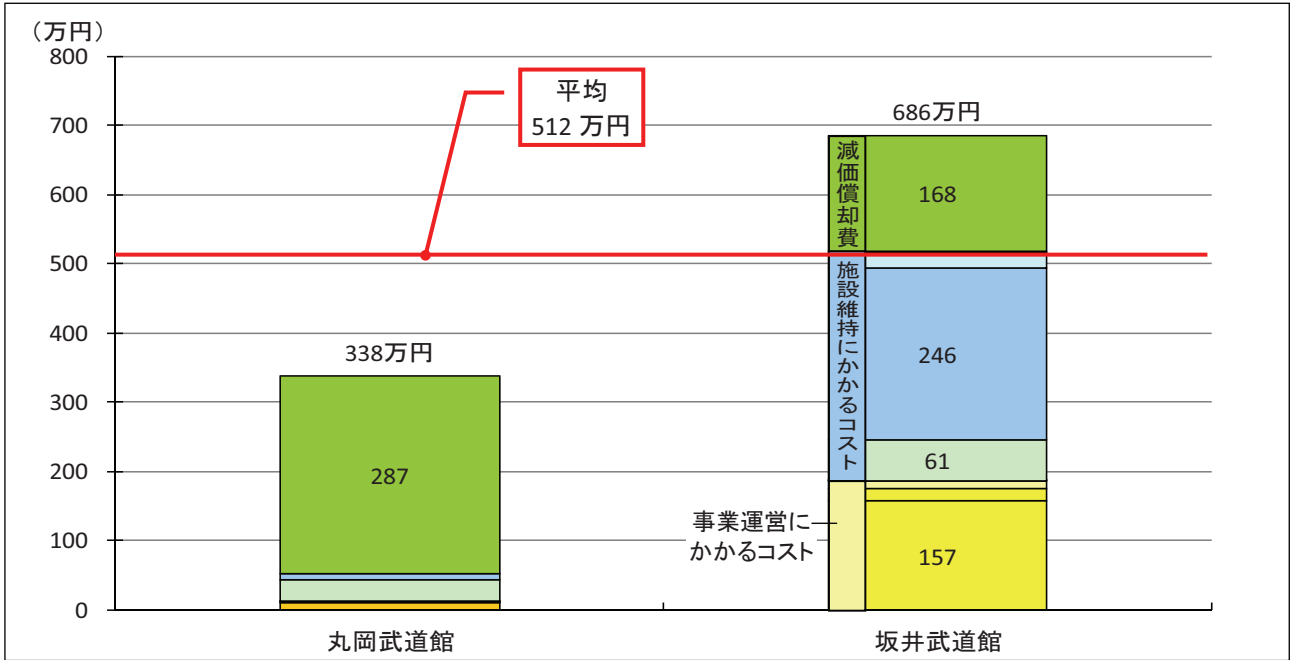
年間の収入は 40 万円で、トータルコストの約 4%となっています。

図 武道館全施設トータルコスト(2008 年度)



施設別では、338万円(丸岡武道館)、686万円(坂井武道館)と約2倍の差があります。各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、丸岡武道館では減価償却費、坂井武道館では建物管理委託費となっています。これは、2008年度時点で指定管理者を導入している丸岡武道館と、市が直接管理運営している坂井武道館で建物管理委託費、人件費に差が生じ、運営形態の違いが大きな要因となっています。

図 武道館施設別トータルコスト(2008年度(H20年度))



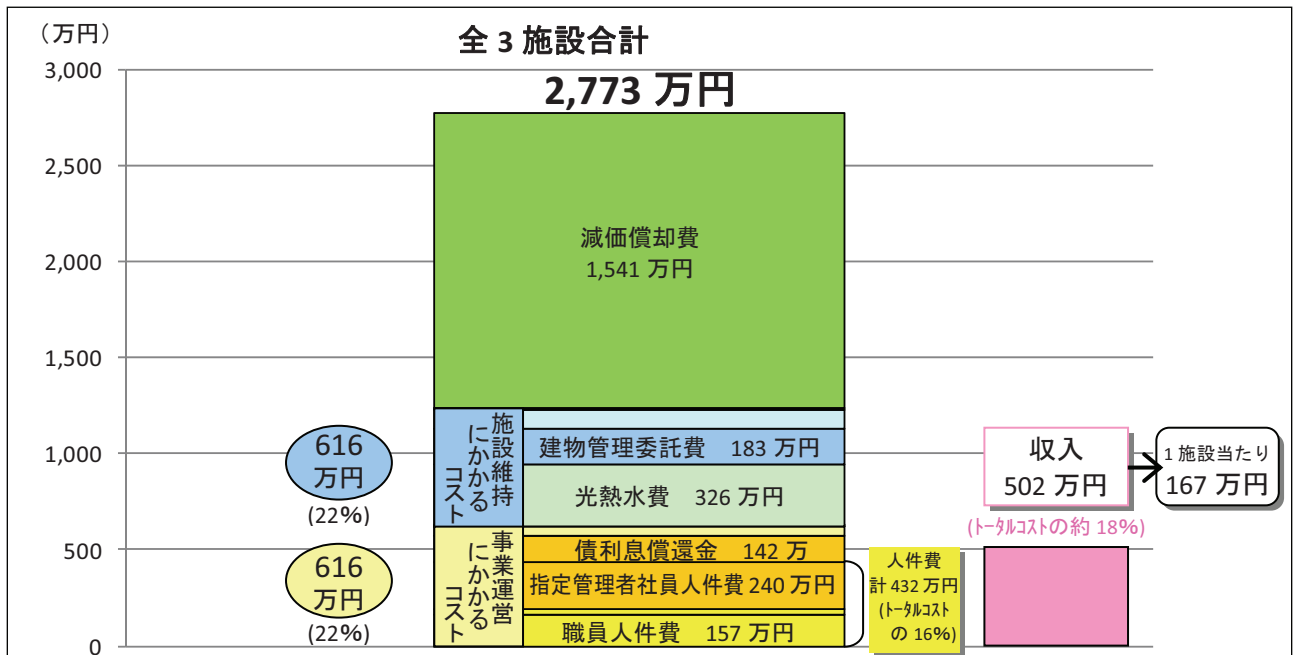
【屋内競技場】

屋内競技場全3施設の年間トータルコストは2,773万円、1施設当たり平均924万円です。

施設維持にかかるコストは616万円(22%)、事業運営にかかるコストは616万円(22%)、減価償却費は1,541万円(56%)です。

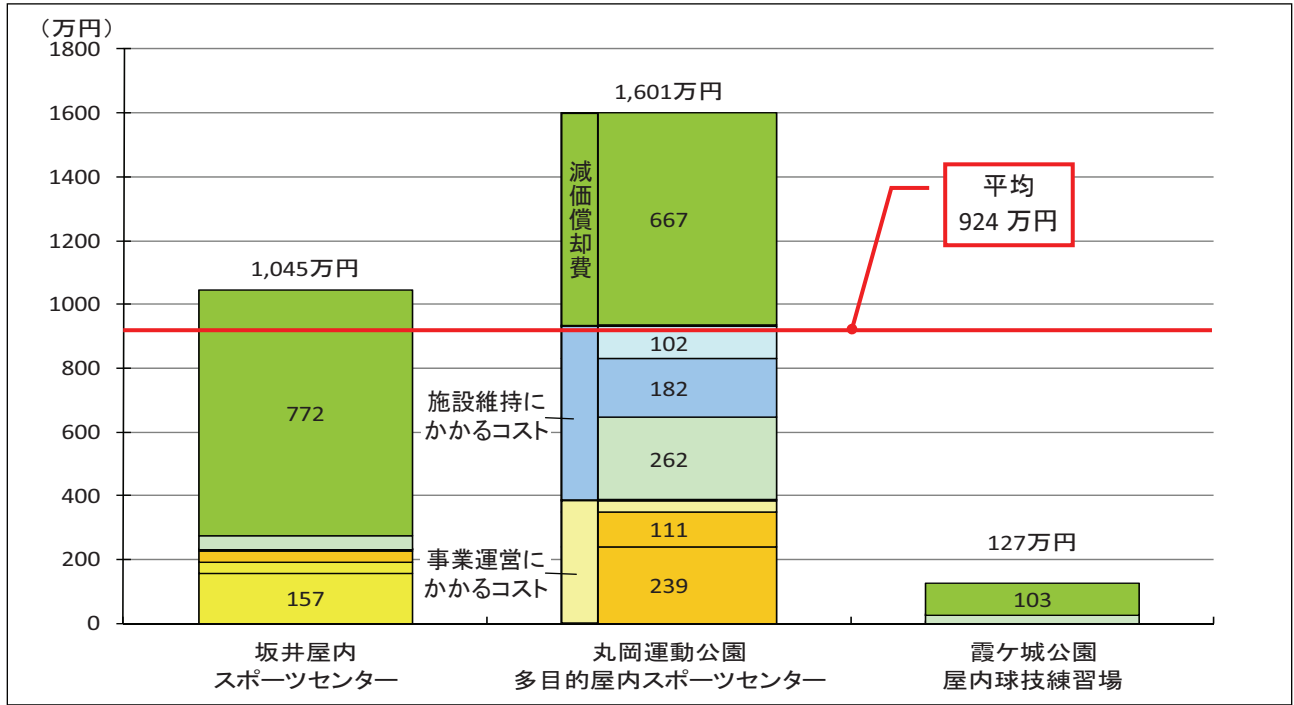
年間の収入は502万円で、トータルコストの約18%となっています。

図 屋内競技場全施設トータルコスト(2008年度(H20年度))



施設別では、最小 127 万円(霞ヶ城公園屋内球技練習場)から最大 1,601 万円(丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター)と約 13 倍の差があります。3 施設とも減価償却費がトータルコストに占める割合が最も大きくなっています。

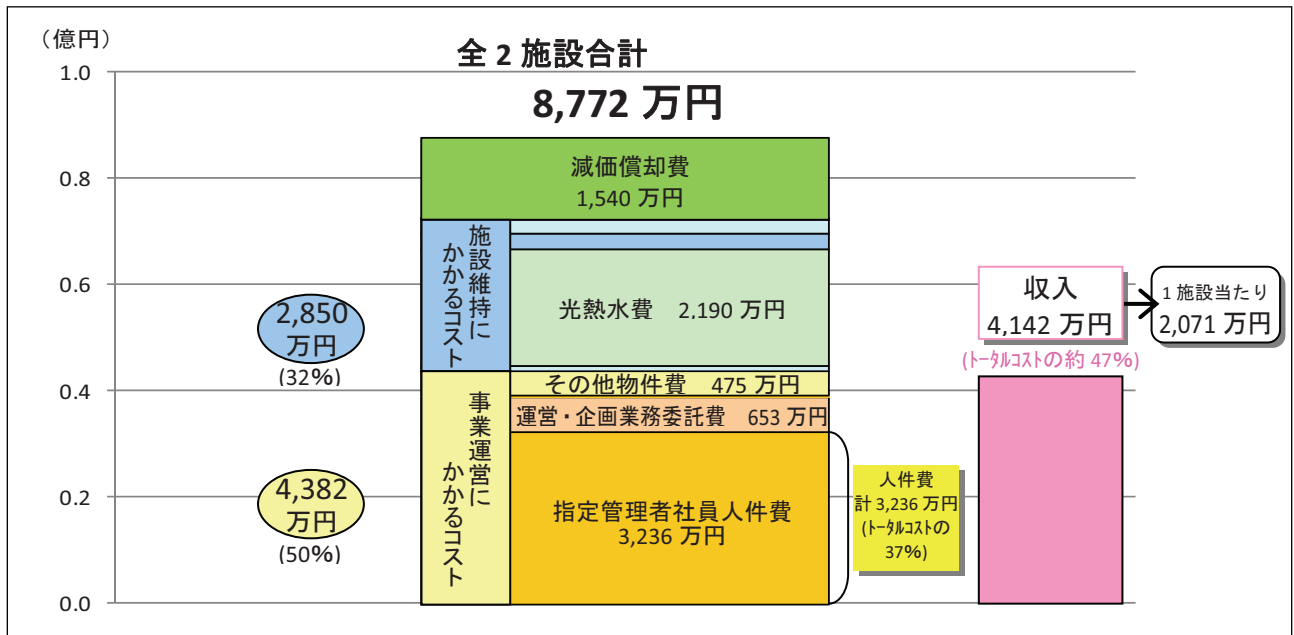
図 屋内競技場施設別トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



【屋内温水プール】

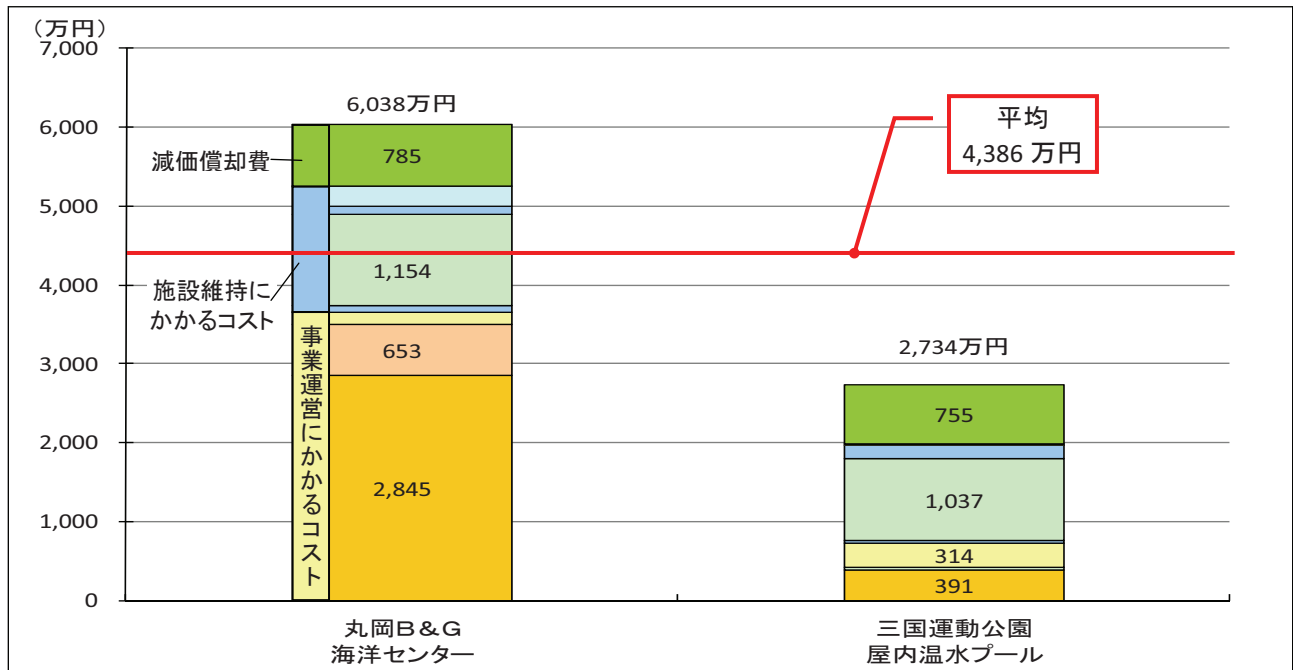
屋内温水プール全 2 施設の年間トータルコストは 8,772 万円、1 施設当たり平均 4,386 万円です。施設維持にかかるコストは 2,850 万円(32%)、事業運営にかかるコストは 4,382 万円(50%)、減価償却費は 1,540 万円(18%)です。年間の収入は 4,142 万円で、トータルコストの約 47%となっています。

図 屋内温水プール全施設トータルコスト(2008 年度)



施設別では、2,734万円(三国運動公園屋内温水プール)、6,038万円(丸岡B&G海洋センター)と約2倍の差があります。各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、丸岡B&G海洋センターでは指定管理者社員人件費、三国運動公園屋内温水プールでは光熱水費となっています。

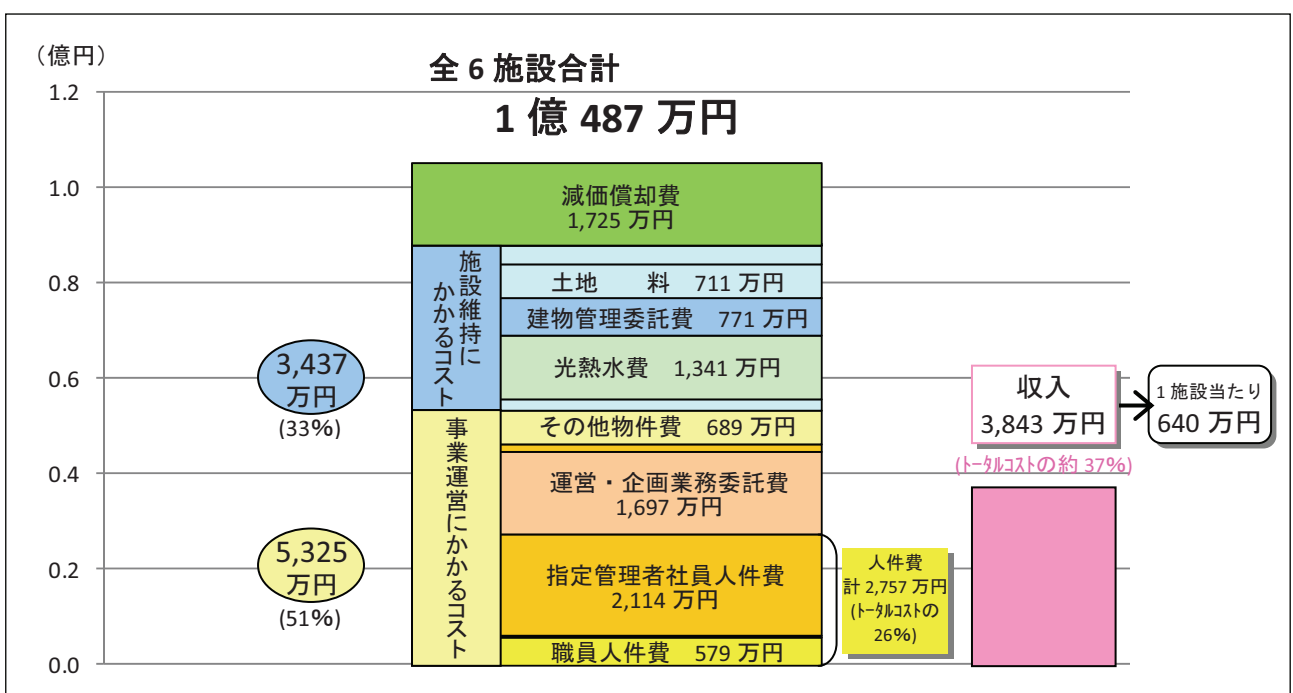
図 屋内温水プール施設別トータルコスト(2008年度(H20年度))



【その他の施設】

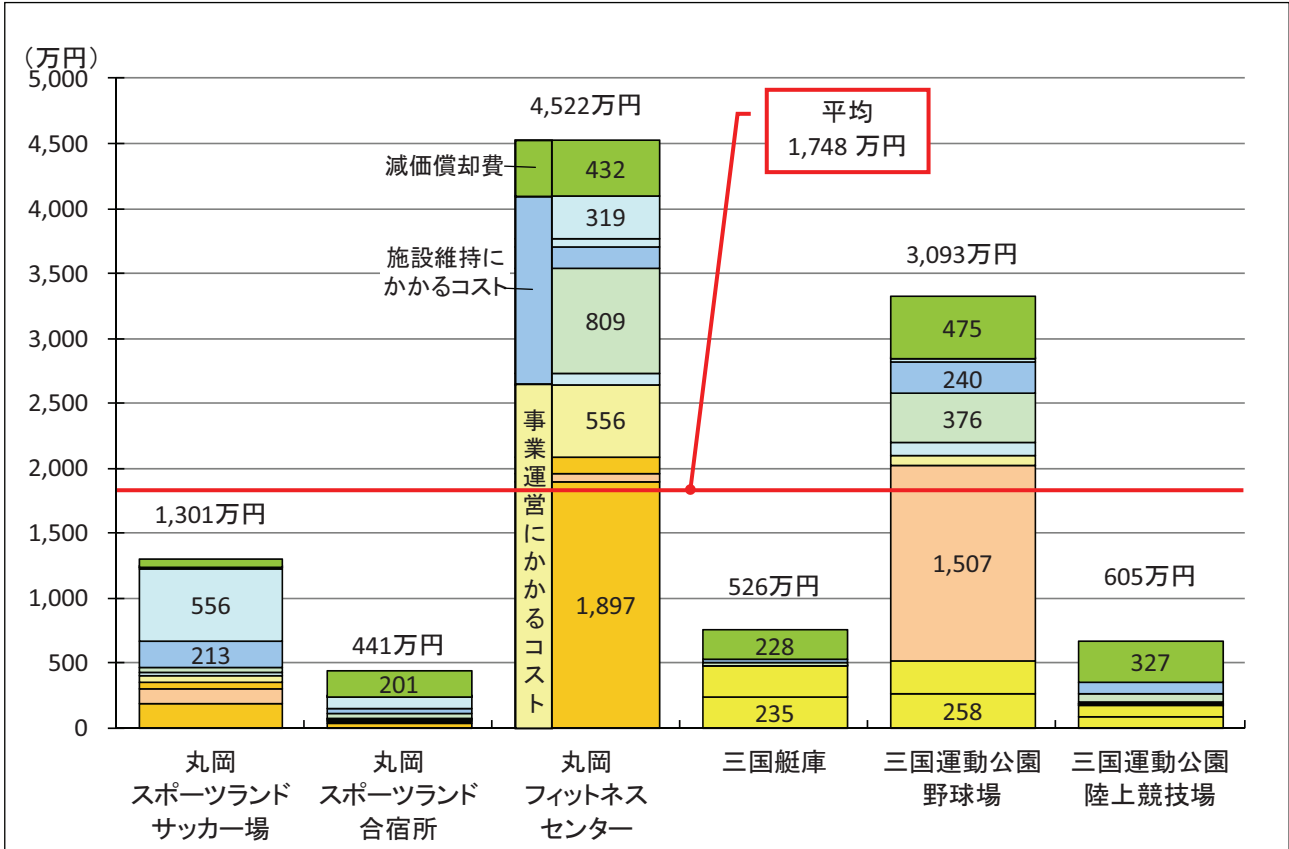
その他の施設全6施設の年間トータルコストは1億487万円、1施設当たり平均1,748万円です。施設維持にかかるコストは3,437万円(33%)、事業運営にかかるコストは5,325万円(51%)、減価償却費は1,725万円(16%)です。年間の収入は3,843万円で、トータルコストの約37%となっています。

図 その他の施設 全施設トータルコスト(2008年度)



施設別では、最小 441 万円(丸岡スポーツランド合宿所)から最大 4,522 万円(丸岡フィットネスセンター)と約 10 倍の差があります。各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、丸岡スポーツランドサッカー場では土地賃借料、丸岡スポーツランド合宿所、三国運動公園陸上競技場では減価償却費、丸岡フィットネスセンターでは指定管理者人件費、三国艇庫では職員人件費、三国運動公園野球場では運営・企画業務委託となっています。

図 その他の施設 施設別トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



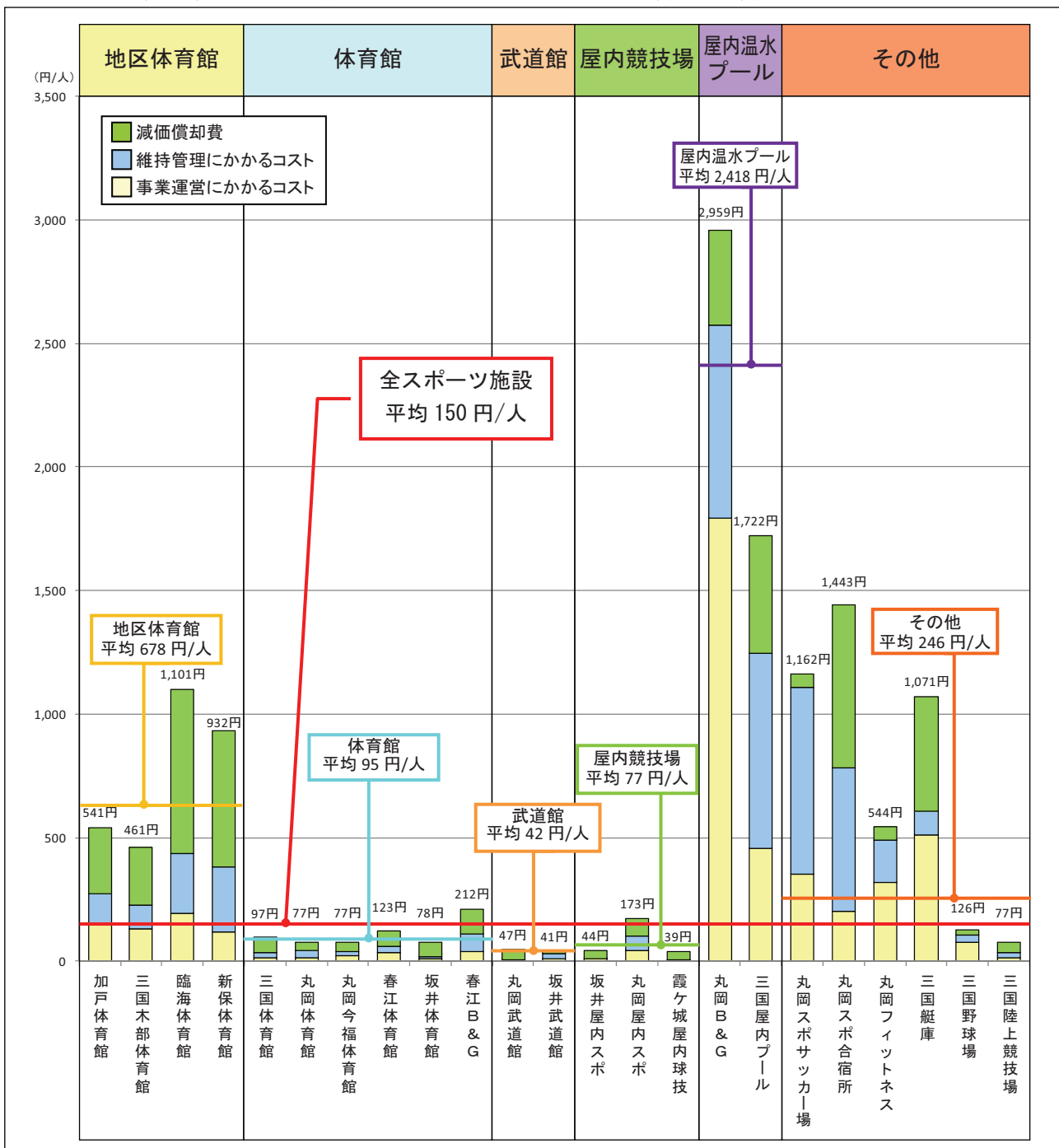
③ 評価・分析

■ 利用者1人当たりの年間平均コストから見た特徴

機能毎に見たスポーツ施設23施設の利用者1人当たりにかかる平均コストは150円です。施設別では、最小39円/人(霞ヶ城公園屋内球技練習場)から最大2,959円/人(丸岡B&G海洋センター)と約76倍の差があります。

トータルコストが大きく利用者が少ない屋内温水プール2施設が1人当たりのコストが大きくなっています。トータルコストが小さく利用者が少ない地区体育館は、屋内温水プールに次いで1人当たりのコストが大きくなっています。トータルコストが大きく、利用者が多い三国体育館、丸岡体育館、丸岡今福体育館、春江体育館、坂井体育館、坂井武道館、坂井屋内スポーツセンター、丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンターは、1人当たりのコストが100円未満となっています。

図 スポーツ施設別(機能毎) 利用者1人当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



■ 1㎡当たりの年間平均コストから見た特徴

機能毎に見たスポーツ施設 23 施設の 1㎡当たりにかかる平均コストは 4,242 円です。施設別では、最小 215 円/㎡(三国運動公園陸上競技場)から最大 52,276 円/㎡(丸岡フィットネスセンター)と約 243 倍の差があります。

施設規模の割に、人件費や光熱水費が大きい屋内温水プール 2 施設、丸岡フィットネスセンター、減価償却費が大きい体育館 6 施設は、単位面積当たりにかかるコストが大きくなっています。

図 スポーツ施設別(機能毎) 単位面積当たりにかかるトータルコスト(2008 年度(H20 年度))

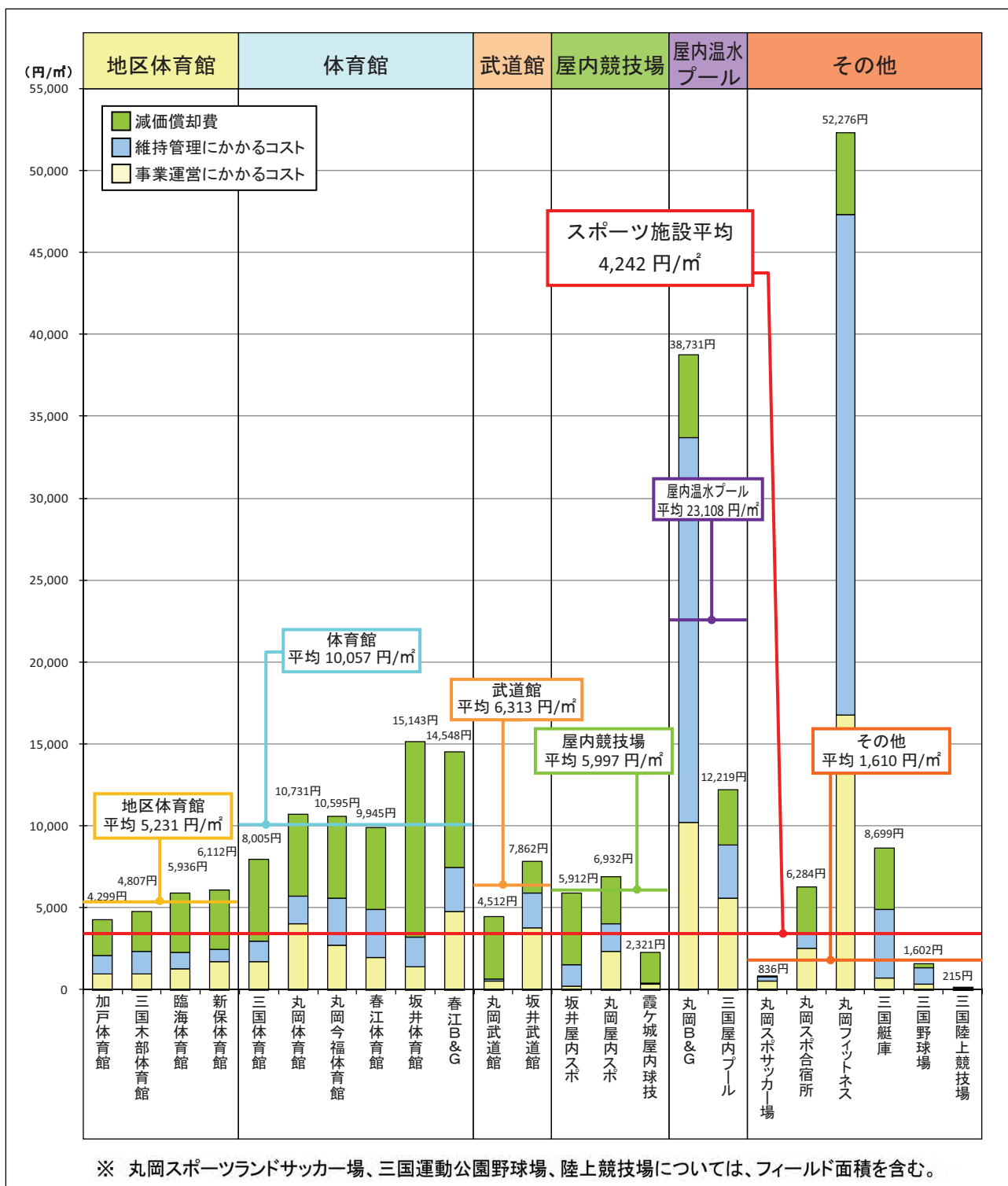
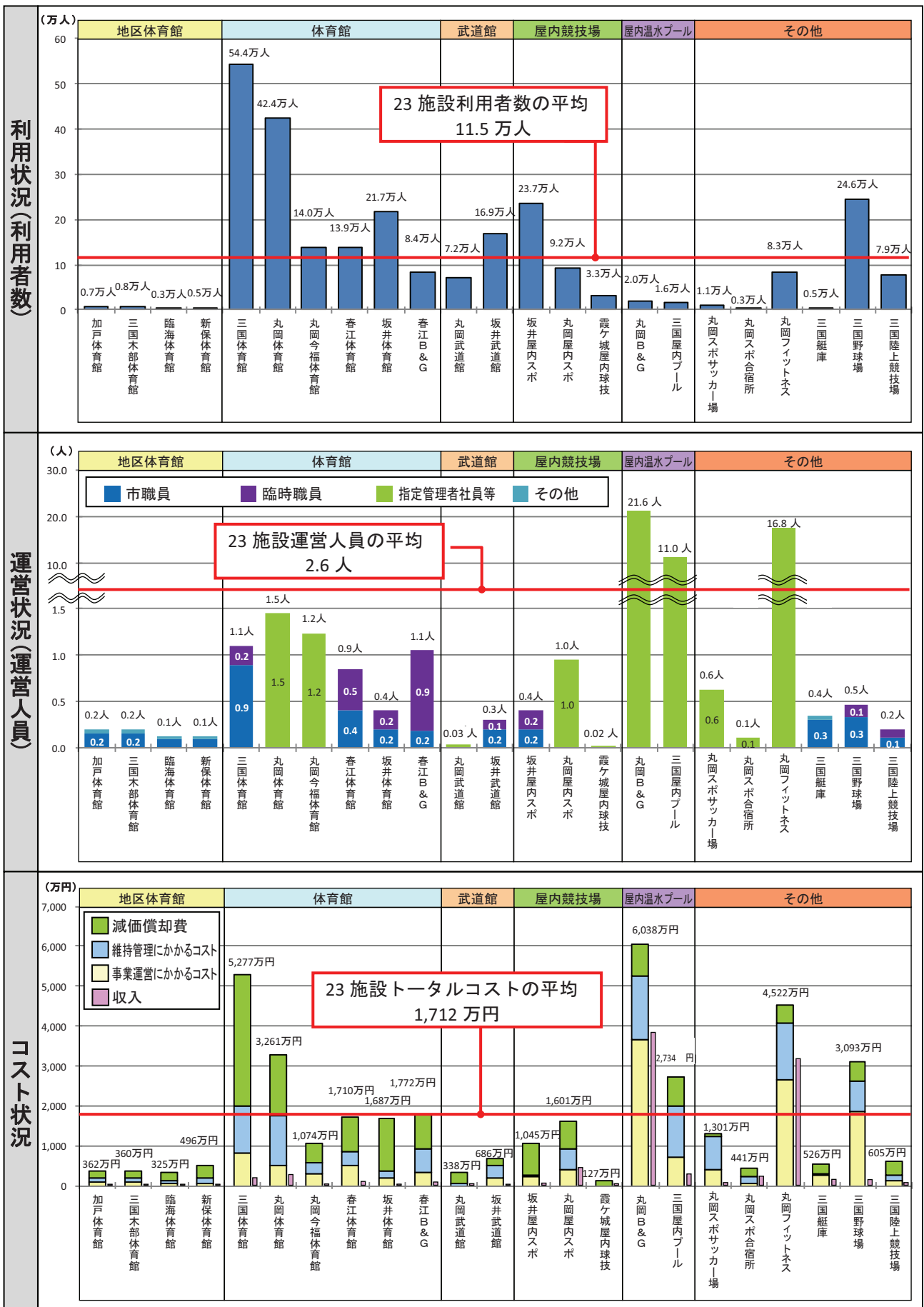


図 施設別(機能毎)に見た「利用状況・運営状況・コスト状況」の比較(2008年度(H20年度))



(8) 文化施設・文化財施設(8 施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の文化・文化財施設は8施設で2万324㎡です。その内訳は、文化ホールを中心とした文化施設が3施設、文化財の展示、収蔵、調査・研究の拠点である文化財施設が5施設です。

施設の建築年度を見ると、建築後30年以上を経過した施設は、三国社会福祉センター、みくに龍翔館、丸岡歴史民俗資料館、旧岸名家、旧森田銀行本店の5施設です。

表 施設一覧

(2011年(H23年)4月1日現在)

種類	施設名	用途	延床面積 (㎡)	建築年度	指定 管理者	備考
文化 (ホール等)	1 みくに文化未来館	文化ホール	2,519.0	1993	●	図書館併設 指定期間H20～H24年度
	2 文化の森・YURI文化情報交流館	文化ホール	9,135.0	1995	●	図書館併設 指定期間H20～H24年度
	3 三国社会福祉センター	ホール	3,630.1	1971	●	指定期間H20～H24年度
文化財 (博物館等)	4 みくに龍翔館	資料館	3,956.4	1981		
	5 ONOメモリアル	ギャラリー・アトリエ、 資料館、木造邸宅	288.7	1974(木造邸宅) 2005(BLUE CAKE)		
	6 丸岡歴史民俗資料館	資料館	242.6	1978	●	指定期間H20～H24年度
	7 旧岸名家	文化財、倉庫	273.8	1869(文化財) 2004(倉庫)	●	指定期間H20～H24年度
	8 旧森田銀行本店	文化財	278.0	1920	●	指定期間H20～H24年度
合計			20,323.6		6	

イ) 運営日数、運営時間

■ 運営日数

2008年度(H20年度)の運営日数を見ると、ONOメモリアルの127日から丸岡歴史民俗資料館の357日で概ね年間300日前後の運営日数となっています。ONOメモリアルは、3月～11月までの金曜、土曜、日曜、祝日に運営しています。

表 各施設の運営日数(2008年度)

種類	施設名	平日	土日 祝日	休館日	合計	備考
文化 (ホール等)	みくに文化未来館	199	110	月、12/29～1/3	309日/年	
	文化の森・YURI文化情報交流館	183	107	火、休日の翌日、12/29～1/3	290日/年	
	三国社会福祉センター	237	67	土、日、祝日の翌日、12/29～1/3	304日/年	
文化財 (博物館等)	みくに龍翔館	192	116	水、休日の翌日、12/29～1/3	308日/年	特別展:270日/年
	ONOメモリアル	39	88	月～木、12月～2月	127日/年	特別展:94日/年
	丸岡歴史民俗資料館	243	114	12/28～1/4	357日/年	
	旧岸名家	197	115	水、12/29～1/3	312日/年	
	旧森田銀行本店	198	116	月、12/29～1/3	314日/年	特別展:9日/年

■ 運営時間

ホールで音楽等の演奏や演劇などが行われる文化施設は、催しの内容に応じて22：00まで開館しています。

文化財の展示や資料の収集、調査・研究をしている文化財施設は17：00までの運営となっています。ただし、旧森田銀行本店は展示室の比較的広いスペースを活用した催しが随時開催されており、内容に応じて22：00まで開館しています。

表 施設別の運営時間

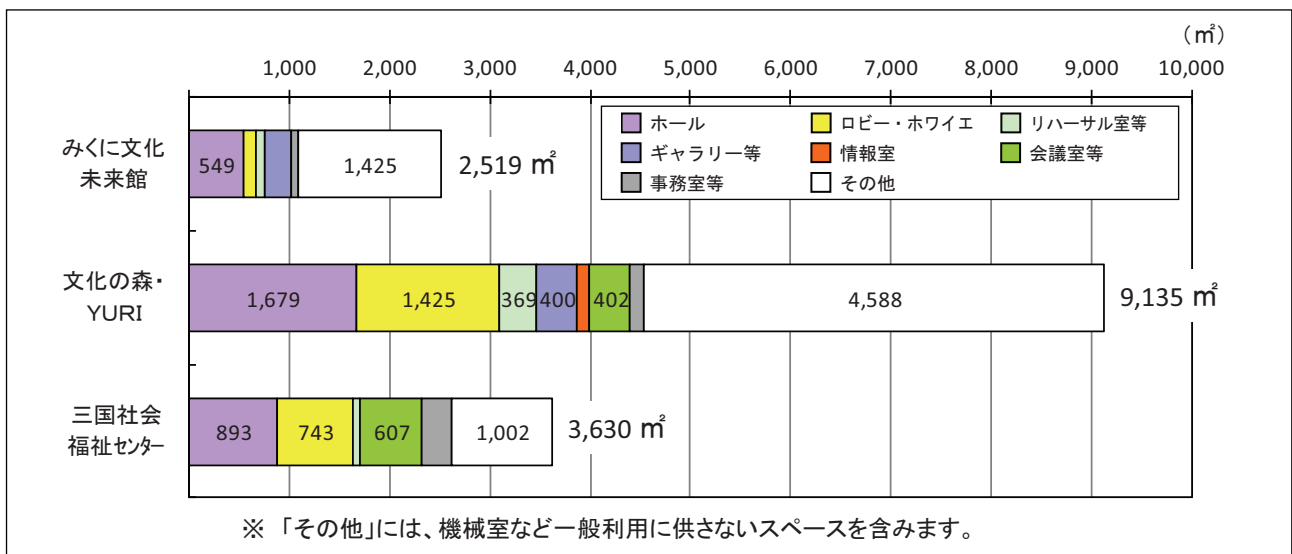
	施設名	開館時間			
		8時	12時	17時	22時
文化施設	みくに文化未来館		9：00～17：00		催しの内容に応じて22：00まで
	文化の森・YURI文化情報館		8：30～18：30		催しの内容に応じて22：00まで
	三国社会福祉センター		8：30～21：30		
文化財施設	みくに龍翔館		9：00～17：00		
	ONOメモリアル		10：00～16：00	(3月～11月までの金、土、日、祝日のみ)	
	丸岡歴史民俗資料館		8：30～17：00		
	旧岸名家		9：00～17：00		
	旧森田銀行本店		9：00～17：00		催しの内容に応じて22：00まで

ウ) スペース構成

【文化施設】

文化施設の規模は、2,519 m²(みくに文化未来館)から9,135 m²(文化の森・YURI文化情報交流館)です。いずれの施設もホール、ロビー・ホワイエ、リハーサル室等を備えています。中でも文化の森・YURI文化情報交流館はこれらのスペースが大きく興行に適した施設となっています。みくに文化未来館、文化の森・YURI文化情報交流館には、展示等を行うギャラリーも備えています。文化施設は、舞台演出に必要な映写機室や空調室、荷さばきスペースなど一般利用に供さないスペースの規模も大きく確保されています。

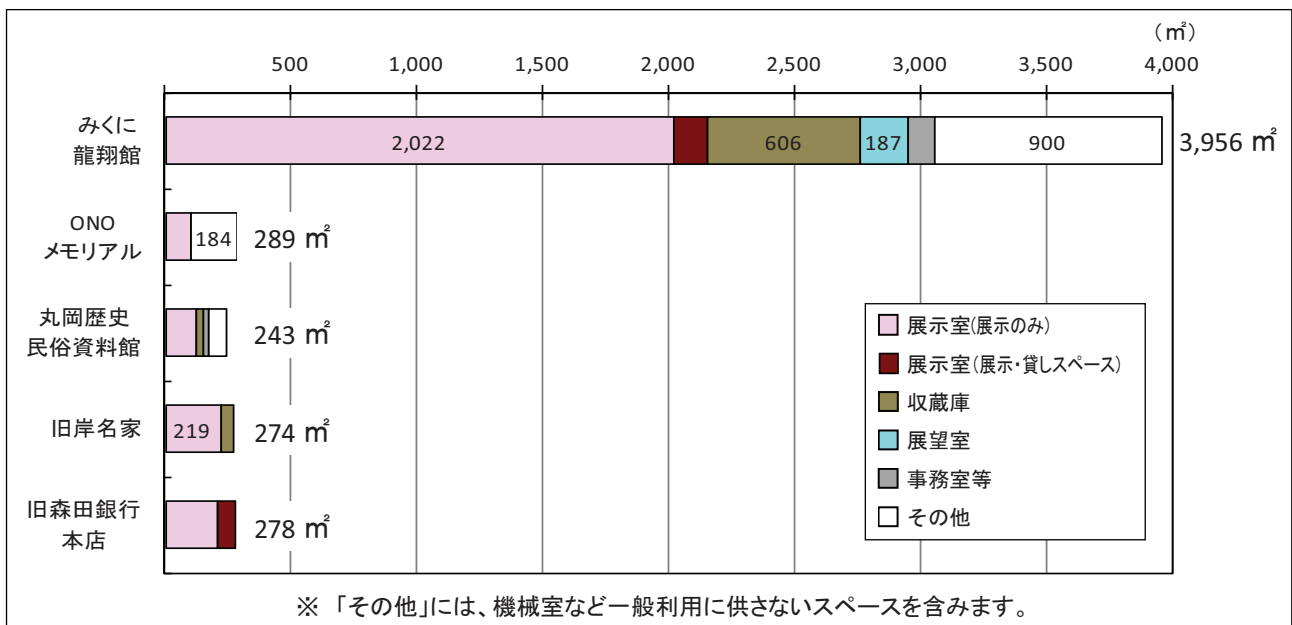
図 文化施設(ホール等)スペース構成



【文化財施設】

文化財施設の規模は、243 m²(丸岡歴史民俗資料館)から3,956 m²(みくに龍翔館)です。いずれの施設も文化財を展示するスペースを中心に構成していますが、みくに龍翔館は収蔵庫や展望室が備えられています。登録文化財となっている旧岸名家および旧森田銀行本店では、施設のほとんどが公開されています。

図 文化財施設スペース構成



② 実態把握

ア) 建物総合評価

文化・文化財施設 6 施設(旧岸名家、旧森田銀行本店は除く)を以下の 2 パターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 3 施設が該当します。パターン②は、現状で特に問題がない施設で 3 施設が該当します。

図 建物総合評価

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ②
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震安全性に課題がある ・老朽化が進行している ⇒ 今後、建替えが必要な施設 	<p style="text-align: center;">問題がない施設</p>
	<p>構造安全性</p> <p>維持管理</p> <p>老朽化状況</p> <p>機能改善 (機能面)</p> <p>機能改善 (環境面)</p>	<p>構造安全性</p> <p>維持管理</p> <p>老朽化状況</p> <p>機能改善 (機能面)</p> <p>機能改善 (環境面)</p>
該 当 施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・三国社会福祉センター(1971年築) ・ONOメモリアル (1974年築) ・丸岡歴史民俗資料館 (1978年築) <p style="text-align: center;"><3施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みくに文化未来館 (1993年築) ・文化の森・YURI (1995年築) 文化情報交流館 ・みくに龍翔館 (1981年築) <p style="text-align: center;"><3施設></p>

評 価	<p>維持管理費に改善の 必要性がある施設</p>
	<p>6施設のうち、以下の2施設は、他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっています。</p>
該 当 施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・ONOメモリアル (1974年築) ・旧岸名家 (1869年築)

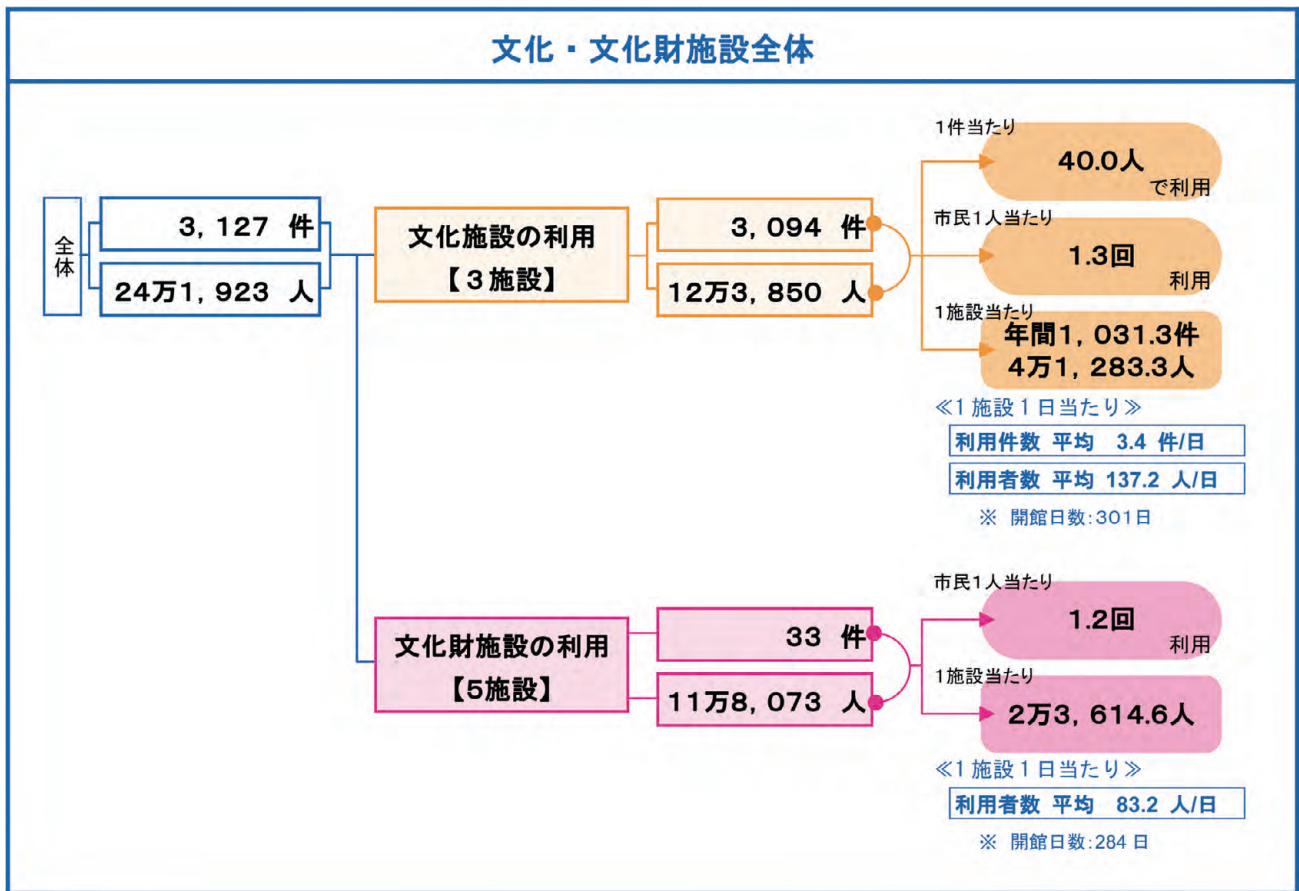
※ 旧岸名家、旧森田銀行本店は、歴史的文化的遺産として保有しており、建替えや大規模改修の実施に関する評価の対象外としています。

イ) 利用状況

■ 文化・文化財施設全体の利用状況

2008年度(H20年度)の文化・文化財施設全体の利用件数は3,127件、利用者数は24万1,923人です。このうち文化施設の利用は3,094件、利用者数は12万3,850人で、1件当たりの利用者数は、平均40人、市民1人当たりでは年間1.3回利用しています。また、1施設1日当たりでは、利用件数は平均3.4件/施設、利用者数は137.2人/施設となっています。文化財施設では、旧森田銀行本店でのみ貸館事業を行っており、展示や催事で33件、展示物の観覧で11万8,073人、市民1人当たりでは、年間1.2回利用しています。また、1施設1日当たりの利用者数は平均83.2人/施設となっています。

図 文化・文化財施設の利用件数・利用者数(2008年度)

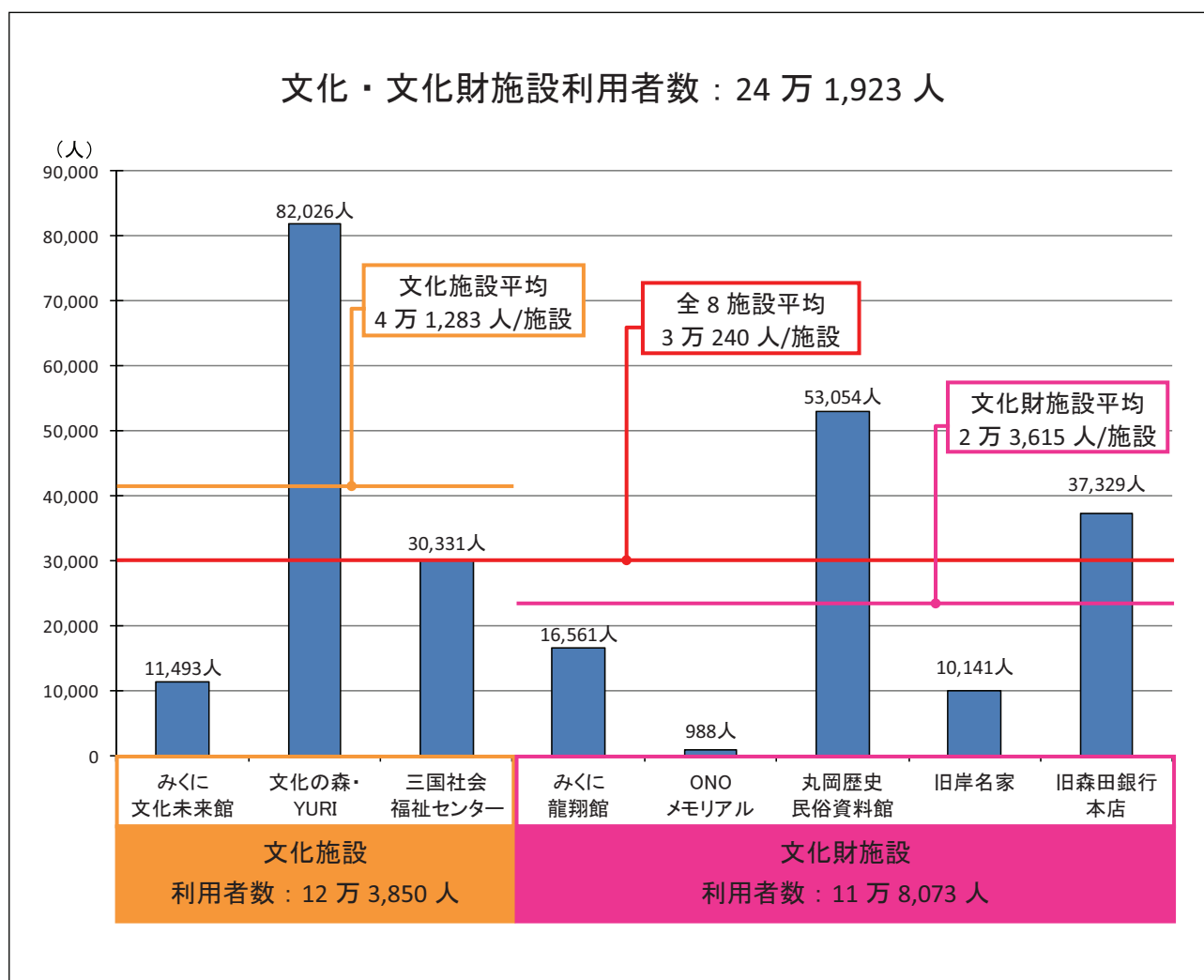


※ 人口 2009年(H21年)3月31日住民基本台帳 9万5,023人を用いて算出

■ 年間利用者数

文化・文化財施設の年間利用者数 24 万 1,923 人の内訳を見ると、文化施設が 12 万 3,850 人(51.2%)、文化財施設が 11 万 8,073 人(48.8%)です。施設別に見ると、文化 3 施設では最小 1 万 1,493 人(みくに文化未来館)から最大 8 万 2,026 人(文化の森・YURI 文化情報交流館)で、1 施設当たり平均 4 万 1,283 人となっています。文化財 5 施設では、最小 988 人(ONOメモリアル)から 5 万 3,054 人(丸岡歴史民俗資料館)で 1 施設当たり平均 2 万 3,615 人となっています。

図 文化・文化財施設の利用者数(2008 年度(H20 年度))



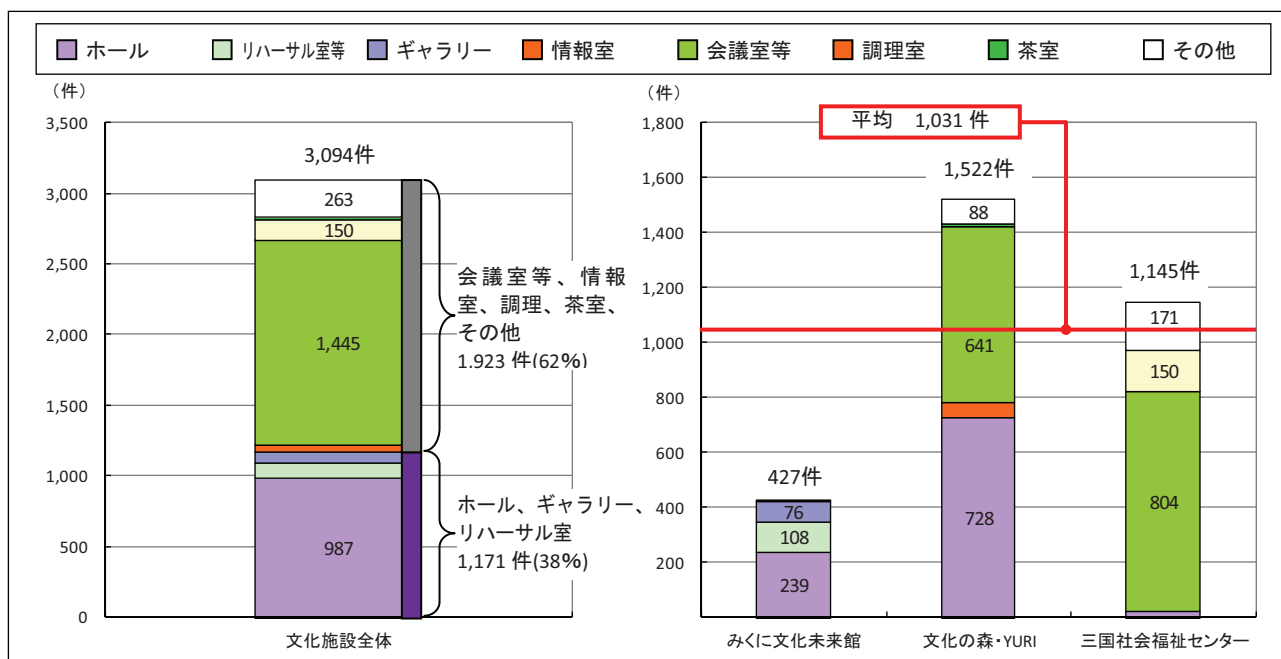
■ 機能別利用件数(文化施設のみ)

文化施設の年間利用件数 3,094 件を機能別に見ると、会議室等の利用が 1,445 件と最も多く、次いでホール機能利用が 987 件、その他(ボランティア室、応接室等)が 263 件となっています。

文化施設の主要な機能であるホール、ギャラリー、リハーサル室等の年間利用件数の合計は 1,171 件で、全体の約 38%となっています。

各施設における利用件数で最も多い機能を見ると、みくに文化未来館、文化の森・YURI 文化情報交流館ではホール、三国社会福祉センターでは会議室等となっており、同じホール機能を有する施設でもスペース構成、設備、老朽度によって利用に差があります。

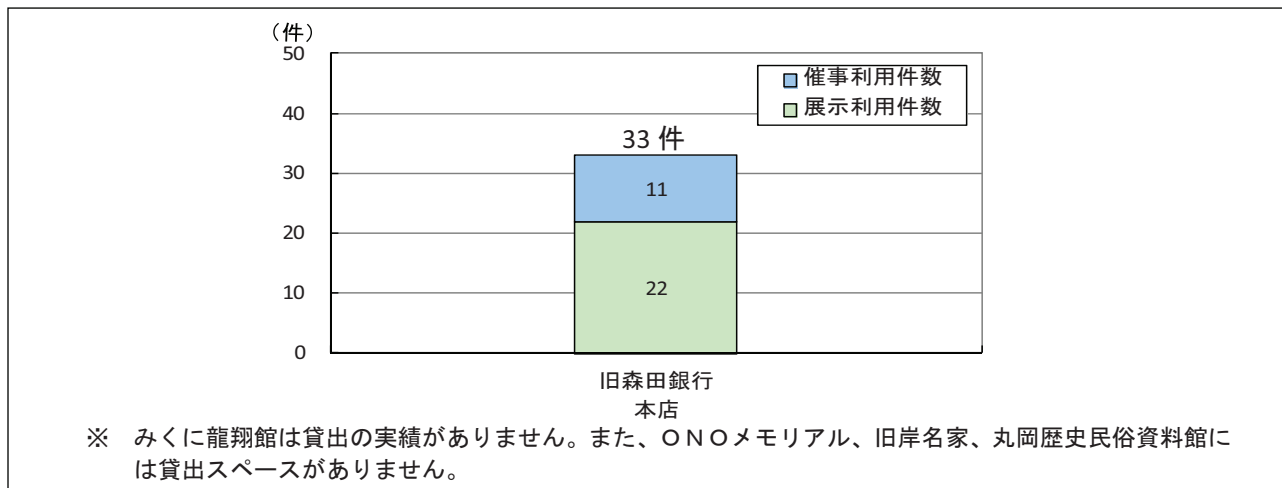
図 文化施設の機能別の利用件数(2008 年度(H20 年度))



■ 目的別利用件数(文化財施設のみ)

文化財施設 5 施設のうち、貸出可能なスペースがあるみくに龍翔館および旧森田銀行本店の年間利用件数は 33 件、みくに龍翔館は貸出の実績はありません。旧森田銀行本店 33 件の内訳は、展示利用件数 22 件、催事利用件数 11 件です。

図 文化財施設の利用目的別利用件数(2008 年度)



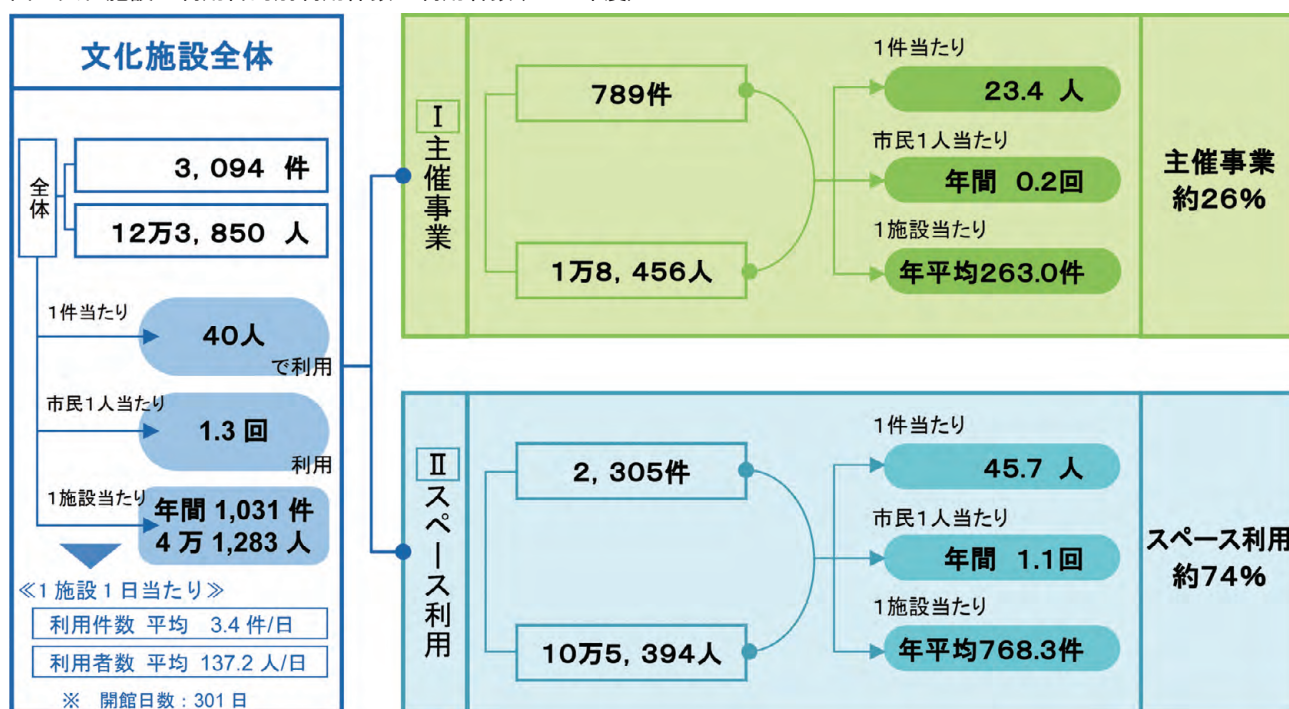
■ 利用目的別利用状況(文化施設のみ)

2008年度(H20年度)の文化施設3施設の利用状況を目的別に見ると、主催事業の利用件数は789件、利用者数は1万8,456人で全体利用の約26%程度となっています。1施設当たりでは年間平均263件の開催となっています。

スペース利用の年間利用件数は、2,305件、利用者数は10万5,394人で全体の約74%となっています。1施設当たりでは年平均768.3件となっています。

施設別に見ると、みくに文化未来館、三国社会福祉センターは「主催事業」、文化の森・YURI文化情報交流館は「一般利用」が最も多くなっています。

図 文化施設の利用目的別利用件数・利用者数(2008年度)



※ 人口2009年(H21年)3月31日住民基本台帳9万5,023人を用いて算出

みくに文化未来館

	利用目的(内容)						合計
	主催事業	サークル活動	地域利用	官庁利用	一般利用	その他(学校)	
年間利用件数	166件	72件	一件	38件	111件	40件	427件
年間利用者数	3,952人	241人	一人	91人	5,114人	2,095人	11,493人

文化の森・YURI文化情報交流館

	利用目的(内容)						合計
	主催事業	サークル活動	地域利用	官庁利用	一般利用	その他(学校)	
年間利用件数	228件	169件	一件	161件	806件	158件	1,522件
年間利用者数	9,691人	6,928人	一人	6,682人	46,223人	12,502人	82,026人

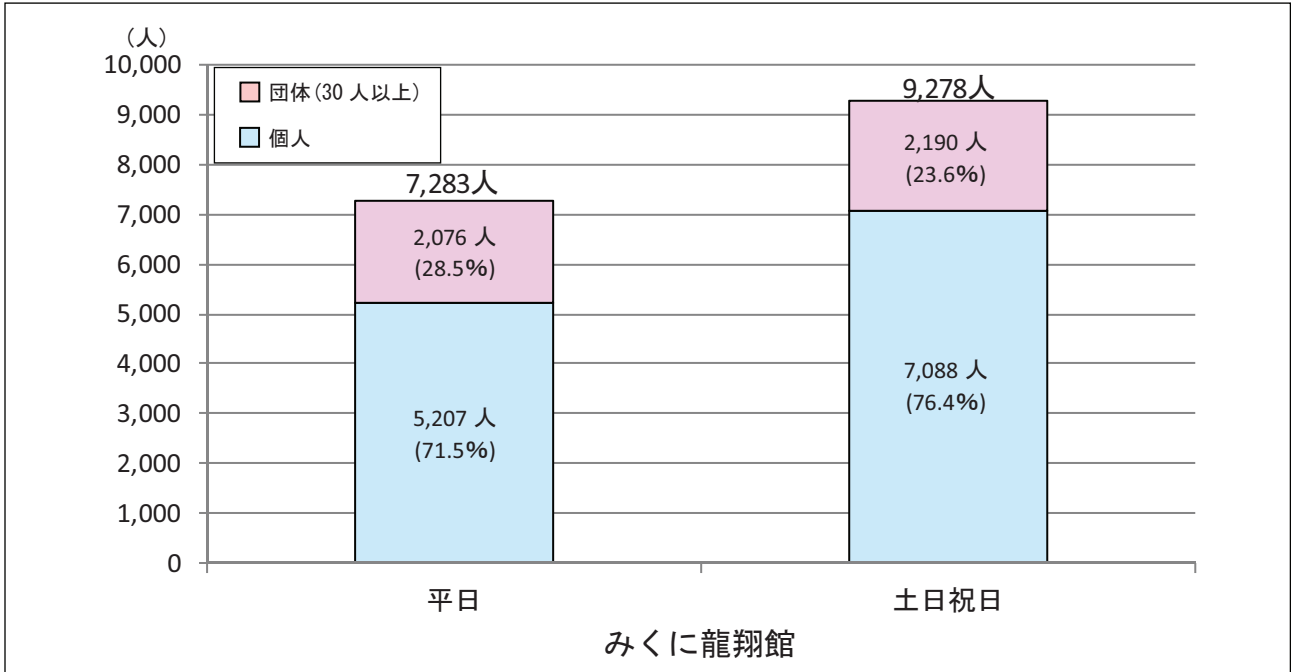
三国社会福祉センター

	利用目的(内容)						合計
	主催事業	サークル活動	地域利用	官庁利用	一般利用	その他	
年間利用件数	395件	66件	45件	252件	387件	一件	1,145件
年間利用者数	4,813人	913人	1,593件	12,091人	10,921人	一人	30,331人

■ 個人/団体別入場者数(文化財施設のみ)

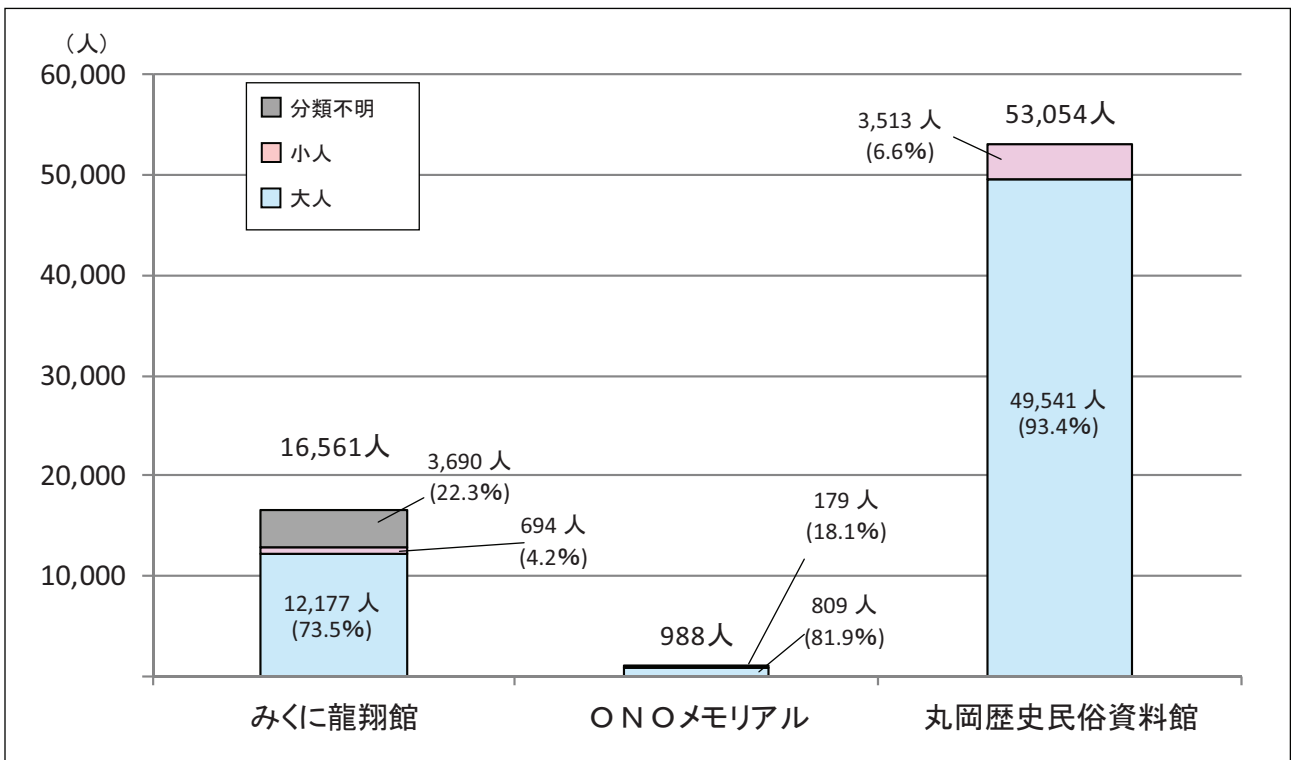
文化財施設 5 施設のうちみくに龍翔館には、30 人以上で利用する団体利用と個人利用の区分があります。平日、土日祝日とも個人利用が団体利用を大きく上回っています。

図 文化財施設 個人/団体別入場者数(2008 年度(H20 年度))



文化財施設 5 施設のうち、みくに龍翔館、ONOメモリアル、丸岡歴史民俗資料館には、大人/小料金の区分があります。いずれの施設も高校生以上の大人の利用者の割合が高く、特に丸岡歴史民俗資料館は、大人の利用者の割合が全体の 9 割を超えています。

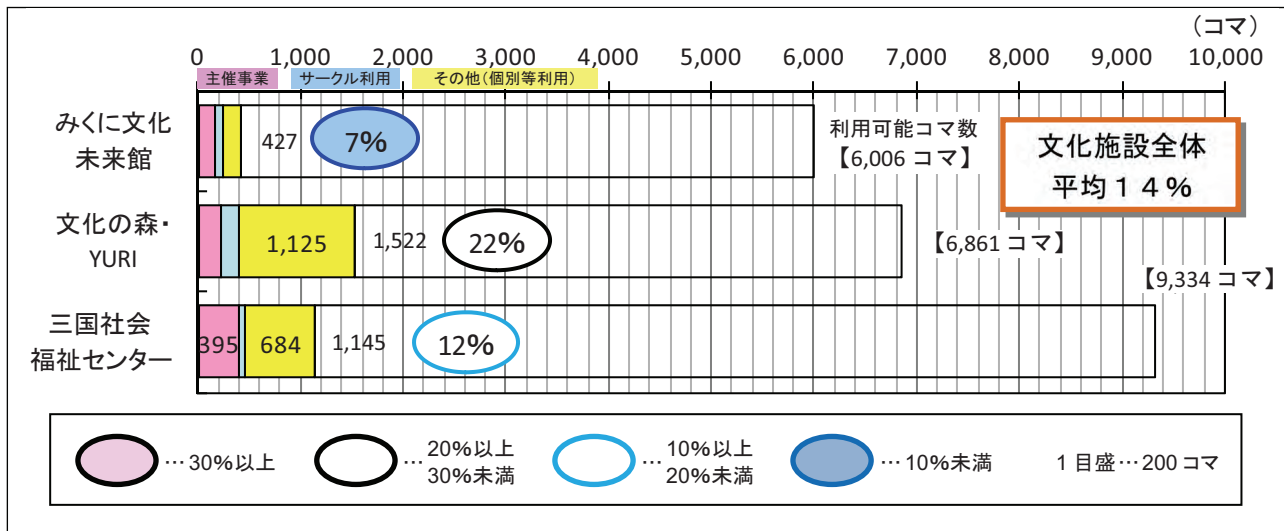
図 文化財施設 大人/小人別入場者数(2008 年度)



■ 施設別の稼働率(文化施設のみ)

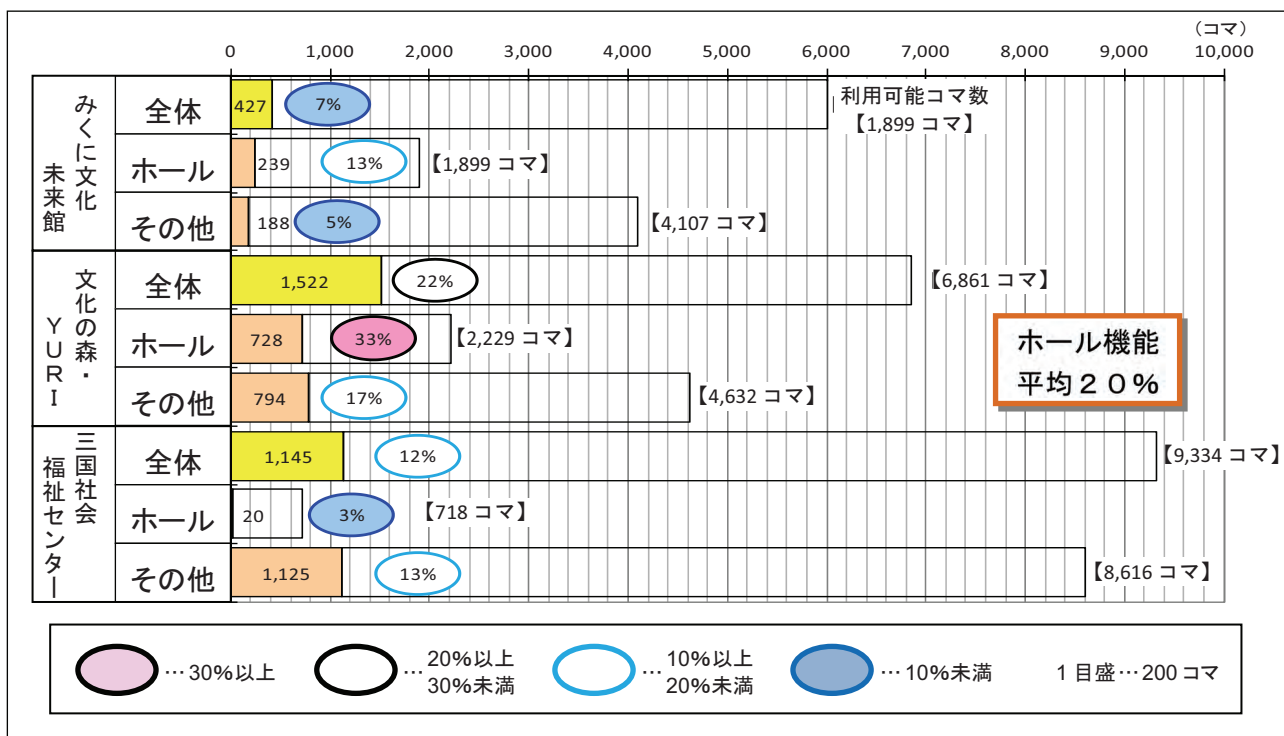
文化施設3施設の稼働率は平均14%となっています。施設別に見ると、最小7%(みくに文化未来館)から最大22%(文化の森・YURI文化情報交流館)で稼働率に差があります。

図 文化施設別の稼働率(2008年度(H20年度))



機能別に見ると、ホール機能は最小3%(三国社会福祉センター)から最大33%(文化の森・YURI文化情報交流館)で平均20%となっています。また、「ホール」と「その他(会議室等)」の稼働率を比較すると、みくに文化未来館、文化の森・YURI文化情報交流館は「ホール」が高く、三国社会福祉センターは「その他(会議室等)」が高くなっています。

図 文化施設の機能別稼働率(2008年度)



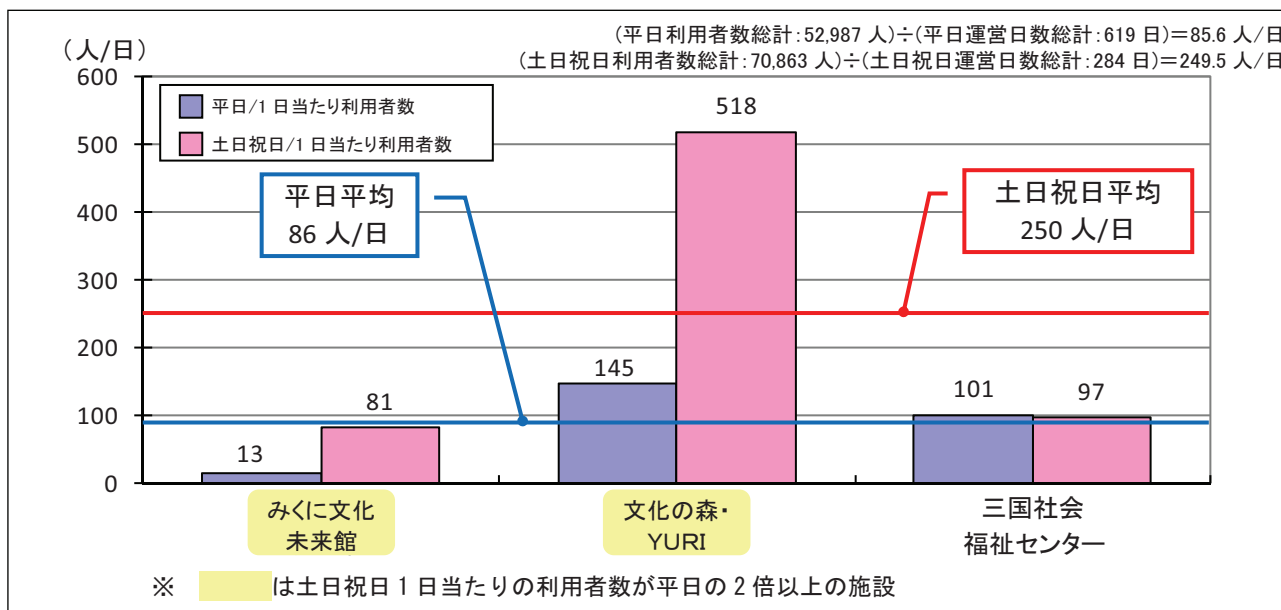
■ 平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数

【文化施設】

文化施設の平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数を見ると、平日は平均86人、土日祝日は平均250人です。

施設別に見ると、みくに文化未来館、文化の森・YURI文化情報交流館は土日祝日が平日の2倍以上となっています。三国社会福祉センターは平日が土日祝日を上回っています。

図 文化施設 平日/土日祝日別1日当たりの利用者数(2008年度(H20年度))

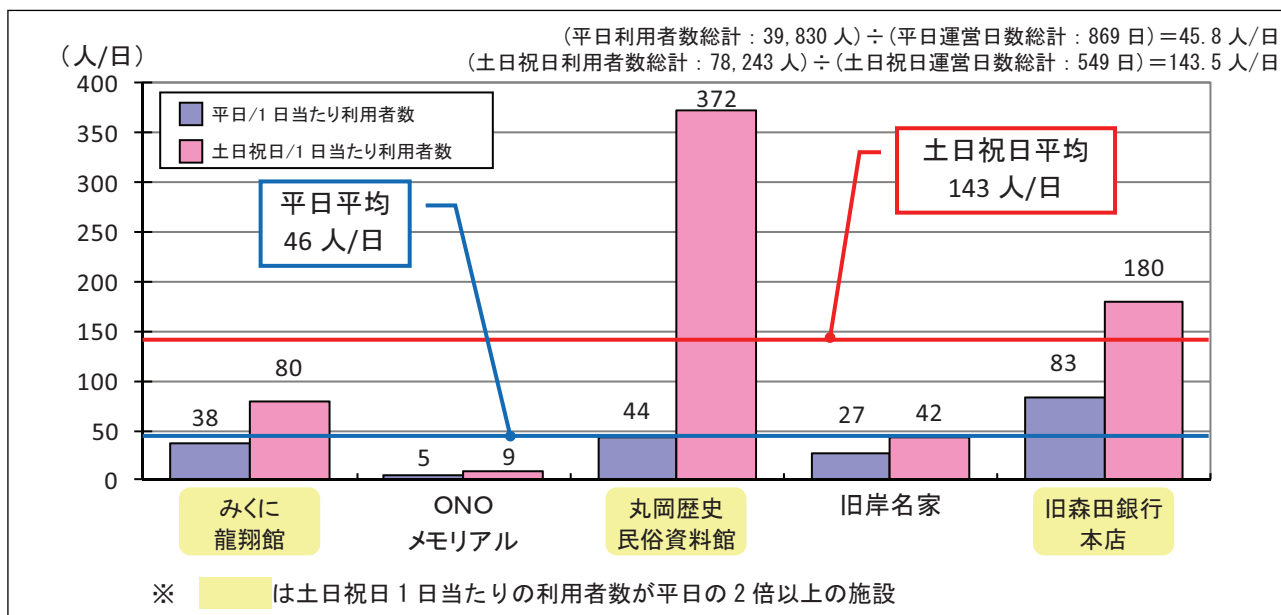


【文化財施設】

文化財施設の平日/土日祝日別の1日当たりの平均利用者数を見ると、平日は平均46人、土日祝日は平均143人です。いずれの施設も土日祝日が平日を上回っています。

施設別に見ると、みくに龍翔館、丸岡歴史民俗資料館、旧森田銀行本店の3施設は土日祝日が平日の2倍以上となっています。

図 文化財施設 平日/土日祝日別1日当たりの利用者数(2008年度)



ウ) 運営状況

文化・文化財 8 施設の 2008 年度(H20 年度)の運営人員は 29 人です。その内訳は市職員が 5 人、臨時職員が 3 人、指定管理者職員が 18 人、その他パート・アルバイト等が 3 人となっています。

運営形態別に見ると、市が直接管理運営を行っている施設は、みくに龍翔館、ONOメモリアルの 2 施設で合計 8 人の運営人員が配置されています。これら以外の 6 施設は指定管理者に施設の管理運営を委託しており、21 人の運営人員となっています。

みくに文化未来館、旧森田銀行本店の管理運営は同一の指定管理者に委託しており、また施設の位置も近いことから指定管理者社員が両施設の管理運営を兼務し人員配置の効率化を図っています。

表 運営人員 (人)

業務内容	区分	文化施設			文化財施設					合計
		みくに文化未来館	文化の森・YURI	三国社会福祉センター	みくに龍翔館	ONOメモリアル	丸岡歴史民俗資料館	旧岸名家	旧森田銀行本店	
施設利用に関する受付・案内	市職員				0.1	0.1				0.2
	臨時職員				0.3					0.3
	指定管理者社員	0.6	5	4			1	1		11.6
	パート・アルバイト								1	1
	その他					1				1
	小計	0.6	5	4	0.4	1.1	1	1	1	14.1
各種講座・講演会等の主催	市職員				1	0.5				1.5
	臨時職員				1.2	0.2				1.4
	指定管理者社員	0.9	1						0.5	2.4
	パート・アルバイト									0
	その他									0
	小計	0.9	1	0	2.2	0.7	0	0	0.5	5.3
施設管理・メンテナンス	市職員				0.4	0.1				0.5
	臨時職員				0.3					0.3
	指定管理者社員			1						1
	パート・アルバイト									0
	その他									0
	小計	0	0	1	0.7	0.1	0	0	0	1.8
舞台管理運営	市職員									0
	臨時職員									0
	指定管理者社員	3								3
	パート・アルバイト									0
	その他									0
	小計	3	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	市職員		2		0.7	0.1				2.8
	臨時職員				1					1
	指定管理者社員									0
	パート・アルバイト									0
	その他				1					1
	小計	0	2	0	2.7	0.1	0	0	0	4.8
合計	市職員		2		2.2	0.8				5
	臨時職員				2.8	0.2				3
	指定管理者社員	4.5	6	5			1	1	0.5	18
	パート・アルバイト								1	1
	その他				1	1				2
	合計	4.5	8	5	6	2	1	1	1.5	29

エ) コスト状況

文化・文化財施設 8 施設の年間トータルコストは 3 億 9,117 万円、1 施設当たり平均 4,890 万円です。

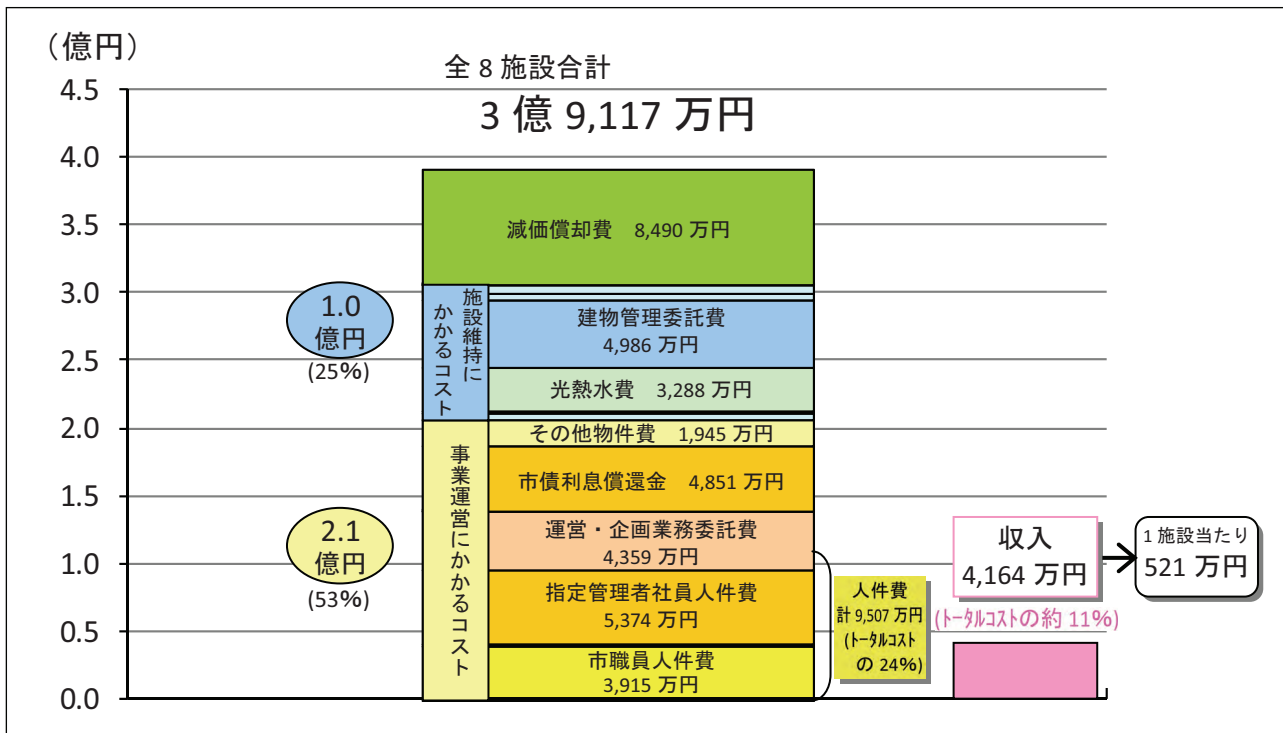
施設維持にかかるコストは 9,959 万円 (25%)、事業運営にかかるコストは 2 億 668 万円 (53%)、減価償却費が 8,490 万円 (22%) です。トータルコストのうちの 9,507 万円 (24%) が人件費 (指定管理者社員人件費を含む) です。利用料等の年間収入は 4,164 万円で、トータルコストの約 11% を賄っています。

表 行政コスト計算書 (2008 年度 (H20 年度))

(千円)

		文化施設			文化財施設					合計
		みくに文化未来館	文化の森・YURI	三国社会福祉センター	みくに龍翔館	ONOメモリアル	丸岡歴史民俗資料館	旧岸名家	旧森田銀行本店	
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】										
施設 か 維 持 に か か る コ ス ト	各所修繕費	1,423	1,378	871	820	21	0	154	0	4,667
	老朽箇所修繕費	1,128	0	0	0	0	0	0	0	1,128
	光熱水費	5,021	14,154	5,839	6,359	373	616	46	472	32,880
	建物管理委託費	9,094	21,352	7,841	8,315	1,006	0	1,833	420	49,861
	土地賃借料	0	3,862	0	0	0	0	0	0	3,862
	土地・建物以外賃借料	0	5,534	0	521	413	0	0	0	6,468
	使用料	0	33	0	238	0	0	0	0	271
	車両・備品購入費	189	0	201	21	40	0	0	0	451
	施設維持にかかるコスト計	16,855	46,313	14,752	16,274	1,853	616	2,033	892	99,588
事業 運 営 に か か る コ ス ト	職員人件費	0	15,658	0	17,224	6,263	0	0	0	39,145
	臨時職員人件費	0	0	0	338	69	0	0	1,782	2,189
	指定管理者社員人件費	25,102	23,952	0	0	0	1,067	480	3,138	53,739
	運営・企画業務委託	18,704	24,823	0	0	66	0	0	0	43,593
	負担金補助及び交付金	39	0	0	20	0	0	0	0	59
	市債利息償還金	0	48,132	0	0	380	0	0	0	48,512
	その他物件費	7,190	6,074	797	2,943	1,695	505	19	225	19,448
	事業運営にかかるコスト計	51,035	118,639	797	20,525	8,473	1,572	499	5,145	206,685
現金収支を伴うコスト 計	67,890	164,952	15,549	36,799	10,326	2,188	2,532	6,037	306,273	
【収益の部】										
入場料	5,283	10,323	0	3,563	125	2,258	735	0	22,287	
使用料	4,133	13,437	1,129	0	0	0	0	30	18,729	
諸収入	319	36	0	268	0	0	0	0	623	
現金収支を伴う収益 計	9,735	23,796	1,129	3,831	125	2,258	735	30	41,639	
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】										
減価償却費	12,900	36,586	13,068	18,595	726	873	1,084	1,068	84,900	
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)	80,790	201,538	28,617	55,394	11,052	3,061	3,616	7,105	391,173	
収支差額(ネットコスト)	71,055	177,742	27,488	51,563	10,927	803	2,881	7,075	349,534	

図 文化・文化財全施設 トータルコスト(2008年度(H20年度))



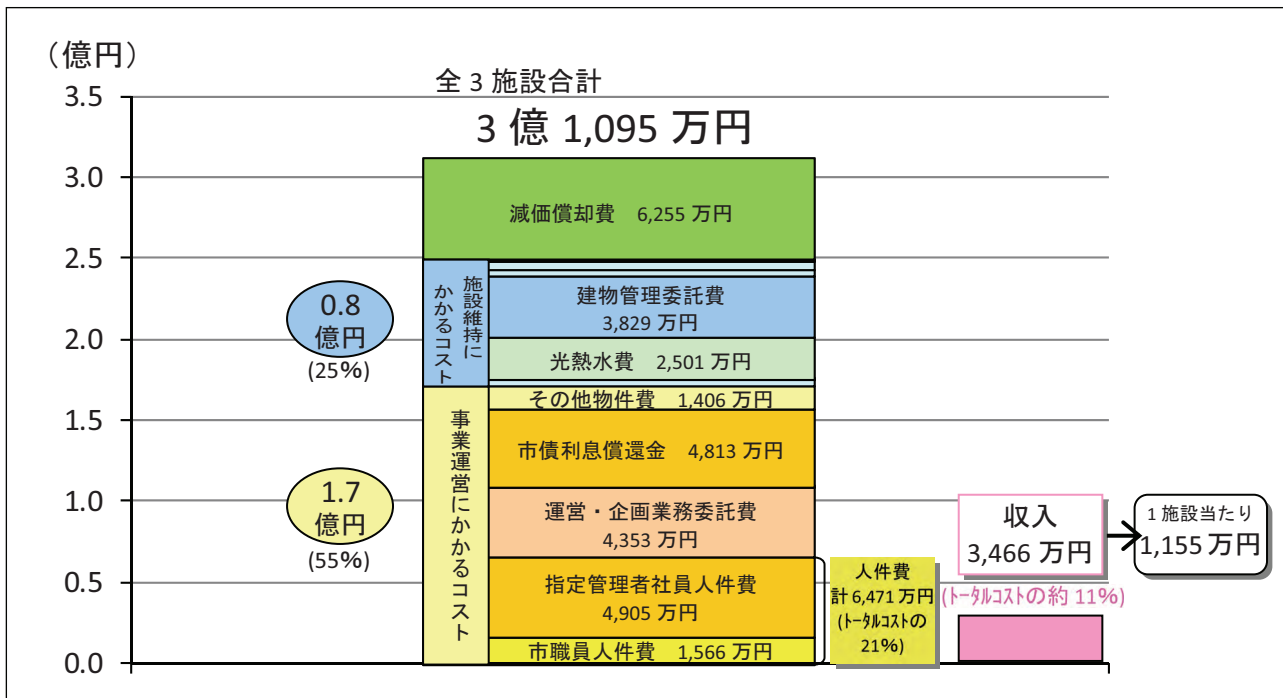
【文化施設】

文化全3施設の年間トータルコストは3億1,095万円、1施設当たり平均1億365万円です。

施設維持にかかるコストは7,792万円(25%)、事業運営にかかるコストは1億7,047万円(55%)、減価償却費が6,255万円(20%)です。

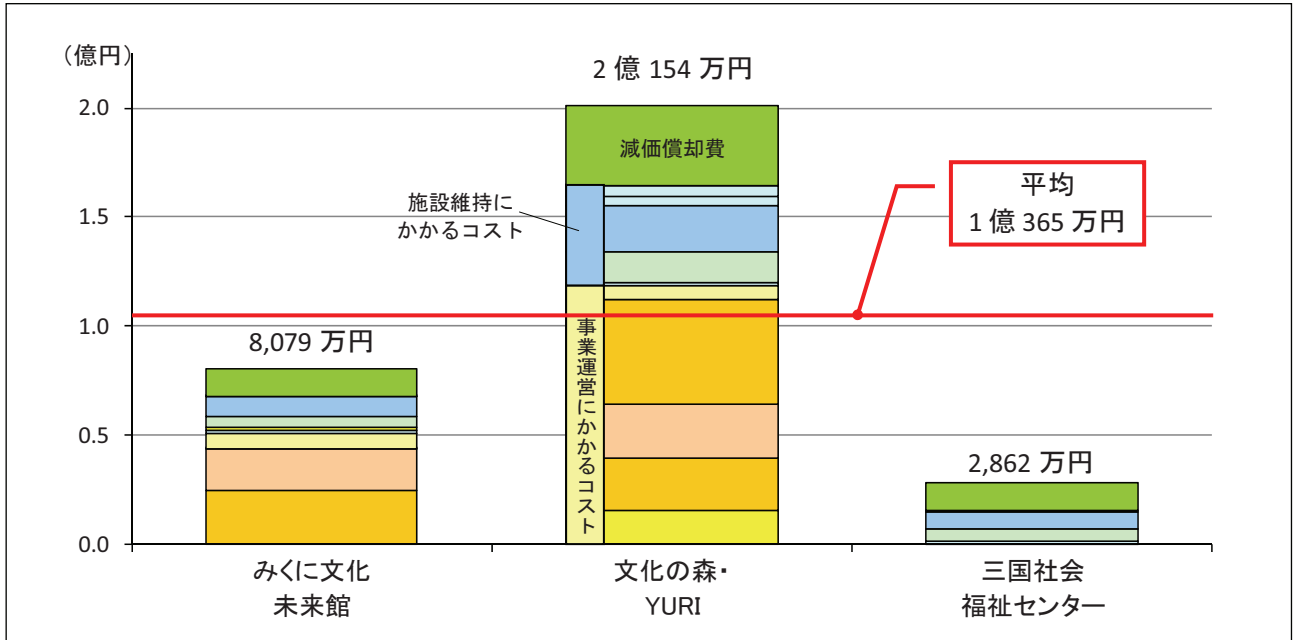
年間の収入は3,466万円で、トータルコストの約11%となっています。

図 文化施設(ホール等)全施設 トータルコスト(2008年度)



施設別では、最小2,862万円(三国社会福祉センター)から最大2億154万円(文化の森・YURI文化情報交流館)と約7倍の差があります。各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、みくに文化未来館では指定管理者社員人件費、文化の森・YURI文化情報交流館では市債利息返還金、三国社会福祉センターでは減価償却費となっています。

図 文化施設別 トータルコスト(2008年度(H20年度))



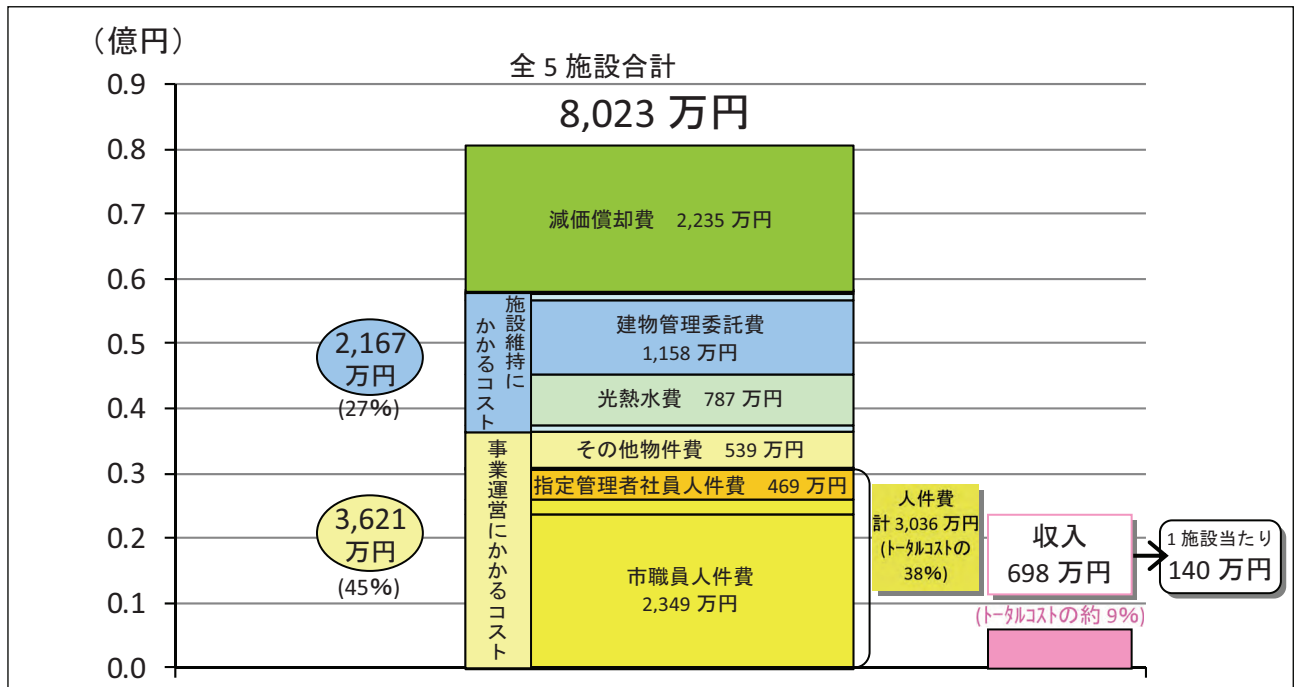
【文化財施設】

文化財全5施設の年間トータルコストは8,023万円、1施設当たり平均1,605万円です。

施設維持にかかるコストは2,167万円(27%)、事業運営にかかるコストは3,621万円(45%)、減価償却費が2,235万円(28%)です。

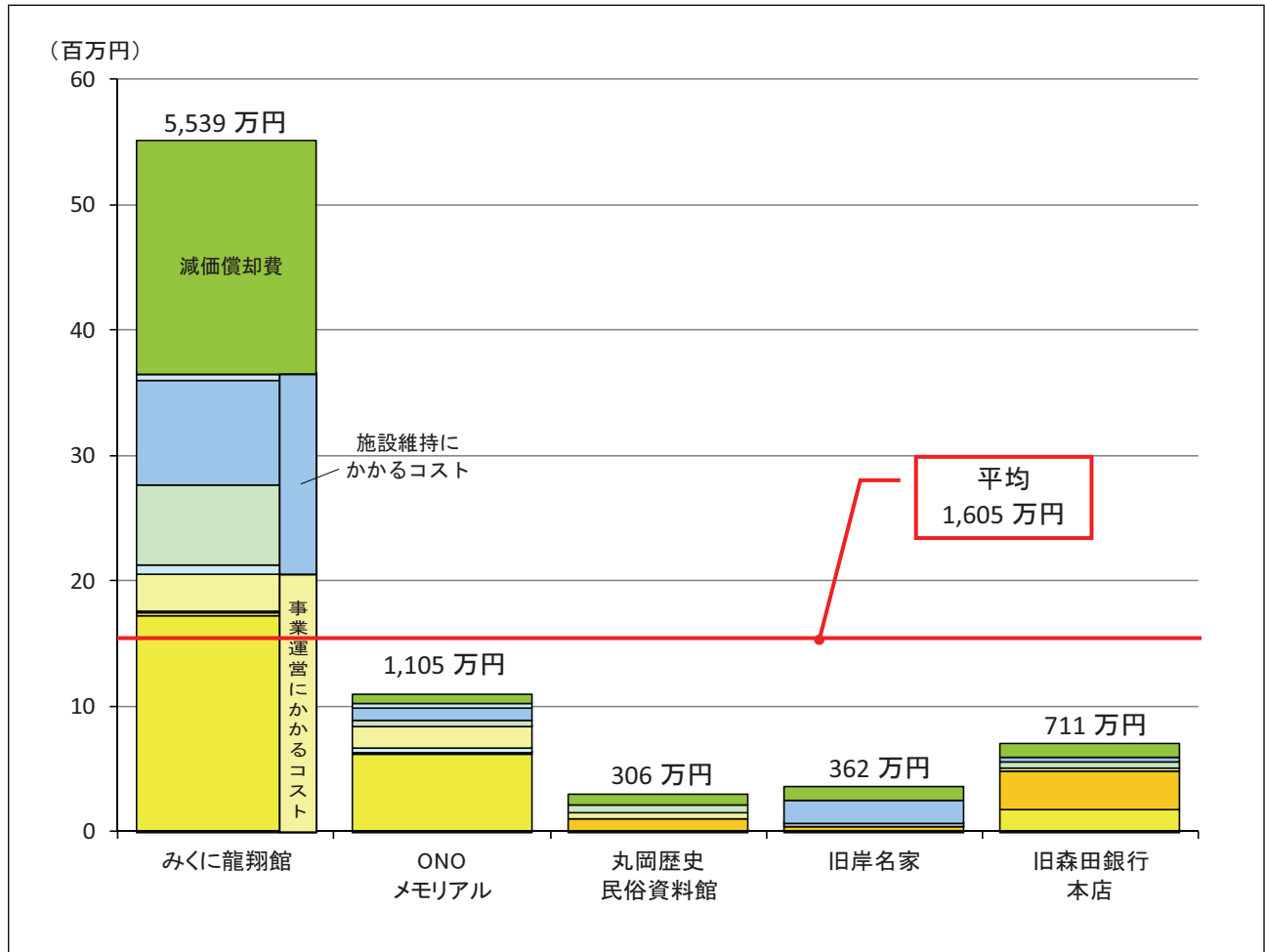
年間の収入は698万円で、トータルコストの約9%となっています。

図 文化財施設全施設 トータルコスト(2008年度)



施設別では、最小 306 万円(丸岡歴史民俗資料館)から最大 5,539 万円(みくに龍翔館)と約 18 倍の差があります。各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、みくに龍翔館、ONOメモリアルでは市職員人件費、丸岡歴史民俗資料館、旧森田銀行本店では指定管理者社員人件費、旧岸名家では建物管理委託費となっています。

図 文化財施設別 トータルコスト(2008 年度(H20 年度))



③ 評価・分析

■ 利用者1人当たりの年間平均コストから見た特徴

文化・文化財8施設の利用者1人当たりにかかる平均コストは1,617円です。施設別では、最小58円/人(丸岡歴史民俗資料館)から最大1万1,186円/人(ONOメモリアル)と約193倍の差があります。

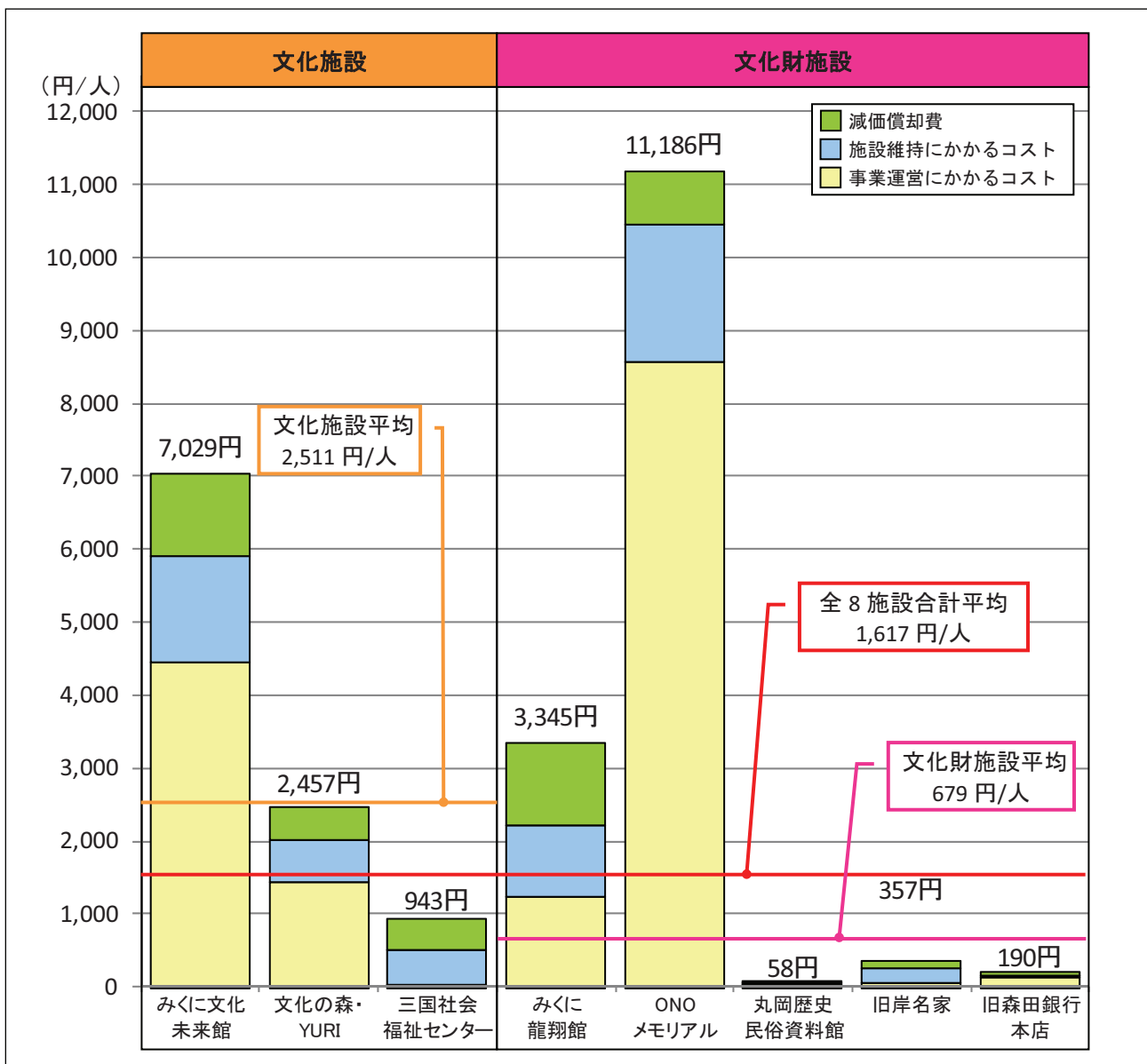
最も高いONOメモリアルは、展示の企画や準備等の業務に市職員が当たっていることから人件費が高く、一方で、利用者が非常に少ないことが割高な要因です。

トータルコストが最大の文化の森・YURI文化情報交流館は、利用者数も最大であることから、平均以下となっています。

種別ごとに見ると、文化施設では、最も高いみくに文化未来館は、トータルコストは平均的な規模ですが、利用者数が文化施設の平均の3割以下と少ないことから利用者1人当たりのコストが大きくなっています。

文化財施設では、ONOメモリアルに加えてみくに龍翔館が文化財施設の平均を超えています。みくに龍翔館は職員人件費、減価償却費が大きい中で、利用者数が文化財施設の平均の7割程度と少ないことから、利用者1人当たりのコストが大きくなっています。

図 文化・文化財施設別 利用者1人当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



■ 1㎡当たりの年間平均コストから見た特徴

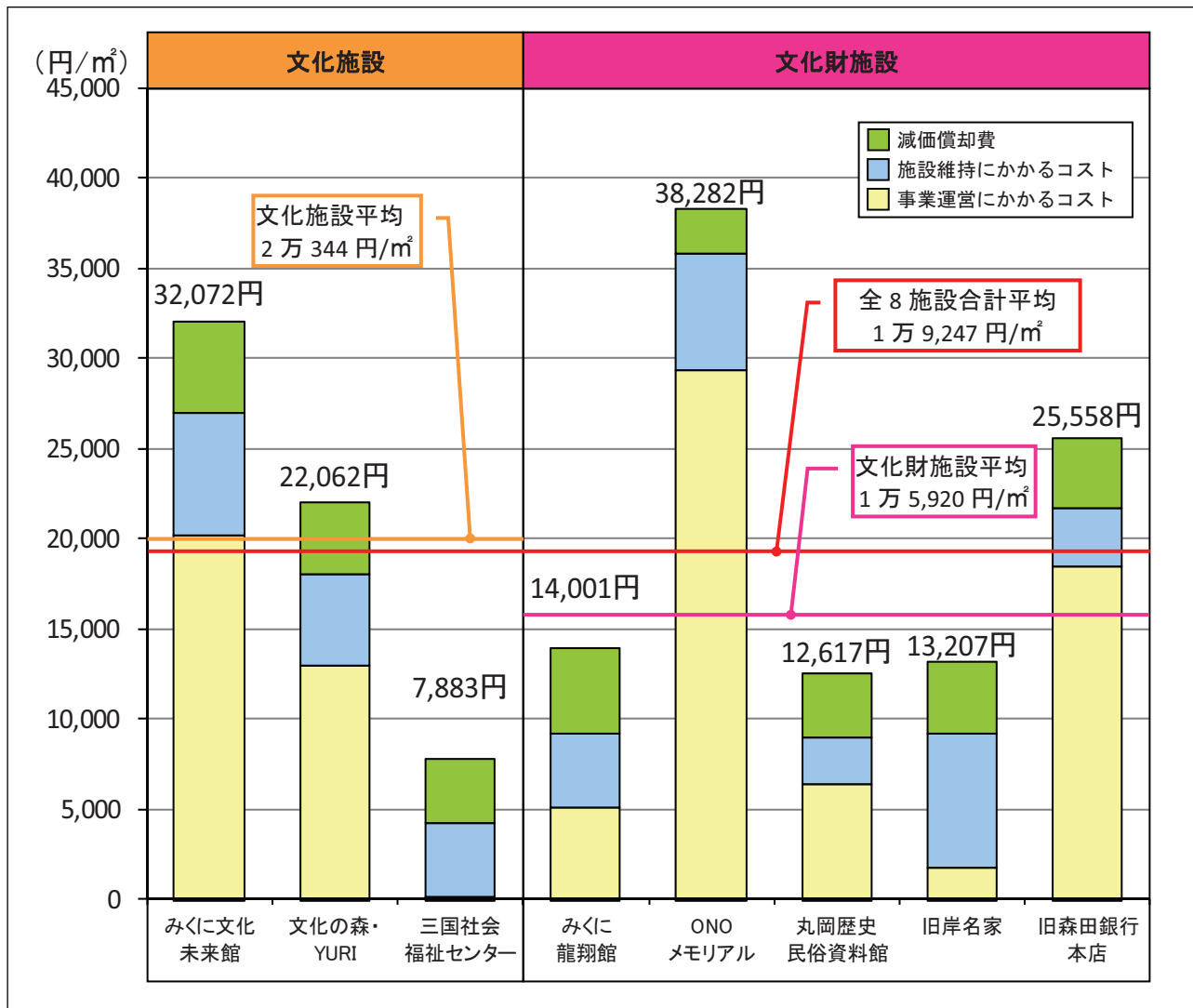
文化・文化財 8 施設の 1㎡当たりにかかる平均コストは 1 万 9,247 円です。施設別では、最小 7,883 円/㎡(三国社会福祉センター)から最大 3 万 8,282 円/㎡(ONOメモリアル)と約 5 倍の差があります。

三国社会福祉センターはホールを備えていることから規模が大きく、一方でトータルコストは小さいため 1㎡当たりのコストは小さくなっています。ONOメモリアルでは規模は小さいですが、同規模の施設と比べてトータルコストが 1.5 倍から 3 倍かかっているため、1㎡当たりにかかるコストは大きくなっています。

種別ごとに見ると文化施設では、3 施設の中で規模が最も小さなみに文化未来館が最も大きくなっています。これは、文化の森・YURI 文化情報交流館と比較すると、施設規模が 3 割以下であるのに対し、運営人員は 5 割程度配置していることが要因です。

文化財施設では、ONOメモリアルに次いで旧森田銀行本店が大きくなっています。旧森田銀行本店は、トータルコストでは文化財施設の平均の半分以下の水準ですが、1㎡当たりのコストでは比較的大きなコストを要しています。この 2 施設以外の 4 施設はそれほど差がありません。みに龍翔館は、文化財施設の中では特にトータルコストが大きくなっていますが、1㎡当たりのコストでは平均以下となります。

図 文化・文化財施設別 単位床面積当たりコスト(2008 年度(H20 年度))



■ 施設別に見た「利用状況・運営状況・コスト状況」の関係

【利用状況】

文化の森・YUR I 文化情報交流館は、施設の規模が大きく興行に適した施設で、また市の中央部に立地し幹線道路や鉄道駅が近隣にあることから利用者数が多くなっています。

みくに文化未来館は、ホールやギャラリーを備えていますが、スペースが中小規模であり、また、市の西部に立地しているため、市全域からの利用が少なく年間1万人程度に留まっています。

丸岡歴史民俗資料館は丸岡城や丸岡観光情報センターに隣接し、市内外からの観光客等が訪れることから利用者数が多くなっています。

ONOメモリアルは開館日数が少なく、展示室も小規模で、企画も年間を通じて行われていないことから利用者数が極めて少ない状況です。

【運営状況】

全体的な傾向として、施設規模が大きくなるほど運営人員は多くなっています。大規模な文化の森・YUR I 文化情報交流館は、利用に関する受付・案内を中心に指定管理者社員とパート・アルバイト8人で運営しています。また、みくに龍翔館では、文化財の調査・研究のための人員を配置していることから市職員・臨時職員を主に8人で運営しています。

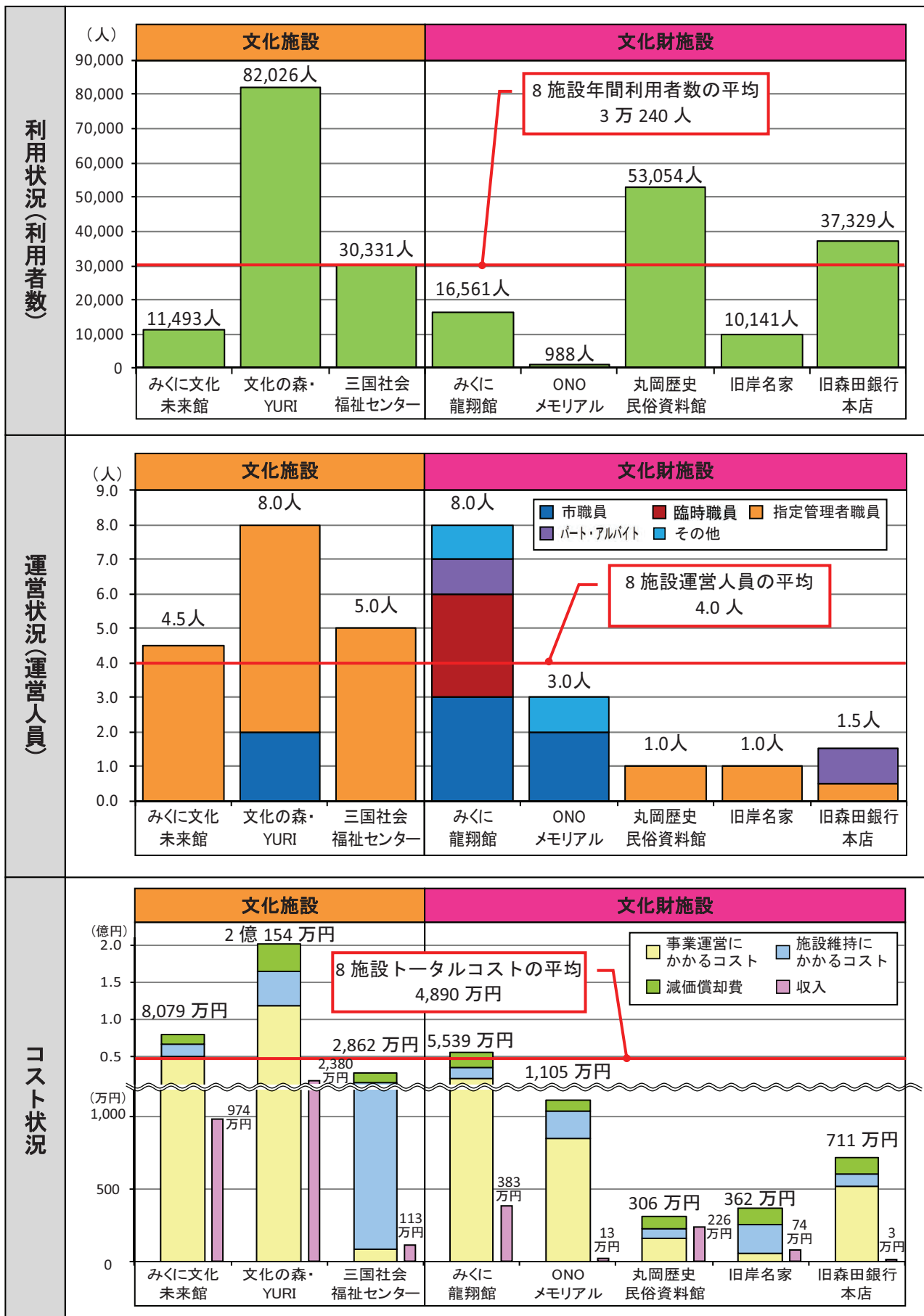
文化施設は、舞台や音響といった特殊設備を管理する人員や公演等を企画する人員、文化財施設は、文化財の調査・研究や資料収集する人員など、他の施設と人員配置が異なるのが特徴です。

【コスト状況】

大規模な文化の森・YUR I 文化情報交流館は、人件費や建物管理委託費に要するコストが大きく、トータルコストは2億円を超えていますが、利用者数1人当たりのコストや1㎡当たりのコストは文化施設の平均的な水準となっています。一方、みくに文化未来館は、利用者数や施設規模に対して、トータルコストに約8,000万円を要していることから、平均値を大きく超えています。

施設規模が小さく指定管理者を導入している、丸岡歴史民俗資料館、旧岸名家、旧森田銀行本店では運営人員が1人から1.5人であることからトータルコストも1,000万円以下で、利用者数1人当たりのコストや1㎡当たりのコストは平均値を下回っています。一方、市が直接運営する、みくに龍翔館、ONOメモリアルでは、調査・研究に要する人員を配置していることから、トータルコストに占める人件費割合が高く、利用者数1人当たりのコストが平均値を超えています。

図 文化・文化財施設別 利用状況・運営状況・コスト状況の比較(2008年度(H20年度))



(9) 産業施設・観光施設・温泉施設(8施設)

① 施設概要

ア) 施設一覧

坂井市の産業・観光・温泉施設は8施設で1万888㎡です。その内訳は、特色ある農業振興、中小企業振興を図ることを目的としている産業施設が3施設、観光の振興、特産品等物産の振興、伝統的建造物を活かした観光施設が2施設、温泉資源を活かし市民の健康増進、健康的な長寿社会の形成、観光の振興を目的としている温泉施設が3施設です。

施設の建築年度をみると、建築後30年以上を越える施設は、丸岡観光情報センターの1施設です。

表 施設一覧

(2011年(H23年)4月1日現在)

種類	施設名	機能	延床面積 (㎡)	建築年度	指定 管理者	備考
産業 施設	1 春江中小企業センター	ホール	622.8	1984		
	2 坂井地域交流センター(いねす)	交流センター、ホール	1,567.0	2000	●	指定期間 H20~H24年度
	3 ゆりの里公園	ホール	993.0	2000	●	指定期間 H20~H24年度
観光 施設	4 三国湊町家館	案内所	219.6	2006	●	指定期間 H20~H24年度
	5 丸岡観光情報センター	情報センター	776.0	1978	●	指定期間 H20~H24年度
温泉 施設	6 三国温泉ゆあぼ〜と 三国温泉4号井	温泉施設 浄水場(温泉施設)	2,192.8 28.0	1995 2006	●	指定期間 H20~H24年度
	7 丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)	温泉施設、福祉施設	2,061.2	2000	●	指定期間 H20~H24年度
	8 丸岡温泉たけくらべ	温泉宿泊施設	2,427.6	1987		財産貸付
合 計			10,888.0		6	

イ) 運営日数、運営時間

■ 運営日数

2008年度(H20年度)の運営日数を見ると、春江中小企業センターの293日から丸岡観光情報センターの361日となっており、中でも日常的に市民が利用している温泉施設は開館日数が多くなっています。

表 施設別運営日数

(2008年度)

種類	施設名	平日	土日・祝	合計
産業	春江中小企業センター	243	50	293日/年
	坂井地域交流センター(いねす)	194	115	309日/年
	ゆりの里公園	187	116	303日/年
観光	三国湊町家館	195	115	310日/年
	丸岡観光情報センター	244	117	361日/年
温泉	三国温泉ゆあぼ〜と	195	117	312日/年
	丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)	231	120	351日/年
	丸岡温泉たけくらべ	239	119	358日/年

■ 運営時間

産業、観光施設において、ホール機能を有する施設は催しの内容に応じて夜間まで開館しています。温泉施設は21時～22時までと開館時間が長く、さらに丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)では、指定管理者の創意工夫によって24時まで開館しています。

図 施設別開館時間(2008年度(H20年度))

施設名		開館時間					
		8時	12時	17時	22時	24時	
産業施設	春江中小企業センター		9 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0		催しの内容に応じて 22 : 0 0 まで		
	坂井地域交流センター(いねす)	特産品販売所 および地域食 材供給室		1 0 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0			
		農産物直売所		7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0			
		その他		1 0 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0		催しの内容に応じて 21 : 3 0 まで	
	ゆりの里公園		9 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0		催しの内容に応じて 21 : 3 0 まで		
観光施設	三国湊町家館		9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0		催しの内容に応じて 21 : 3 0 まで		
	丸岡観光情報センター		8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0		指定管理者の導入 により 18 : 0 0 まで		
温泉施設	三国温泉ゆあぽ〜と		1 0 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0				
	丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)		1 0 : 0 0 ~ 2 1 : 3 0		指定管理者の導入 により 24 : 0 0 まで		
	丸岡温泉たけくらべ		1 0 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0 (宿 泊 利 用 は 除 く)				

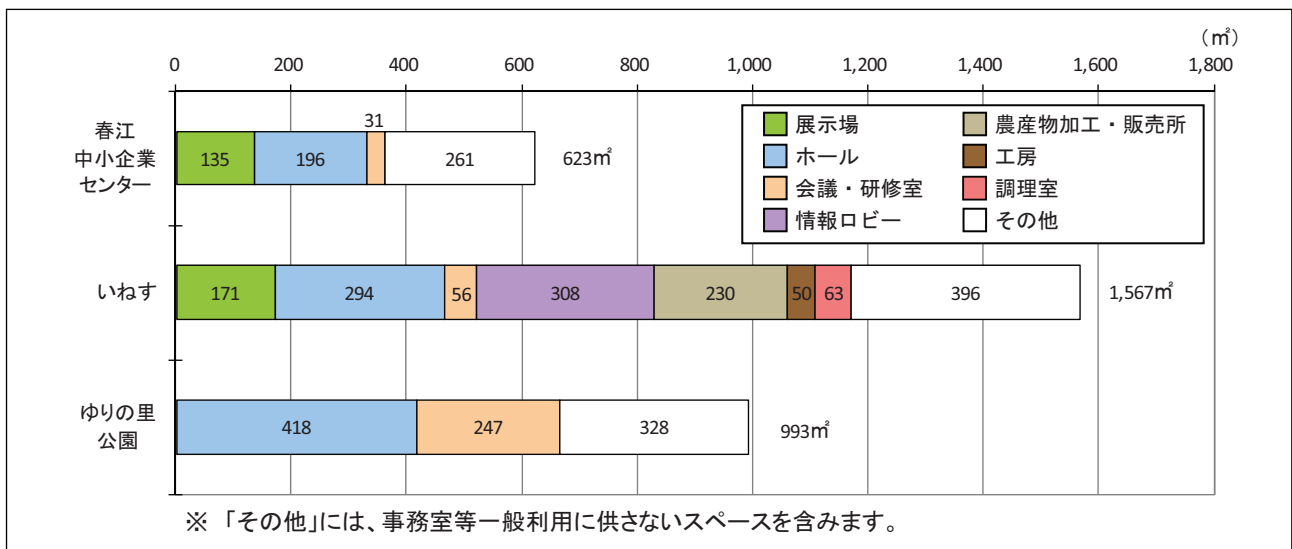
ウ) スペース構成

【産業施設】

産業施設の規模は、623 m²(春江中小企業センター)から 1,567 m²(坂井地域交流センター(いねす))と なっています。いずれの施設も 100 人規模のホールを有しており、講演会や生涯学習など多目的な利用 が可能となっています。また、会議や研修のためのスペースも 3 施設全てで備えており、市民が気軽に 利用できる施設となっています。

坂井地域交流センター(いねす)は、地域の農業振興を目的として設置したことから、農産物加工・販 売所、工房、調理室が設けられています。

図 産業施設スペース構成



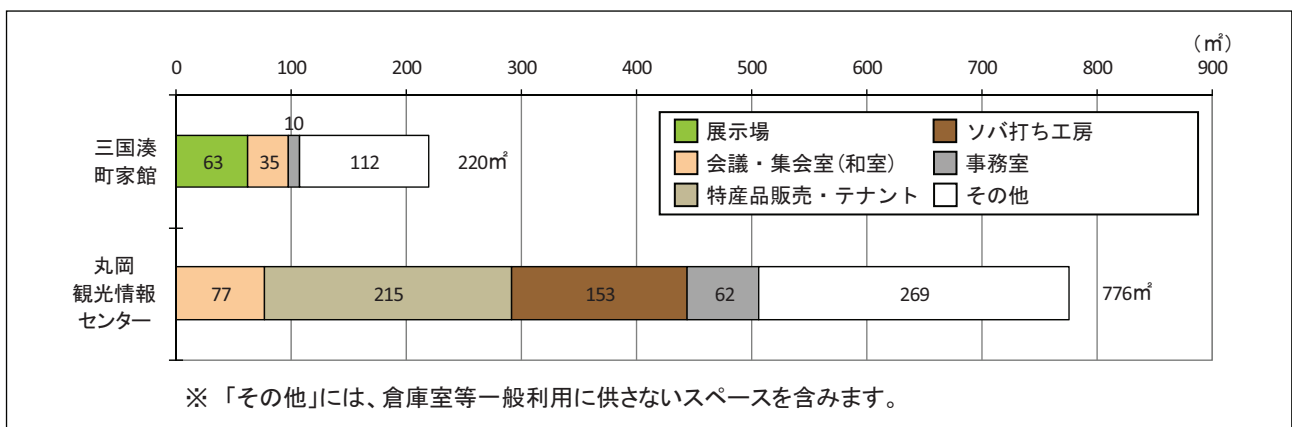
【観光施設】

観光施設の規模は、220 m²(三国湊町家館)から 776 m²(丸岡観光情報センター)となっています。

三国湊町家館は、周辺散策の観光の情報発信基地としての機能や地域住民の集会所を備えています。

丸岡観光情報センターは、特産品販売およびテナントを 1 階に有し、2 階には観光客向けにソバ打ち が体験できる工房を備えています。

図 観光施設スペース構成



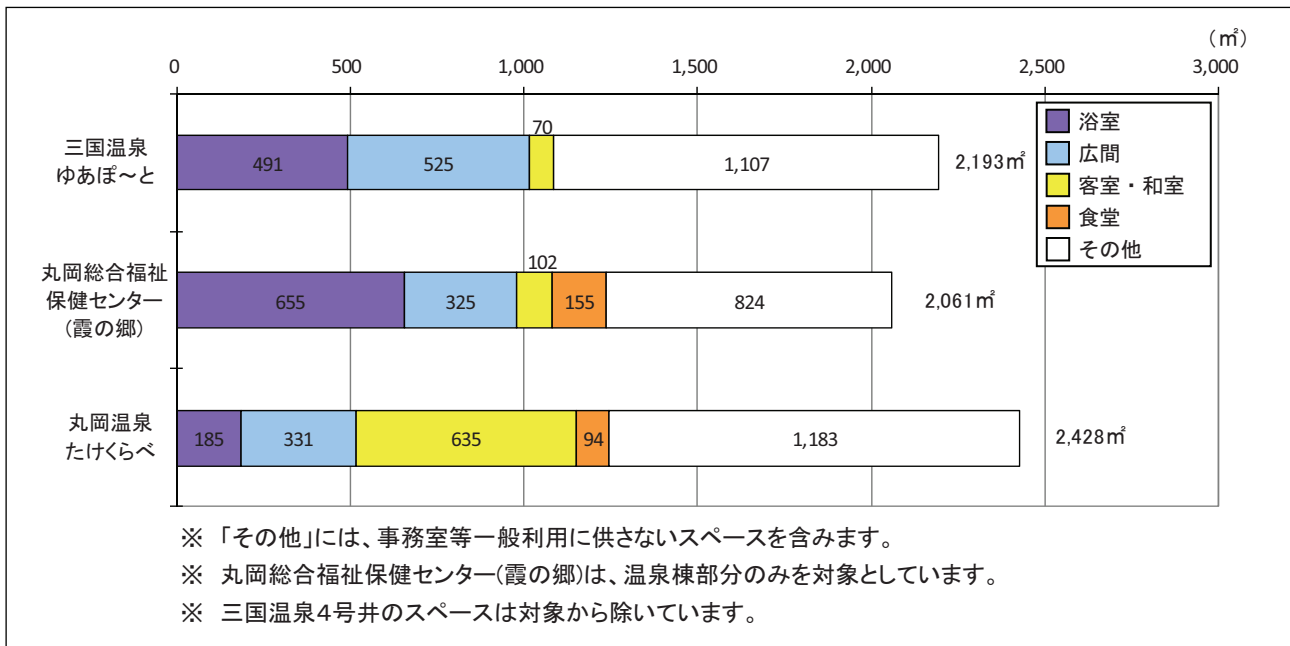
【温泉施設】

温泉施設の規模は、2,061㎡(丸岡総合福祉保健センター(霞の郷))から2,428㎡(丸岡温泉たけくらべ)とほぼ同程度の規模になっています。スペース構成は、浴室、広間、客室・和室が中心となっており、全ての施設で広間を無料で開放しています。

宿泊施設である丸岡温泉たけくらべは、客室・和室の規模が大きく、日帰り入浴施設である三国温泉ゆあぼ〜と、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)は、浴室の規模が大きくなっています。

温泉施設は、機械室が大規模となるため、他の用途の施設と比べて一般利用に供さないスペースの割合が大きくなっています。

図 温泉施設スペース構成



② 実態把握

ア) 建物総合評価

産業・観光・温泉 8 施設を以下の 4 パターンに分類しました。

パターン①は、耐震安全性に課題があり、また老朽化も進行しているため、今後、建替え等の対策が必要である施設で 1 施設が該当します。パターン②は、現状は問題ありませんが、今後 10 年～20 年で老朽化が進行するため大規模改修等が必要となる施設で 1 施設が該当します。パターン③は、他の施設と比べ機能改善(機能面)に課題がある施設で 2 施設が該当します。パターン④は、現状で特に問題がない施設で 4 施設が該当します。

図 建物総合評価

	パターン ① 耐震性 老朽化	パターン ② 今後、老朽化	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震安全性に課題がある ・老朽化も進行している ⇒ 今後、建替えが必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・今は問題がない ⇒ 今後、10～20年で大規模改修が必要な施設 	
該 当 施 設	<ul style="list-style-type: none"> ・丸岡観光情報センター (1978年築) <p><1施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春江中小企業センター (1984年築) <p><1施設></p>	
	<p>パターン ③ 機能改善に課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能改善(機能面に課題がある) (「ハリアフリー対応(自動ドア・車いすスロープ)」のいずれかが未実施で、今後対応必要) 	<p>パターン ④</p> <p>問題がない施設</p>	<p>維持管理費に改善の必要性がある施設</p>
評 価			<p>8施設のうち、以下の4施設は、他の施設と比べて、維持管理費(光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費)が割高になっている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・三国温泉ゆあぼ〜と (1995年築) ・丸岡温泉たけくらべ (1987年築) <p><2施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター いねす (2000年築) ・ゆりの里公園 (2000年築) ・三国湊町家館 (2006年築) ・丸岡総合福祉保健センター (2000年築) <p><4施設></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三国湊町家館 (2006年築) ・三国温泉ゆあぼ〜と (1995年築) ・丸岡総合福祉保健センター (2000年築) ・丸岡温泉たけくらべ (1987年築) <p>※ 光熱水費・建物管理委託費・各所修繕費それぞれで割高になっている施設もある。</p>

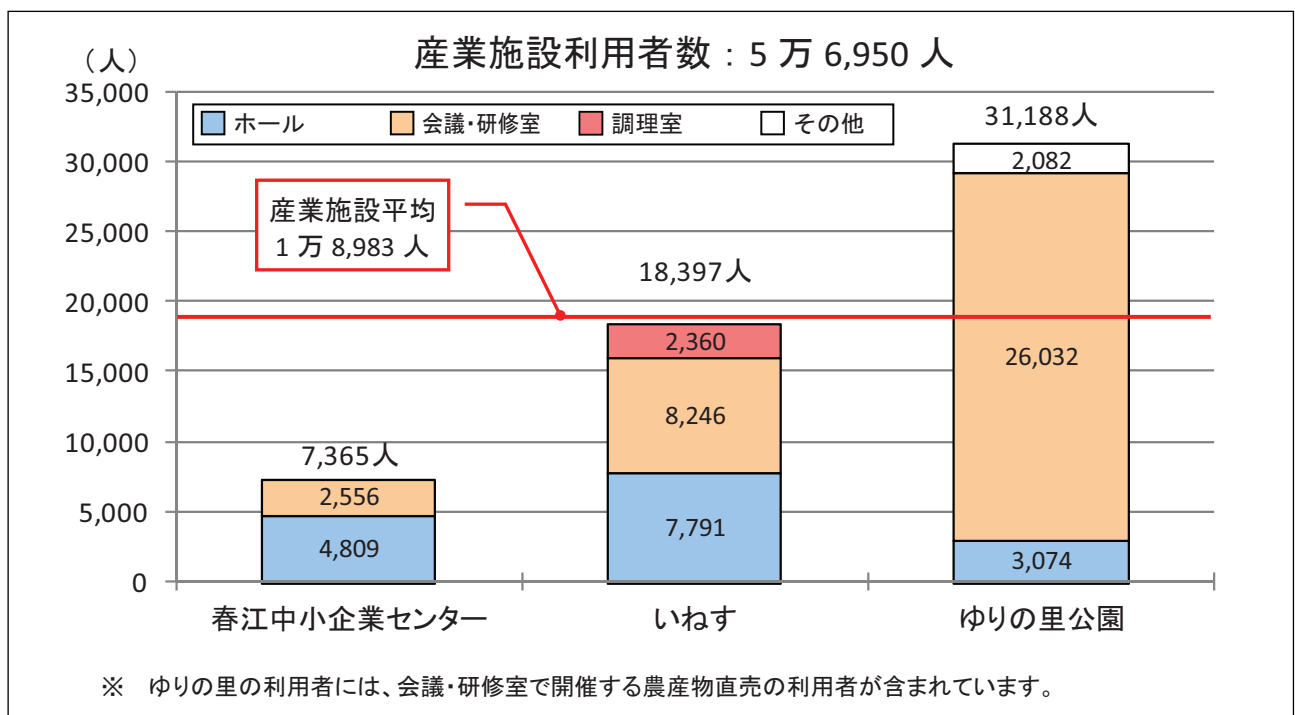
イ) 利用状況

■ 施設・機能別 利用者数(貸しスペースのみ)

【産業施設】

産業施設全体の年間利用者数は、5万6,950人です。施設別では、最小7,365人(春江中小企業センター)から最大31,188人(ゆりの里公園)と、施設の規模や保有する機能の違いによって利用者数に約4倍の差があります。機能別に見ると、春江中小企業センターではホールの利用者数が多く、坂井地域交流センター(いねす)では、会議室等とホールの利用者数は同程度で調理室の利用が1割程度です。ゆりの里公園は、利用者の8割以上が会議室等(研修室等を利用した農産物直売の利用者を含む)の利用となっています。

図 産業施設別・機能別の利用者数(2008年度(H20年度))

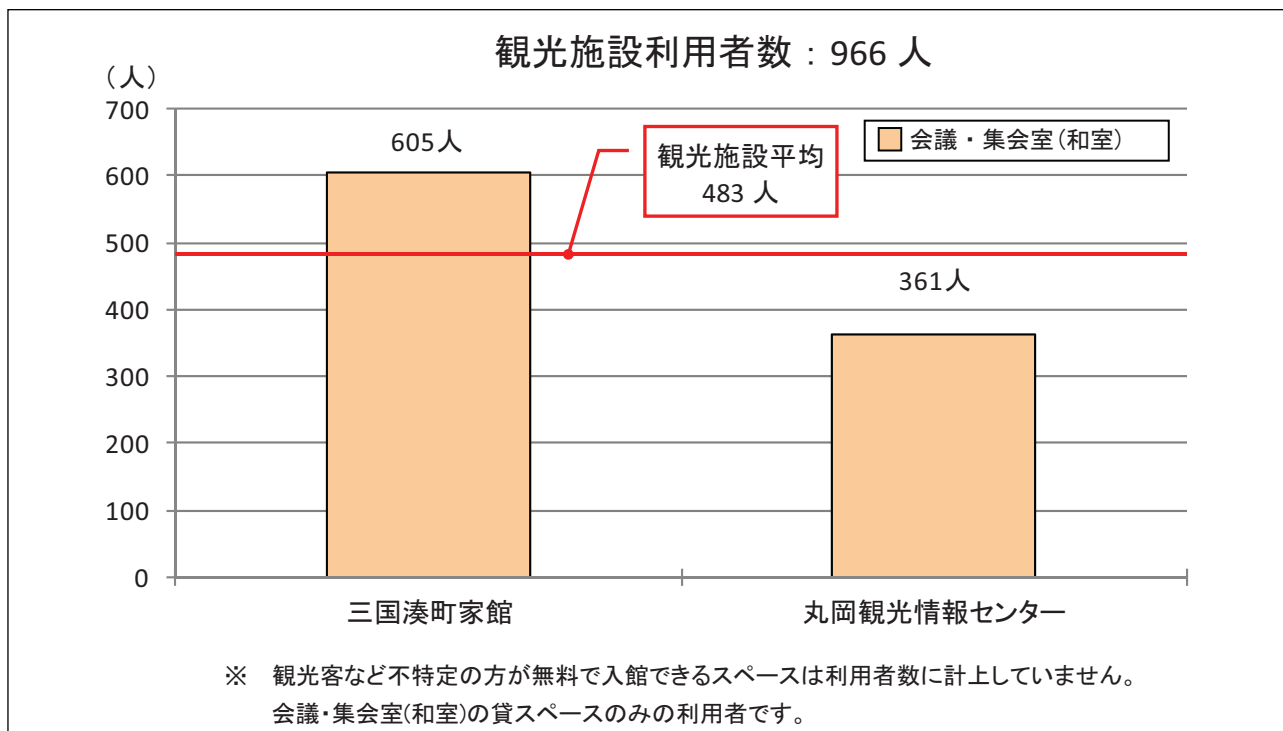


【観光施設】

観光施設全体の年間利用者数(貸館スペースのみ)は966人と、観光振興を目的とした施設であることから講座やサークル活動のための利用者もほとんどなく、さらに占有できるスペースも限られるため、他の用途の施設と比べて、極めて少なくなっています。施設別では、最小361人(丸岡観光情報センター)から最大605人(三国湊町家館)と約1.7倍の差があります。

三国湊町家館のほとんどは、地域住民の集会等に利用され、丸岡観光情報センターは、主にソバ打ち体験との一体利用となっており、施設が持つ機能によって利用形態に差が見られます。

図 観光施設別・機能別の利用者数(2008年度(H20年度))

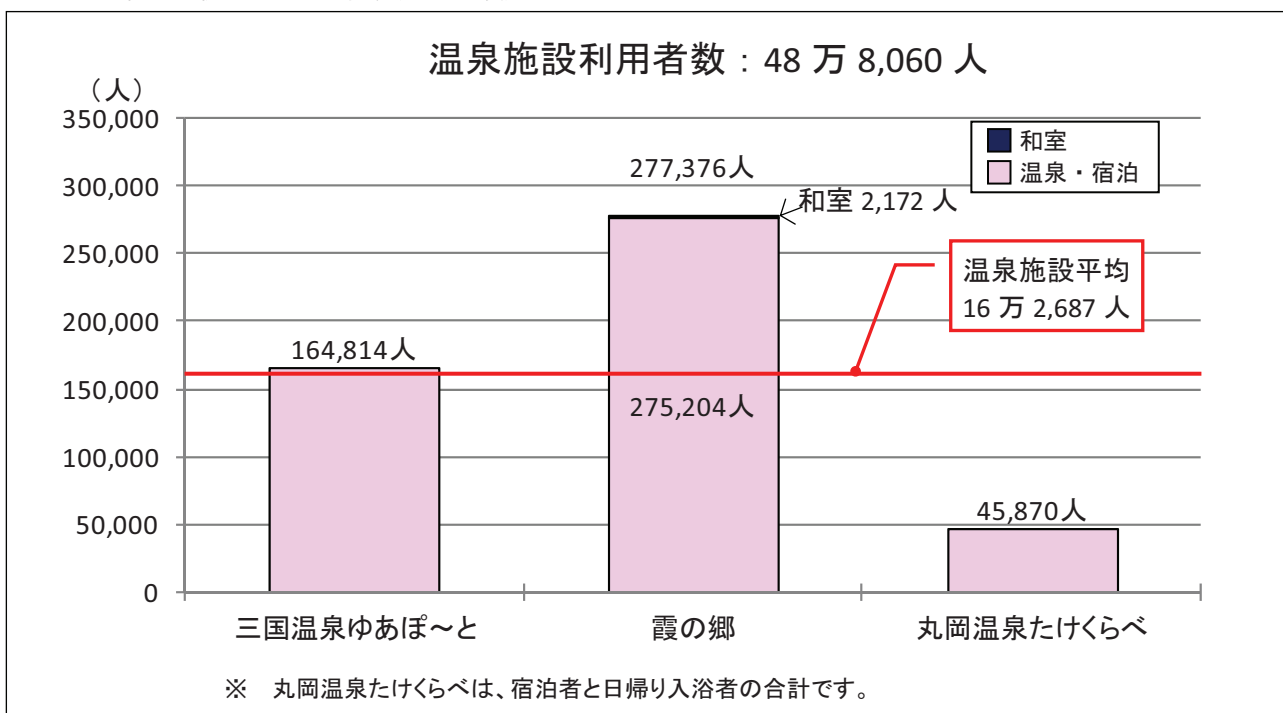


【温泉施設】

温泉施設全体の年間利用者数は48万8,060人です。施設別では、最小4万5,870人(丸岡温泉たけくらべ)から最大27万7,376人(丸岡総合福祉保健センター(霞の郷))と、宿泊が主となる滞在型施設と日帰り入浴施設との違いによって利用者数に約6倍の差があります。

機能別に見ると、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)のみ占用できる和室を保有していますが、利用者のほとんどが温泉だけの利用となっています。

図 温泉施設別・機能別の利用者数(2008年度)

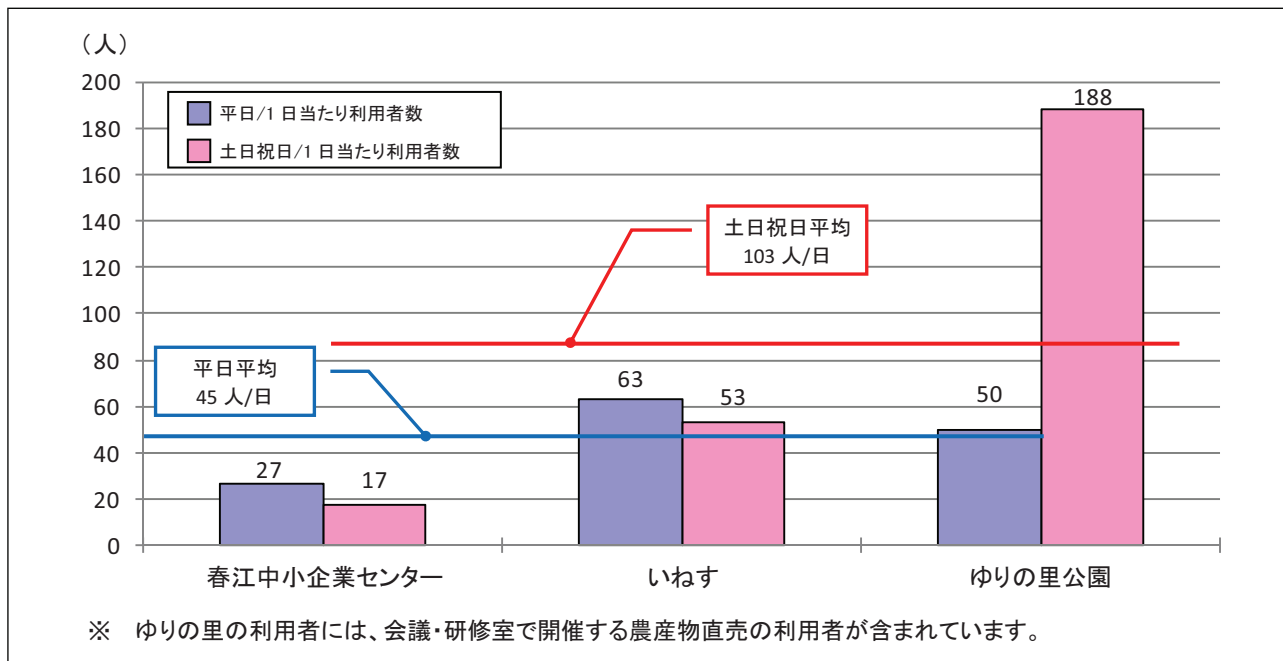


■ 平日/土日祝日別 1日当たり利用者数(貸しスペースのみ)

【産業施設】

産業施設全体の平日/土日祝日別の利用者数を見ると、平日は平均45人、土日祝日は平均103人です。春江中小企業センターおよび坂井地域交流センター(いねす)は、平日の利用が土日祝日より多く、ゆりの里公園は、土日祝日の利用者が平日より大幅に多くなっています。

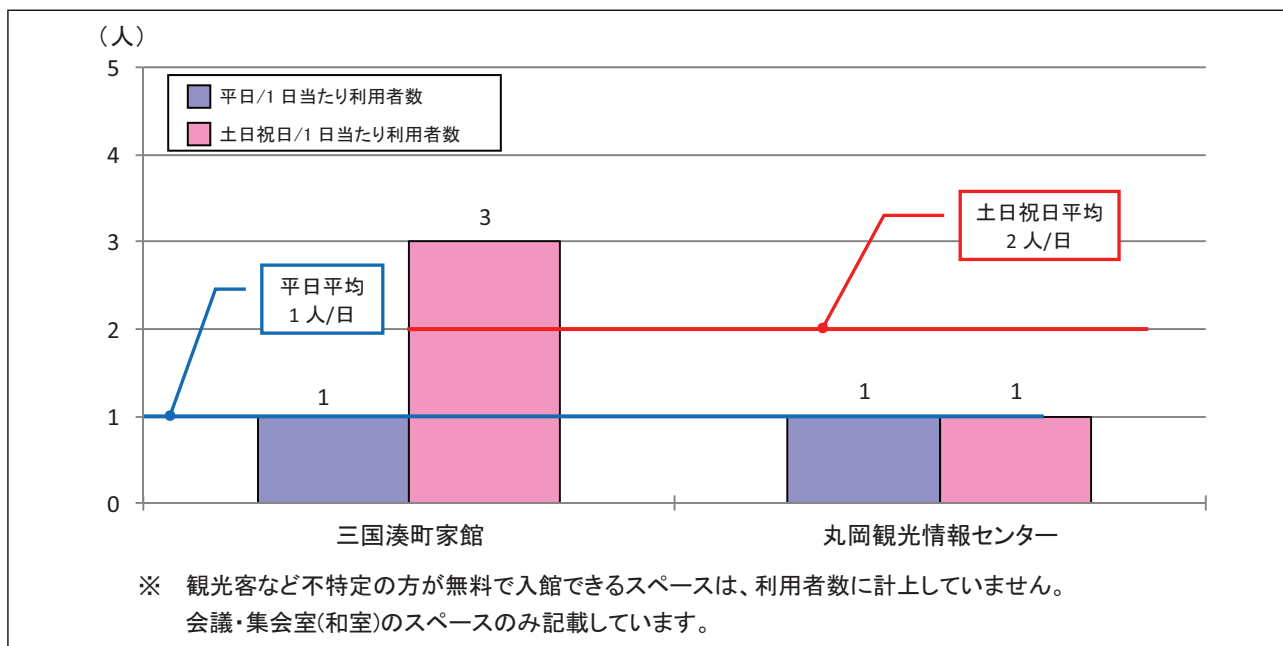
図 産業施設別 平日/土日祝日別 1日当たり利用者数(2008年度(H20年度))



【観光施設】

観光施設は観光の振興を目的とした施設であることから、会議・集会室(和室)の日常的な利用者は極端に少なく、平日/土日祝日別の利用者数を見ると、平日は平均1人、土日祝日は平均2人です。

図 観光施設別 平日/土日祝日別 1日当たり利用者数(2008年度)

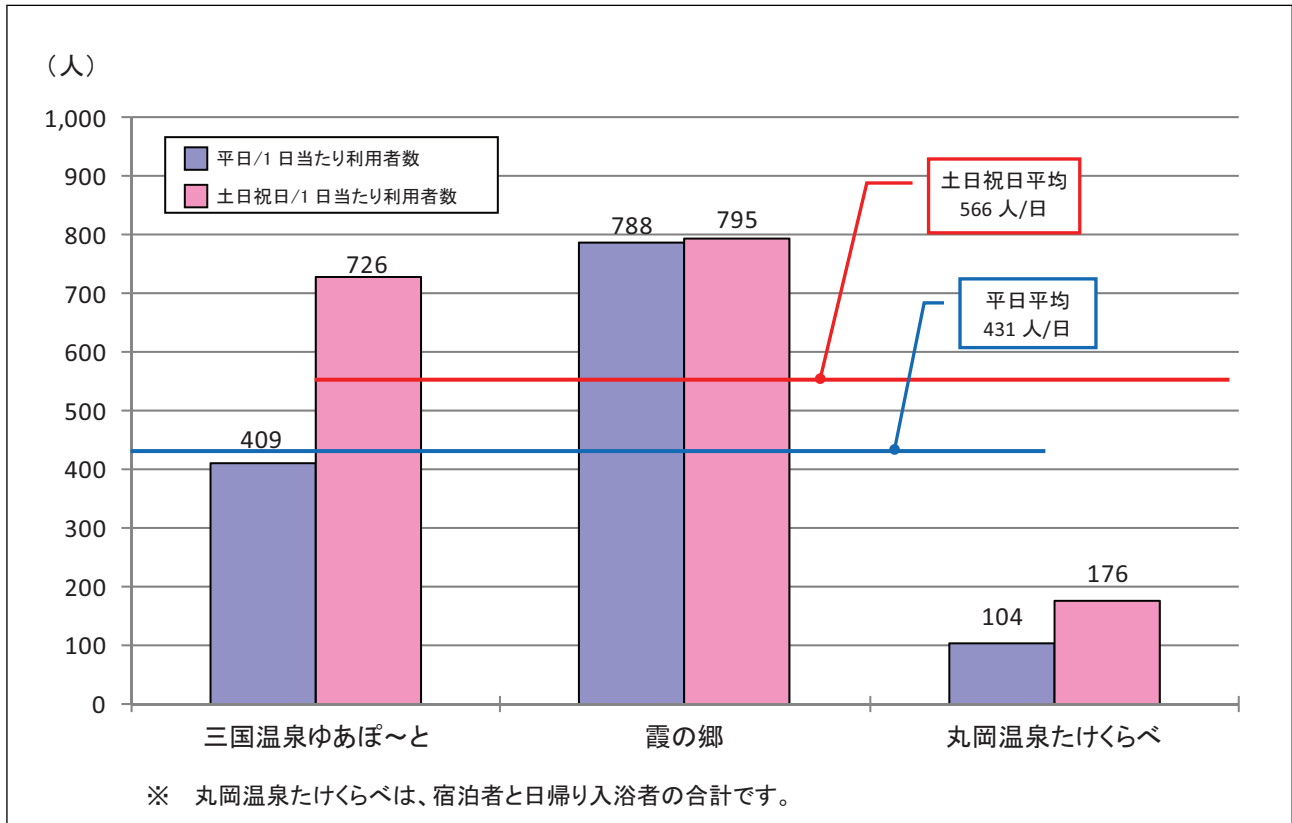


【温泉施設】

温泉施設全体の平日/土日祝日別の利用者数を見ると、平日は平均 431 人、土日祝日は平均 566 人です。三国温泉ゆあぼ〜とは、土日祝日の利用者が平日の約 1.8 倍、また、丸岡温泉たけくらべは、土日祝日の利用者が平日の約 1.7 倍あり、土日祝日に観光目的で訪れた方の利用によって割合が高くなっています。

一方、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)は、平日、土日休日で同程度の利用者数となっています。

図 温泉施設別 平日/土日祝日別 1日当たり利用者数(2008年度(H20年度))

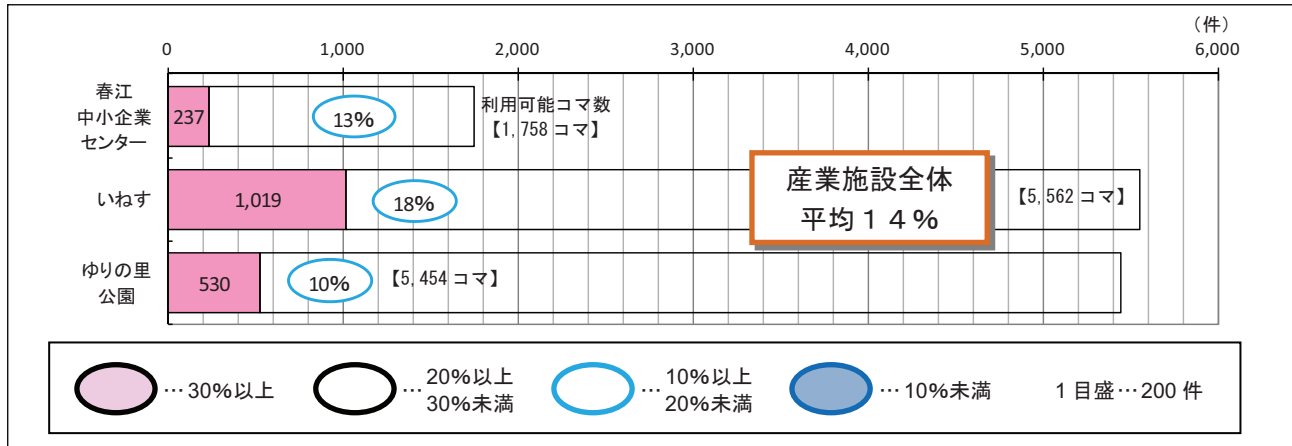


■ 施設別 利用稼働率状況(貸しスペースのみ)

【産業施設】

産業施設の稼働率は平均14%となっています。施設別に見ると、最小10%(ゆりの里公園)から最大18%(坂井地域交流センター(いねす))と全体的に低いことが分かります。坂井地域交流センター(いねす)やゆりの里公園は、会議室やホールその他、調理室やバーベキュー施設など多様な機能を備えていることから全体の利用可能コマ数は5,000コマを超えています。利用件数が少なかったことから、稼働率は低くなっています。

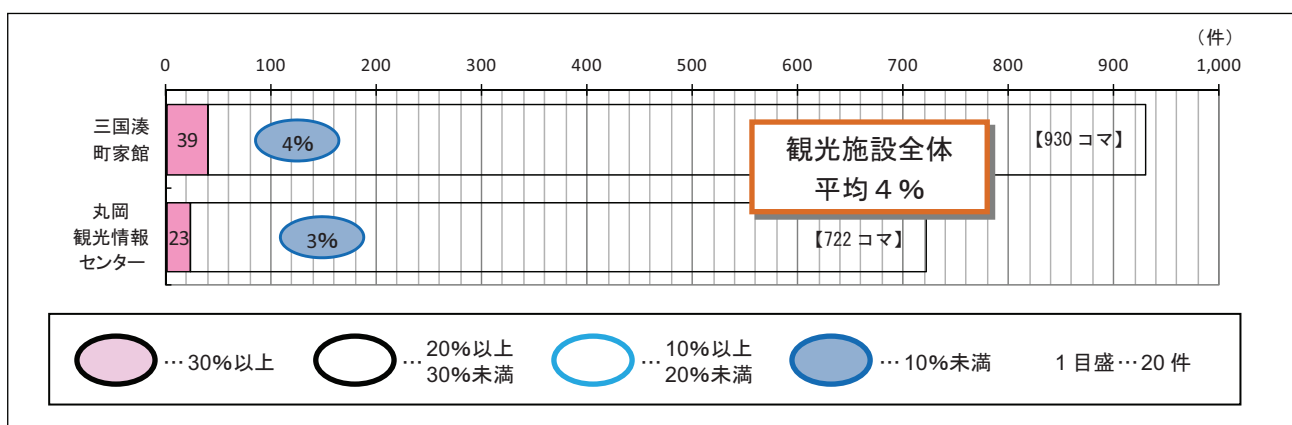
図 産業施設別 利用稼働率(2008年度(H20年度))



【観光施設】

観光施設の稼働率は平均4%となっています。施設別に見ると、最小3%(丸岡観光情報センター)から最大4%(三国湊町家館)と利用者数と同様に非常に低いことが分かります。

図 観光施設別 利用稼働率(2008年度)

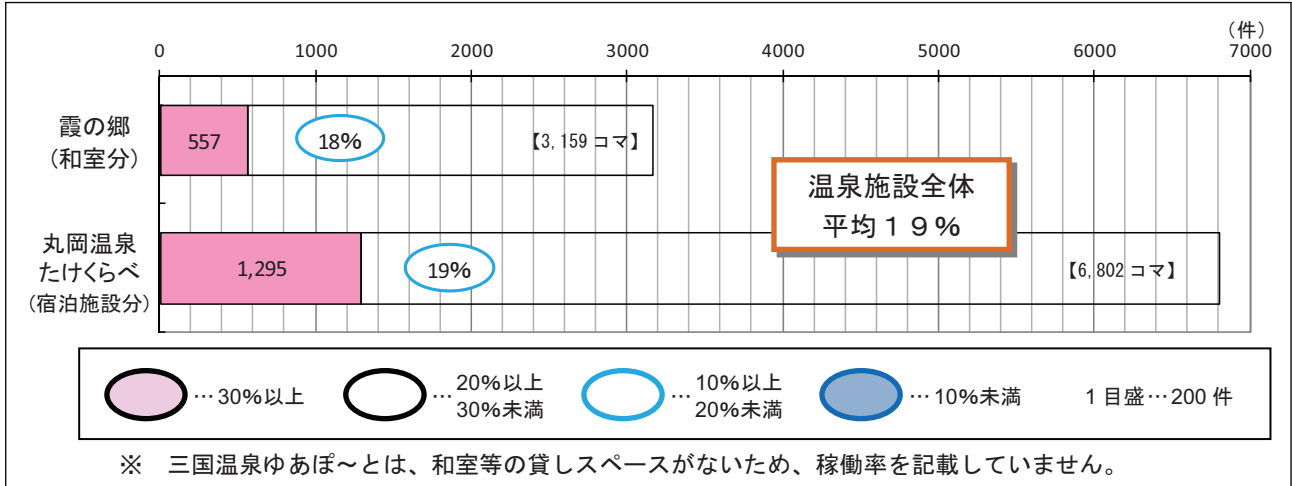


【温泉施設】（貸しスペースのみ）

温泉施設の稼働率は平均 19%となっています。施設別に見ると、最小 18%（丸岡総合福祉保健センター（霞の郷））から最大 19%（丸岡温泉たけくらべ）と同程度の稼働率となっています。

丸岡温泉たけくらべは、主たる収入源となる客室全体の稼働率が 2 割程度であることから、収支に与える影響も大きくなっています。

図 温泉施設別 利用稼働率(2008 年度(H20 年度))



ウ) 運営状況

産業・観光・温泉 8 施設の運営人員は約 93 人です。その内訳は市職員が 0.2 人、指定管理者等の社員が 28.5 人、パート・アルバイトが 61.1 人、その他繁忙期に雇用する臨時的従業員が 3 人となっています。

運営形態別に見ると、市が直接管理運営を行っている施設は春江中小企業センターの 1 施設で、他の業務と兼務していることから、受付等に要する割合 0.2 人となっています。また、他の施設は、指定管理者をはじめとする民間事業者が施設の管理運営を委託しており、運営人員 92.6 人分は民間の社員等となっています。

健康と安らぎを提供する温泉 3 施設と農産物の加工・販売をしている坂井地域交流センター(いねす)は、運営人員が他の施設と比べて多くなっているのが特徴です。

表 運営人員

(人)

業務内容	区分	産業施設			観光施設		温泉施設			合計
		春江 中小企業 センター	いねす	ゆりの里 公園	三国湊 町家館	丸岡 観光情報 センター	三国温泉 ゆあぼ〜と	霞の郷	丸岡温泉 たけくらべ	
施設利用 に関する 受付・案内	市職員	0.1								0.1
	指定管理者社員等		2	1.7	1	0.5	1		8	14.2
	パート・アルバイト			0.1		0.2	10	8	(27)	18.3(27)
	その他									0
	小計	0.1	2	1.8	1	0.7	11	8	8(27)	32.6(27)
各種講座・ 講演会等の 主催	市職員									0
	指定管理者社員等		2	0.8						2.8
	パート・アルバイト			0.2						0.2
	その他			0.4						0.4
	小計	0	2	1.4	0	0	0	0	0	3.4
施設管理・ メンテナンス	市職員									0
	指定管理者社員等						3	3		6
	パート・アルバイト							19		19
	その他									0
	小計	0	0	0	0	0	3	22	0	25
その他	市職員	0.1								0.1
	指定管理者社員等		3	1		1.5				5.5
	パート・アルバイト		22	0.8		0.8				23.6
	その他			2.6						2.6
	小計	0.1	25	4.4	0	2.3	0	0	0	31.8
合計	市職員	0.2								0.2
	指定管理者社員等		7	3.5	1	2	4	3	8	28.5
	パート・アルバイト		22	1.1		1	10	27	(27)	61.1(27)
	その他			3						3
	合計	0.2	29	7.6	1	3	14	30	8(27)	92.8(27)

※ パート・アルバイトの人員数は、1日6時間、週30時間の勤務を1人として換算した年間の平均人員です。
ただし、宿泊施設である丸岡温泉たけくらべの27人は、勤務環境にばらつきがあることから、雇用している人数を直接記載しています。

エ) コスト状況

産業・観光・温泉施設8施設の年間トータルコストは、6億2,066万円、1施設当たり平均7,758万円です。

6億2,066万円のうち、施設維持にかかるコストは2億2,466万円(36%)、事業運営にかかるコスト(運営費・人件費)は、3億6,108万円(58%)、減価償却費が3,492万円(6%)です。トータルコストのうちの1億4,235万円(23%)が人件費(指定管理者等人件費を含む)です。利用料等の年間収入は4億3,992万円で、トータルコストの約71%を賄っています。

表 行政コスト計算書(2008年度(H20年度))

(千円)

		産業施設			観光施設		温泉施設			合計
		春江 中小企業 センター	いねす	ゆりのり 公園	三国湊 町家館	丸岡 観光情報 センター	三国温泉 ゆあぼ〜と	霞の郷	丸岡温泉 たけくらべ	
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】										
施設維持にか かかるコスト	各所修繕費	90	1,206	601	0	179	4,463	1,446	1,067	9,052
	老朽箇所修繕費	0	0	0	0	0	6,497	5,040	0	11,537
	光熱水費	915	5,600	2,628	184	2,625	38,206	62,036	22,084	134,278
	建物管理委託費	597	4,904	6,442	1,908	3,332	28,741	4,471	3,182	53,577
	土地賃借料	0	0	0	0	0	0	0	2,286	2,286
	土地・建物以外賃借料	0	2,547	303	147	139	2,818	1,783	3,391	11,128
	使用料	15	659	0	37	1,131	0	0	0	1,842
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	395	130	431	956
	施設維持にかかるコスト計	1,617	14,916	9,974	2,276	7,406	81,120	74,906	32,441	224,656
	事業運 営にか かかる コスト	職員人件費	1,566	0	0	0	0	0	0	0
指定管理者等社員人件費		0	21,113	20,570	480	5,656	20,776	24,549	47,642	140,786
運営・企画業務委託		0	4,980	1,732	0	0	0	3,049	0	9,761
負担金補助及び交付金		0	8,860	0	32	0	0	0	0	8,892
市債利息償還金		0	1,668	457	0	38	13,903	6,848	0	22,914
その他物件費		41	55,473	3,358	2,092	1,344	14,092	53,688	47,077	177,165
事業運営にかかるコスト計		1,607	92,094	26,117	2,604	7,038	48,771	88,134	94,719	361,084
現金収支を伴うコスト 計	3,224	107,010	36,091	4,880	14,444	129,891	163,040	127,160	585,740	
【収益の部】										
使用料	167	2,923	2,619	42	54	83,976	112,822	113,725	316,328	
諸収入等	0	80,882	1,300	0	10,129	8,710	16,010	6,563	123,594	
現金収支を伴う収益 計	167	83,805	3,919	42	10,183	92,686	128,832	120,288	439,922	
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】										
減価償却費	2,242	7,072	5,308	869	2,773	7,891	7,421	1,339	34,915	
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)	5,466	114,082	41,399	5,749	17,217	137,782	170,461	128,499	620,655	
収支差額(ネットコスト)	5,299	30,277	37,480	5,707	7,034	45,096	41,629	8,211	180,733	

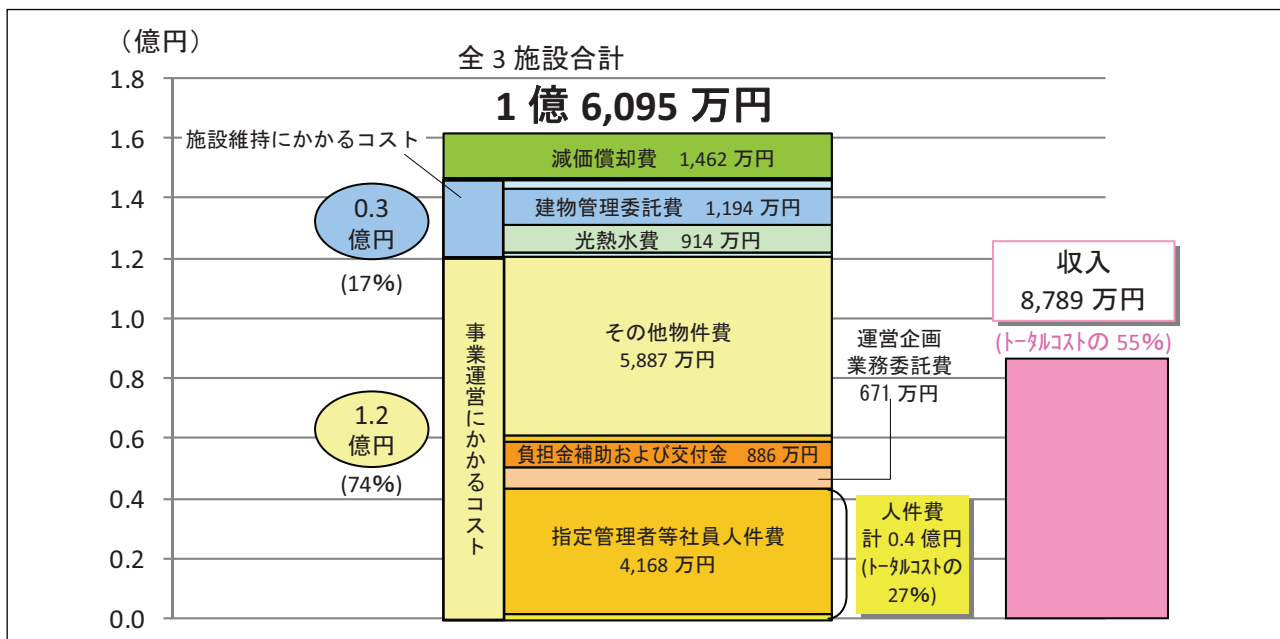
【産業施設】

産業全3施設の年間トータルコストは、1億6,095万円、1施設当たり平均5,365万円です。

施設維持にかかるコストは2,651万円(17%)、事業運営にかかるコストは1億1,982万円(74%)、減価償却費が1,462万円(9%)です。

年間の収入は8,789万円で、トータルコストの約55%となっています。

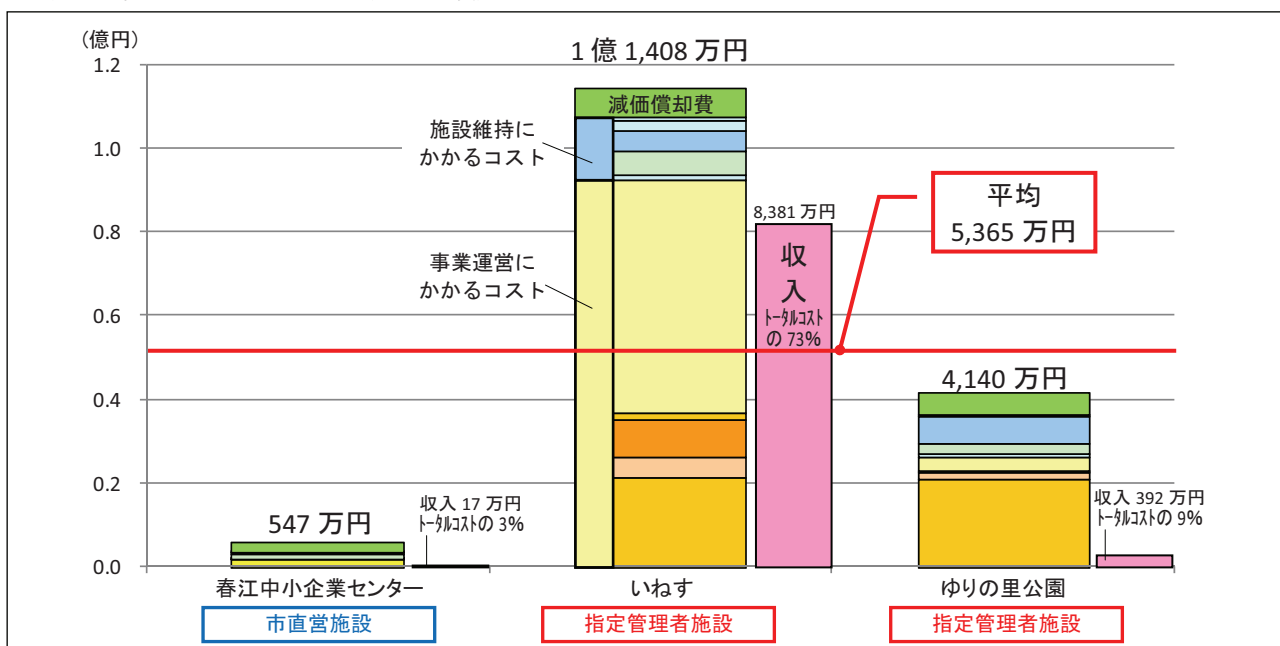
図 産業全施設 トータルコスト(2008年度(H20年度))



施設別では、最小547万円(春江中小企業センター)から最大1億1,408万円(坂井地域交流センター(いねす))と約21倍の差があります。

各施設のトータルコストに占める割合が最も大きな費目を見ると、春江中小企業センターでは建物に係る減価償却費、坂井地域交流センター(いねす)では農産物加工・販売に要する材料費(物件費)、ゆりの里公園では指定管理者社員の人件費となっています。

図 産業施設別 トータルコスト(2008年度)



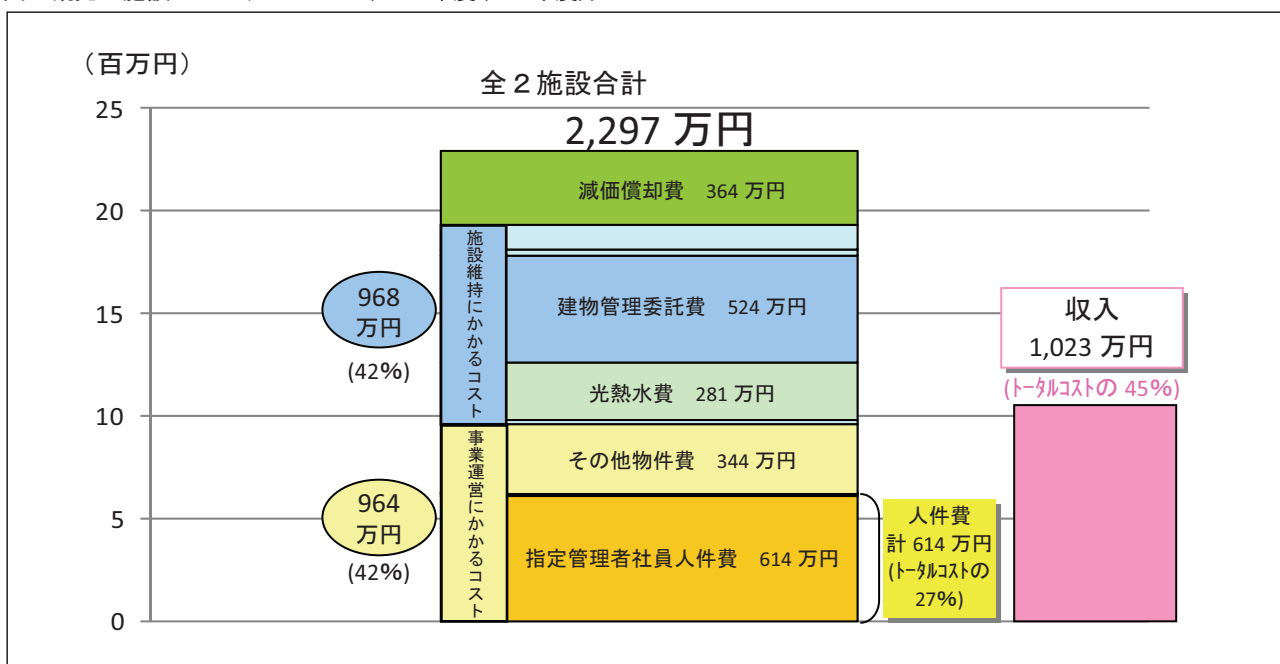
【観光施設】

観光全2施設の年間トータルコストは、2,297万円、1施設当たり平均1,148万円です。

施設維持にかかるコストは968万円(42%)、事業運営にかかるコストは、964万円(42%)、減価償却費が364万円(16%)です。

年間の収入は1,023万円で、トータルコストの約45%となっています。

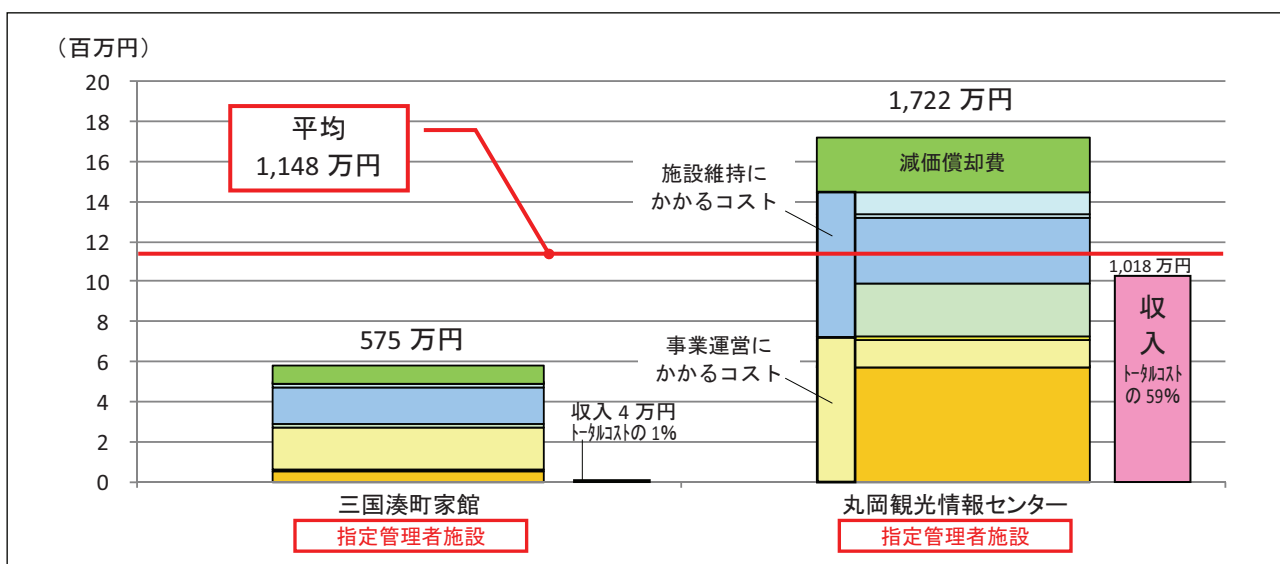
図 観光全施設 トータルコスト(2008年度(H20年度))



施設別では、最小575万円(三国湊町家館)から最大1,722万円(丸岡観光情報センター)と約3倍の差があります。

各施設のトータルコストに占める割合が最も大きい費目を見ると、三国湊町家館では経常的に要する物件費、丸岡観光情報センターでは指定管理者社員の人件費となっています。

図 観光施設別 トータルコスト(2008年度)



【温泉施設】

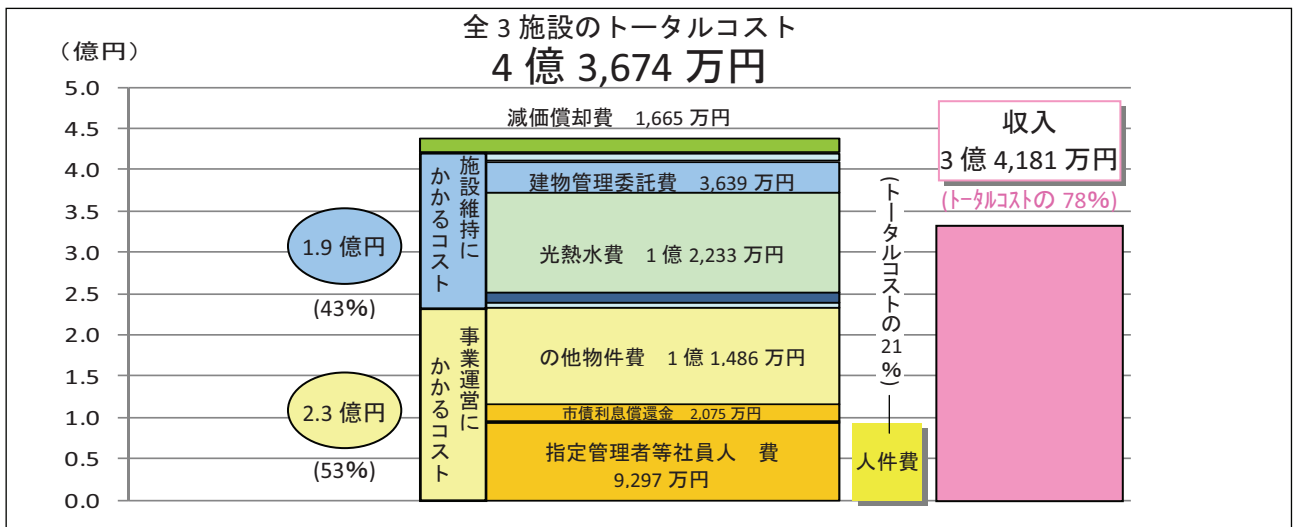
温泉全3施設の年間トータルコストは、4億3,674万円、1施設当たり平均1億4,558万円です。

施設維持にかかるコストは1億8,847万円(43%)、事業運営にかかるコストは2億3,162万円(53%)、減価償却費が1,665万円(4%)です。

給湯に必要な設備等を有していることから、トータルコストに占める光熱水費の割合が産業施設および観光施設と比較して大きいのが特徴です。また、莫大な建設費用がかかっていることから、市債利息償還金の額が産業施設および観光施設と比較して大きくなっています。

年間収入は3億4,181万円で、トータルコストの約78%となっています。

図 温泉全施設 トータルコスト(2008年度(H20年度))

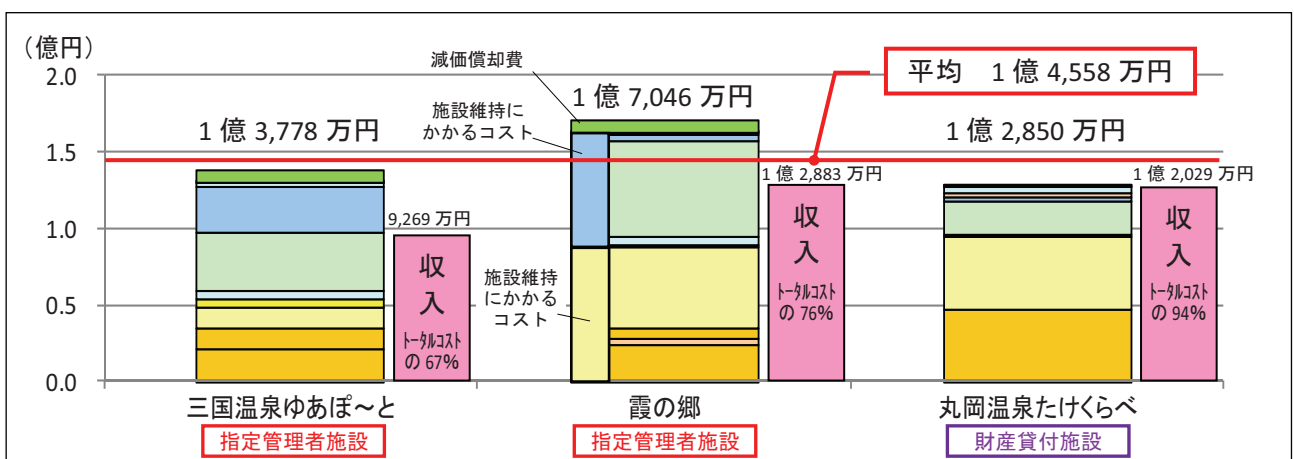


施設別では、最小1億2,850万円(丸岡温泉たけくらべ)から最大1億7,046万円(丸岡総合福祉保健センター(霞の郷))とあまり差がない状況です。

各施設のトータルコストに占める割合が最も大きい費目を見ると、三国温泉ゆあぼ〜とおよび丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)では光熱水費、丸岡温泉たけくらべでは民間事業者の人件費となっています。

各施設のトータルコストに対する年間収入の割合を見ると、三国温泉ゆあぼ〜とが67%、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)が76%、丸岡温泉たけくらべが94%となっており、宿泊施設である丸岡温泉たけくらべは収支面で赤字幅が少ない状況です。

図 温泉施設別 トータルコスト(2008年度)



③ 評価・分析

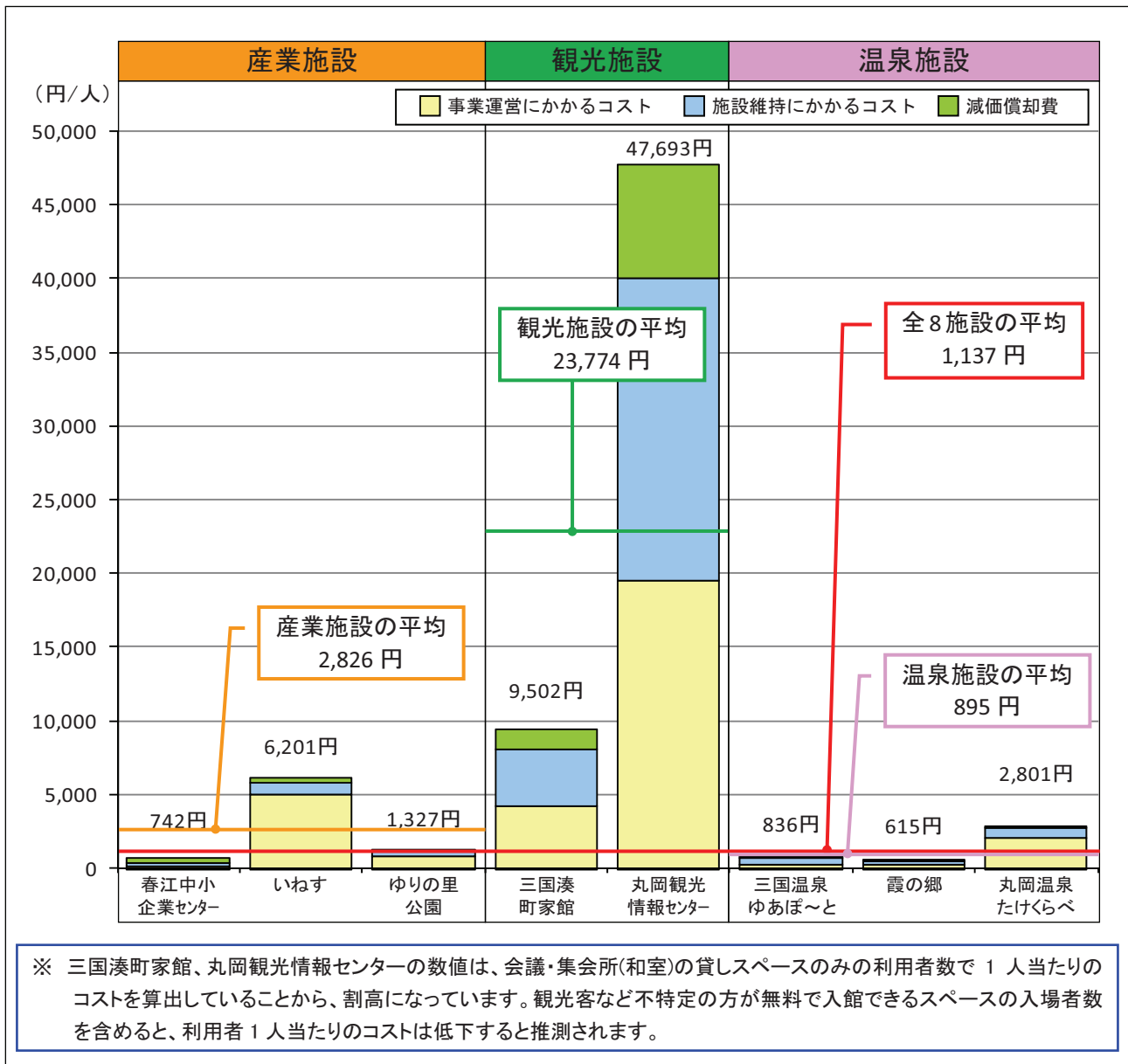
■ 利用者1人当たりの年間平均コストから見た特徴

産業・観光・温泉8施設の利用者1人当たりにかかる平均コストは1,137円です。施設別では、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)の615円/人から丸岡観光情報センターの4万7,693円/人と78倍の差があります。

これは、利用者数の違いが最大の要因で、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)ではトータルコストが最も高くなっていますが、利用者数も約28万人と最も多いため、1人当たりのコストは最小となり、一方で丸岡観光情報センターでは、利用者数が年間約400人と非常に少ないことによるものです。

目的が異なる産業・観光・温泉施設間で1人当たりのコストを見ると、温泉施設が低く、次いで産業施設となっており、観光施設は一般的に市民が利用することが少ないことから高い値となっています。

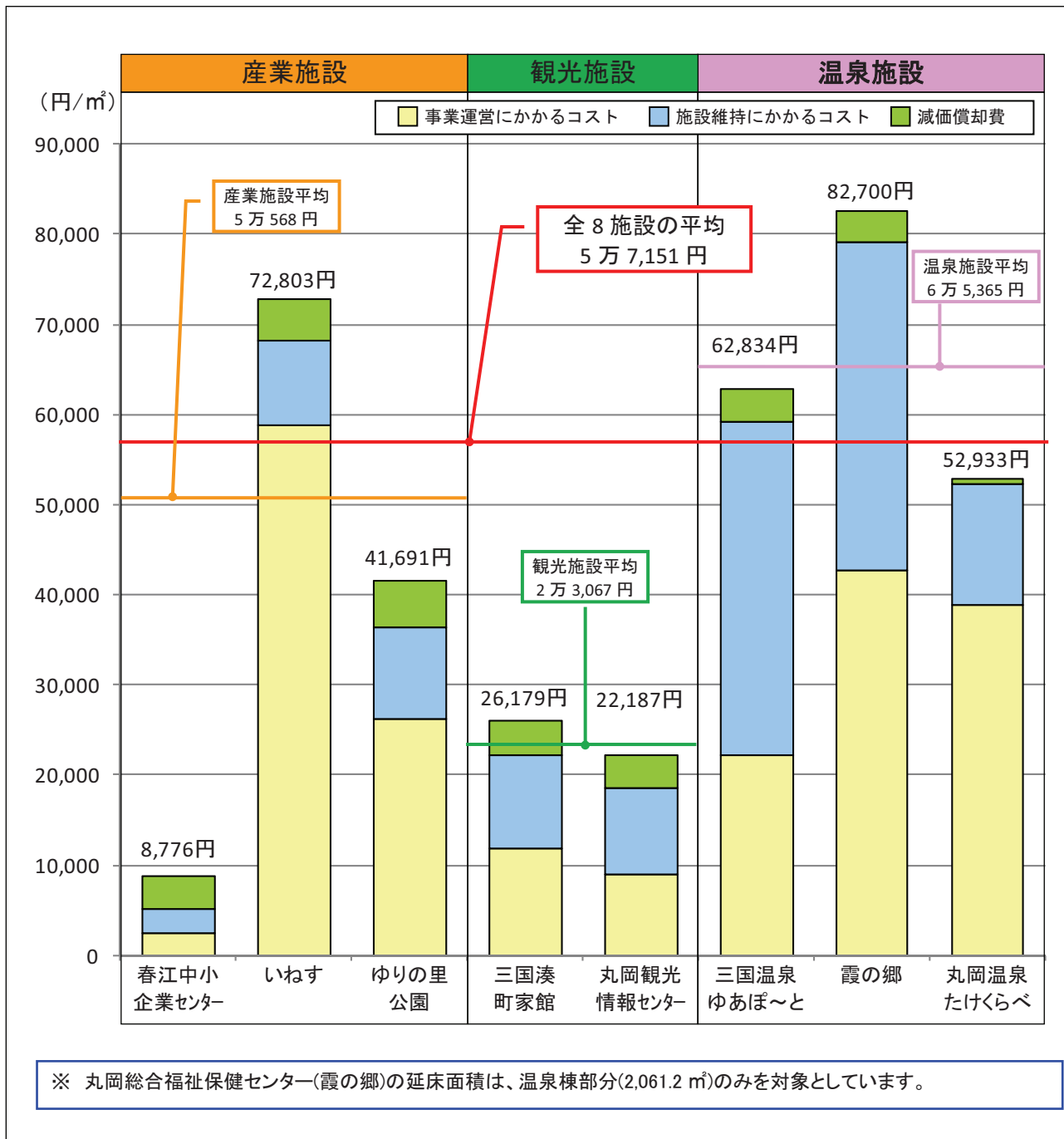
図 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト(2008年度(H20年度))



■ 1㎡当たりの平均コストから見た特徴

1㎡当たりにかかる平均コストは5万7,151円です。施設別では、春江中小企業センターの8,776円/㎡から丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)の8万2,700円/㎡と約9倍の差があります。目的が異なる産業、観光、温泉施設で1㎡当たりのコストを見ると、観光施設が低く、次いで産業施設となっており、温泉施設はトータルコストの影響で高い値となっています。

図 施設別 単位床面積当たりコスト(2008年度(H20年度))



■ 施設別に見た「利用状況・運営状況・コスト状況」の関係

【利用状況】

産業施設はコミュニティーバスの発着・停車地となっていることに加え、坂井地域交流センター(いねす)およびゆりの里公園は農産物の直売所があることから高い値となっています。中でも、ゆりの里公園では、年間を通じ圃場や温室ハウスで四季の花を咲かせたイベント等を実施していることから、利用料を必要としない入場者の数が多いのが特徴です。

観光施設は観光に関する情報を発信・案内する拠点施設で、来館する対象者は観光客であることから市民の利用は少なく、さらに貸スペースも限られているため利用者が少ないのが現状です。

温泉施設もコミュニティーバスの発着・停車地となっており、日常的に高齢者の利用が多く、また、気軽に温泉(日帰り入浴)が利用できることから最も高い値となっています。一方で、立地条件(幹線道路付近や山間地)によって施設間で差が見られます。

【運営状況】

産業・観光・温泉施設(中小企業センターを除く)は、指定管理者をはじめとする民間事業者が運営を行っていることから、開館時間等を考慮した人員配置に工夫が見られ、スタッフの半数以上はパート・アルバイト等で対応しています。中でも、坂井地域交流センター(いねす)は、直売所や加工品生産を行っていることから、パート・アルバイトの数が多くなっています。

温泉施設では、利用者数が多いことから運営人員も多くなっています。

【コスト状況】

産業・観光施設は圃場管理や観光案内といった人件費にかかるコストが大きいことから、施設維持コストより事業運営コストが高くなっています。一方、温泉施設は「日帰り入浴」と「宿泊」という機能の違いによって、人件費の占める割合が異なるため、三国温泉ゆあぼ〜と、丸岡総合福祉保健センター(霞の郷)では施設維持コストが高く、丸岡温泉たけくらべでは事業運営コストが高くなっています。また、温泉施設では光熱水費や特殊設備の保守に要するコストが他の用途の施設と比べて大きいのが特徴です。

産業施設で直売所を持つ坂井地域交流センター(いねす)では、直接農産物を仕入れ販売していることからトータルコストは高くなっていますが、それに相当する販売収入もあります。また、同じ直売所を持つゆりの里公園は、販売スペースを提供するのみで、直接の販売は地元生産団体が行っていることから、収支に影響はありません。

温泉施設では、指定管理者をはじめとする民間事業者が運営を行っていることから、トータルコストの約8割が入浴・宿泊料の収入で賄えています。収支赤字幅が他の用途の施設と比べて小さいのが特徴です。

図 施設別 利用状況・運営状況・コスト状況の比較

